

---

男女共同参画についての市民意識調査  
報 告 書

---

令和8（2026）年3月

八 尾 市



## 目次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査概要	1
3. 報告書の見方	1
II. 調査結果	2
A 男女平等に関する意識について	2
問1 次の①～⑧の各場面において、今の社会は男女の地位が平等になっていると思いますか。 (①～⑧のそれぞれについて○は1つ)	2
問2 「男は仕事、女は家庭」というような性別で役割を固定した考え方についてどう思いますか。 (○は1つ)	10
問2-1 問2で「1 同感しない」と答えられた方にお尋ねします。その理由はなぜですか。 (○は1つ)	11
問2-2 問2で「3 同感する」と答えられた方にお尋ねします。その理由はなぜですか。 (○は1つ)	11
B 家庭生活について	12
問3 あなた、配偶者（パートナー）が家事・育児・介護をする時間は、平日・休日を平均して 1日どれくらいですか。(それぞれについて○は1つ)	12
問4 次の①～⑩の項目について、あなたのご家庭では、誰が主に担当していますか。 (①～⑩のそれぞれについて○は一つ)	18
C 子育て・教育について	31
問5 一般的に子どもには、どの程度の学歴が必要だと思いますか。女の子、男の子、どちらに ついてもお答えください。(それぞれについて○は1つ)	31
問6 子どもには、どのような生き方が望ましいと思いますか。女の子、男の子、どちらについ てもお答えください。(それぞれについて○は2つ)	33
問7 学校の中での取り組みには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)	35
D 就労について	37
問8 女性が仕事に就くことについて、あなたはどう思いますか。(○は1つ)	37
問9 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。女性のご自身について、 男性は配偶者（パートナー）についてお答えください。(○は1つ)	38
問10 男性が仕事に就くことについて、あなたはどう思いますか。(○は1つ)	39
問11 男性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。男性のご自身について、 女性は配偶者（パートナー）についてお答えください(○は1つ)	40
問12 収入を得る仕事に就いていない方にお尋ねします。あなたが、収入を得る仕事に就いてい ないのはなぜですか。(○はいくつでも)	41
問12-1 あなたは今後働きたいとお考えですか。(○は1つ)	42
問13 配偶者（パートナー）が収入を得る仕事に就いていない方にお尋ねします。あなたの配偶 者（パートナー）が収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。(○はいくつでも)	43
問13-1 あなたの配偶者（パートナー）は今後働きたいとお考えですか。(○は1つ)	44
問14 あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。(○はいくつでも)	45
問15 男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活躍するために は、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)	47

<b>E 仕事と生活の調和について</b> .....	50
問 16 あなたは、生活の中で仕事と個人の生活（家庭、地域活動など）でどちらを優先しますか。（1）あなたの希望と（2）現実（現状）に最も近いものをそれぞれお答えください。（それぞれについて○は1つ） .....	50
問 17 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも） .....	56
<b>F あらゆる暴力について</b> .....	63
問 18 あなたは、配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む）から、次のようなことを「されたこと」「したこと」がありますか。以下の「されたこと」と「したこと」の両方にお答えください。（それぞれについて○はいくつでも） .....	63
問 19 問 18 の（1）の行為を受けられた方にお尋ねします。そのような行為を受けられてどうしましたか。（○はいくつでも） .....	67
問 20 問 19 で「8 どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えられた方にお尋ねします。あなたがどこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）のは、なぜですか。（○はいくつでも） .....	68
問 21 すべての方にお尋ねします。あなたは配偶者（パートナー）など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む）からの暴力（殴る、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力）について、相談窓口としてどのようなものを知っていますか。（○はいくつでも） .....	70
問 22 配偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪など、暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも） .....	71
<b>G 男女共同参画社会づくりについて</b> .....	74
問 23 男女共同参画社会とは「男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会」と内閣府は定めています。男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習及び相談の場として、八尾市男女共同参画センター「すみれ」（八尾市立社会福祉会館 2階）を設置しています。あなたは八尾男女市共同参画センター「すみれ」を知っていますか。（○は1つ） .....	74
問 23-1 問 23 で「1 知っている」と答えられた方にお尋ねします。八尾市男女共同参画センター「すみれ」を利用したことがありますか。（○は1つ） .....	75
問 23-2 問 23-1 で「2. 利用したことがない」と答えられた方にお尋ねします。その主な理由はなぜですか。（○は1つ） .....	76
問 24 男女共同参画を進めていく上で、行政（国・府・市）は、どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。（○はいくつでも） .....	78
問 25 男女共同参画を推進するための八尾市の次の①～⑩の取り組みについて、現在の満足度をお答えください。（①～⑩のそれぞれについて○は1つ） .....	81
問 26 困難な問題を抱える女性の福祉の増進を図るため、令和6年4月1日に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（女性支援法）が施行されました。一人ひとりのニーズに応じた支援を行い、安心して、かつ、自立して暮らせる社会の実現をめざすための法律です。困難な問題を抱える女性が、支援につながりやすい体制をつくるために、必要だと思う取り組みは何ですか。（○はいくつでも） .....	94
<b>H あなた自身について</b> .....	96
問 27 あなたの年齢は（○は1つ） .....	96
問 28 あなたの性別は（○は1つ） .....	96
問 29 あなたは結婚していますか。（事実婚を含む）（○は1つ） .....	97
問 29-1 配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際	

相手を含む、複数おられた場合は、一番最近に親密な関係にあった人について)の性別は。

(○は一つ) .....98

問 30 あなたと一緒に住んでいる人は。(あてはまるものすべてに○) .....99

問 31 令和7年4月1日時点のあなたが同居している、一番下のお子さんの年齢は。(○は一つ) .....99

問 32 あなた、配偶者(パートナー)の職業は。(それぞれについて○は1つ) .....100

Ⅲ. 自由意見のまとめ..... 111

参考資料..... 115

## I . 調查概要

# I. 調査概要

## 1. 調査目的

本市では、男女共同参画施策の方向性と内容を明らかにし、施策の総合的かつ計画的な推進を図るため平成 28（2016）年3月に「八尾市はつらつプラン～第3次八尾市男女共同参画基本計画～」を策定し、その後令和2（2020）年度に中間見直しを実施し男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを推進しているところです。

同計画は期間を令和8年度まで1年延伸することとなったことから、令和9年度に、「（仮）第4次八尾市男女共同参画基本計画」を策定予定としており、今後の男女共同参画施策に反映するため、市民の男女共同参画に関する現状や意識、意見等を把握することを目的として、令和7年度男女共同参画についての市民意識調査を実施しました。

## 2. 調査概要

### （1）調査方法

- ①調査地域 : 八尾市全域
- ②調査対象 : 満 18 歳以上の男女 3,000 人（男 1,500 人、女 1,500 人）を住民基本台帳の中から無作為に抽出させていただきました。
- ③実施方法 : 郵送による調査票の配布・郵送または八尾市電子申請システムによる回答
- ④調査期間 : 令和7（2025）年 10 月 2 日から 10 月 20 日まで

### （2）回収結果

調査時期	配布数	有効回答数	有効回答率
前回調査（令和元年 10 月）	3,000	1,209	40.3%
今回調査（令和 7 年 10 月）	3,000	1,351	45.0%

## 3. 報告書の見方

- 集計結果は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入しており、構成比（%）の合計が 100.0%にならないことがあります。
- 複数回答（マルチアンサー）の設問の場合、集計結果の合計が 100.0%を超えます。
- グラフ及び表中の“N”は有効回答数を表しています。
- クロス集計については、無回答を含んでいません。
- 構成比（%）は、その設問の回答者数を基数として算出しています。
- 回答者数が少ない場合は、回答の比率が変動しやすく、またプライバシー上の問題が生じるおそれがあるため、非掲載としていることがあります。詳細について必要であれば発行者までお問い合わせください。
- 本報告書における「前回調査」は、「男女共同参画についての市民意識調査」（令和2（2020）年 3 月）を示しています。

## II. 調查結果



## A 男女平等に関する意識について

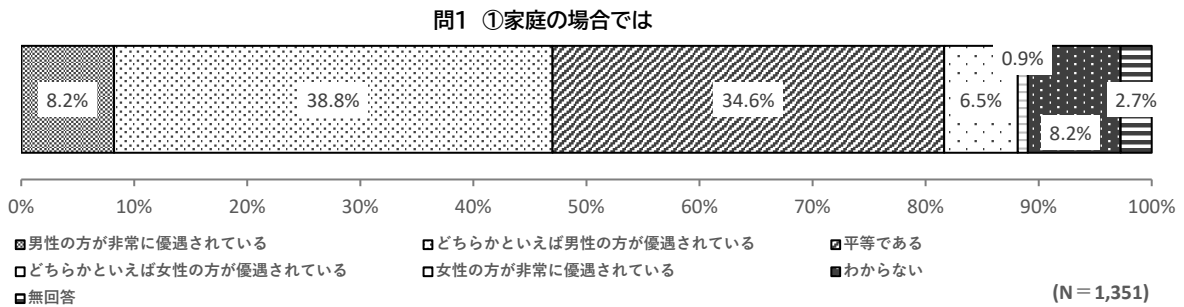
問1 次の①～⑧の各場面において、今の社会は男女の地位が平等になっていると思いますか。  
(①～⑧のそれぞれについて〇は1つ)

『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた値）」は、「④政治の場では」の74.3%を筆頭に、「⑥社会通念・慣習・しきたりなど」が68.5%、「⑧社会全体では」が63.2%と高い割合となっています。

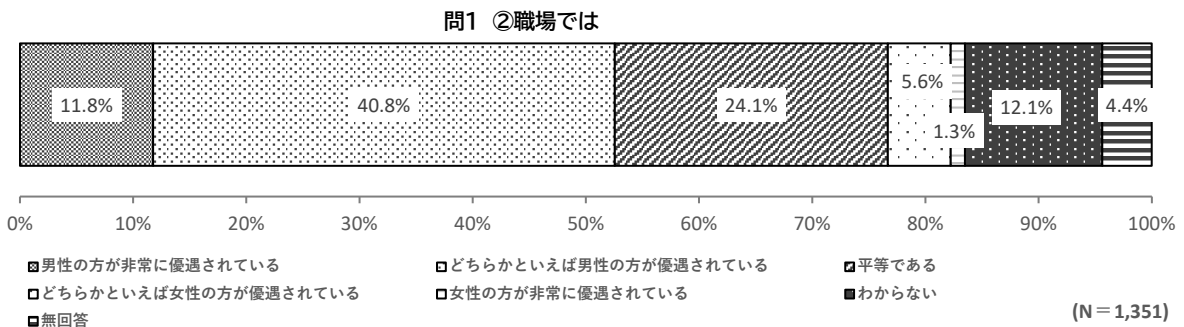
「平等である」については「③学校教育の場では」46.6%と最も高く、次いで「⑦地域活動の場では」39.5%、「①家庭の場」34.6%となっています。

### <全体>

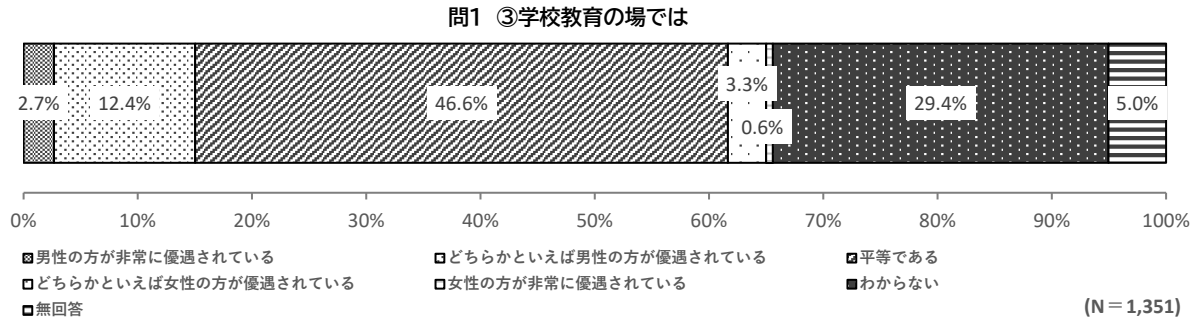
#### ① 家庭の場では



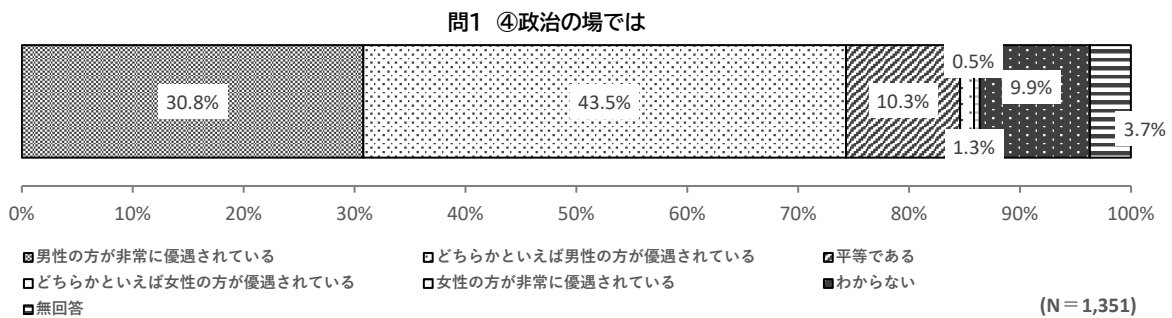
#### ② 職場では



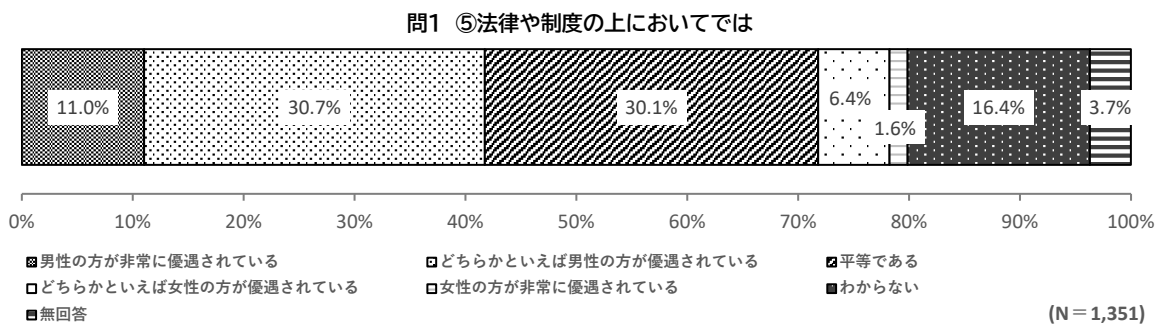
### ③ 学校教育の場では



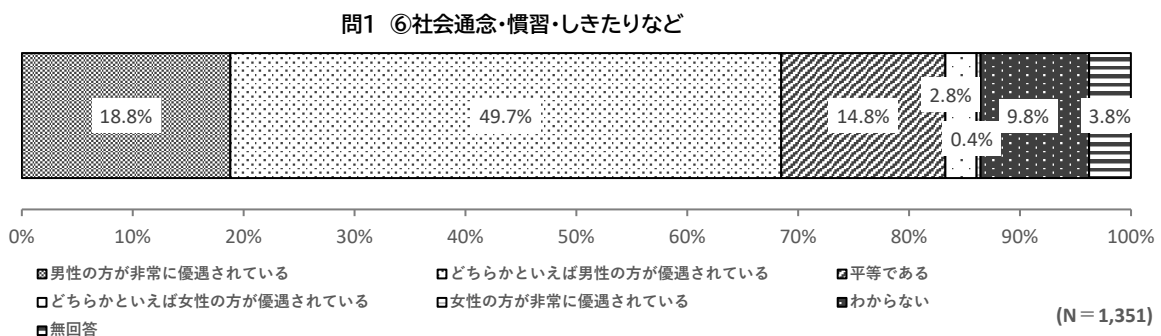
### ④ 政治の場では



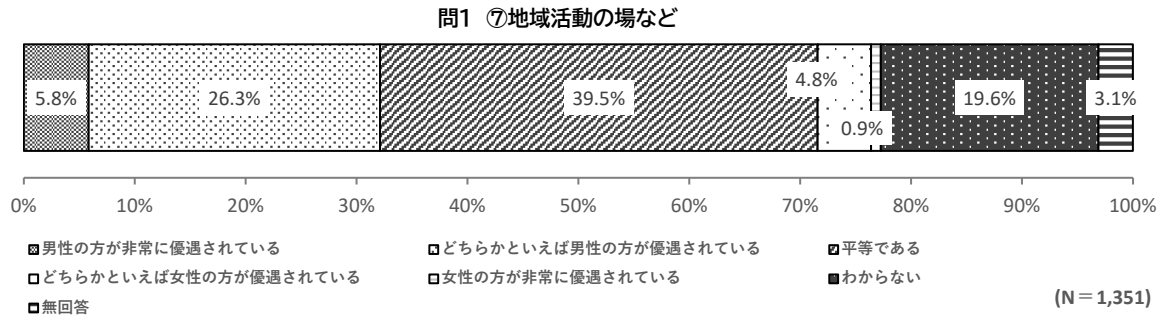
### ⑤ 法律や制度の上においては



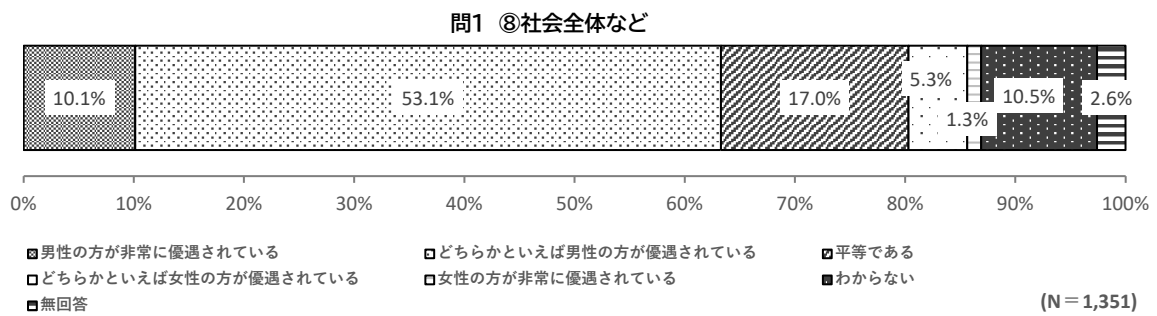
### ⑥ 社会通念・慣習・しきたりなどでは



⑦ 地域活動の場では



⑧ 社会全体では

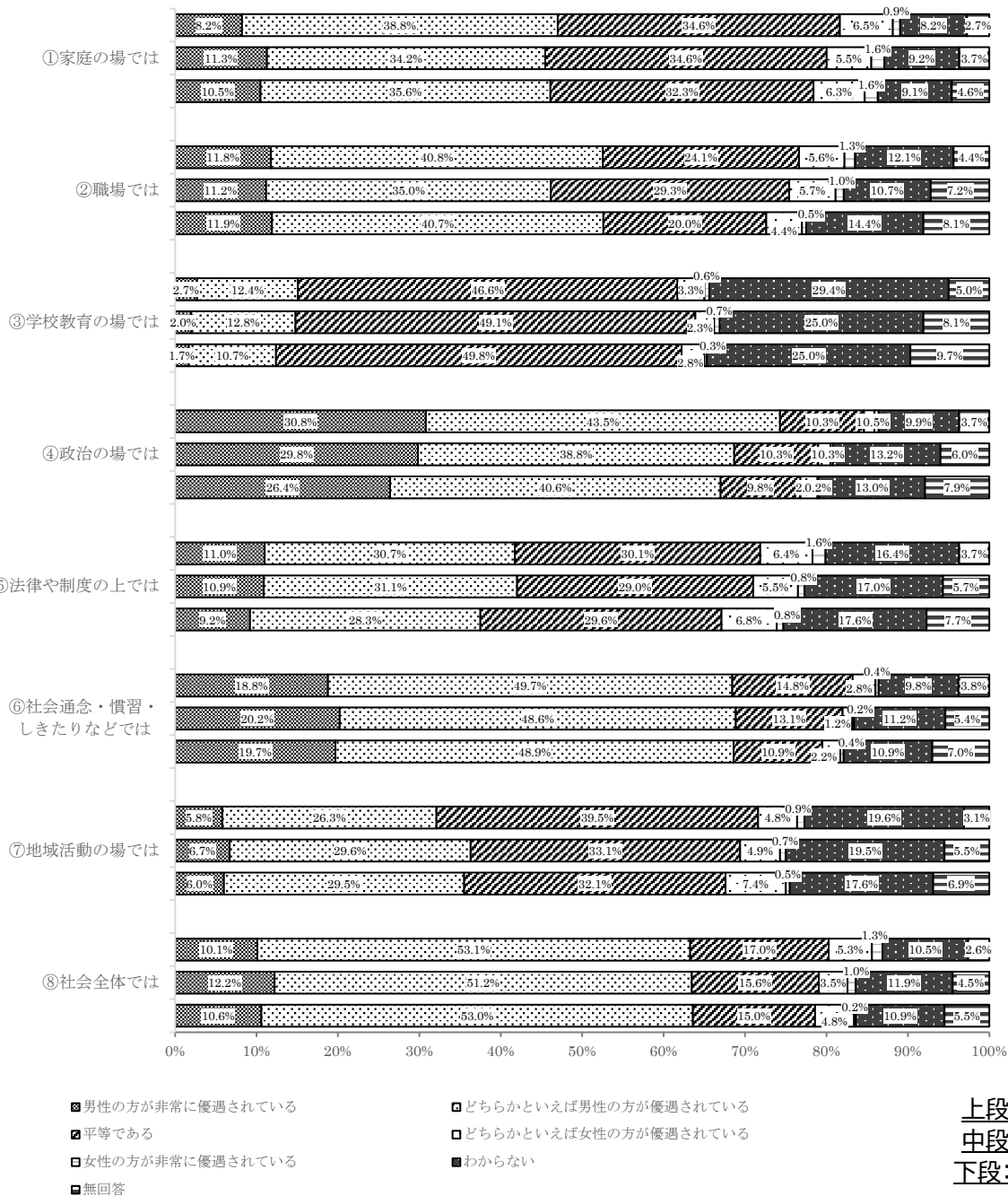


### <前回調査との比較>

前回調査と比較すると、『男性優遇』が、「⑧社会全体では」が 0.2 ポイント減少（前回 63.4%→今回 63.2%）しています。

また、『平等である』は、「②職場では」が 5.2 ポイント減少（前回 29.3%→24.1%）、「⑦地域活動の場では」が 6.4 ポイント（前回 33.1%→今回 39.5%）増加しています。

①～⑧の各場面において、今の社会は男女の地位が平等になっていると思いますか

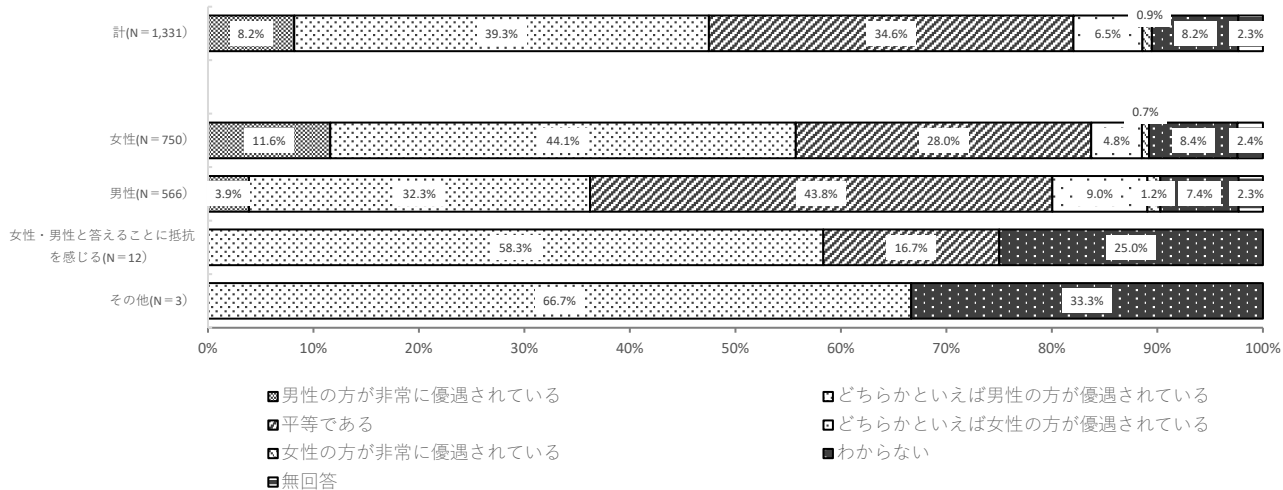


## <性別>

### ① 家庭の場合では

『男性優遇』は、女性が55.7%に対し男性は36.2%と、女性が男性を上回っています。

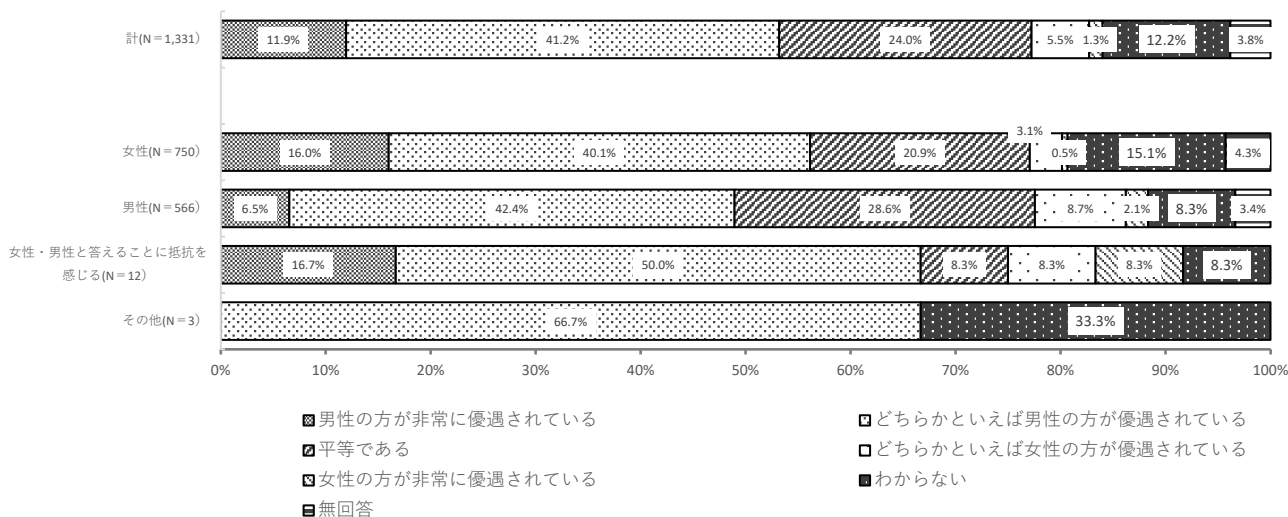
問28 性別 × 問1 ①家庭の場合では



### ② 職場では

『男性優遇』は、女性が56.1%、男性は48.9%と、女性が男性を上回っています。

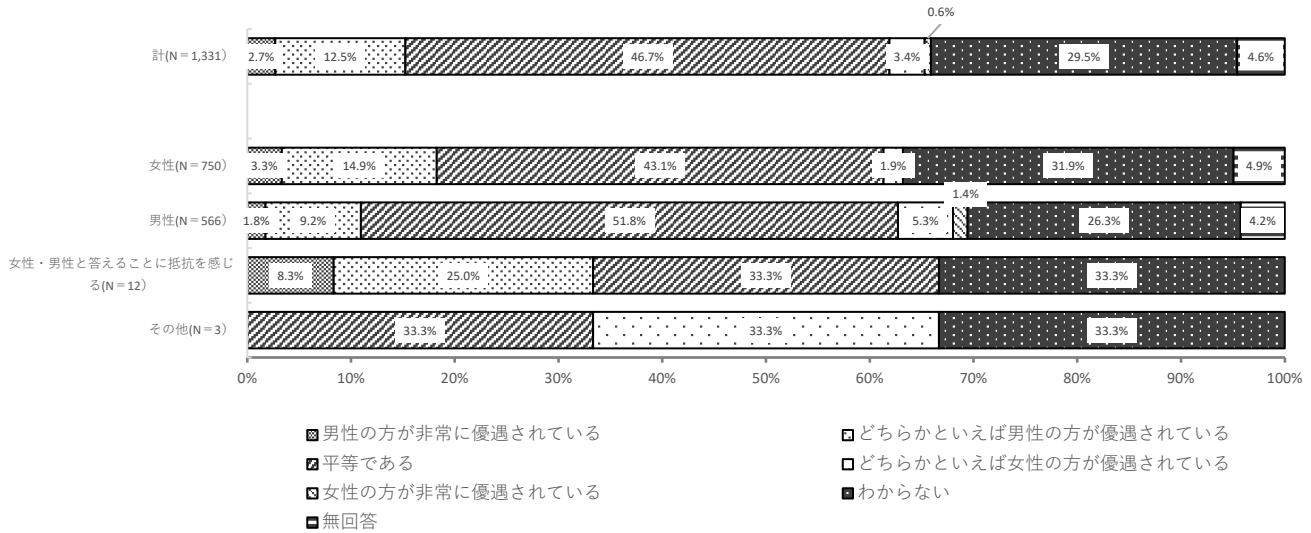
問28 性別 × 問1 ②職場では



### ③ 学校教育の場では

『平等である』は、女性が43.1%、男性は51.8%と男性が女性を上回っています。

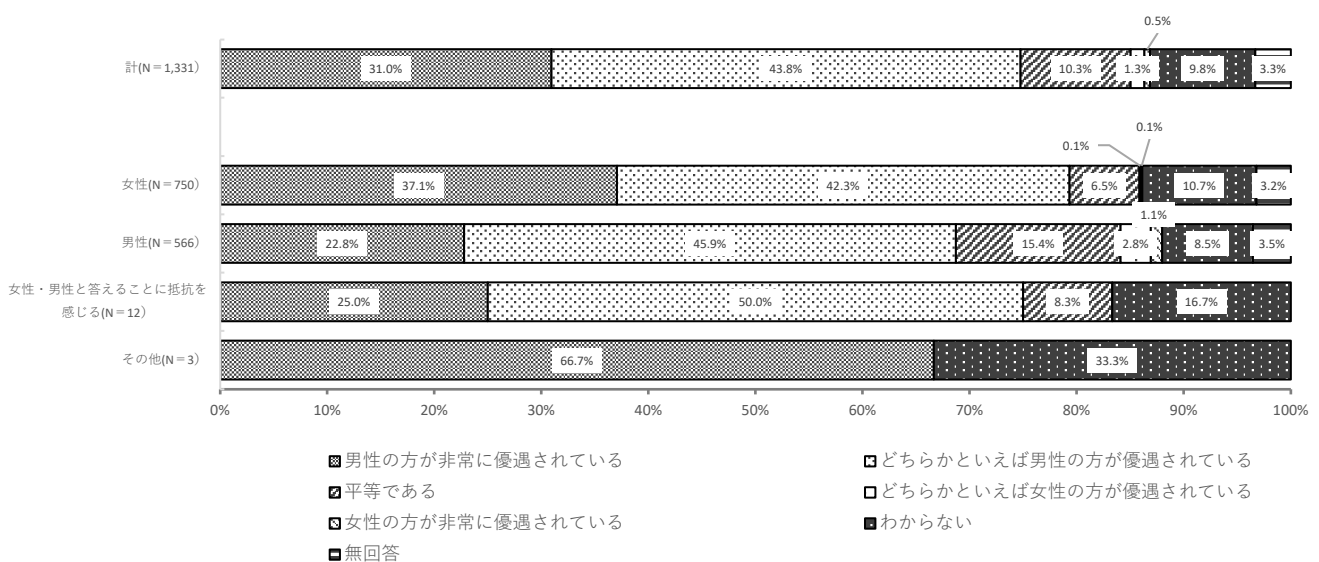
問28 性別 × 問1 ③学校教育の場では



### ④ 政治の場では

『男性優遇』は、女性が79.4%、男性は68.7%と女性が男性を上回っています。

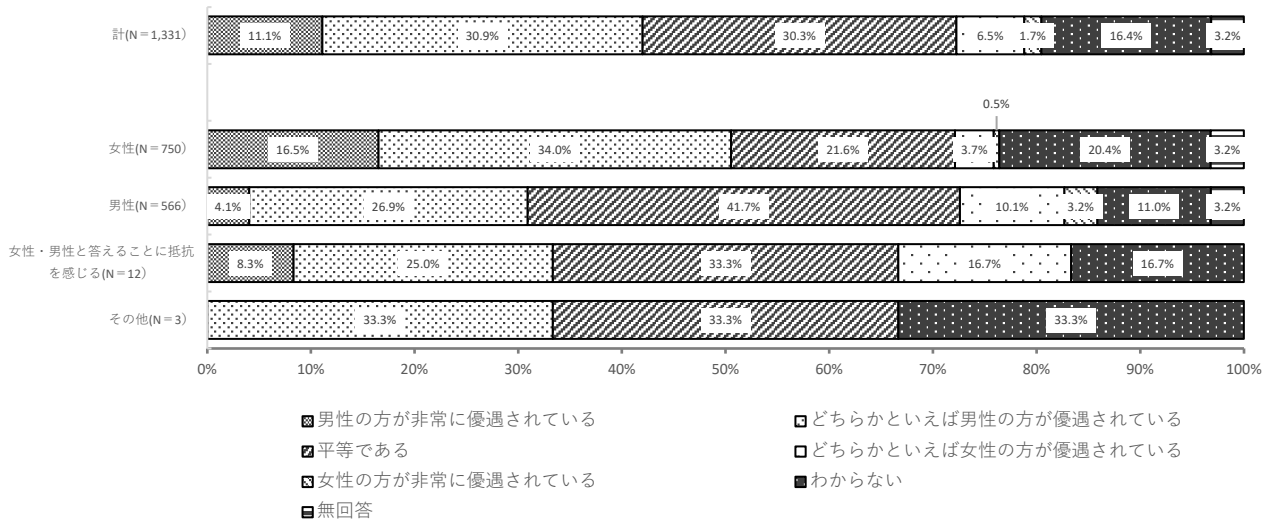
問28 性別 × 問1 ④政治の場では



## ⑤ 法律や制度の上においては

『男性優遇』は、女性が50.5%、男性は31.0%と女性が男性を上回っています。

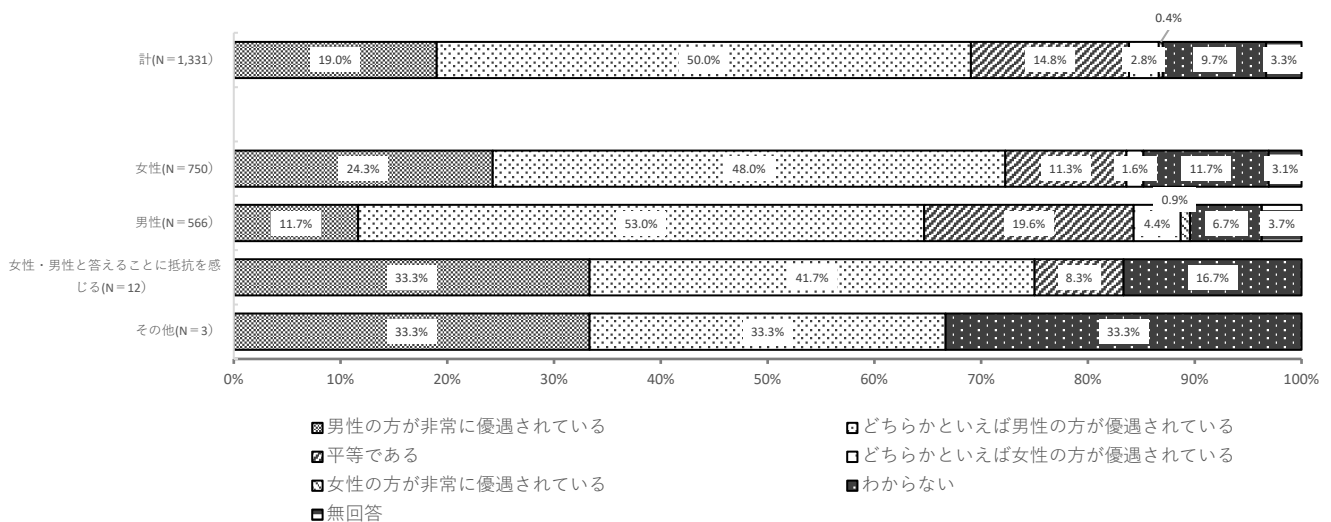
問28 性別 × 問1⑤法律や制度の上においては



## ⑥ 社会通念・慣習・しきたりなどでは

『男性優遇』は、女性が72.3%、男性は64.7%と女性が男性を上回っています。

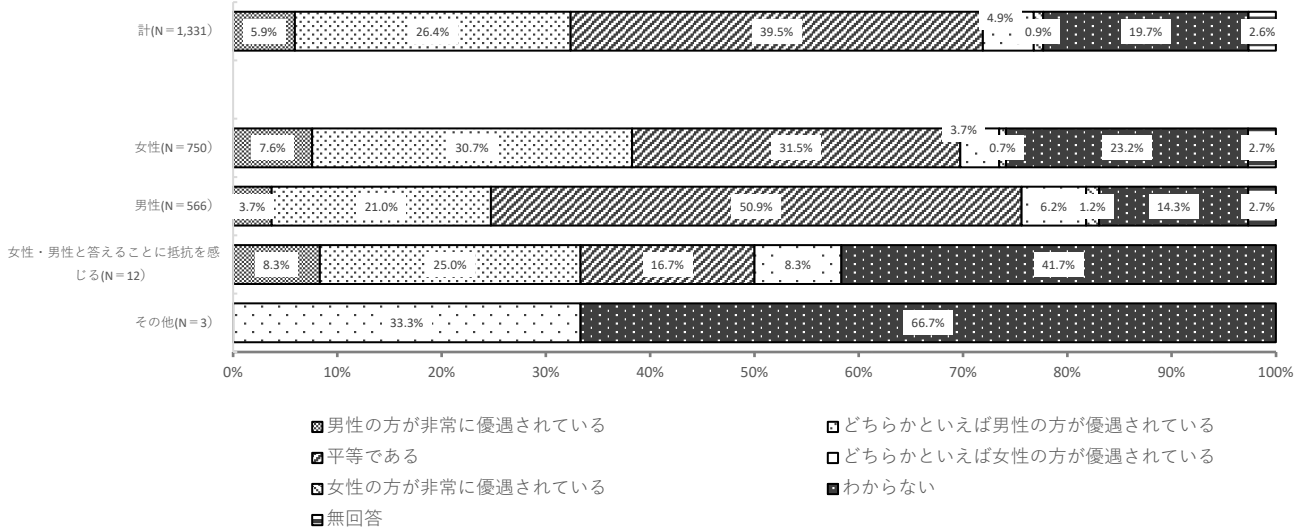
問28 性別 × 問1⑥社会通念・慣習・しきたりなどでは



## ⑦ 地域活動の場では

『平等である』は、女性が31.5%、男性は50.9%と男性が女性を上回っています。

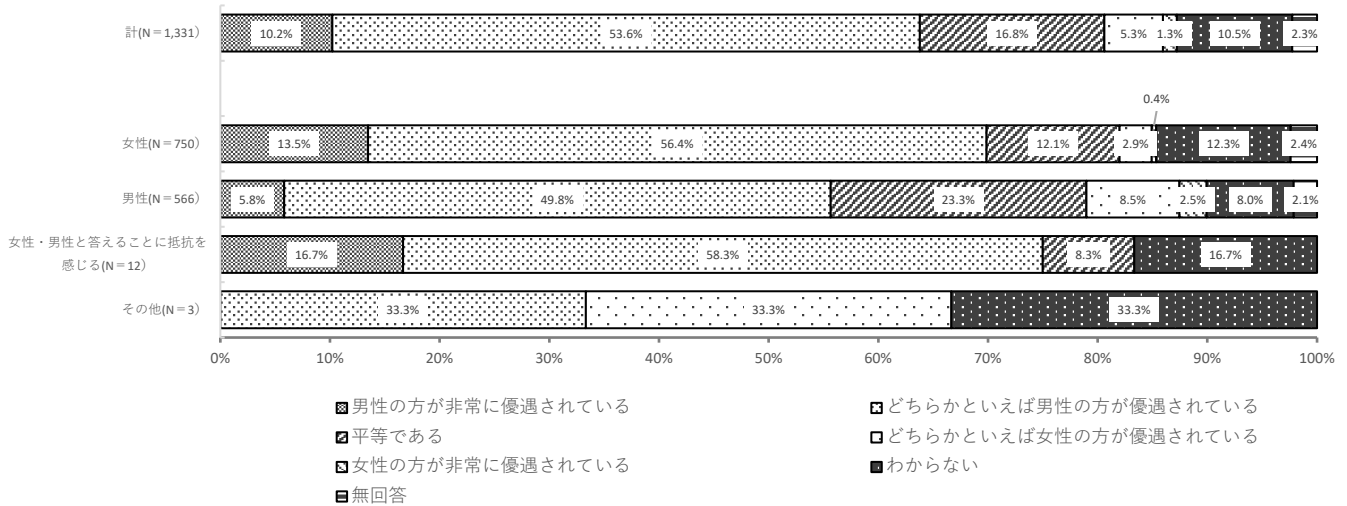
問28 性別 × 問1 ⑦地域活動の場では



## ⑧ 社会全体では

『男性優遇』は、女性が69.9%、男性は55.6%と女性が男性を上回っています。

問28 性別 × 問1 ⑧社会全体では



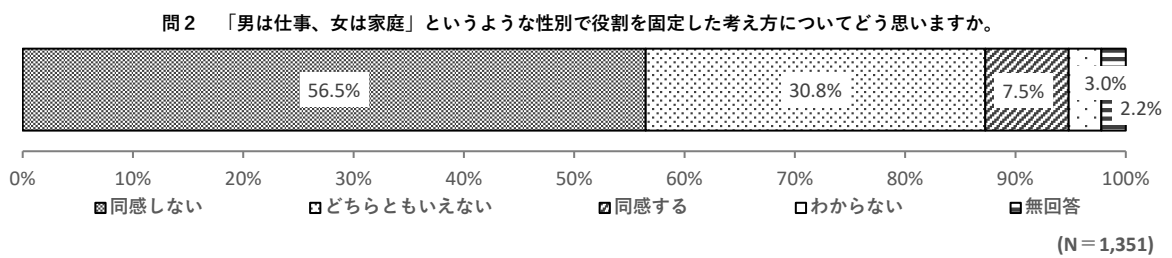
問2 「男は仕事、女は家庭」というような性別で役割を固定した考え方についてどう思いますか。  
(〇は1つ)

「同感しない」が56.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.8%、「同感する」が7.5%となっています。

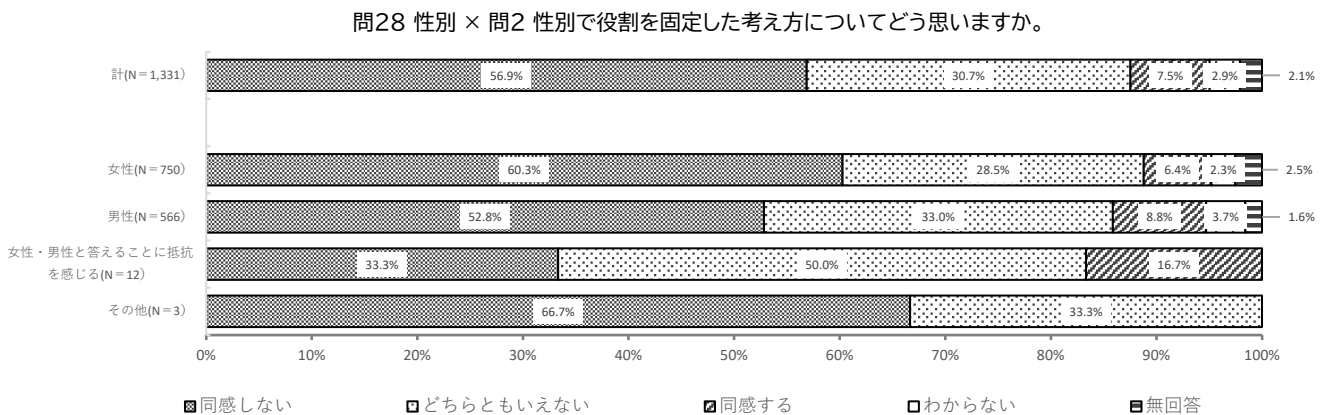
性別では、「同感しない」は、女性60.3%、男性52.8%と女性の割合が高く、「どちらともいえない」についても、女性28.5%、男性33.0%と女性の割合が高く、「同感する」についても女性が6.4%なのに対し、男性8.8%とやや男性の割合が高くなっています。

年齢では、「同感しない」は70代以上では47.2%と低く、そのほかの年代では50.0%を超えています。

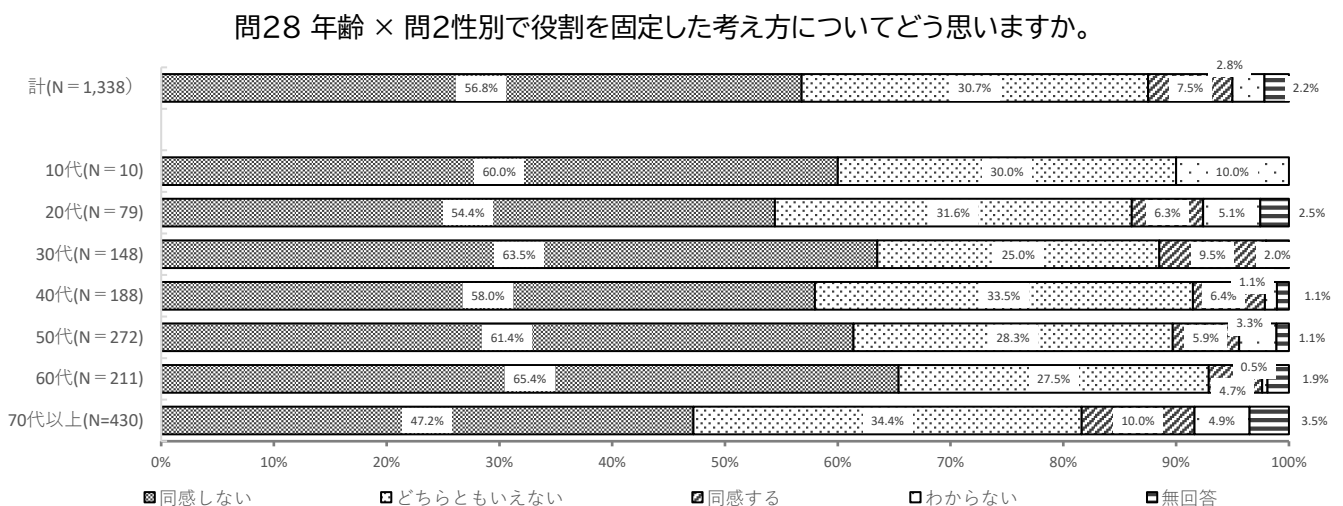
<全体>



<性別>

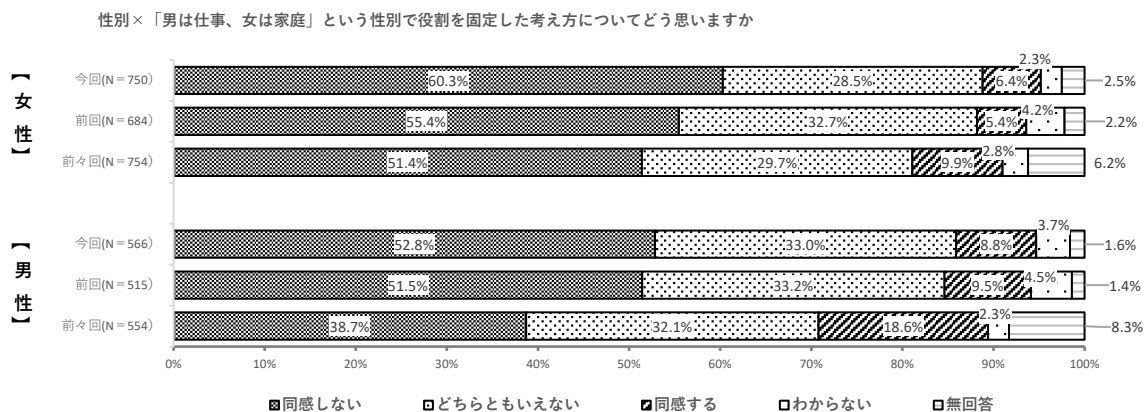


<年齢>



〈前回調査との比較〉

前回調査と比較すると「同感しない」は、女性が4.9ポイント増加（前回55.4%→60.3%）しているものの、男性は前回とは大きな変化はどの理由でもありませんでした。

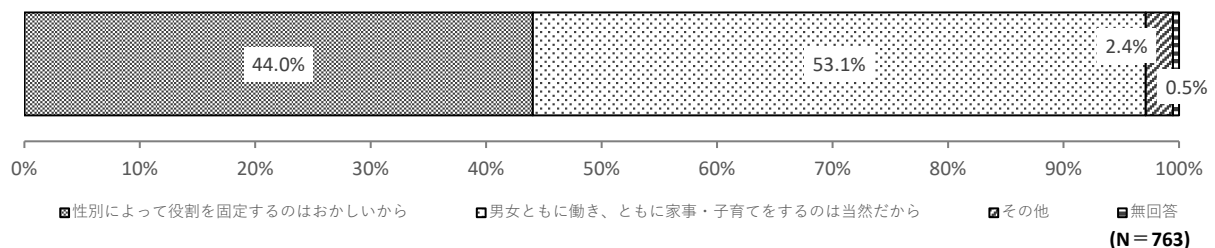


問2-1 問2で「1 同感しない」と答えられた方にお尋ねします。その理由はなぜですか。  
(○は1つ)

「男女がともに働き、ともに家事・子育てをするのは当然だから」が53.1%と最も高く、次いで「性別によって役割を固定するのはおかしいから」が44.0%となっています。

〈全体〉

問2-1 問2で「1. 同感しない」と答えられた方にお尋ねします。その理由はなぜですか。

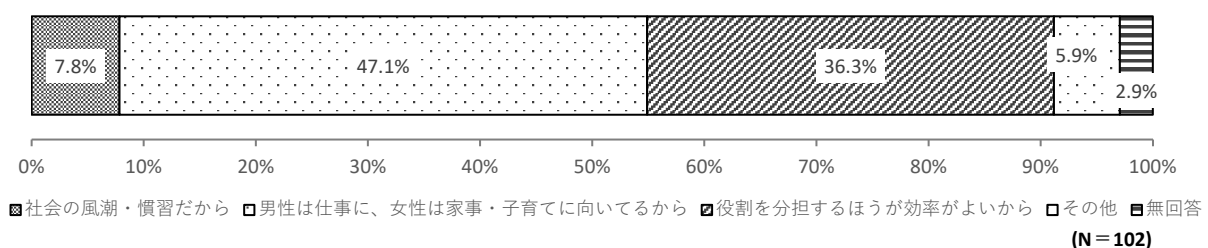


問2-2 問2で「3 同感する」と答えられた方にお尋ねします。その理由はなぜですか。  
(○は1つ)

「男性は仕事に、女性は家事・子育てに向いているから」が47.1%と最も高く、次いで「役割を分担するほうが効率がよいから」が36.3%となっています。

〈全体〉

問2-2 問2で「3. 同感する」と答えられた方にお尋ねします。その理由はなぜですか。



## B 家庭生活について

問3 あなた、配偶者（パートナー）が家事・育児・介護をする時間は、平日・休日を平均して1日どれくらいですか。（それぞれについて〇は1つ）

### (1) あなたについて

#### <全体>

全体としては「3時間以上」が25.3%と最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が18.1%、「無回答」が13.5%となっています。

勤務地別では、「3時間以上」は勤務していないの方が33.7%、次いで八尾市（在宅勤務含む）の方では29.8%と割合が高くなっています。「15分未満」は大阪府内で14.2%と最も割合が高くなっています。

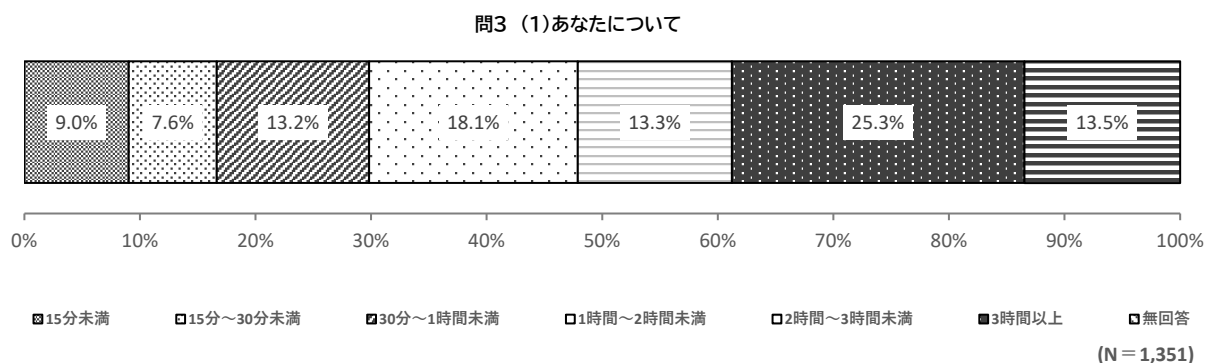
通勤時間別では、通勤していないの方で「3時間以上」が32.2%と最も高く、最も低いのは30分～1時間未満の方で14.9%となっています。

勤務時間別では、「3時間以上」の割合が最も高いのは、4時間～6時間未満の方で、42.0%となっています。一方で、「15分未満」は8時間～10時間未満の方で割合が13.1%と最も高くなっています。

性別では、女性の「3時間以上」が39.2%に対して、男性は7.6%となっています。また、「15分未満」は女性が4.1%なのに対して男性は15.9%となっています。

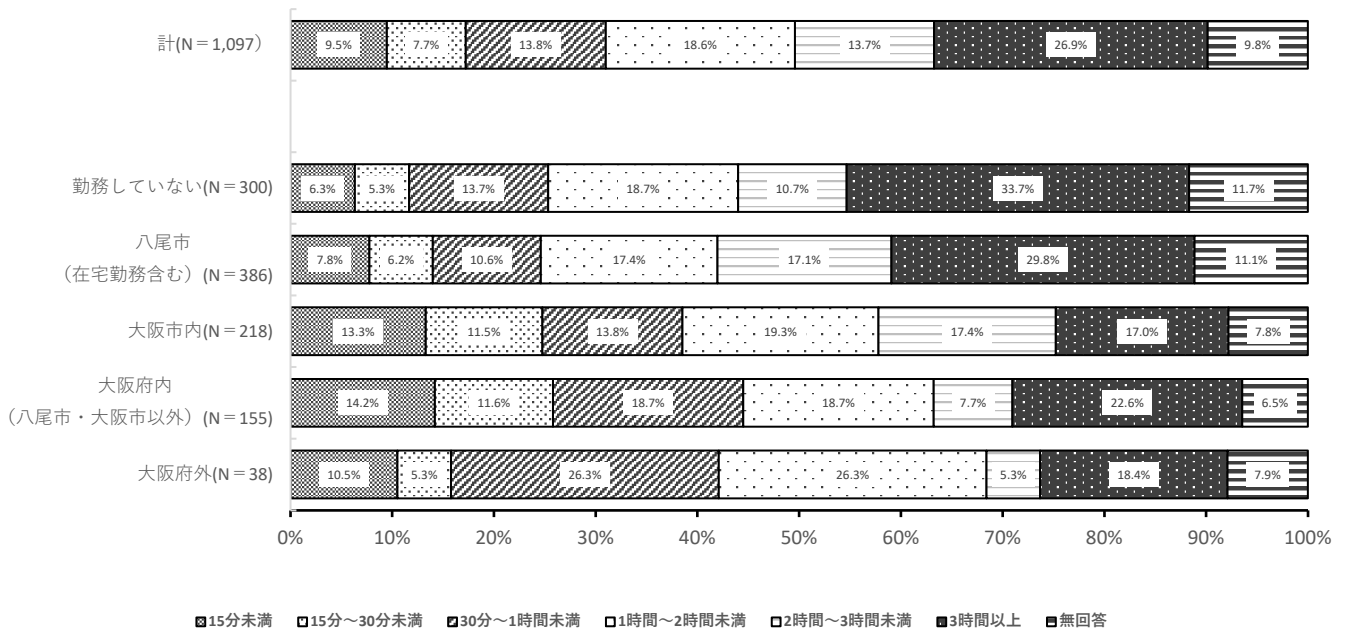
年代別では、「3時間以上」の割合が最も高いのは、40代の方で36.2%、次いで30代の方で35.8%となっています。

配偶者の有無では、「3時間以上」は、既婚の方が31.3%と最も高く、離別又は死別の方は19.0%、未婚の方は14.0%となっています。



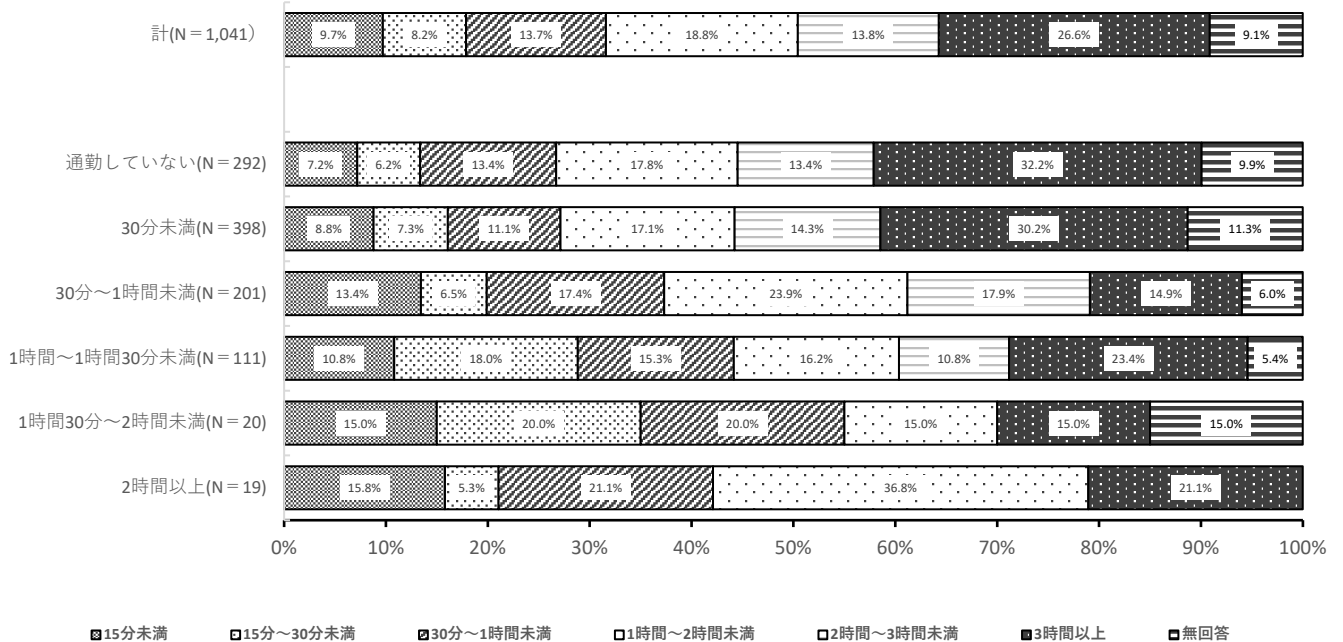
<勤務地>

問32 勤務地 × (1)あなたについて



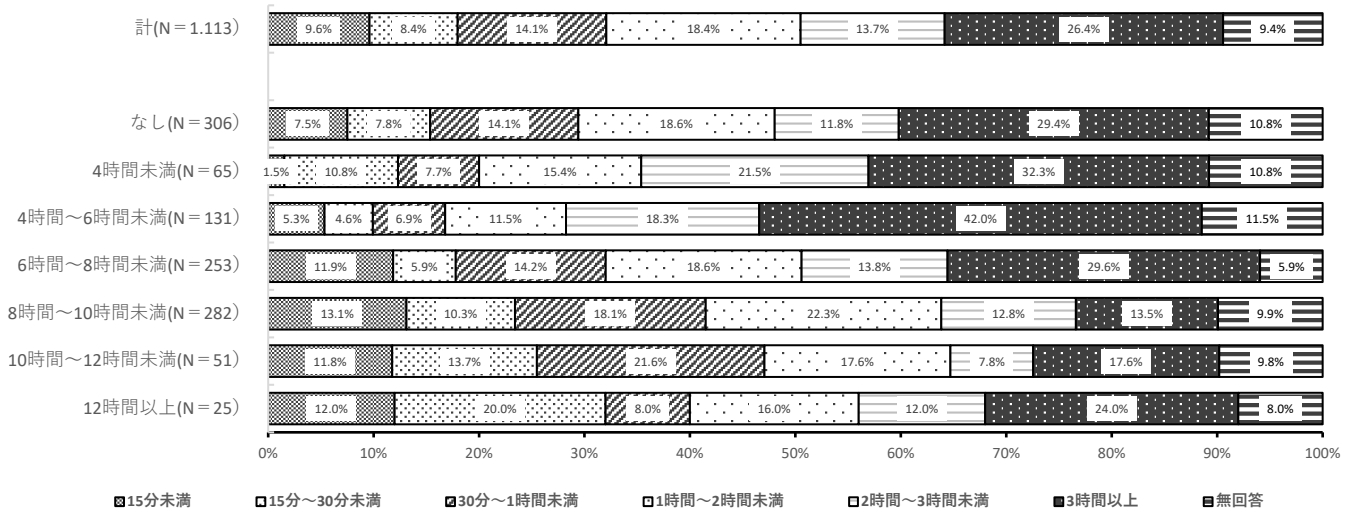
<通勤時間>

問32 通勤時間 × (1)あなたについて



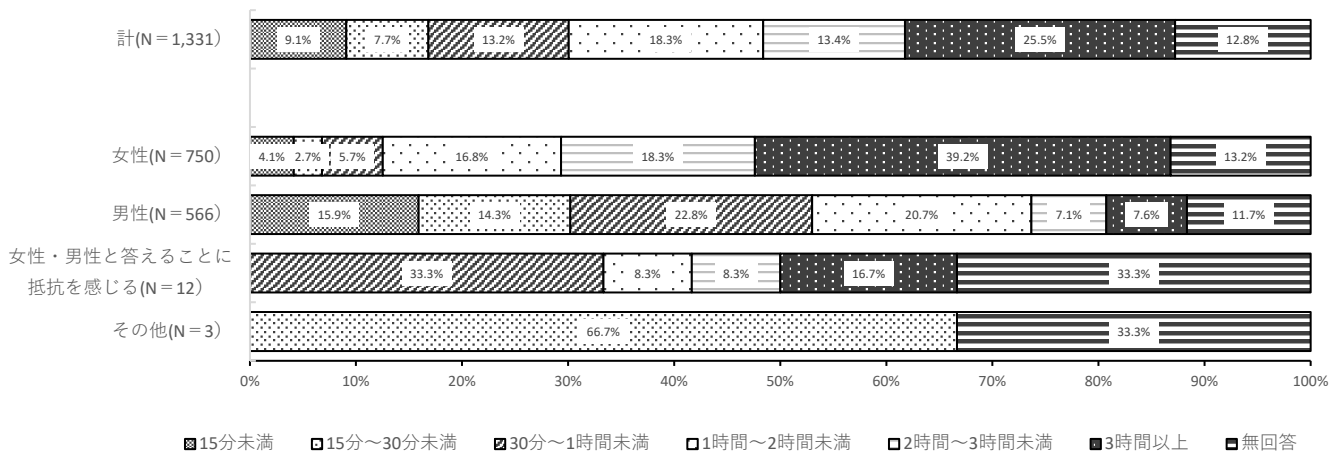
## <勤務時間>

問32 勤務時間 × (1)あなたについて



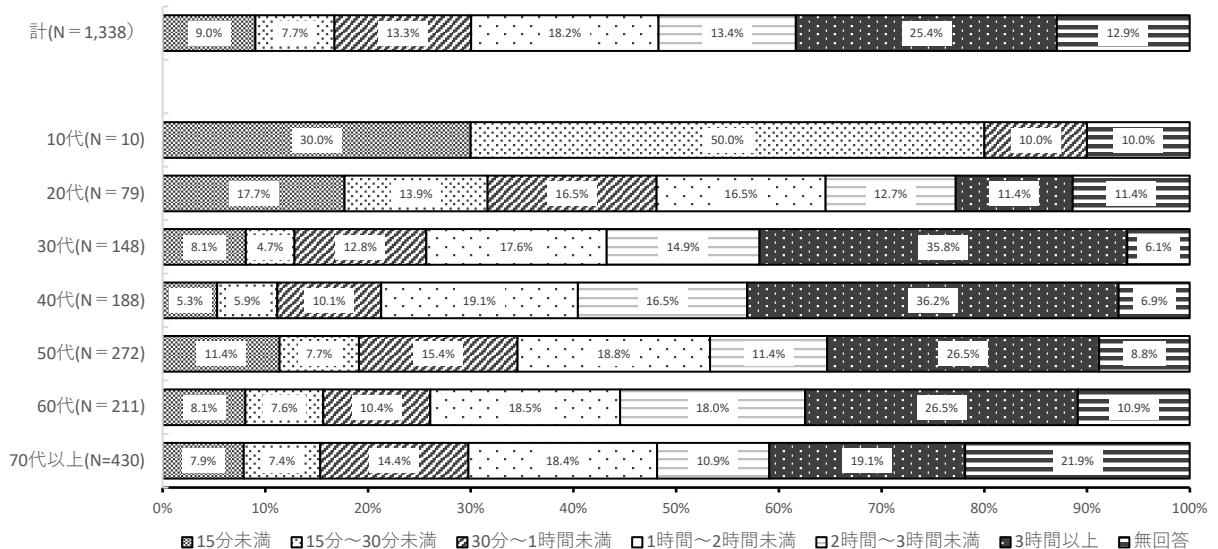
## <性別>

問28 性別 × (1)あなたについて



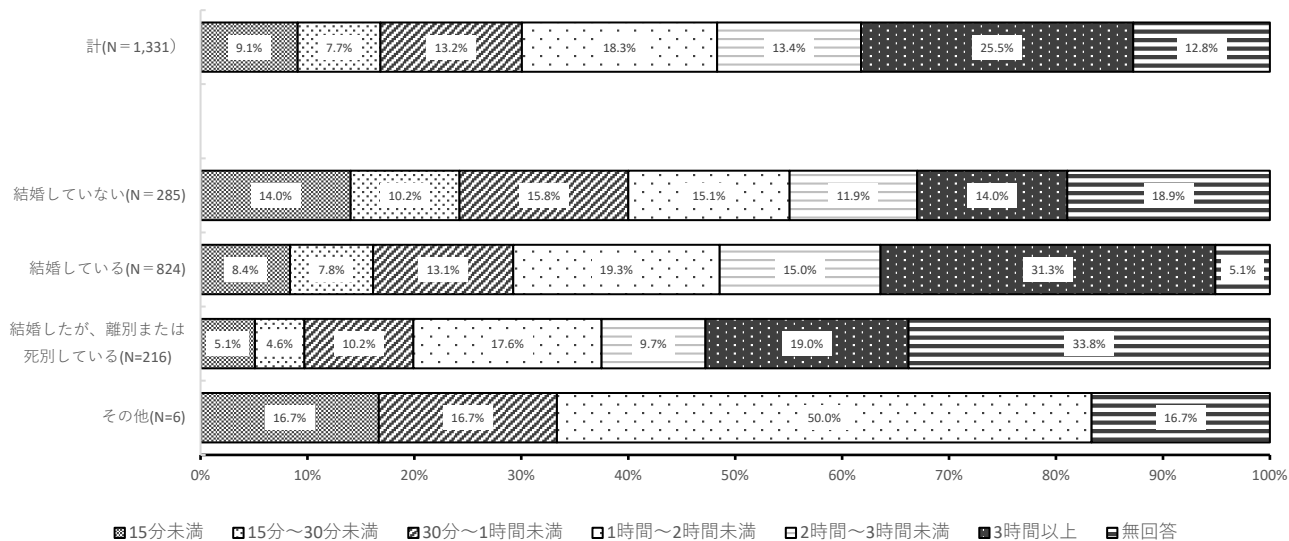
## <年代別>

問27 年代別 × (1)あなたについて



## <配偶者の有無>

問29 あなたは結婚していますか × (1)あなたについて



## (2) 配偶者（パートナー）について

全体では、「配偶者（パートナー）はいない」が26.1%と最も高く、次いで「3時間以上」が16.4%となっています。

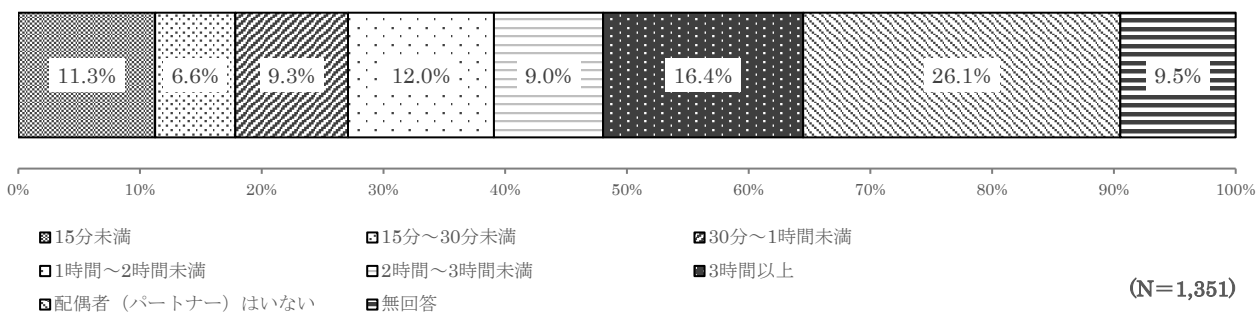
勤務地別では、「3時間以上」は大阪府外が26.3%と最も高く、次いで大阪府内が25.8%となっています。

通勤時間別では「15分未満」の割合が最も高いのは通勤していないの方で15.8%となっています。

勤務時間別では、4時間未満の方が「15分未満」の割合が21.5%と最も高くなっています。その一方で、10～12時間未満の方が「3時間以上」の割合が39.2%と最も高くなっています。

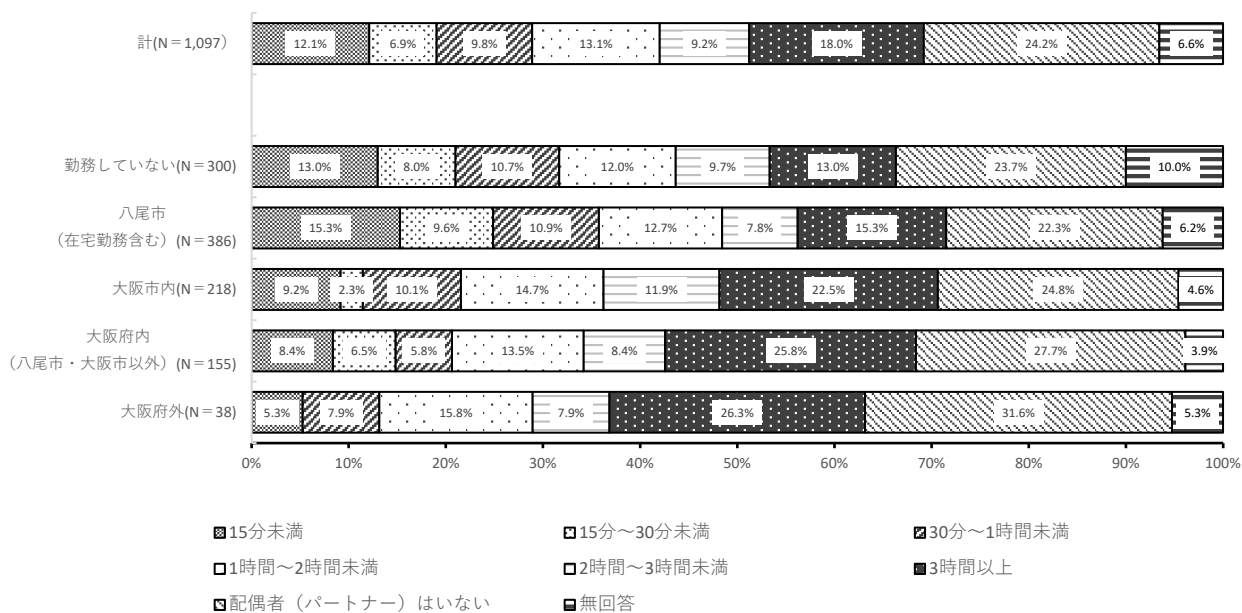
## <全体>

問3 (2)配偶者(パートナー)について



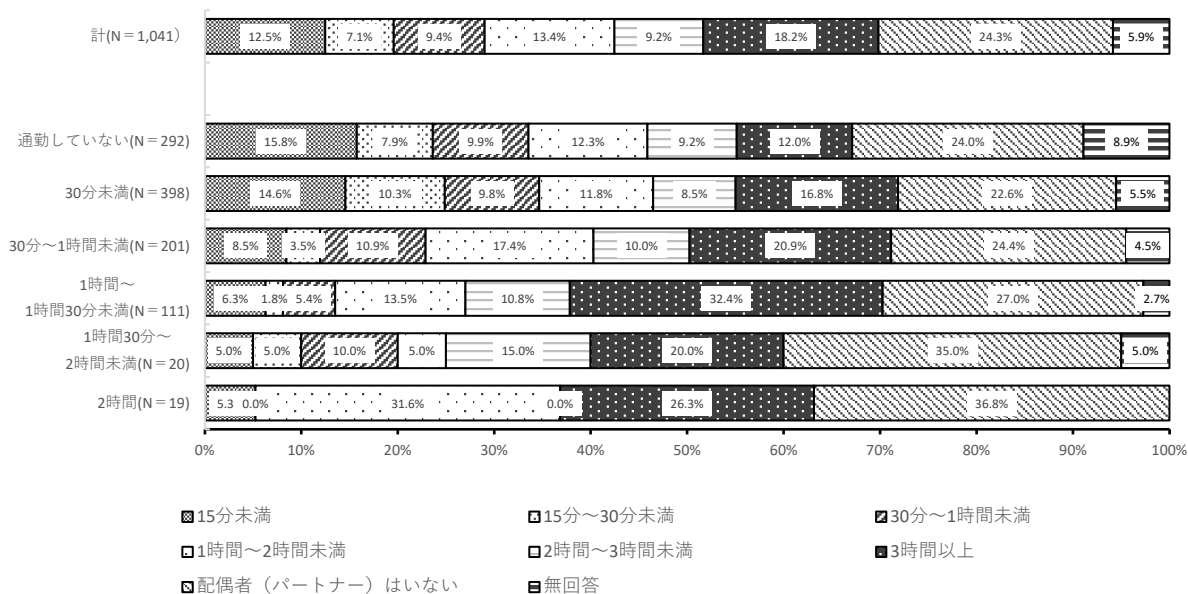
<勤務地>

問32 勤務地 × (2)配偶者について



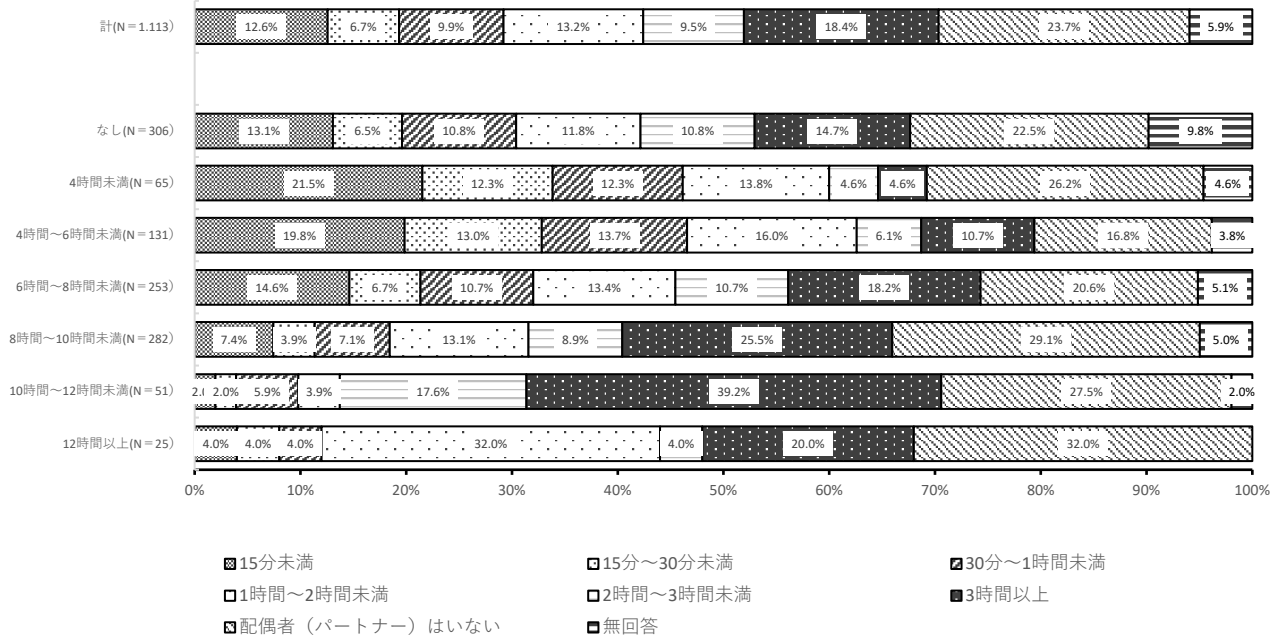
<通勤時間>

問32 通勤時間 × (2)配偶者について



<勤務時間>

問32 勤務時間 × (2)配偶者について



問4 次の①～⑩の項目について、あなたのご家庭では、誰が主に担当していますか。

(①～⑩のそれぞれについて〇は一つ)

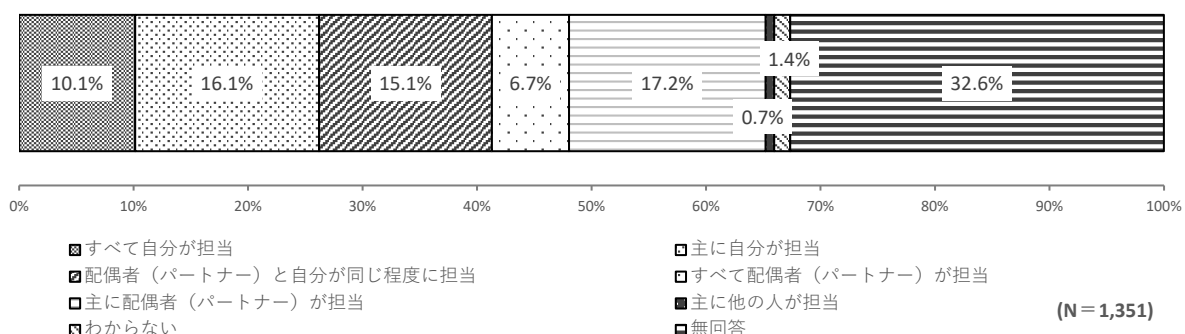
『自分が担当』（「すべて自分が担当」と「主に自分が担当」を合わせた値）は、「②掃除・洗濯をする」、「③食事の支度をする」、「④日々の家計を管理する」の項目が比較的高く、30%越えとなっています。

『配偶者が担当』（「すべて配偶者が担当」と「主に配偶者が担当」を合わせた値）では、「③食事の支度をする」が、他の項目に比べて高く、25.0%となっています。

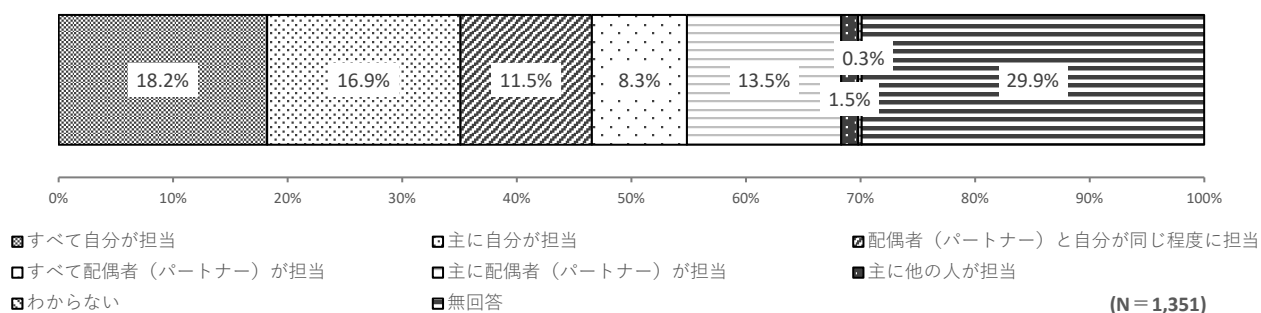
また、「⑧子供の進路を決定する」と「⑨高額な買い物を決定する」については、それぞれ22.1%、38.2%と「配偶者（パートナー）と自分が同じように担当」が高い項目となっています。

<全体>

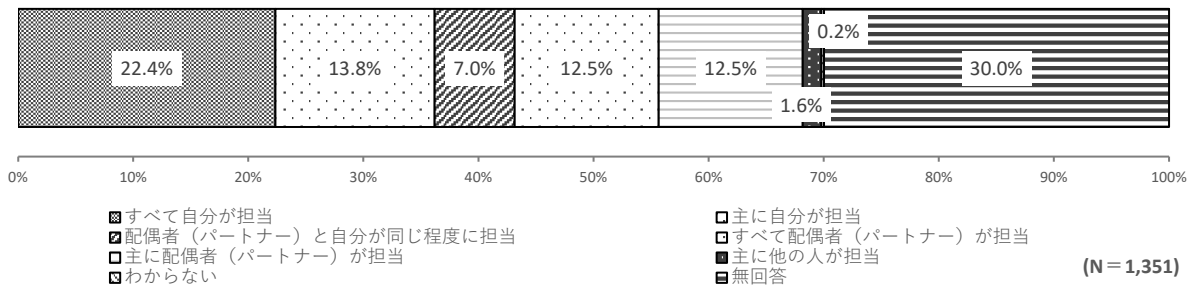
問4 ①家計における主な収入を得ている



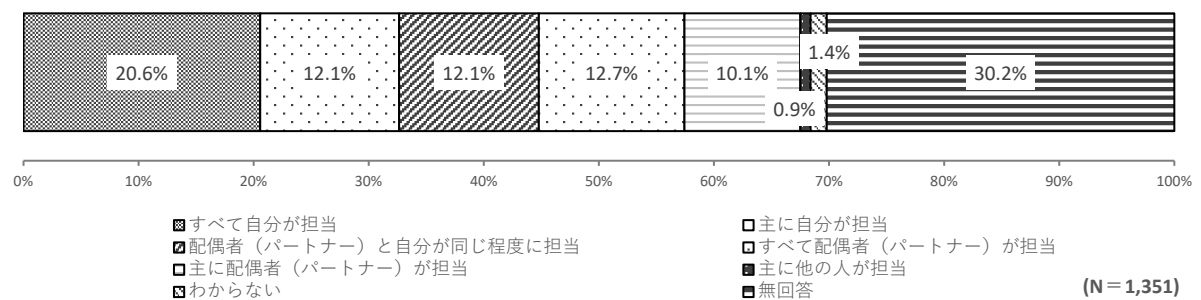
問4 ②掃除・洗濯をする



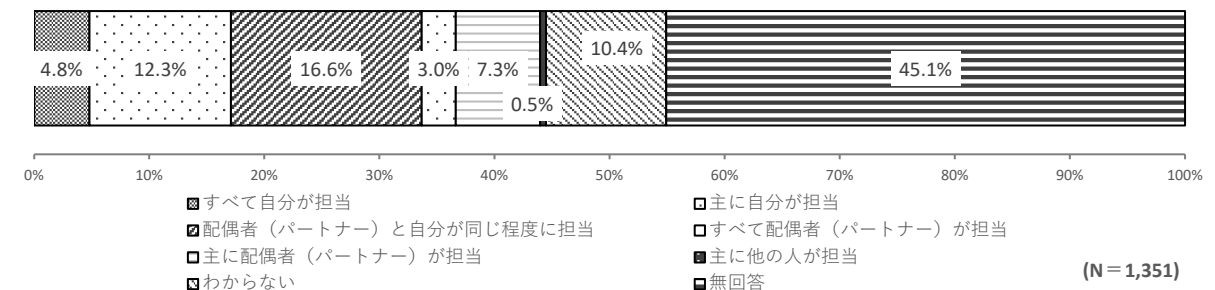
#### 問4 ③ 食事の支度をする



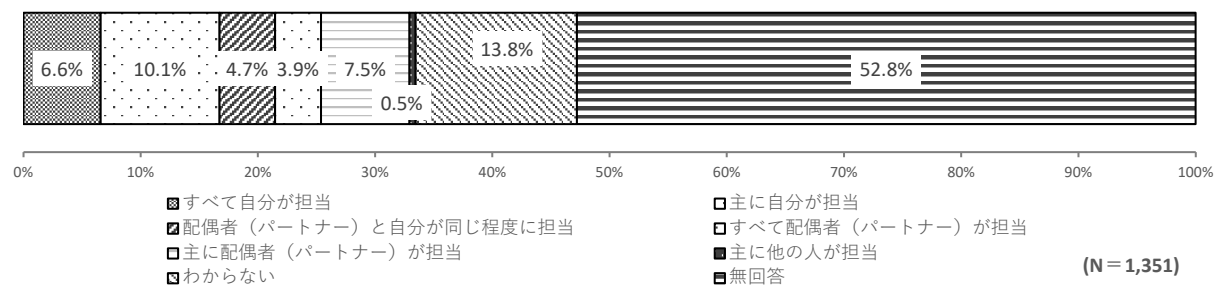
#### 問4 ④ 日々の家計を管理する



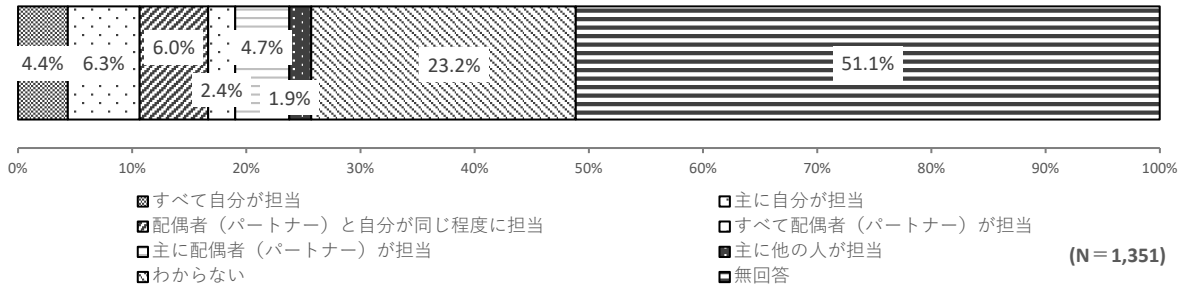
#### 問4 ⑤ 子供の教育としつけをする



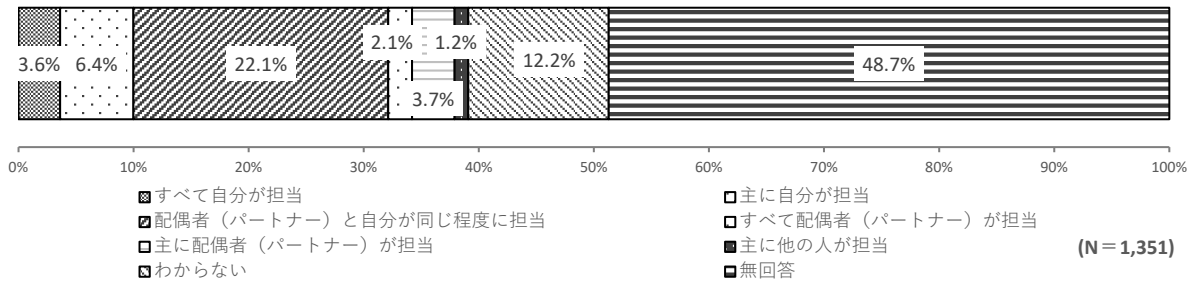
#### 問4 ⑥ 乳幼児の世話をする



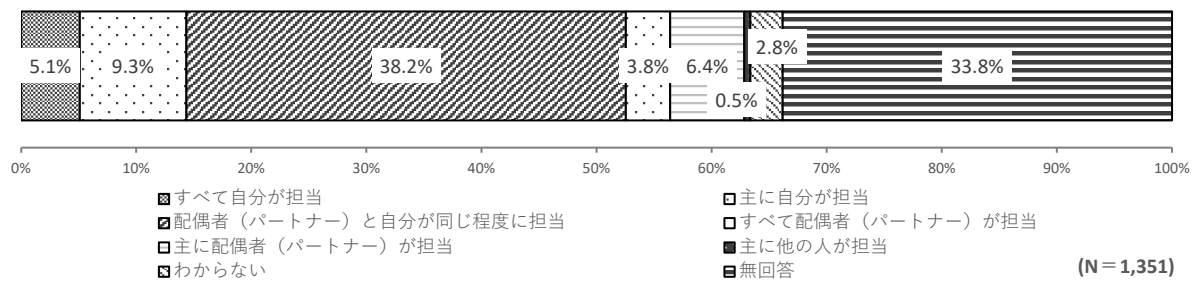
#### 問4 ⑦ 高齢の家族の介護をする



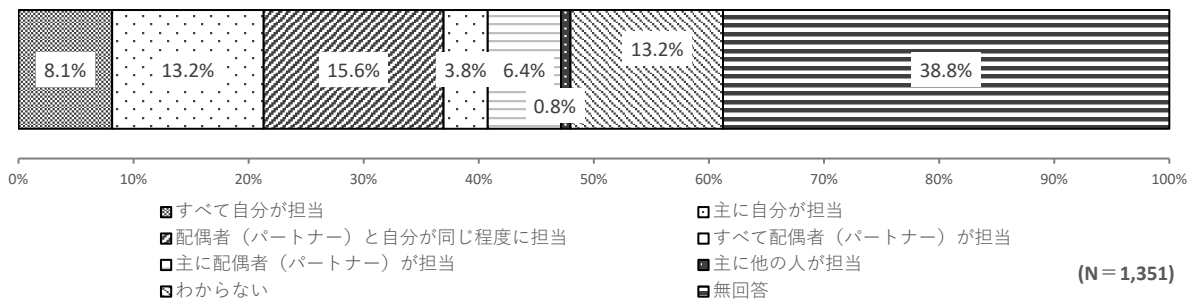
#### 問4 ⑧ 子どもの進路を決定する



#### 問4 ⑨ 高額な買い物の決定をする



#### 問4 ⑩ 地域活動へ参加する

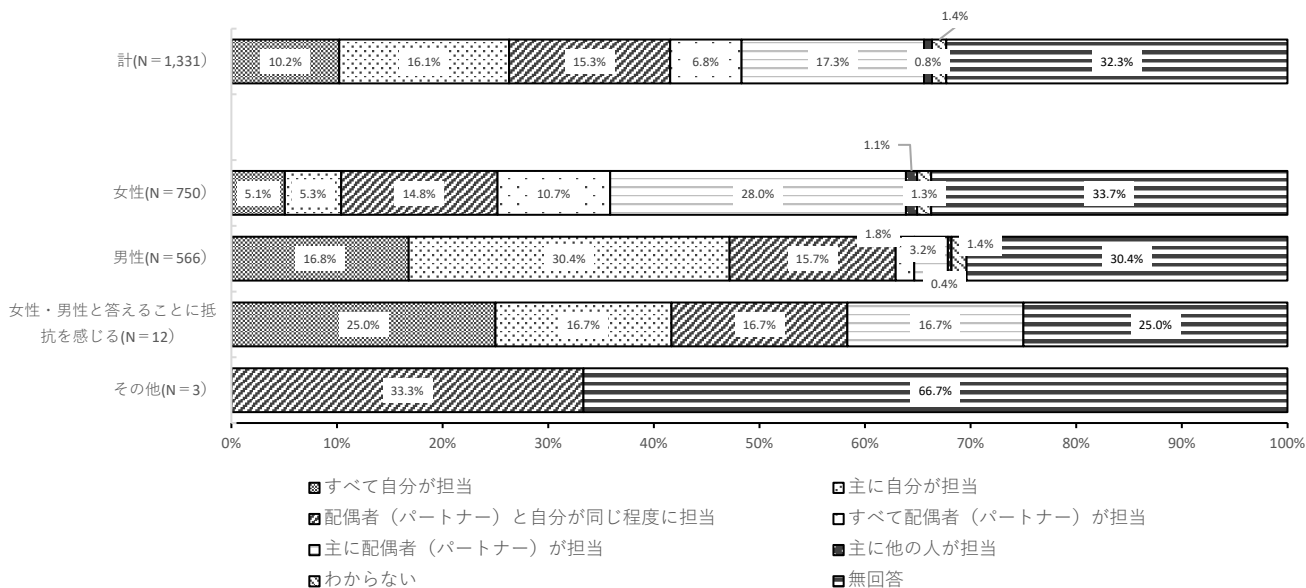


① 家計における主な収入を得ている

女性は『自分が担当』が 10.4%に対して『配偶者が担当』が 38.7%、男性は『自分が担当』が 47.2%に対して『配偶者が担当』が 5.0%と、性別により差異があります。

<性別>

問28 性別 × ①家計における主な収入を得ている

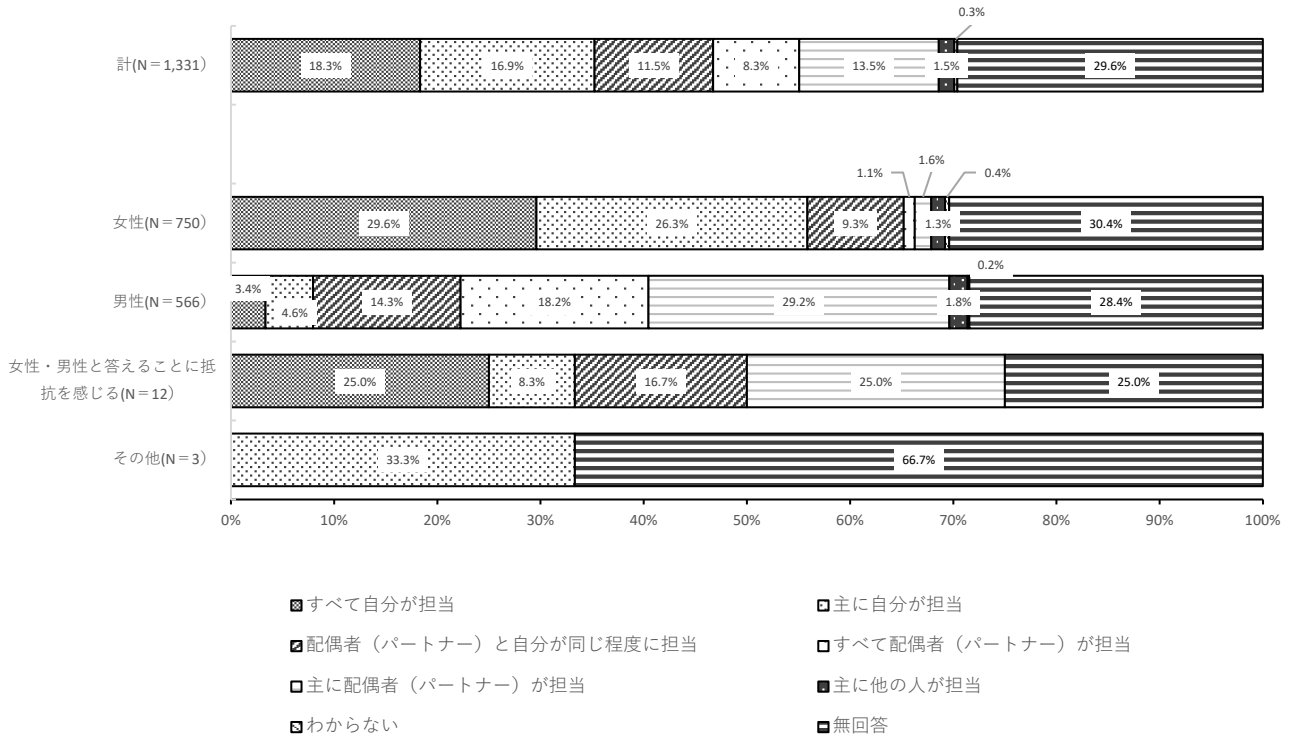


② 掃除・洗濯をする

女性は『自分が担当』が 55.9%に対して、『配偶者が担当』が 2.7%、男性は『自分が担当』が 8.0%、『配偶者が担当』が 47.4%と、性別により差異があります。

<性別>

問28 性別 × ②掃除・洗濯をする



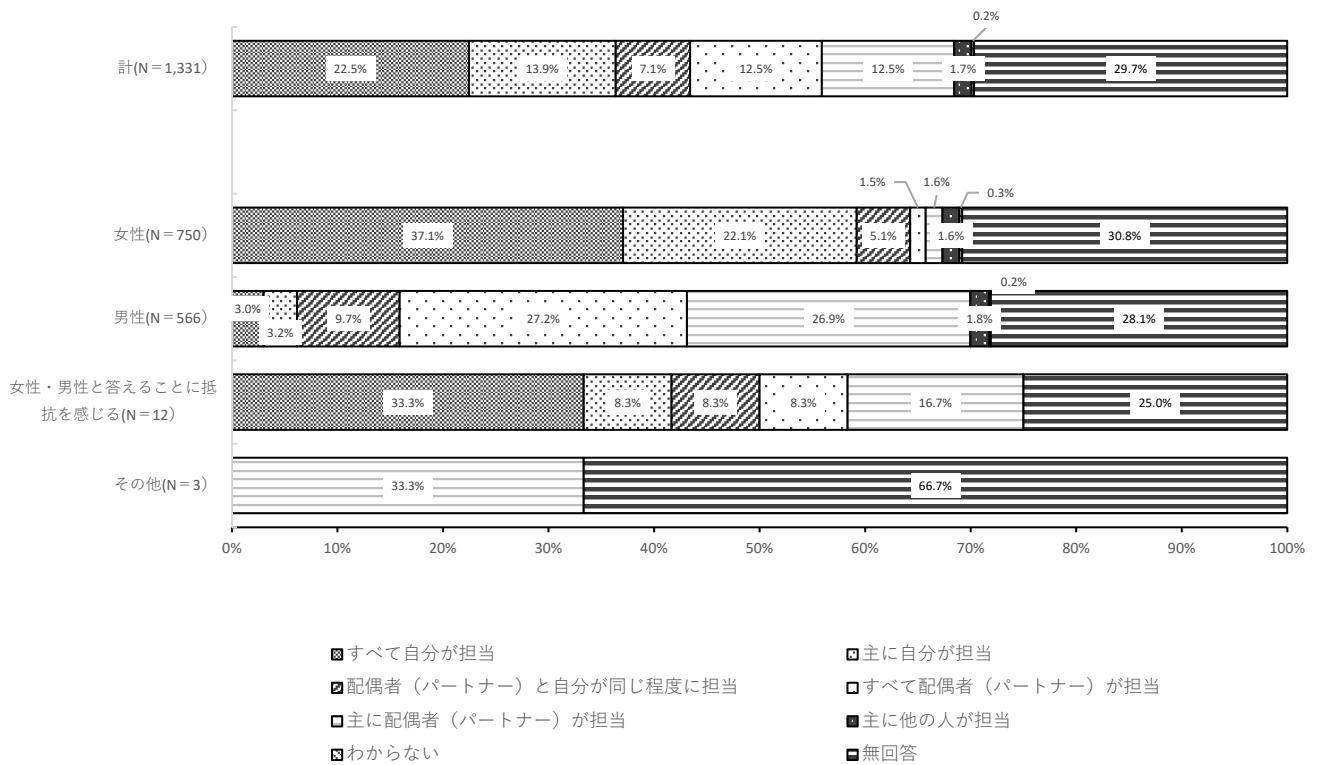
### ③ 食事の支度をする

女性は『自分が担当』が59.2%に対して『配偶者が担当』が3.1%、男性は『自分が担当』が6.2%に対して『配偶者が担当』が54.1%と、性別により差異があります。

とくに女性では、「すべて自分が担当」が37.1%と、約4の割合となっています。

#### <性別>

問28 性別 × ③食事の支度をする



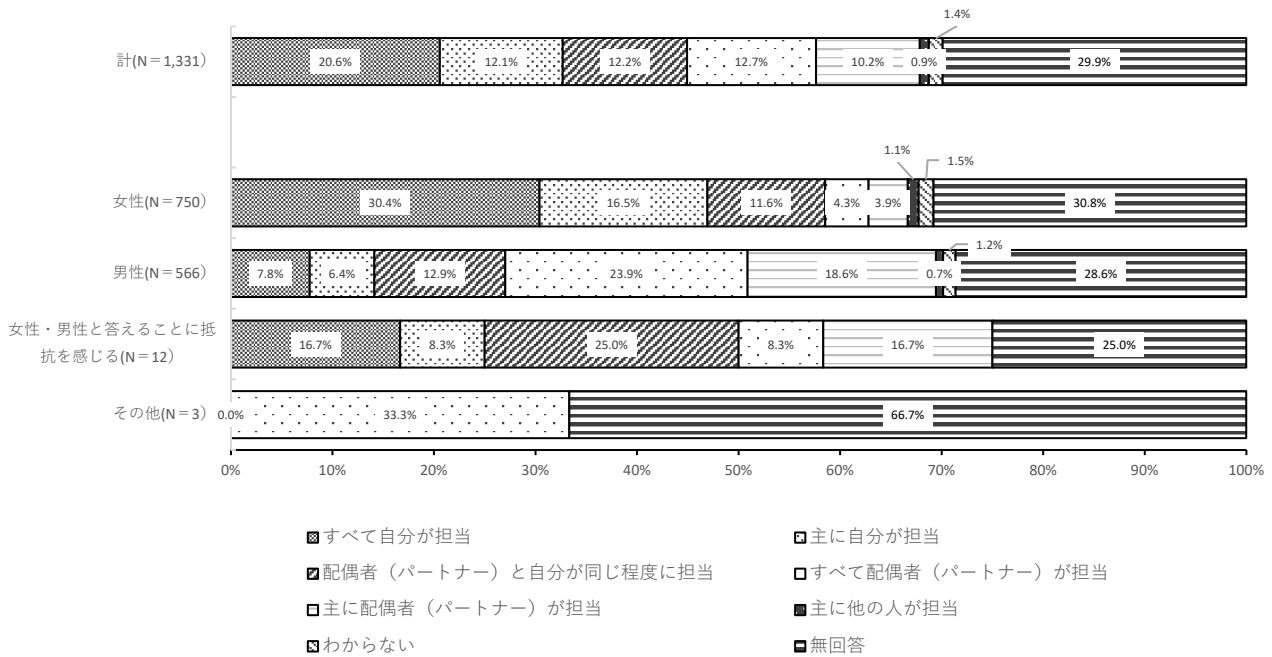
#### ④ 日々の家計を管理する

女性は『自分が担当』が46.9%、『配偶者が担当』が8.2%であるのに対して、男性は『自分が担当』が14.2%、『配偶者が担当』が42.5%と、性別により差異があります。

とくに女性では、「すべて自分が担当」が30.4%と、3割の割合となっています。

#### <性別>

問28 性別 × ④日々の家計を管理する

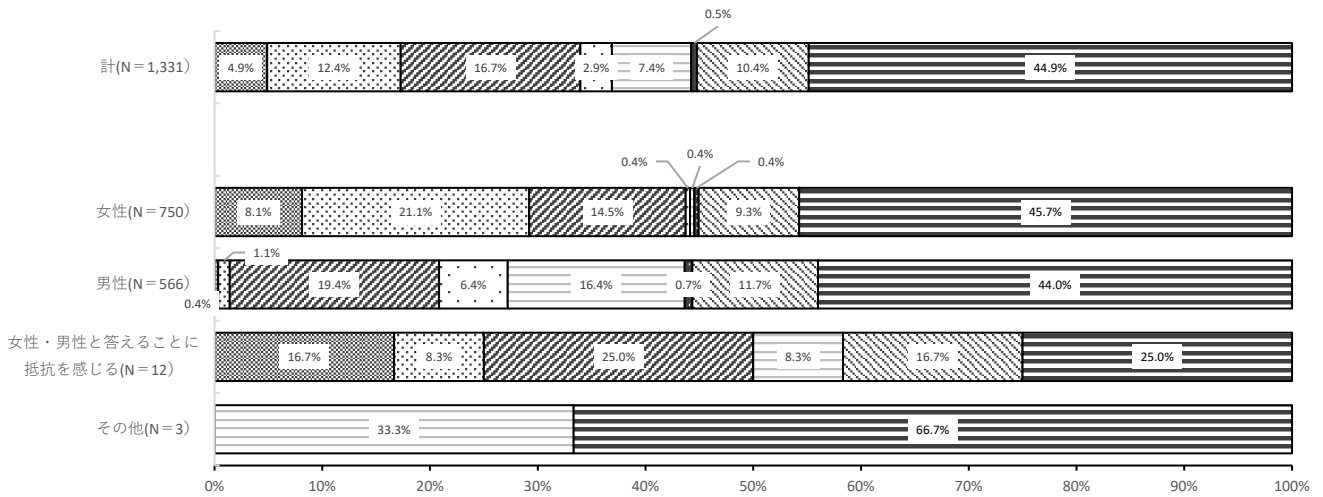


⑤ 子どもの教育としつけをする

女性は『自分が担当』が29.2%、『配偶者が担当』が0.8%であるのに対して、男性は『自分が担当』が1.5%、『配偶者が担当』が22.8%と、性別により差異があります。

<性別>

問28 性別 × ⑤子どもの教育としつけをする



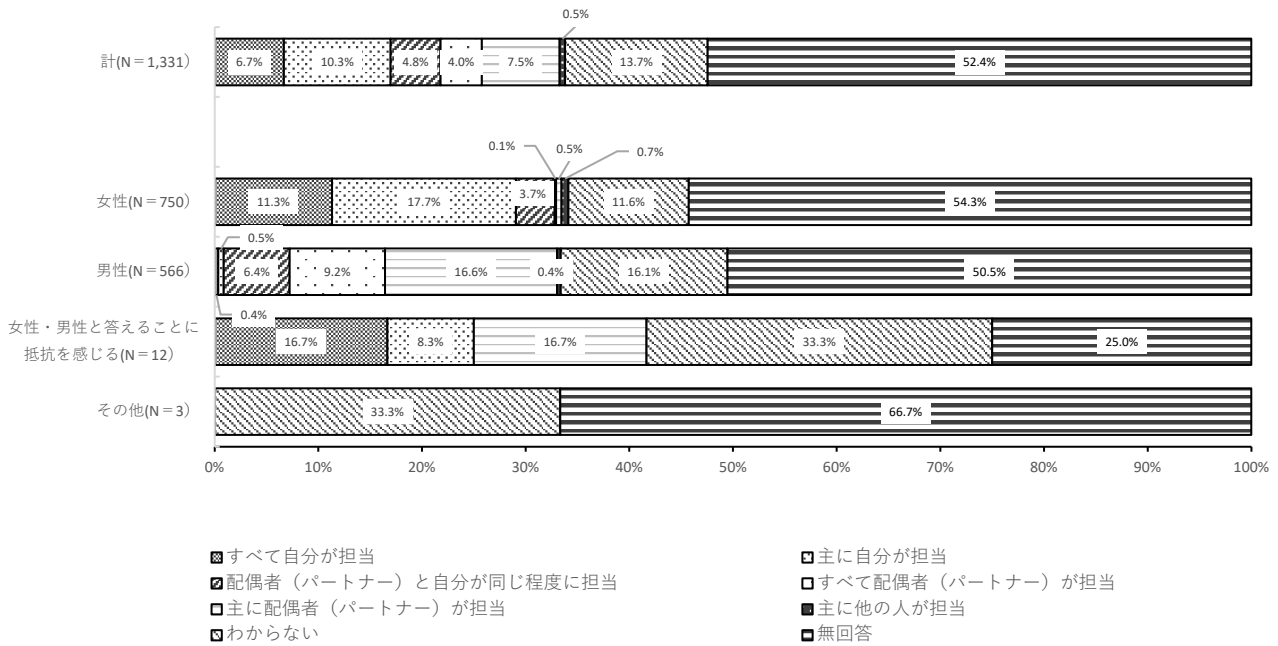
- すべて自分が担当
- 主に自分が担当
- 配偶者（パートナー）と自分が同じ程度に担当
- すべて配偶者（パートナー）が担当
- 主に配偶者（パートナー）が担当
- 主に他の人が担当
- わからない
- 無回答

## ⑥ 乳幼児の世話をする

女性は『自分が担当』が29.0%、『配偶者が担当』が0.6%であるのに対して、男性は『自分が担当』が0.9%、『配偶者が担当』が25.8%と、いずれも割合は低めですが、女性の分担が大きいという傾向で性別による差異があります。

### <性別>

問28 性別 × ⑥乳幼児の世話をする

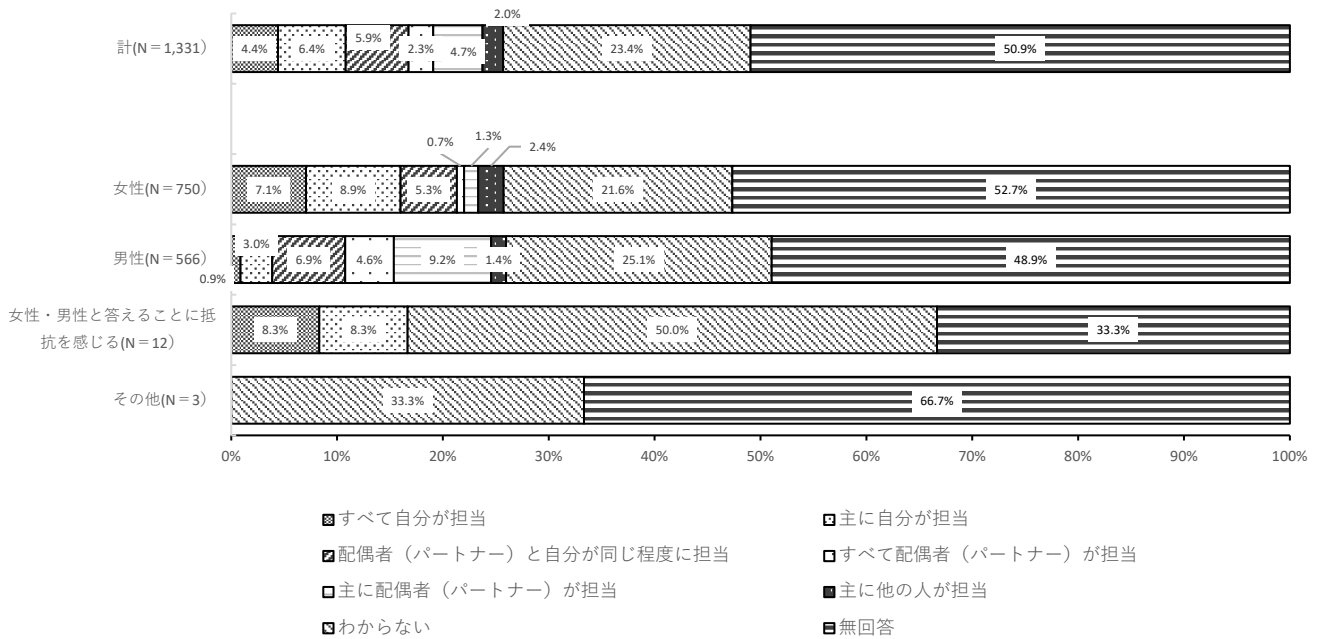


## ⑦ 高齢の家族の介護をする

女性は『自分が担当』が16.0%、『配偶者が担当』が2.0%であるのに対して、男性は『自分が担当』が3.9%、『配偶者が担当』が13.8%となっており、いずれも割合は低めですが、性別による差異があり、女性の担当が大きくなっています。

### <性別>

問28 性別 × ⑦高齢の家族の介護をする

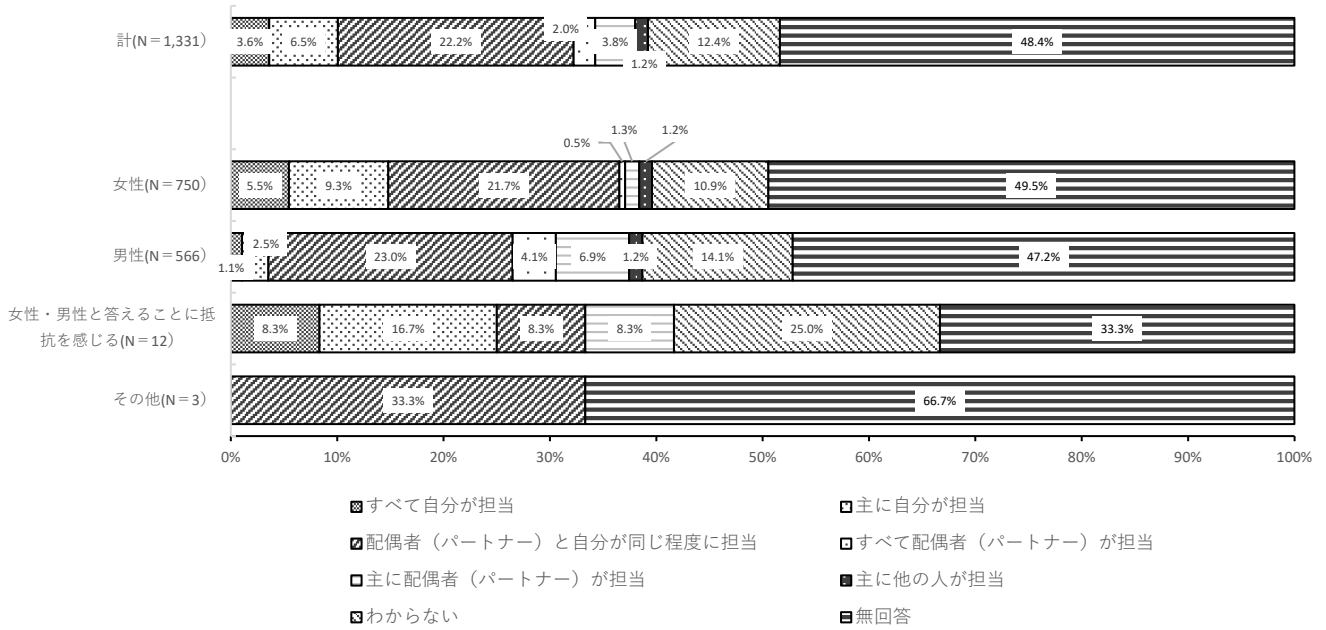


## ⑧ 子どもの進路を決定する

女性は『自分が担当』が14.8%、『配偶者が担当』が1.8%となっているのに対し、男性は『自分が担当』が3.6%、『配偶者が担当』が11.0%となっており、いずれも割合は低めですが女性の担当が大きい形で、性別による差異があります。

### <性別>

問28 性別 × ⑧子どもの進路を決定する



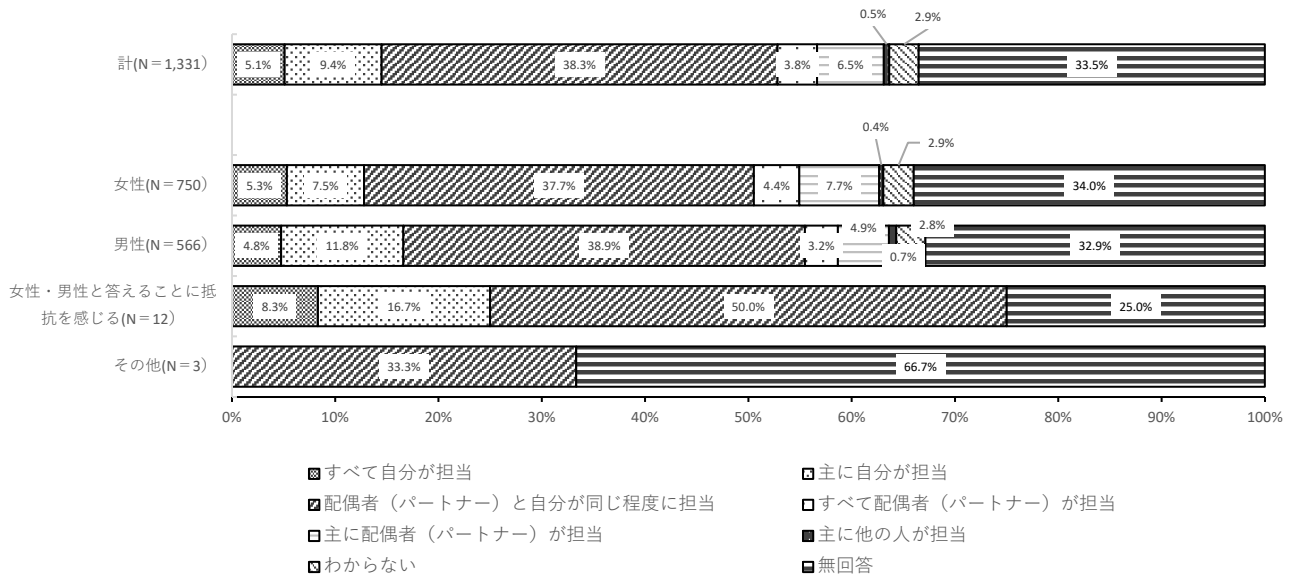
## ⑨ 高額な買い物の決定をする

女性は『自分が担当』が12.8%、『配偶者が担当』が12.1%、これに対して男性は『自分が担当』が16.6%、『配偶者が担当』が8.1%となっており、性別による差異はあまりありません。

また、「配偶者（パートナー）と自分が同じように担当」が、女性37.7%、男性38.9%と、最も大きく、かつ近い割合となっています。

### <性別>

問28 性別 × ⑨高額な買い物の決定をする

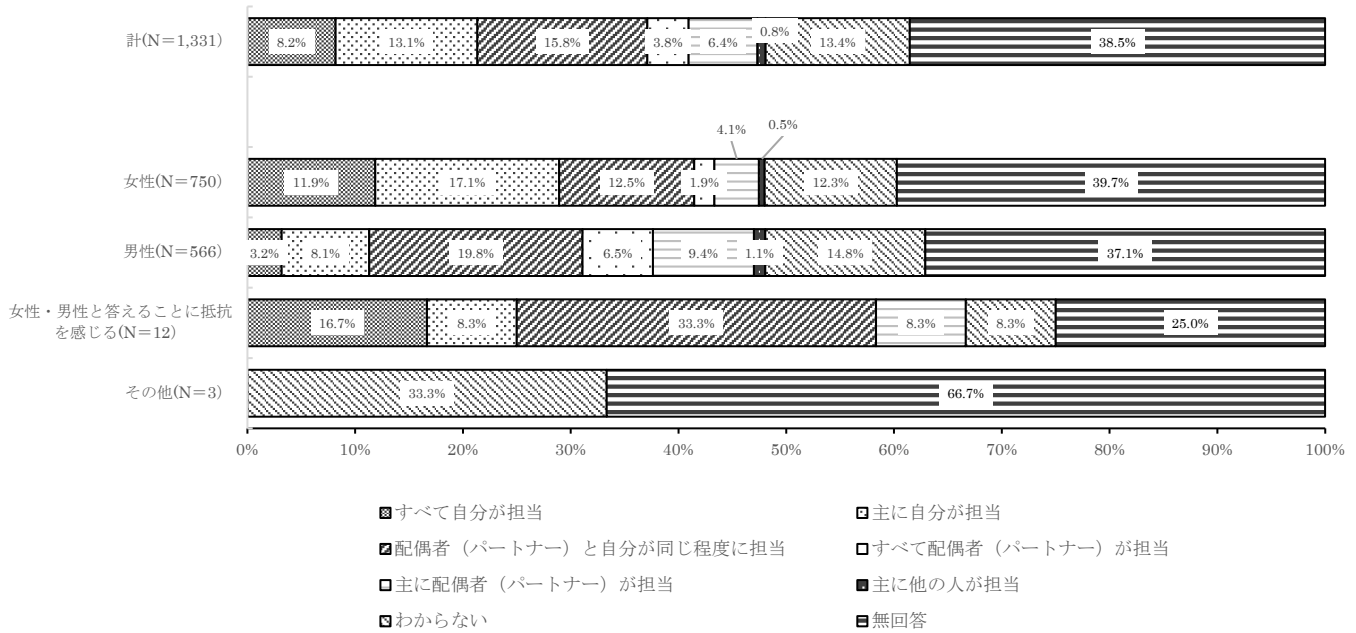


⑩ 地域活動へ参加する

女性は『自分が担当』が29.0%、『配偶者が担当』が6.0%、これに対して男性は『自分が担当』が11.3%、『配偶者が担当』が15.9%となっており、性別による差異があります。

<性別>

問28 性別 × ⑩地域活動へ参加する



## C 子育て・教育について

問5 一般的に子どもには、どの程度の学歴が必要だと思えますか。女の子、男の子、どちらについてもお答えください。(それぞれについて〇は1つ)

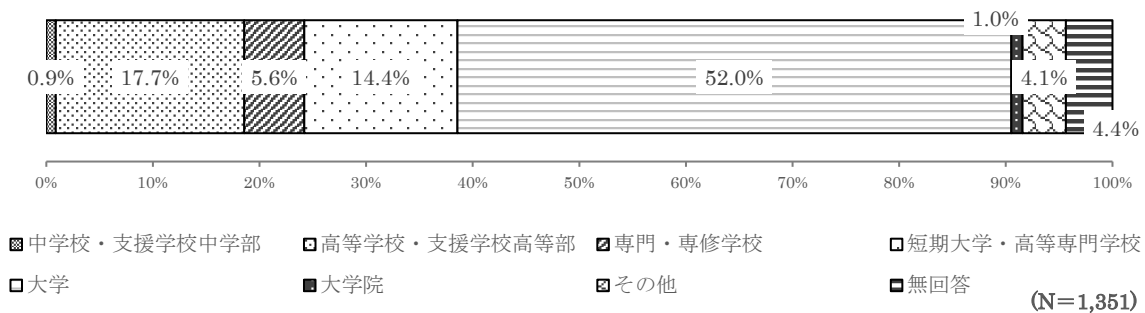
女の子は、「大学」が52.0%と最も高く、次いで「高等学校・支援学校高等部」が17.7%「短期大学・高等専門学校」が14.4%となっています。

男の子は「大学」が65.5%、次いで「高等学校・支援学校高等部」が14.3%と、この二つの項目で約8割を占めます。

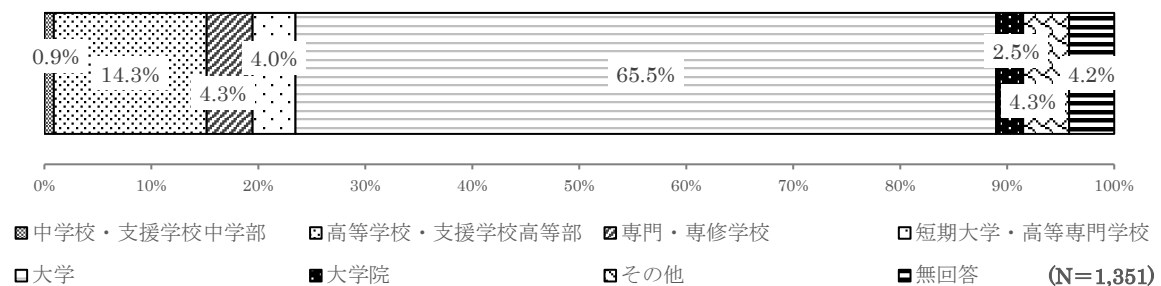
「専門・専修学校」では女の子は5.6%に対して男の子は4.3%、大学院については、女の子1.0%に対して男の子は2.5%となっています。

### <全体>

問5 (1)女の子の場合



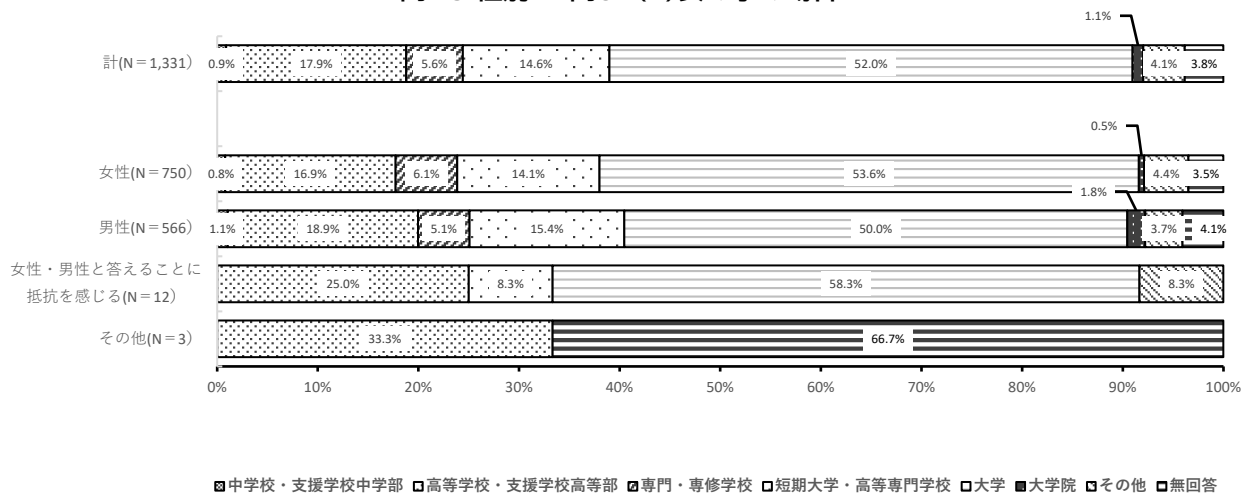
問5 (2)男の子場合



<性別>

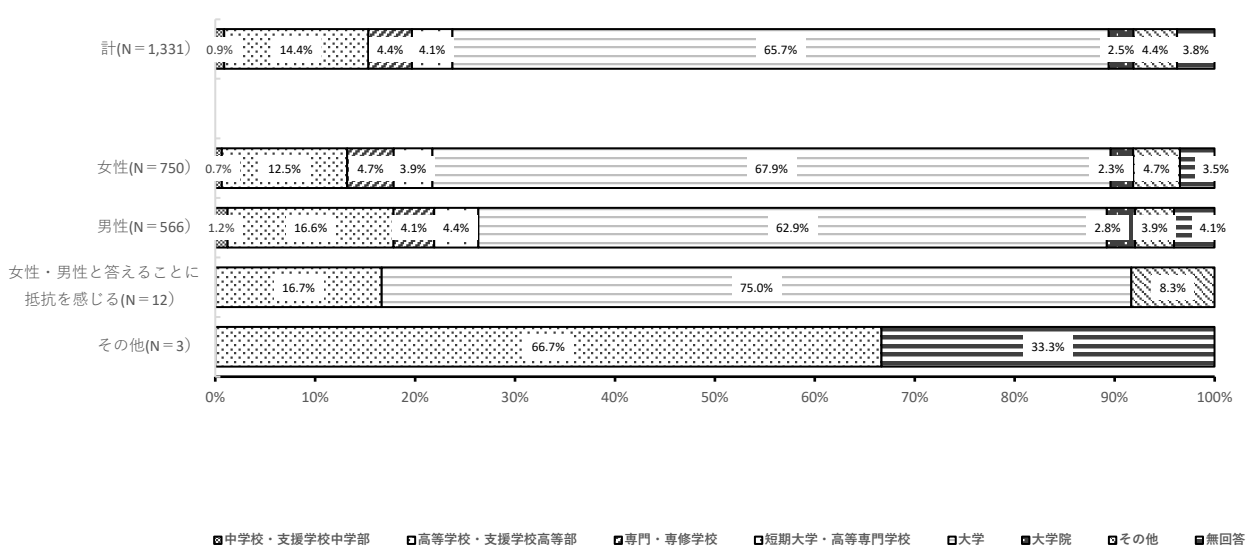
(女の子の場合)

問28 性別 × 問5 (1)女の子の場合



(男の子の場合)

問28 性別 × 問5 (2)男の子の場合



問6 子どもには、どのような生き方が望ましいと思いますか。女の子、男の子、どちらについてもお答えください。(それぞれについて〇は2つ)

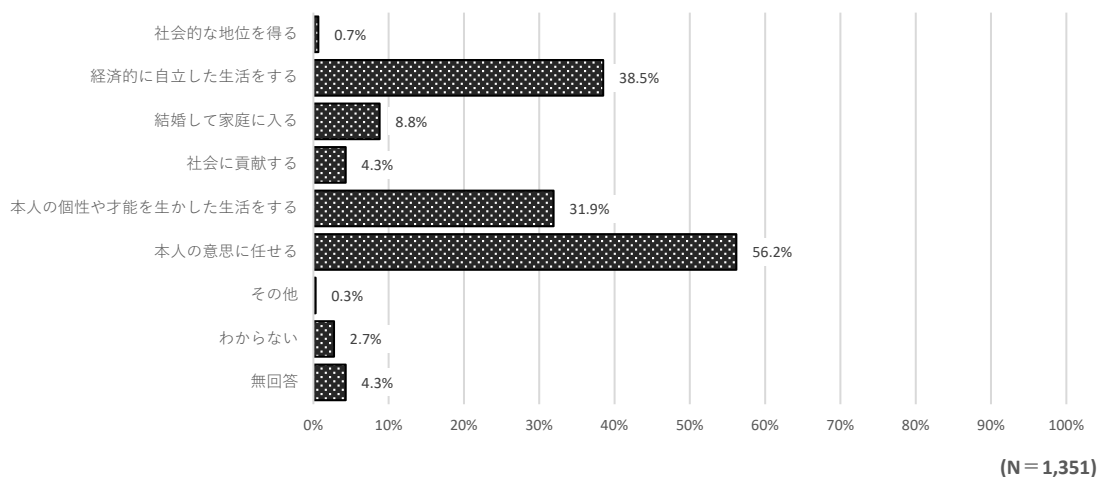
女の子は、「本人の意思に任せる」が56.2%と最も多く、次いで「経済的に自立した生活をする」が38.5%、「本人の個性や才能を生かした生活をする」が31.9%となっています。

男の子は、「本人の意思に任せる」が50.3%で、「経済的に自立した生活をする」が50.1%とほぼ同率で並び、次いで「本人の個性や才能を生かした生活をする」が27.6%となっています。

## <全体>

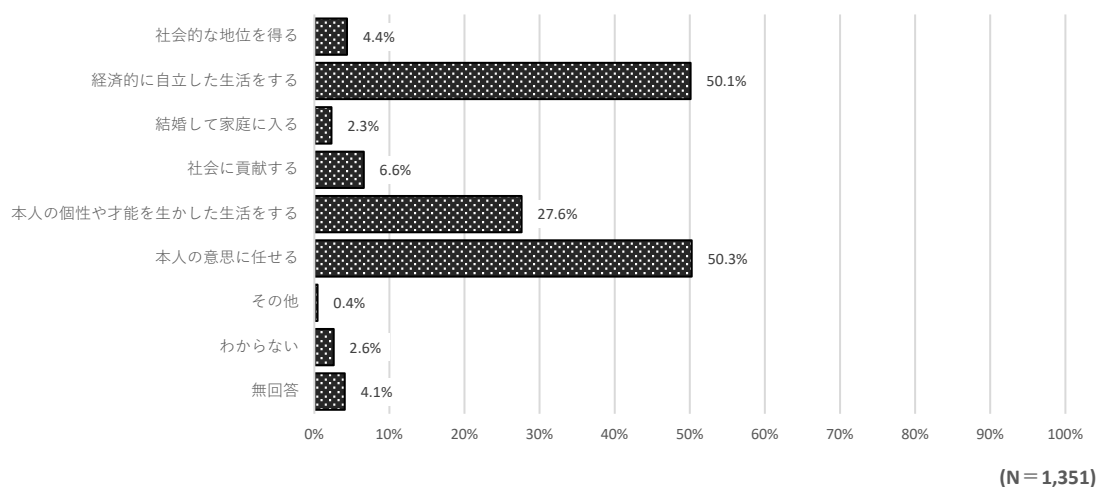
(女の子の場合)

問6 (1)女の子の場合



(男の子の場合)

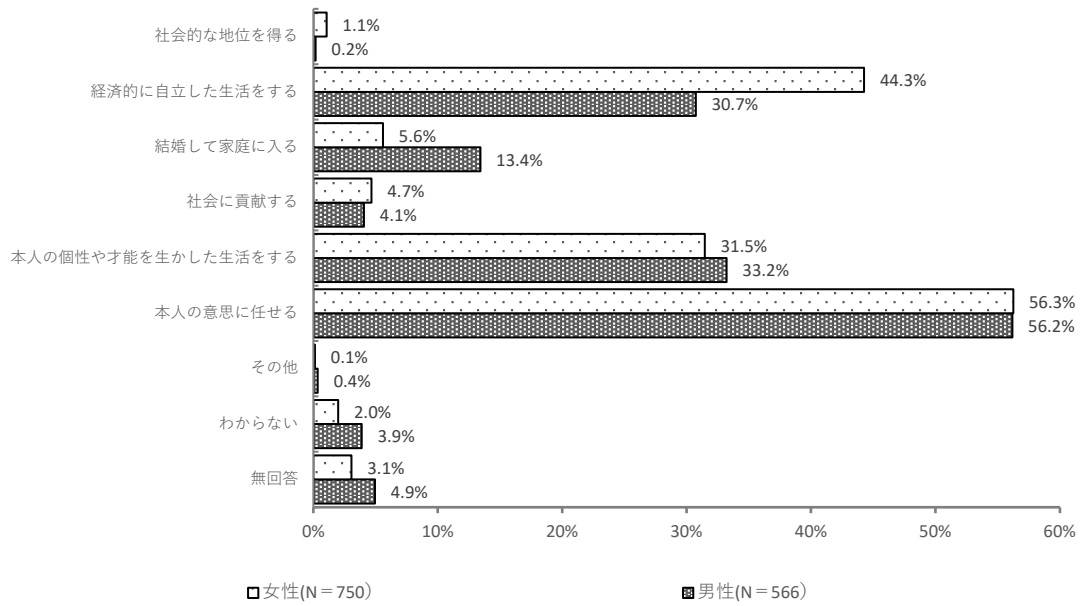
問6 (2)男の子の場合



<性別>

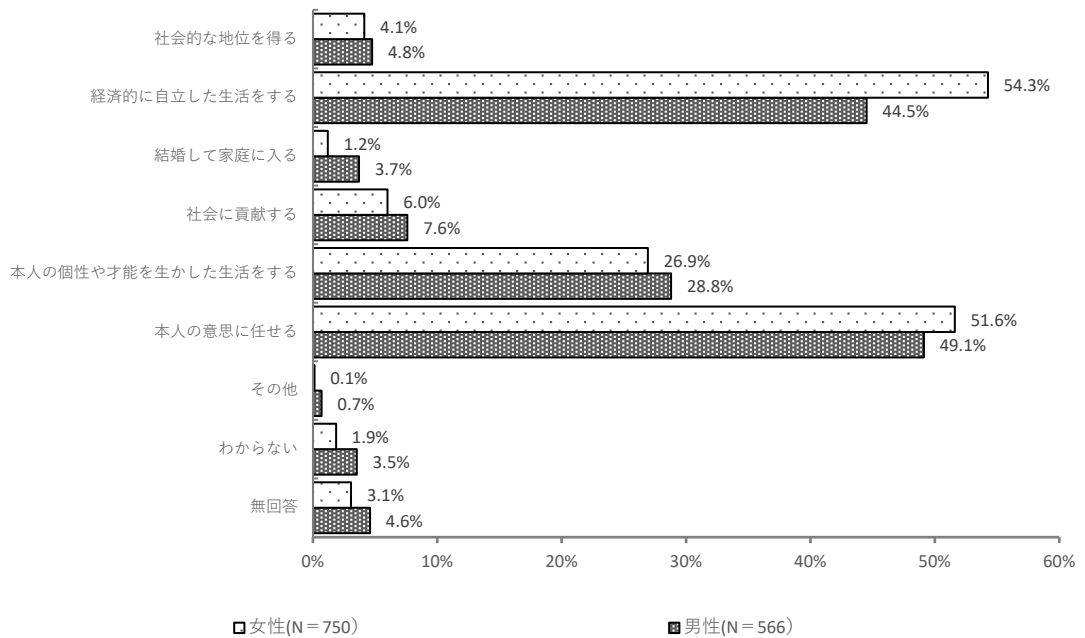
(女の子の場合)

問6 (1)女の子の場合



(男の子の場合)

問6 (1)男の子の場合

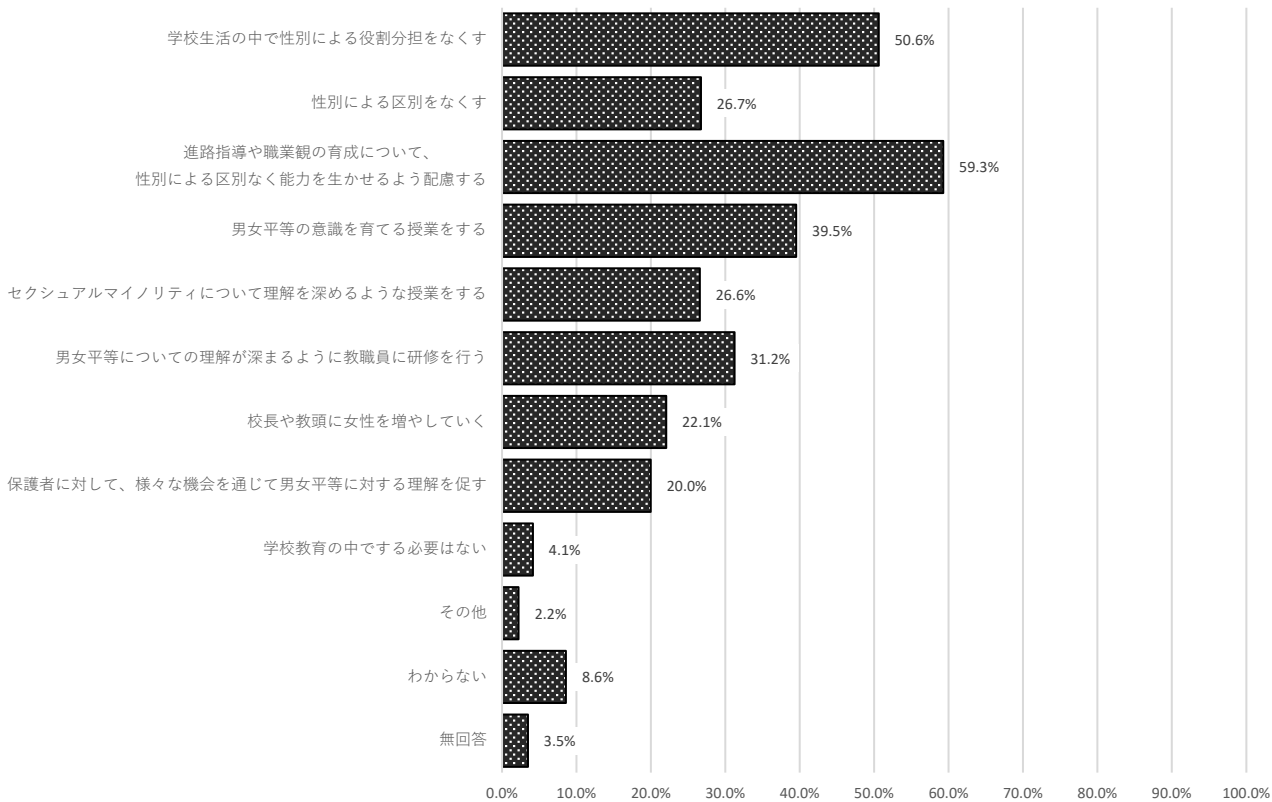


問7 学校の中での取り組みには、どのようなことが必要と思いますか。(〇はいくつでも)

「進路指導や職業観の育成について、性別による区別なく能力を生かせるよう配慮する」が最も多く59.3%、次いで「学校生活の中で、性別による役割分担をなくす（児童・生徒会長などのリーダー的役割は男の子で、女の子は補佐役などの役割分担をなくす）」が50.6%、「男女平等の意識を育てる授業をする」が39.5%となっています。

<全体>

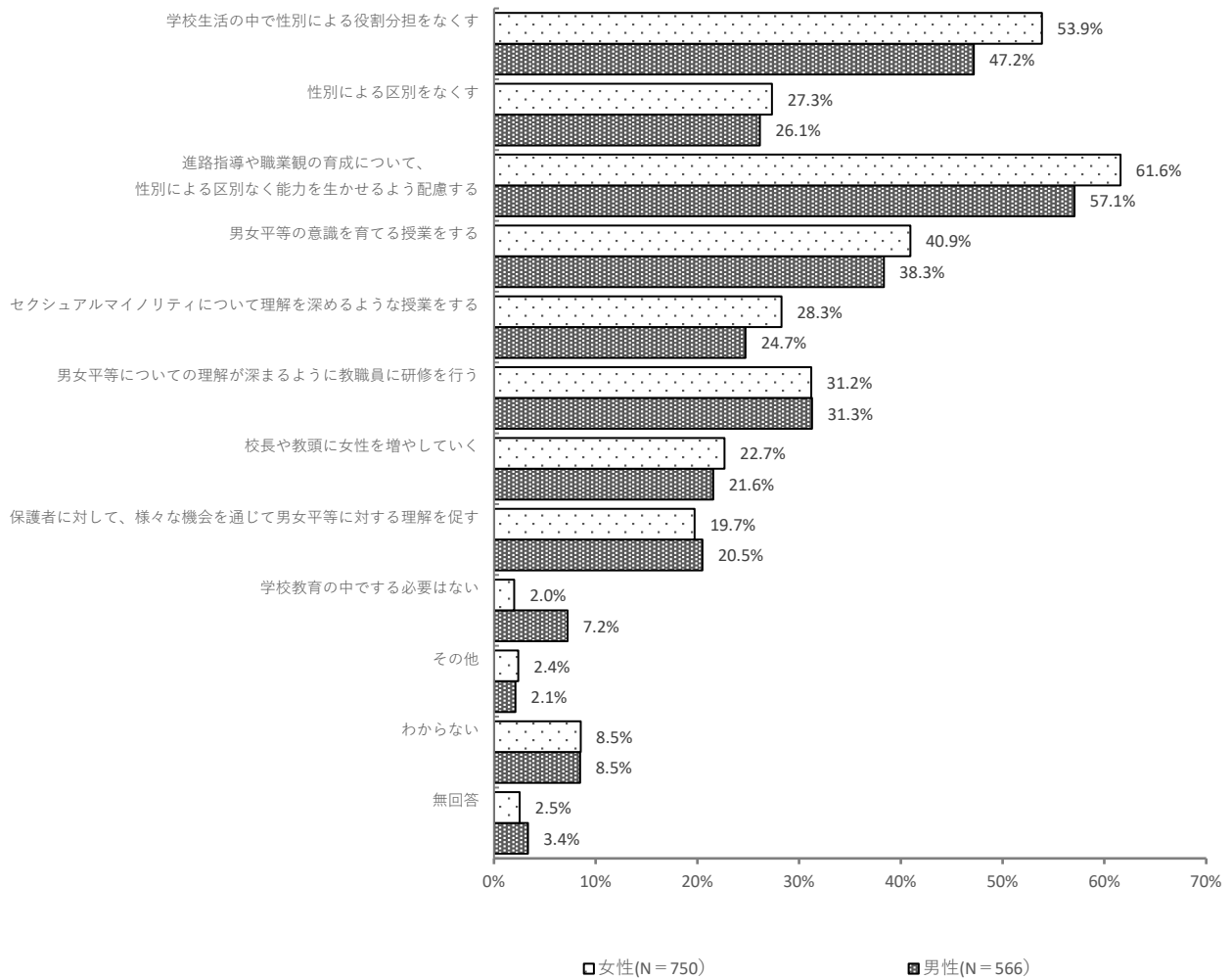
問7 学校の中での取り組みには、どのようなことが必要と思いますか。



(N = 1,351)

<性別>

問7 学校の中での取り組みには、どのようなことが必要と思いますか。



## D 就労について

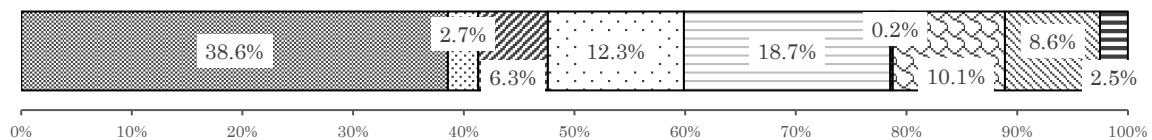
### 問8 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が38.6%と最も高く、次いで「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」が18.7%、「子育ての時期だけ一時辞め、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい」が12.3%となっています。

「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」については、女性は19.2%、男性は17.5%と大きな差はありません。

#### <全体>

#### 問8 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。

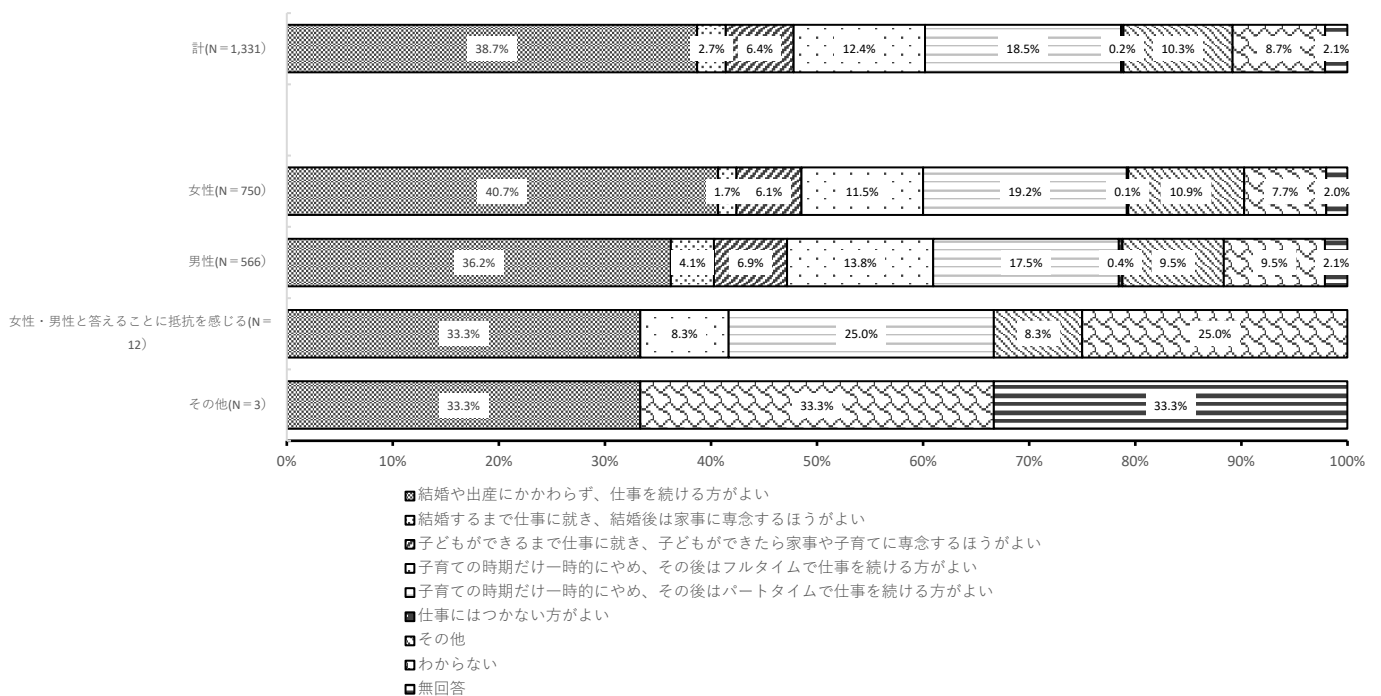


- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい
- 結婚するまで仕事に就き、結婚後は家事に専念するほうがよい
- 子どもができるまで仕事に就き、子どもができたらか家事や子育てに専念するほうがよい
- 子育ての時期だけ一時的にやめ、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい
- 子育ての時期だけ一時的にやめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい
- 仕事にはつかない方がよい
- その他
- わからない
- 無回答

(N=1,351)

#### <性別>

#### 問28 性別 × 問8 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。



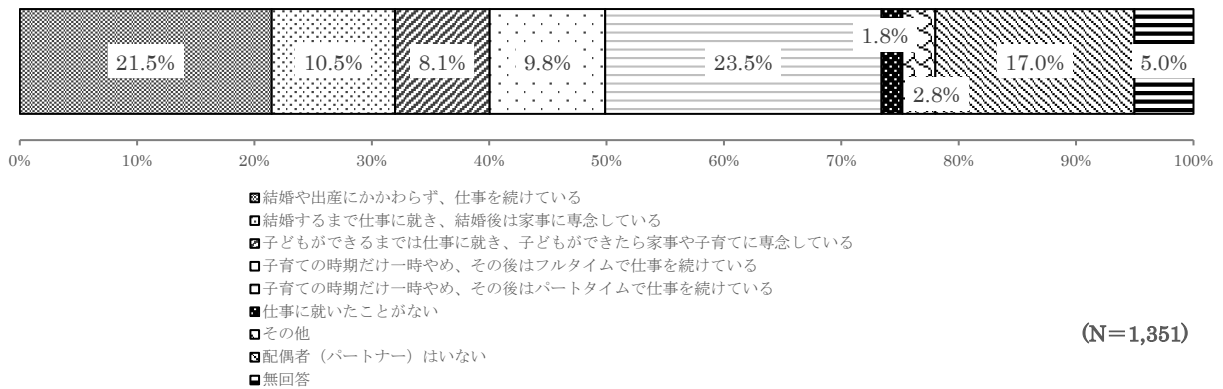
問9 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。女性はご自身について、男性は配偶者（パートナー）についてお答えください。（〇は1つ）

「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が23.5%と最も高く、次いで「結婚や出産にかかわらず、仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が21.5%となっています。

性別別でも、「子育ての時期だけ一時辞め、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が女性で25.9%、男性で20.3%と最も高く、次いで「結婚や出産にかかわらず、仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が女性で24.4%、男性で18.2%となっています。

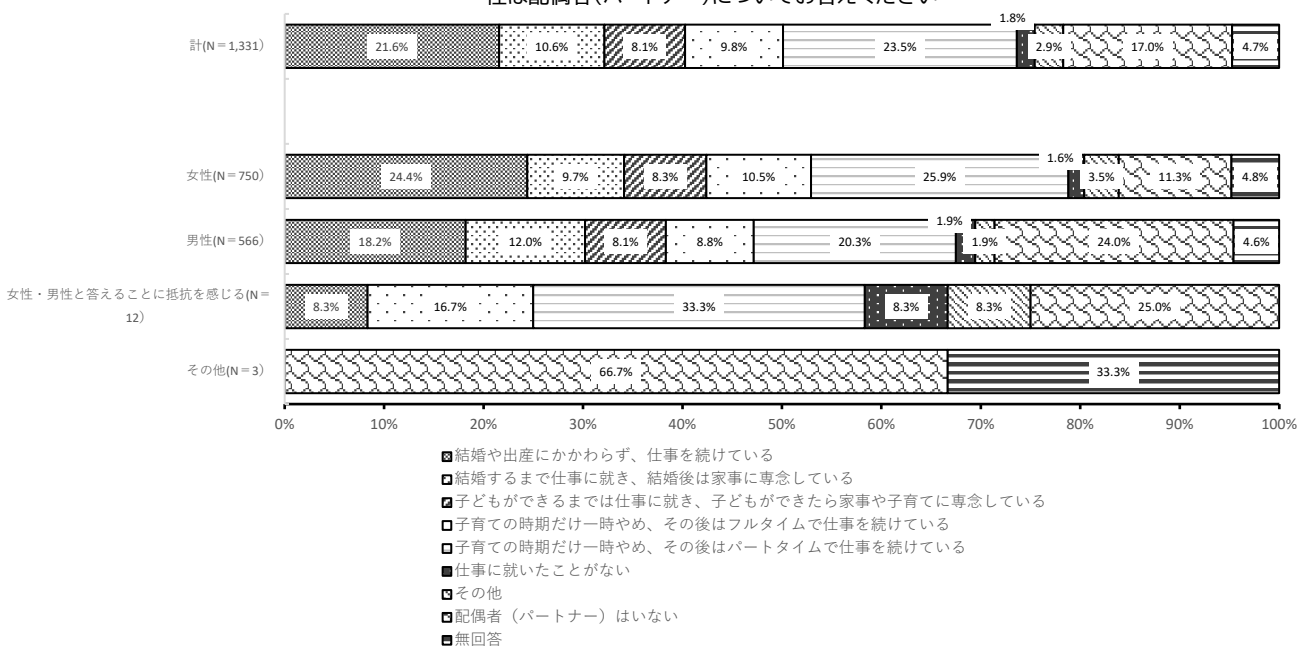
<全体>

問9 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。女性はご自身について、男性は配偶者（パートナー）についてお答えください



<性別>

問28 性別 × 問9 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。女性はご自身について、男性は配偶者（パートナー）についてお答えください

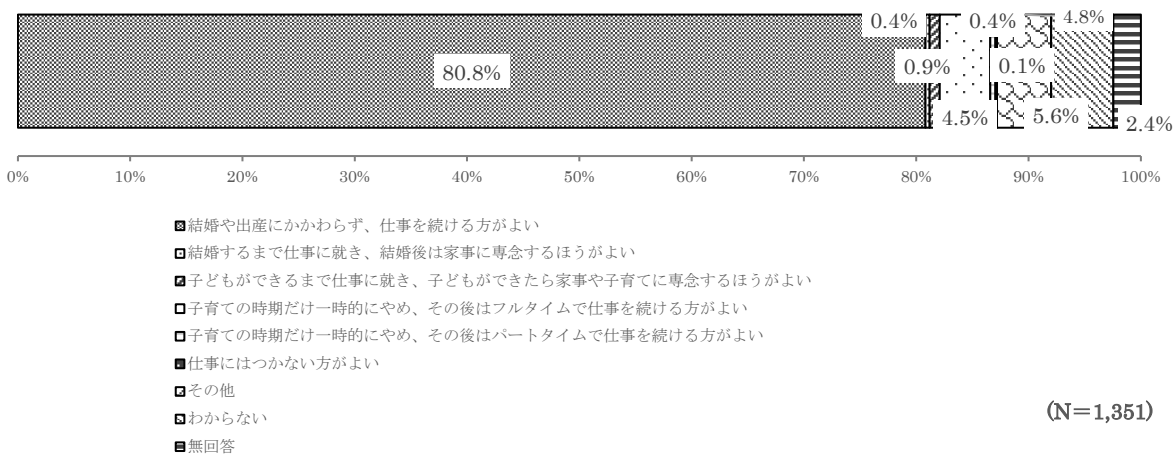


問 10 男性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が80.8%と大きく割合を占めています。  
 女性も男性も「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」の割合が80%を超え、大きく割合を占めております。

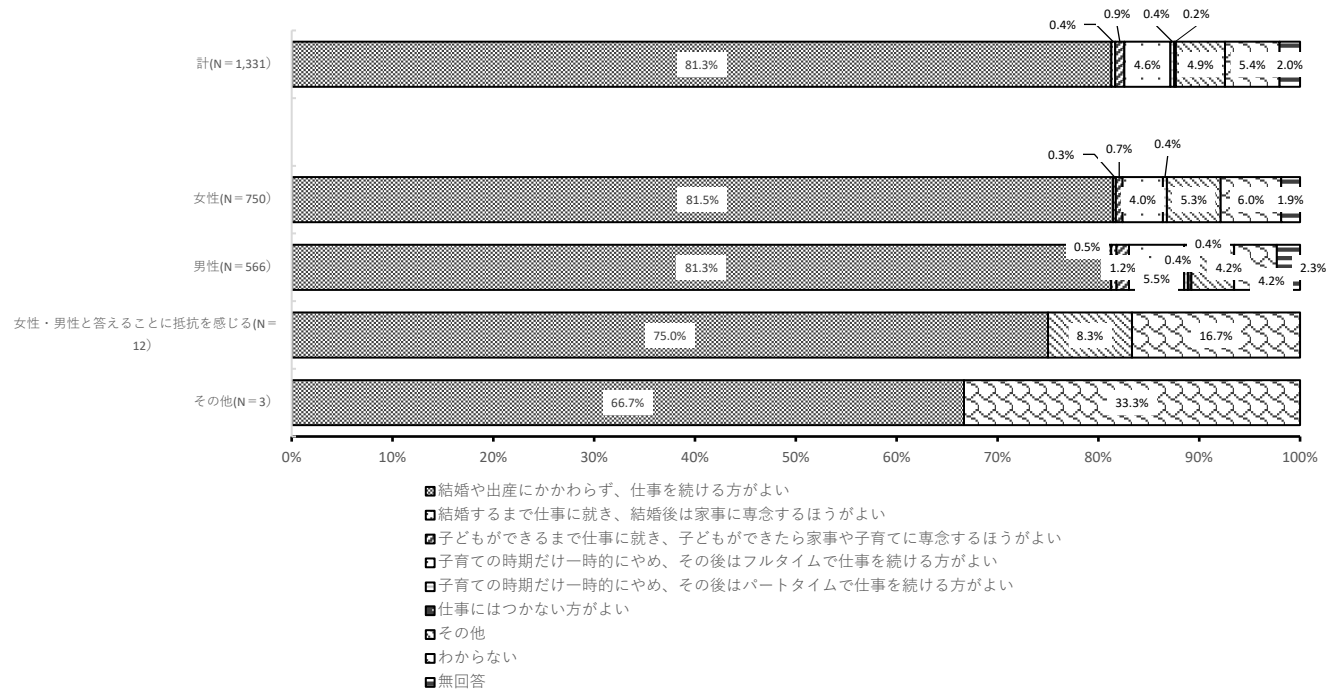
<全体>

問10 男性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。



<性別>

問28 性別 × 問10 男性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。



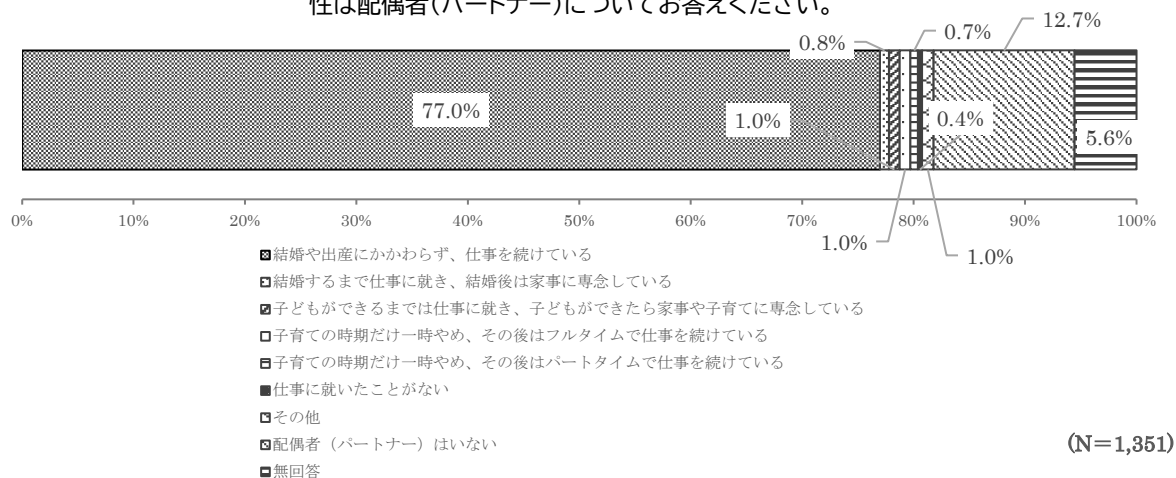
問 11 男性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。男性はご自身について、女性配偶者（パートナー）についてお答えください（〇は1つ）

「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている（続けていた／続けるつもり）」が 77.0%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）はいない」が 12.7%となっています。

性別別に見ても、女性、男性ともに大きな差はなく、ともに「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている（続けていた／続けるつもり）」が女性 74.3%、男性 81.8%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）はいない」が女性 15.2%、男性 9.5%となっております。

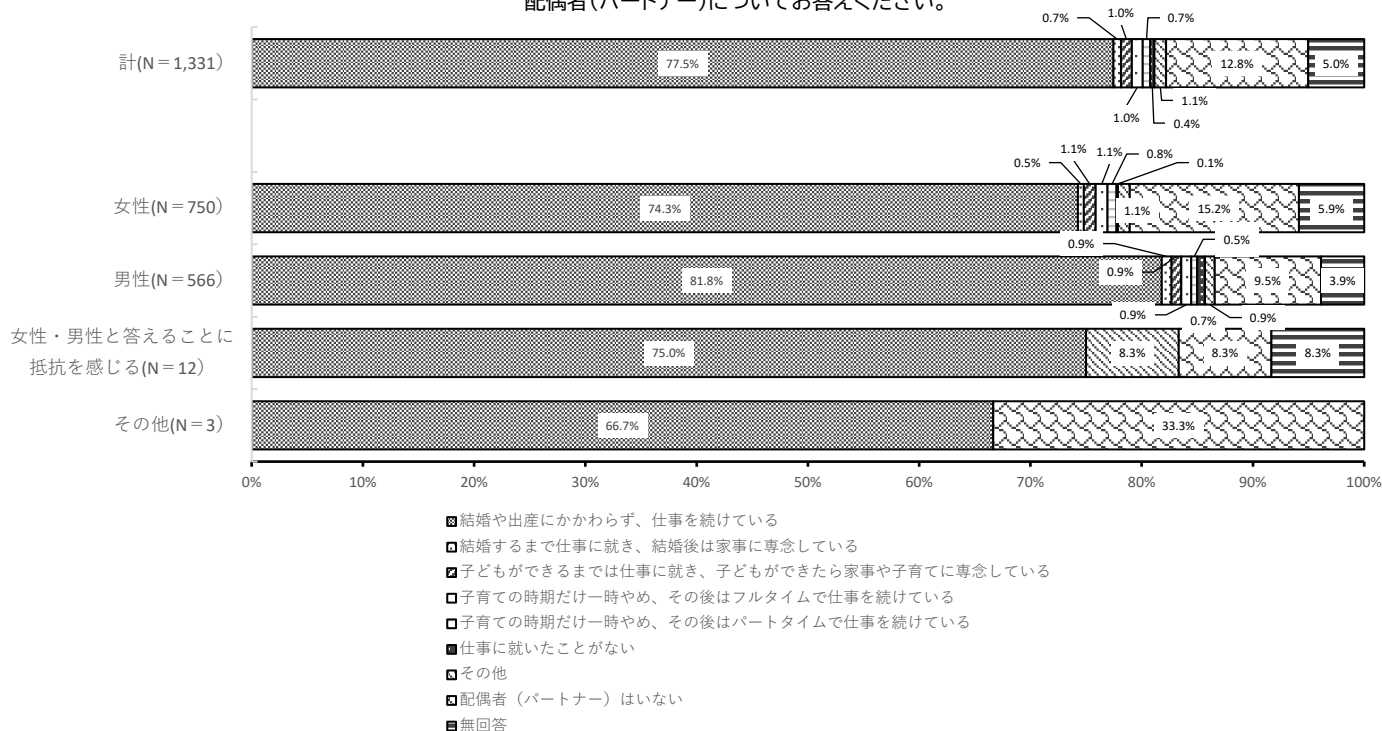
### <全体>

問11 男性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。男性はご自身について、女性配偶者（パートナー）についてお答えください。



### <性別>

問28 性別 × 問11 男性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。男性はご自身について、女性配偶者（パートナー）についてお答えください。



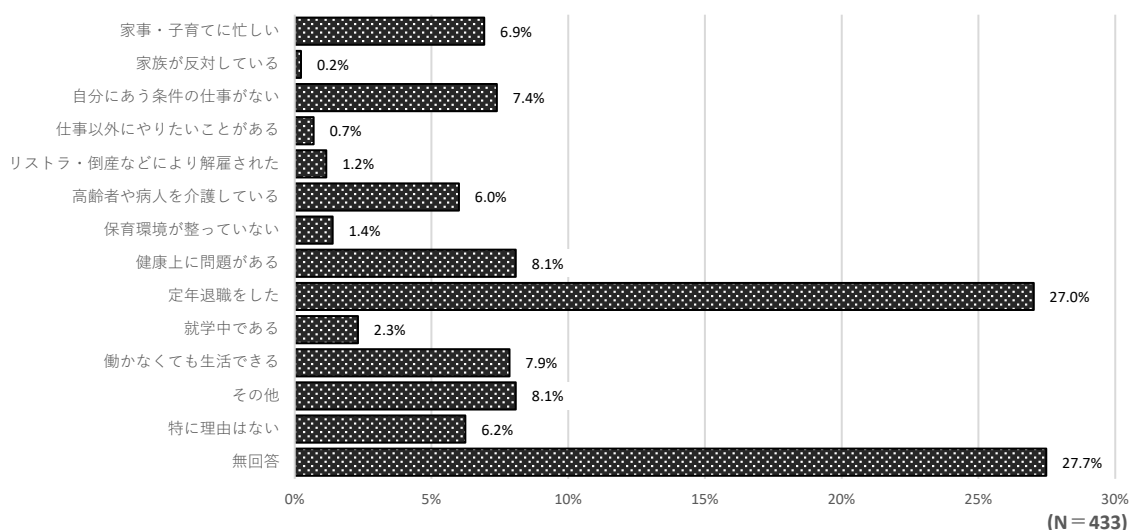
問 12 収入を得る仕事に就いていない方にお尋ねします。あなたが、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

全体では、最も高いのは「無回答」の27.7%で、次いで「定年退職をした」の27.0%と割合が高く、他の理由においては10.0%未満となっております。

性別別で見ても、「定年退職をした」が高く、女性16.6%、男性41.1%となっております。次いで女性は「家事・子育てにいそがしい」「健康上に問題がある」が同じ9.9%となっており、男性は「その他」が8.0%となっております。「定年退職をした」以外の理由を性別別で見てもどの理由も10%を下回り、特定の要因への集中度は低いです。

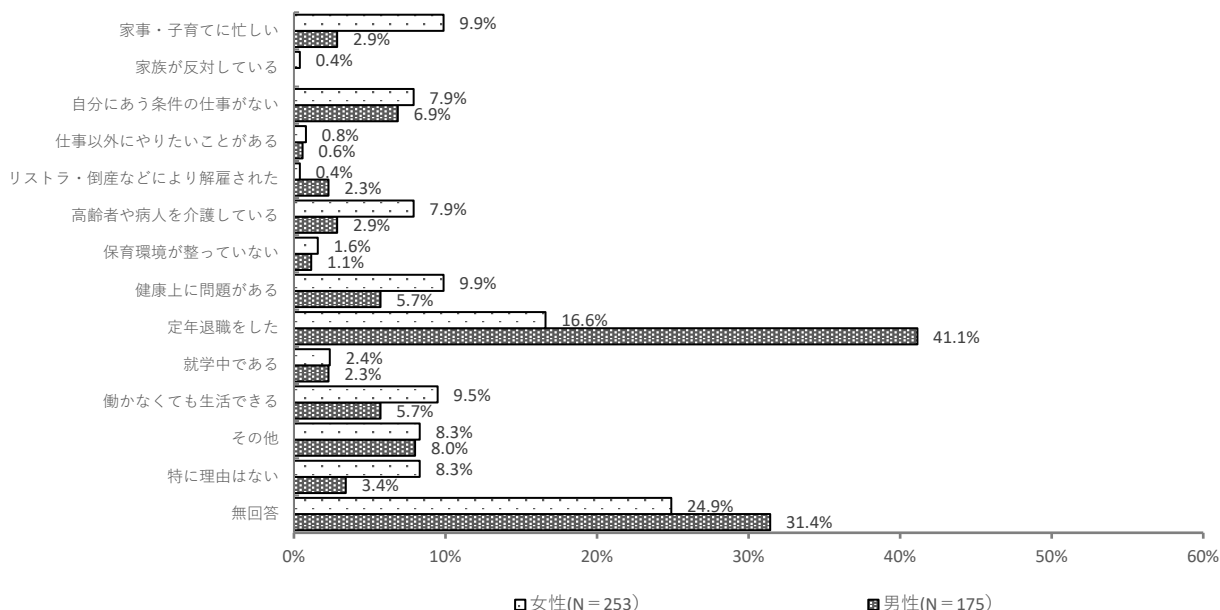
<全体>

問12 あなたが、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。



<性別>

問28 性別 × 問12 あなたが、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。



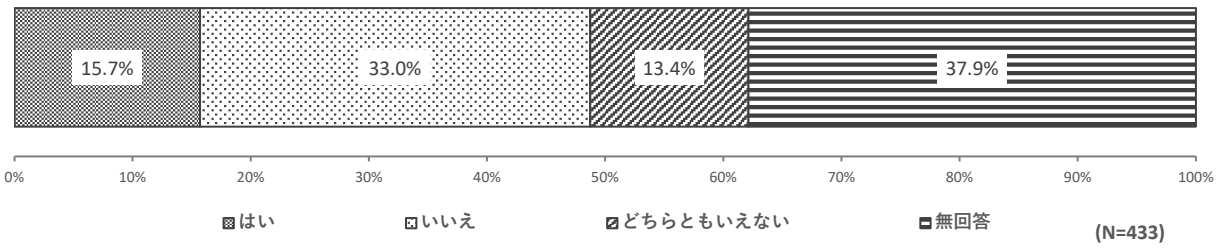
問 12-1 あなたは今後働きたいとお考えですか。(〇は1つ)

「いいえ」が33.0%と最も高く、次いで「はい」が15.7%、「どちらともいえない」が13.4%となっています。

性別別に見ると、男女で大きな差はありませんが、いいえが30%を超えており、割合を多く占めています。

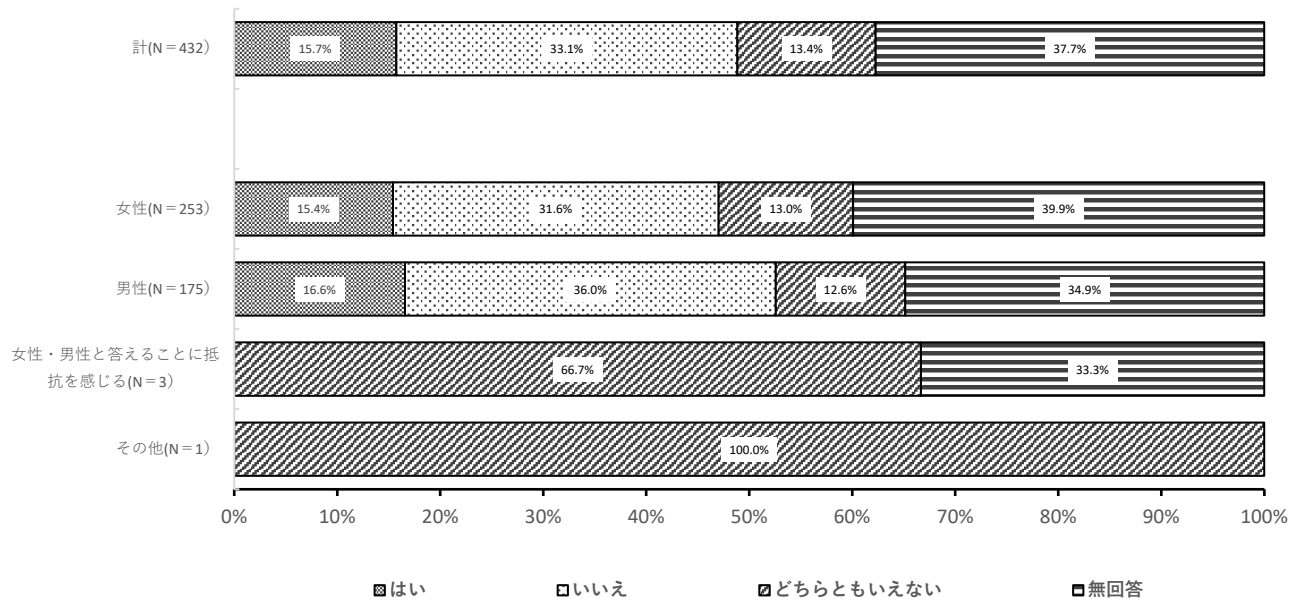
<全体>

問12-1 あなたは今後働きたいとお考えですか。



<性別>

問28 性別 × 問12-1 あなたは今後働きたいとお考えですか。



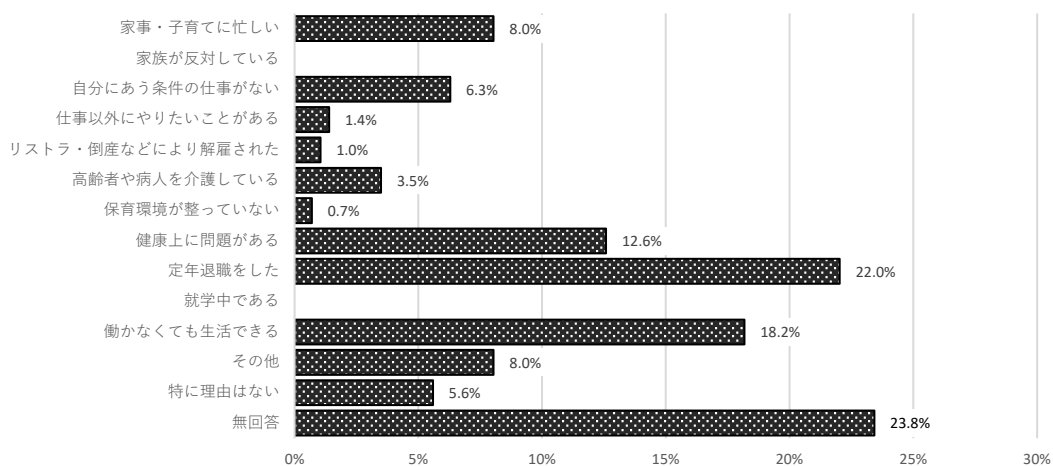
問 13 配偶者（パートナー）が収入を得る仕事に就いていない方にお尋ねします。あなたの配偶者（パートナー）が収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。（〇はいくつでも）

全体では、「定年退職をした」が22.0%と高い割合となっています。

女性は「定年退職をした」と答えた割合が38.8%と最も高く、男性は、「働かなくても生活できる」が25.8%となっています。

<全体>

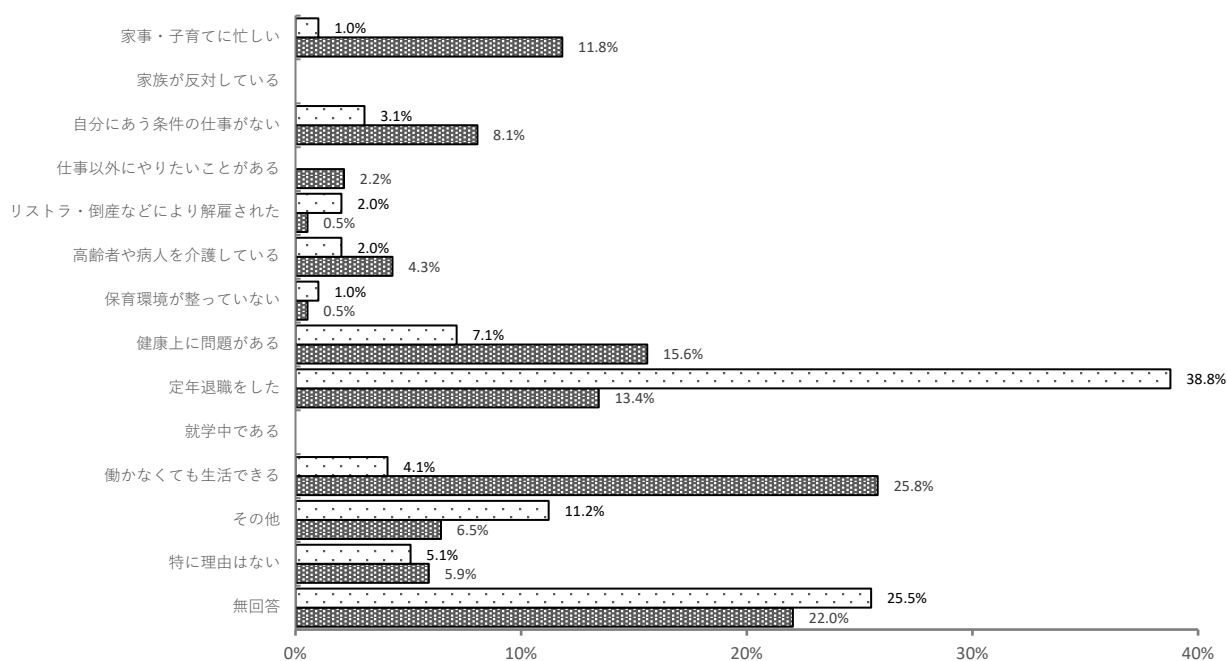
問13 あなたの配偶者(パートナー)が、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。



(N = 286)

<性別>

問28 性別 × 問13 あなたの配偶者(パートナー)が、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。



□ 女性(N = 98)

■ 男性(N = 186)

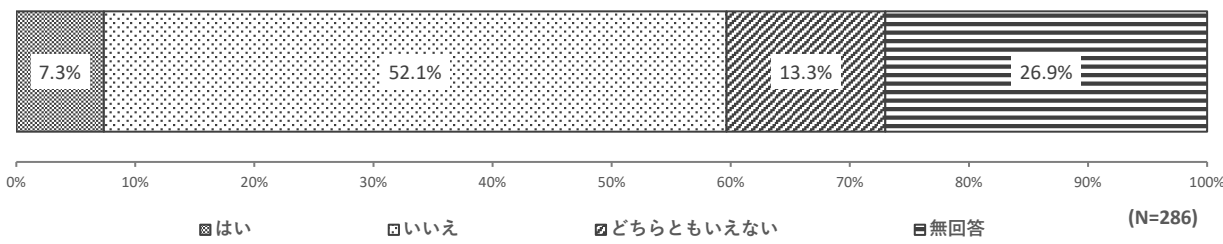
問 13-1 あなたの配偶者（パートナー）は今後働きたいとお考えですか。（〇は1つ）

「いいえ」が52.1%と高く、次いで「どちらともいえない」が13.3%、「はい」が7.3%となっています。

男女ともに「いいえ」の割合が多く、女性56.1%、男性50.0%となっており、女性の方が割合が多くなっています。

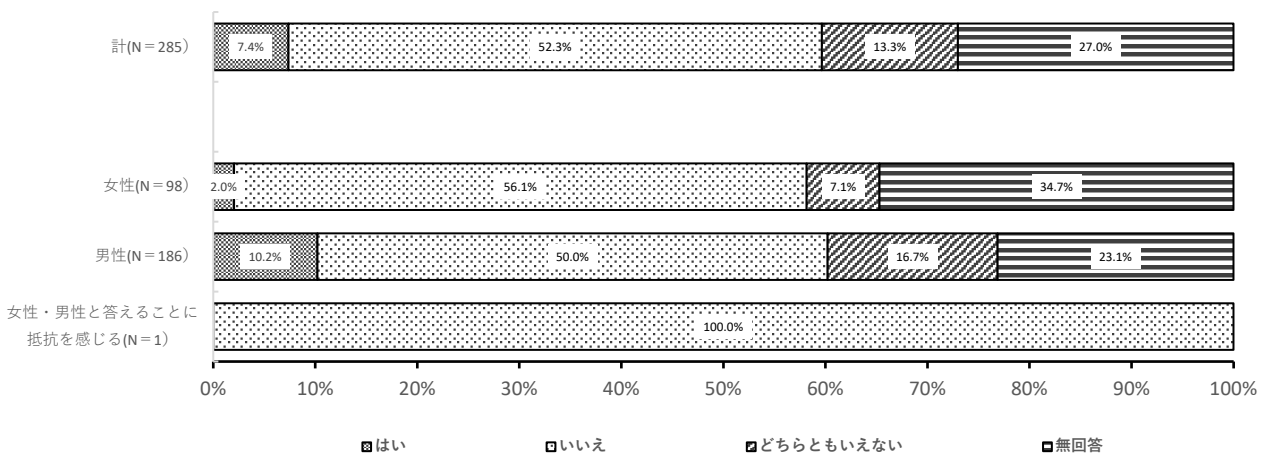
<全体>

問13-1 あなたの配偶者(パートナー)は今後働きたいとお考えですか。



<性別>

問28 性別 × 問13-1 あなたの配偶者(パートナー)は今後働きたいとお考えですか。



問14 あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)

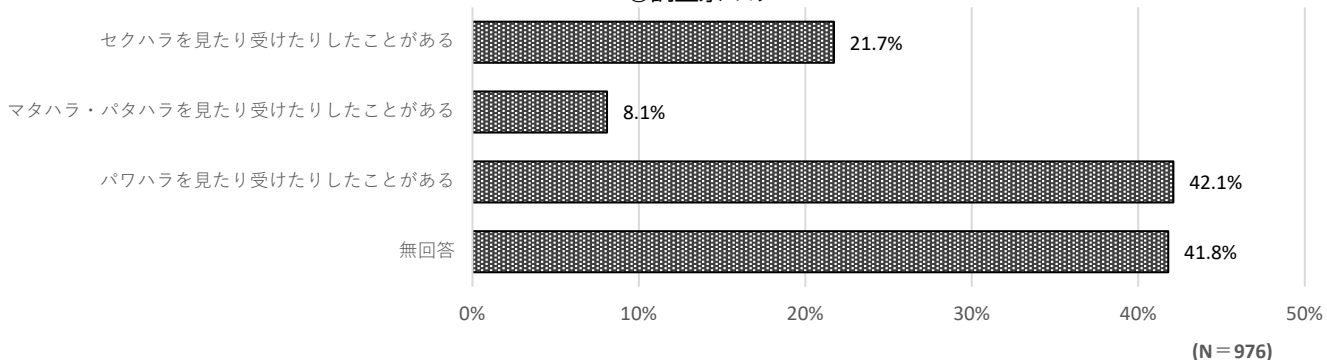
「パワハラを見たり受けたりしたことがある」が39.0%（調査票のみで42.1%）と最も高くなっています。

性別別に見ても、「パワハラを見たり受けたりしたことがある」が最も高く、女性で35.9%（調査票のみで39.8%）、男性で44.2%（調査票のみで47.0%）となっています。

<全体>

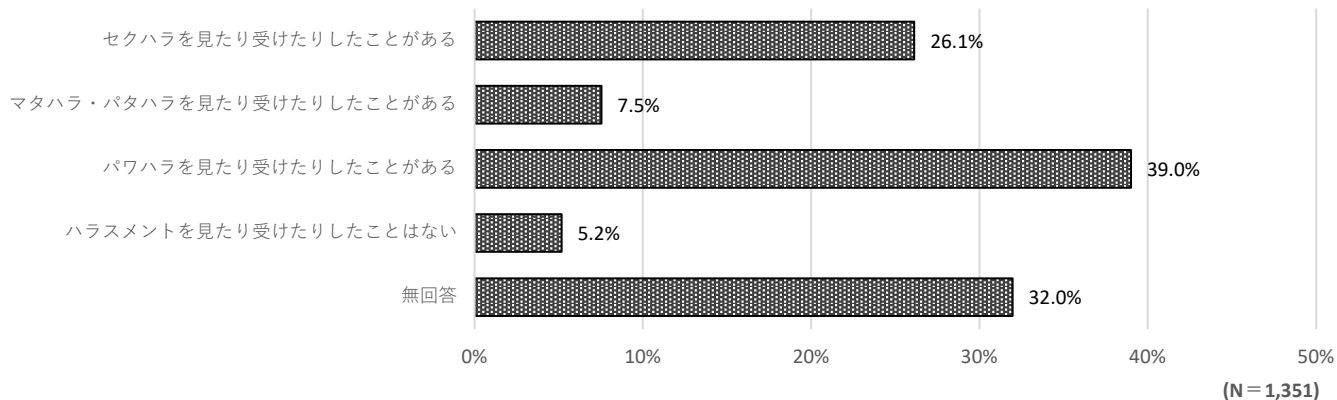
① 調査票のみ

問14 あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)  
①調査票のみ



② 調査票・電子申請すべて

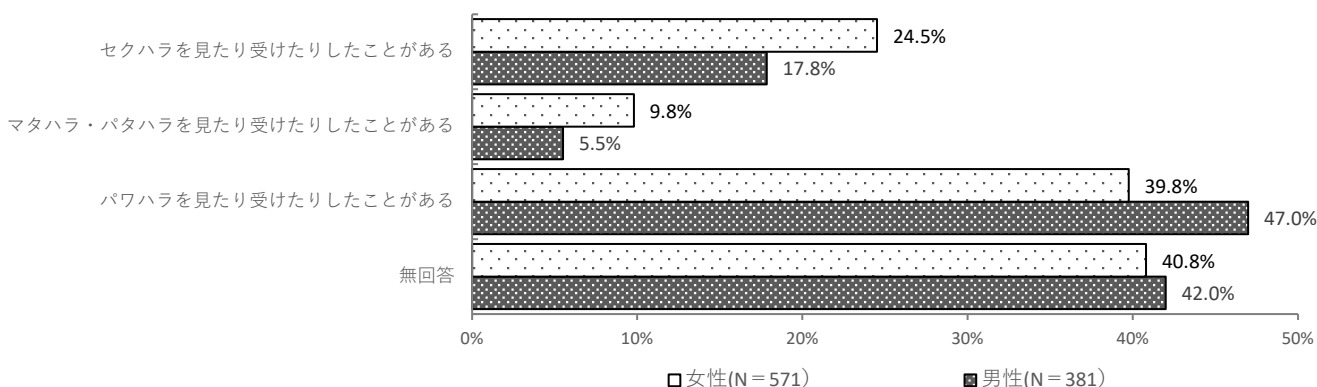
問14 あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)  
②調査票・電子申請すべて



## <性別>

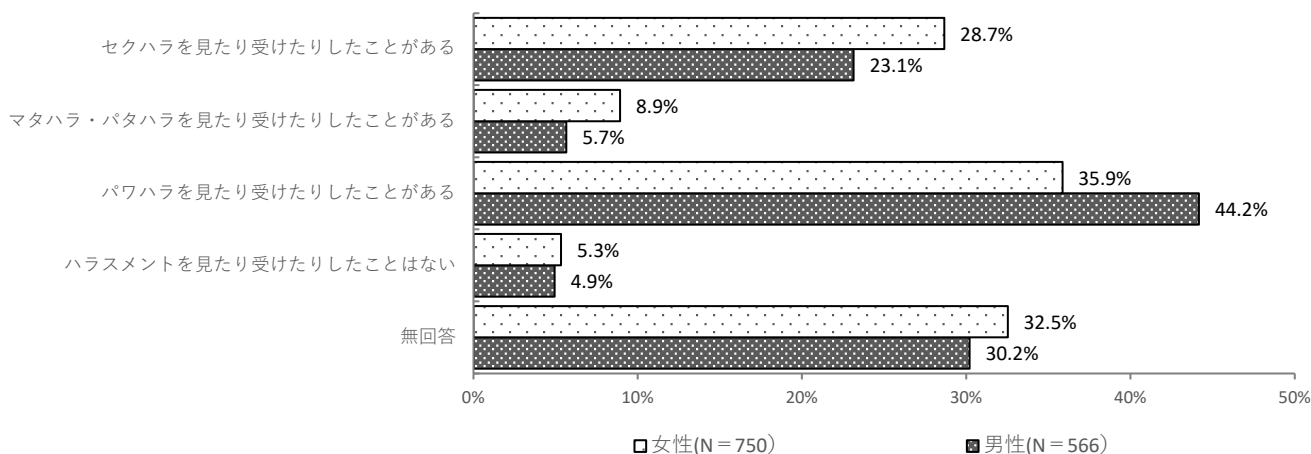
### ① 調査票のみ

問28 性別 × 問14 あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)  
①調査票のみ



### ② 調査票・電子申請すべて

問28 性別 × 問14 あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)  
②調査票・電子申請すべて



#### ※本設問に対する選択肢について【お詫び】

調査開始から5日めの令和7年(2025)年10月6日、電子申請システムで回答しようとした市民より、「ハラスメントを見たり受けたりしたことはない」という選択肢がないことをご指摘いただきました。ご指摘をいただいた後、電子申請システムにおいて、選択肢4として「ハラスメントを見たり受けたりしたことはない」を追加しました。

そのため、回答方法(調査票、電子申請システムのいずれか)やご回答いただいたタイミングによって、選択可能な選択肢に違いが生じることとなりました。

そこで今回の調査結果につきましては、下記①、②に分けて集計しております。

#### ①調査票による回答をとりまとめた結果

#### ②すべて(調査票および電子申請システム)の回答結果

本件につきましてご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

今後このようなことがないよう十分留意してまいります。

問 15 男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活躍するためには、  
 どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

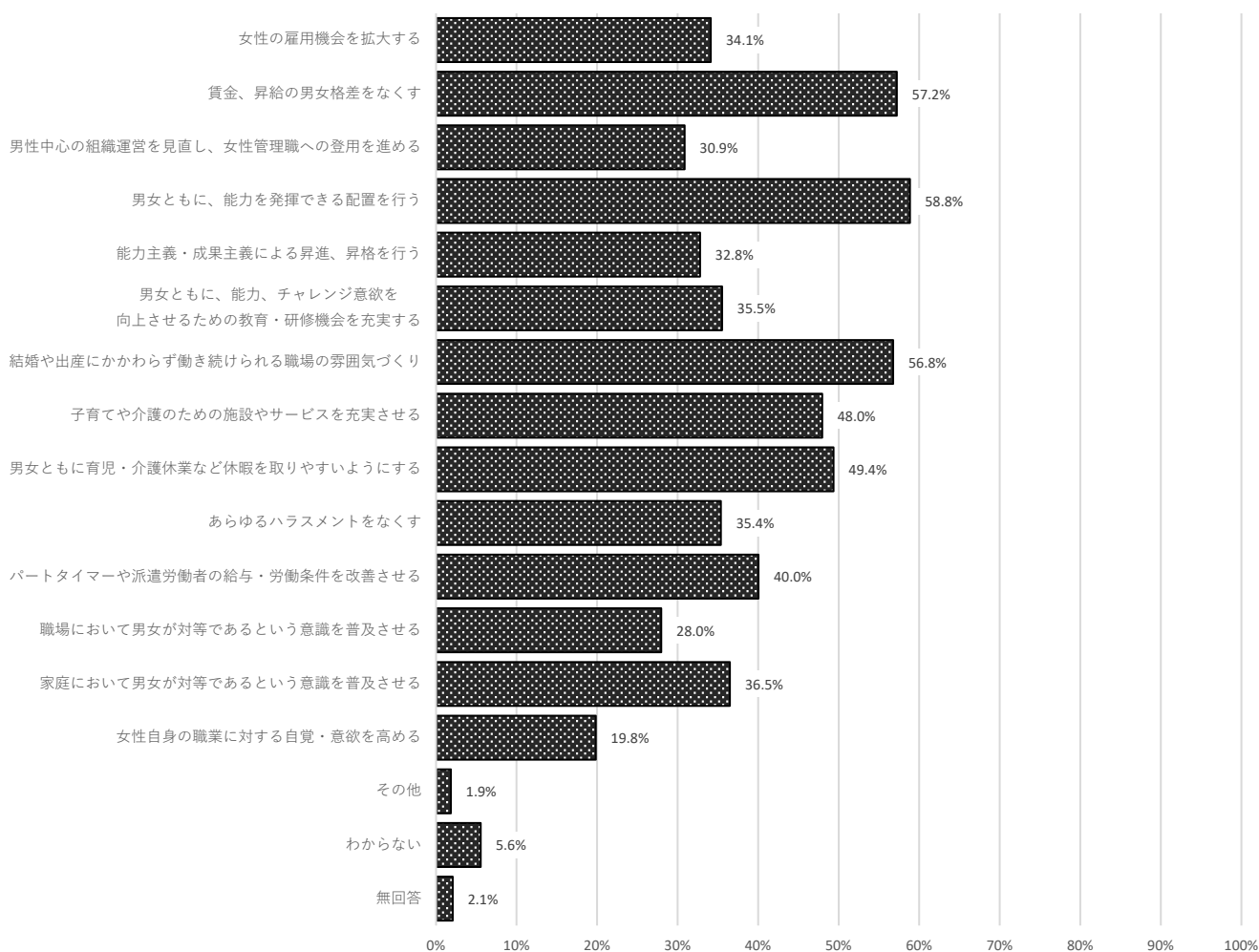
最も多かったのは「賃金、昇給の男女格差をなくす」と「男女ともに、能力を発揮できる配置を行う」と「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気づくり」で、60%に近い割合です。

性別では女性、男性ともに「男女ともに、能力を発揮できる配置を行う」が最も高い割合で、それぞれ、59.5%と58.8%となっています。

年代別では、年代によって大きな差がある項目はなく、「賃金、昇給の男女格差をなくす」「男女ともに、能力を発揮できる配置を行う」「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気づくり」の割合が他と比べて高くなっています。

<全体>

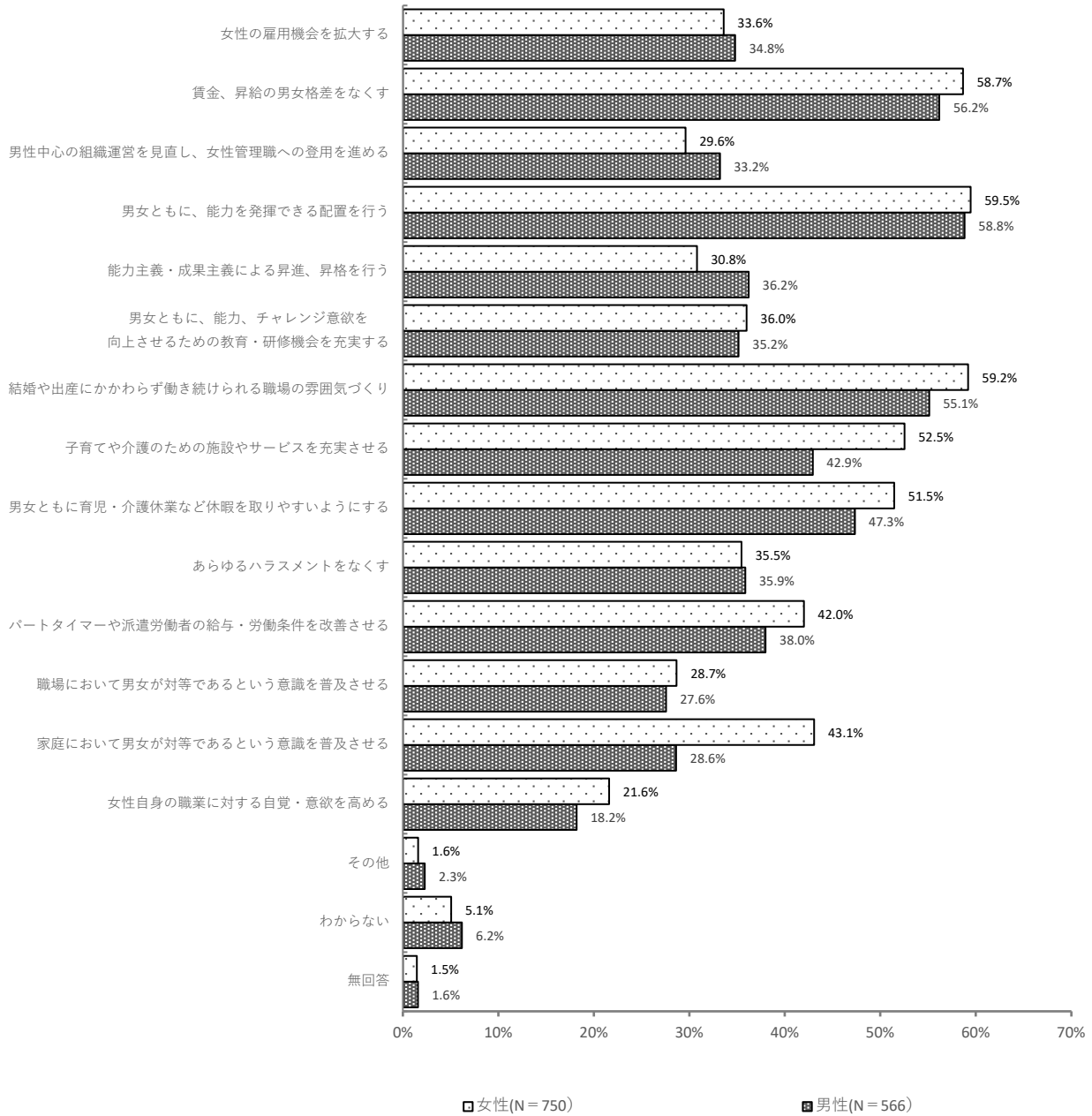
問15 男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活躍するためには、  
 どのようなことが必要だと思いますか。



(N = 1,351)

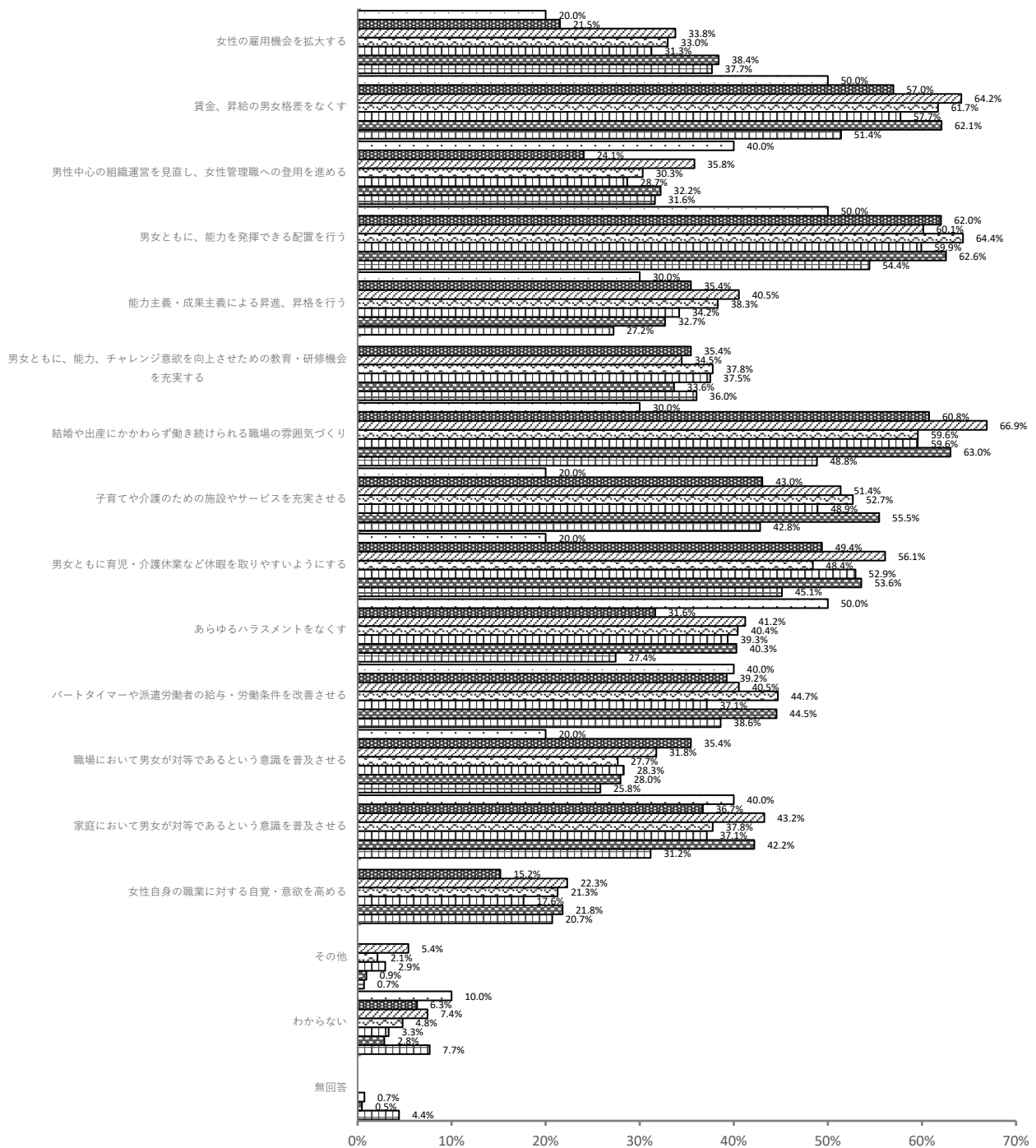
## <性別>

問28 性別 × 問15 男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活躍するためには、どのようなことが必要だと思いますか。



## <年代別>

問27 年代別 × 問15 男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活躍するためには、どのようなことが必要だと思いますか。



□10代(N=10) ■20代(N=79) ▨30代(N=148) ▩40代(N=188) □50代(N=272) ▤60代(N=211) ▥70代以上(N=430)

## E 仕事と生活の調和について

問 16 あなたは、生活の中で仕事と個人の生活（家庭、地域活動など）でどちらを優先しますか。（1）あなたの希望と（2）現実（現状）に最も近いものをそれぞれお答えください。（それぞれについて〇は1つ）

### （1）希望（〇は1つ）

全体では「仕事と個人の生活をともに優先したい」が47.7%と最も高く、次いで「個人の生活を優先したい」が34.1%となっています。

性別でも、上の順位は同じですが、割合では「仕事と個人の生活をともに優先したい」は、男性が女性を上回り、「個人の生活を優先したい」は、女性が男性を上回っています。

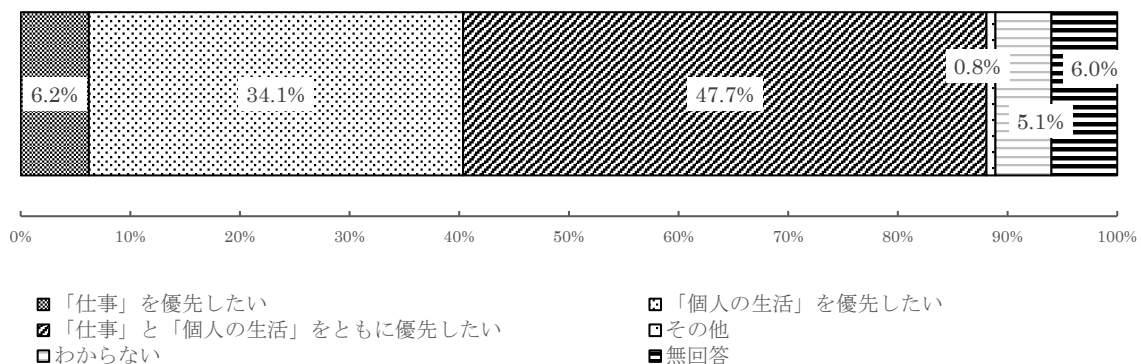
年代別では、「仕事と個人の生活をともに優先したい」は、10代から50代にかけて割合が増えてゆきます。「仕事を優先したい」は10代を除く全ての年代で1割以下となっております。

勤務地別について見ると、「仕事と個人の生活をともに優先したい」については、大阪府外が最も高く、「個人の生活を優先したい」については、大阪市内が最も割合が高くなっています。

配偶者の有無との関連では、「仕事と個人の生活をともに優先したい」については結婚しているが最も割合が高く、「個人の生活を優先したい」については、未婚の方の割合が37.9%に対して既婚の方では35.7%、離別又は死別した方では26.4%と未婚の方の割合が若干高くなっています。

### <全体>

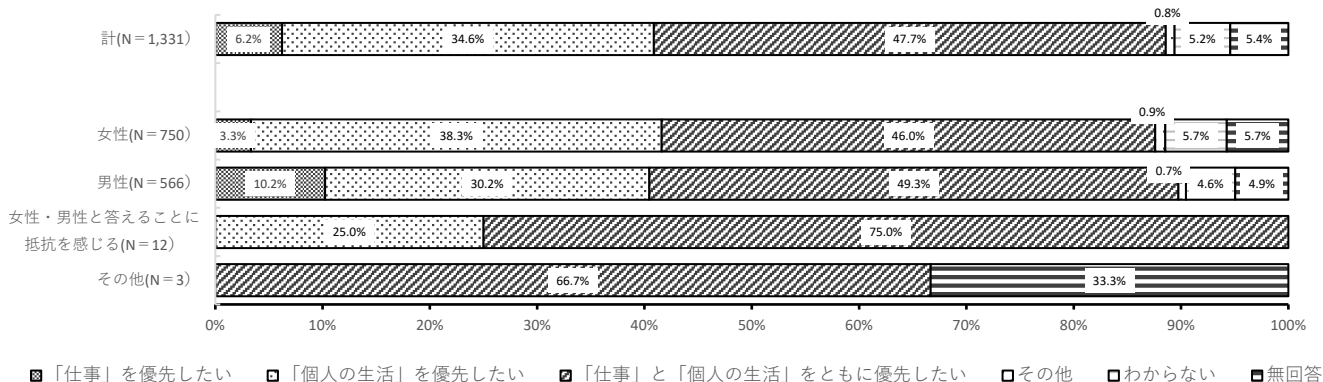
問16 (1)希望



(N=1,351)

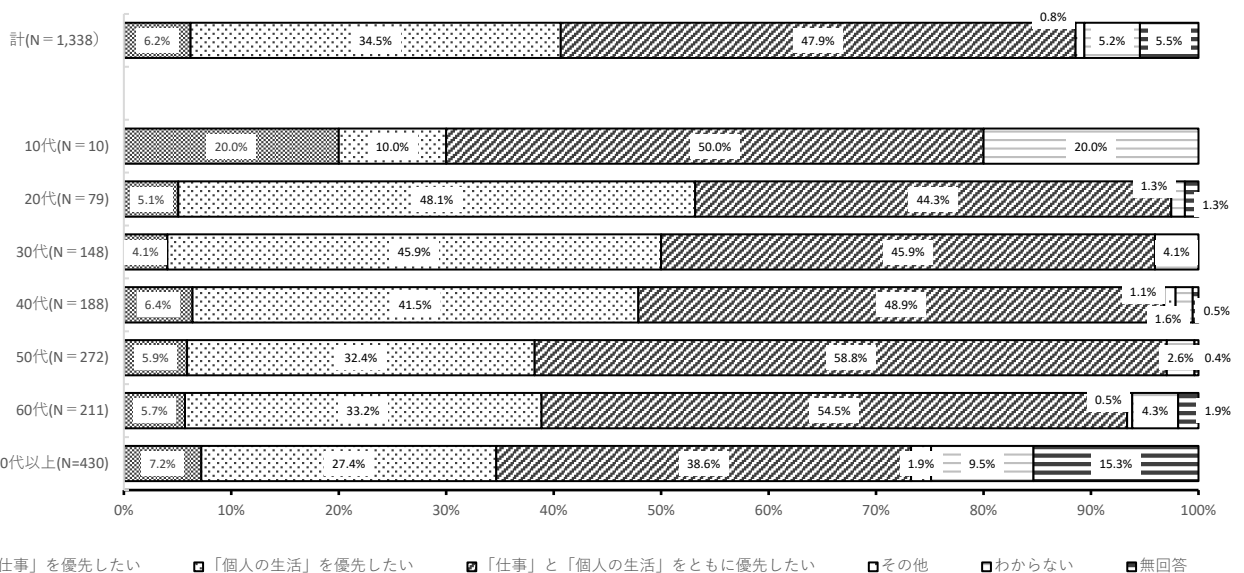
<性別>

問28 性別 × 問16 (1)希望



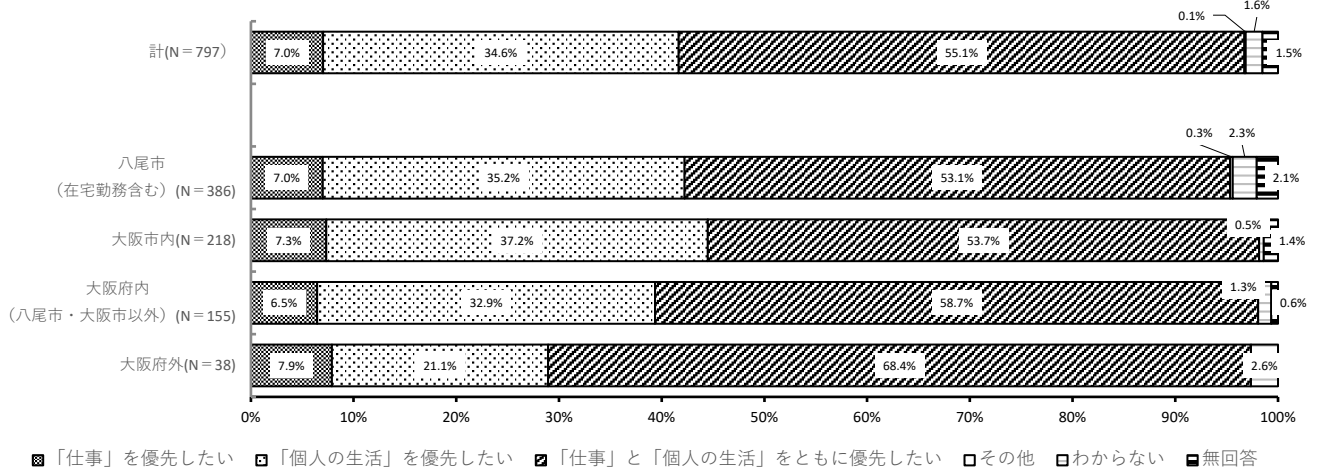
<年代別>

問27 年齢 × 問16 (1)希望



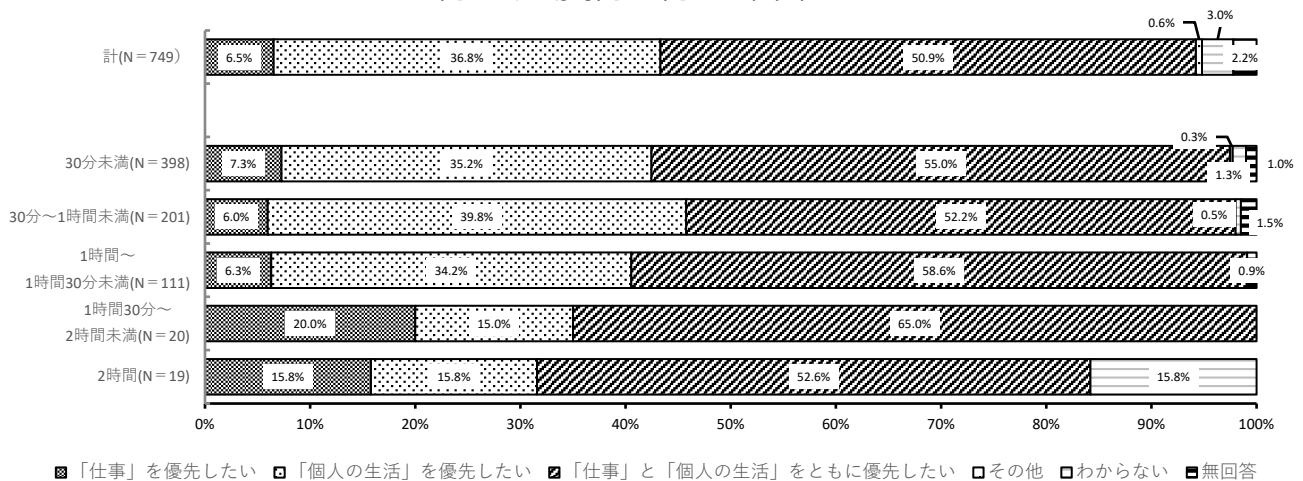
<勤務地>

問32 勤務地 × 問16 (1)希望



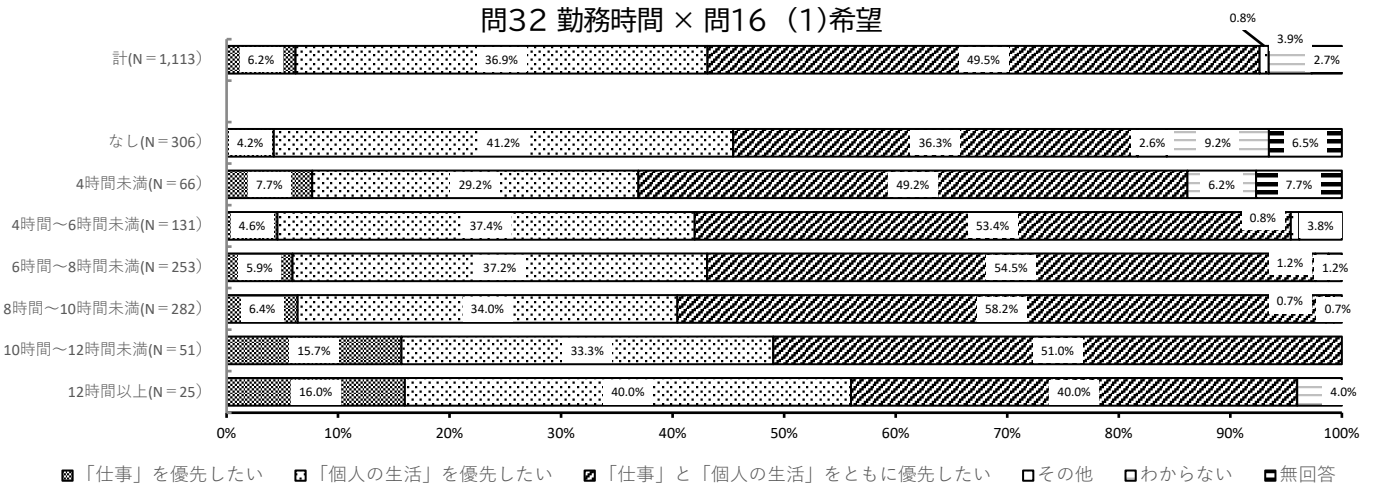
## <通勤時間>

問32 通勤時間 × 問16 (1)希望



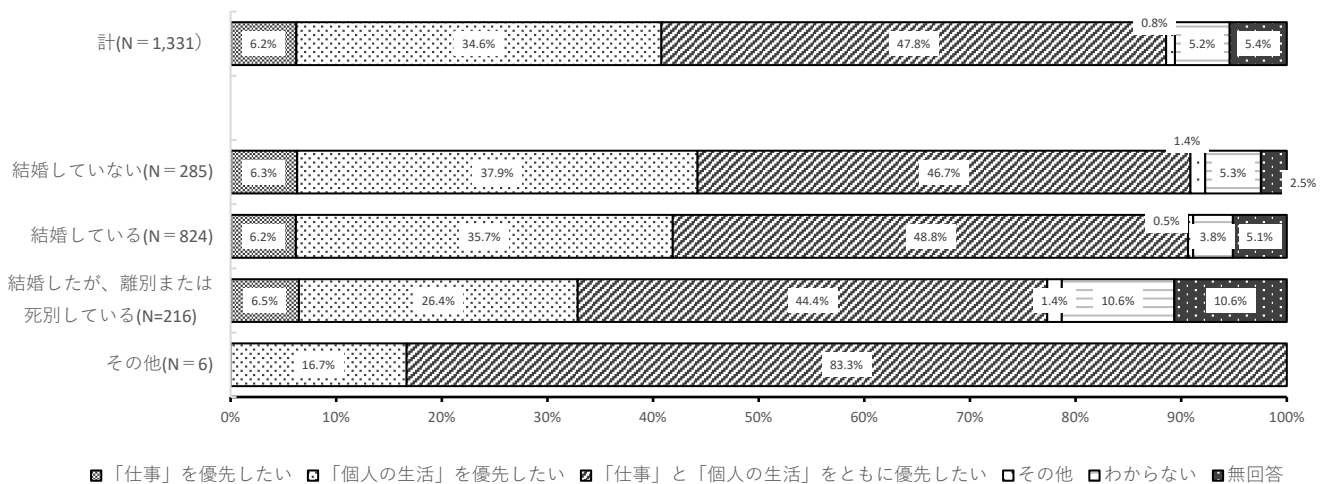
## <勤務時間>

問32 勤務時間 × 問16 (1)希望



## <配偶者の有無>

問29 結婚の有無 × 問16 (1)希望



(2) 現実（現状）（〇は1つ）

「仕事と個人の生活をともに優先している」が29.0%と最も高く、次いで「仕事を優先している」が28.9%となっています。

「仕事を優先している」は、女性の22.1%に対し、男性は37.5%と、男性が女性を大きく上回っており、「個人の生活を優先している」は、女性が28.3%に対し、男性は16.3%と女性が男性を上回っています。

年代別でみると、「仕事を優先している」は、10代、70代では2割以下なのだが、40代、50代では約4割を超すまでに上がり、逆に「個人の生活を優先している」では10代が最も高く、50代で約2割以下まで下がっています。

勤務地別では、大阪府外の方が「仕事を優先している」の割合が最も高く、その一方で「個人の生活を優先している」割合は最も低くなっています。八尾市内の方は「個人の生活を優先している」が最も高い22.0%となっています。

通勤時間別では1時間～1時間30分が「仕事を優先している」の割合も高くなっているものの、全体的に4割前後と大きな差はありませんでした。「個人の生活を優先している」については、0分～30分未満の方の割合が最も高くなっています

勤務時間別では、「仕事を優先している」の割合は、10時間～12時間未満の方が68.6%と最も高くなっています。「個人の生活を優先している」は、勤務時間が短いほど高く、勤務時間“なし”の方では36.9%となっています。

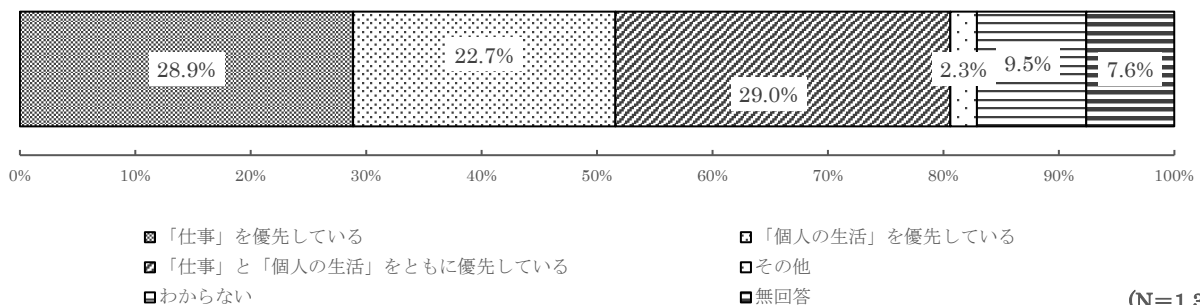
配偶者の有無では、「仕事を優先している」の割合は、未婚の方の割合が、既婚の方および離別又は死別の方よりもやや上回っています。「仕事と個人の生活をともに優先している」については、既婚の方の割合が最も高くなっています。

希望と現実（現状）の比較

希望では、「仕事を優先したい」は6.2%でしかなかったのに対して、現実（現状）では、28.9%と、希望と現実（現状）に大きなギャップが生じています。同じく、「仕事と個人の生活を優先したい」、「個人の生活を優先したい」についても、現実（現状）は希望よりも低い割合に留まっており、希望と現実（現状）にギャップが生じています。

<全体>

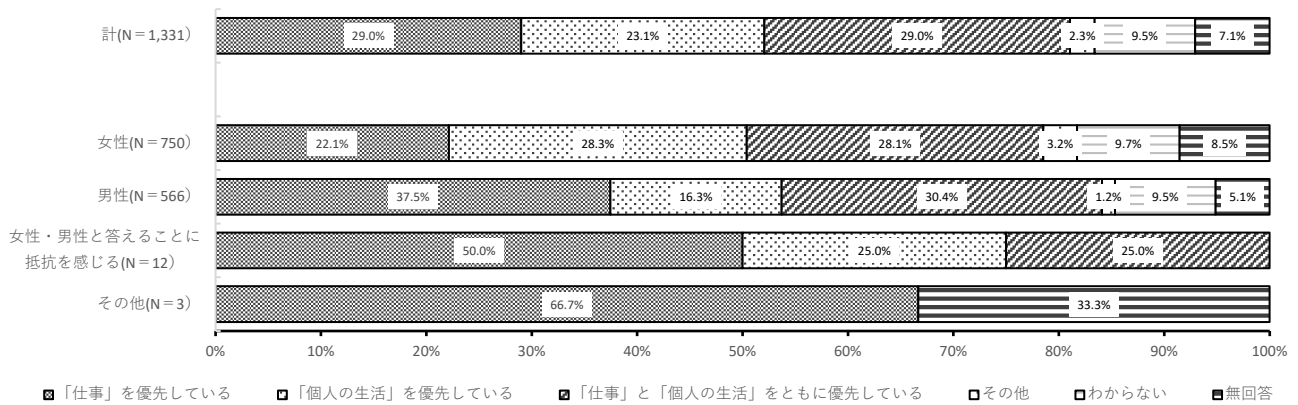
問16 (2)現実(現状)



(N=1,351)

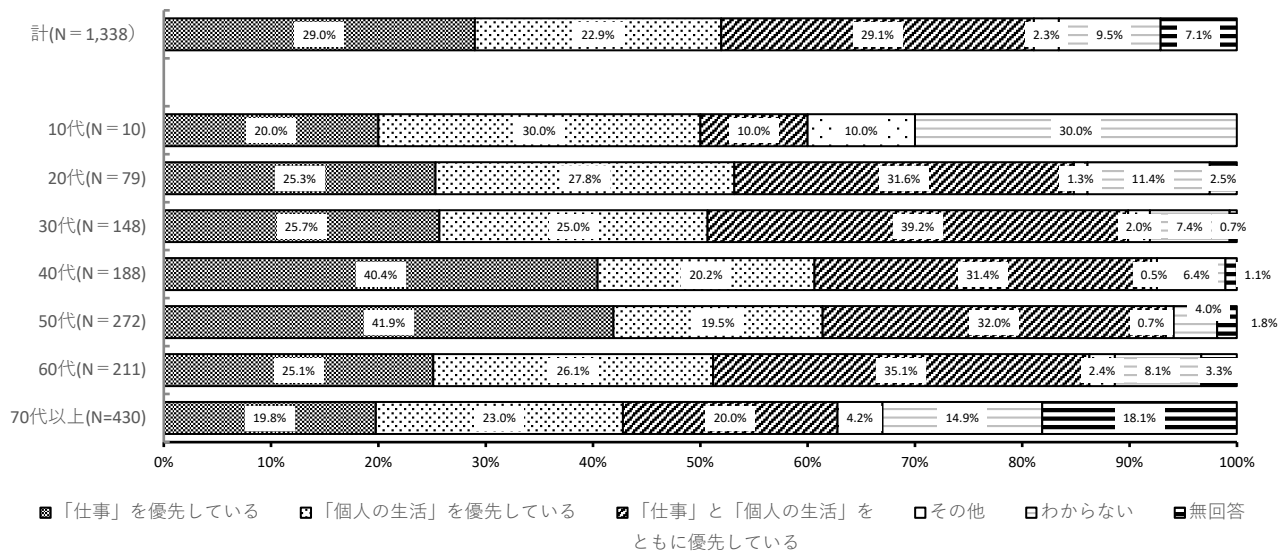
<性別>

問28 性別 × 問16 (2)現実(現状)



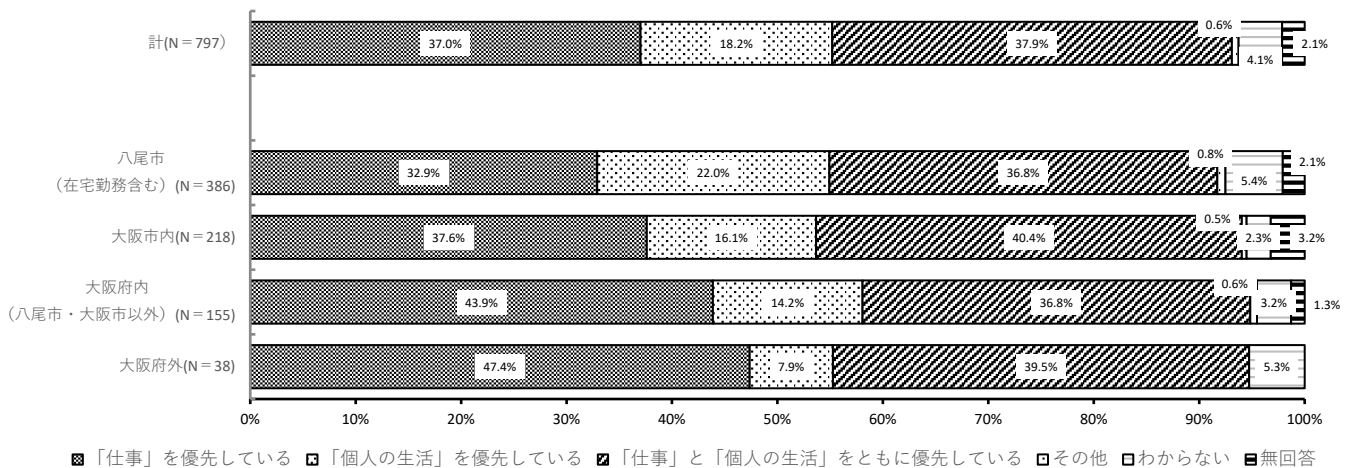
<年代別>

問27 年齢 × 問16 (2)現実(現状)



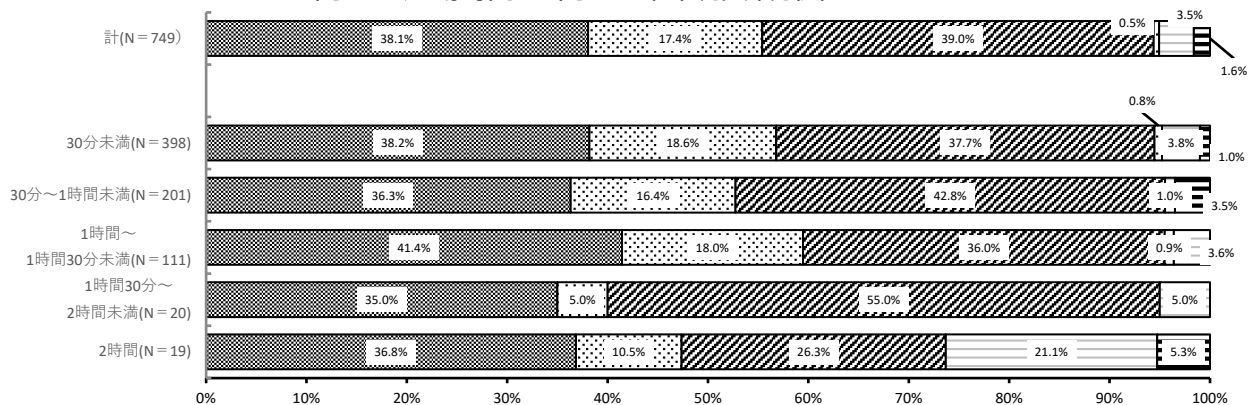
<勤務地>

問32 勤務地 × 問16 (2)現実(現状)



<通勤時間>

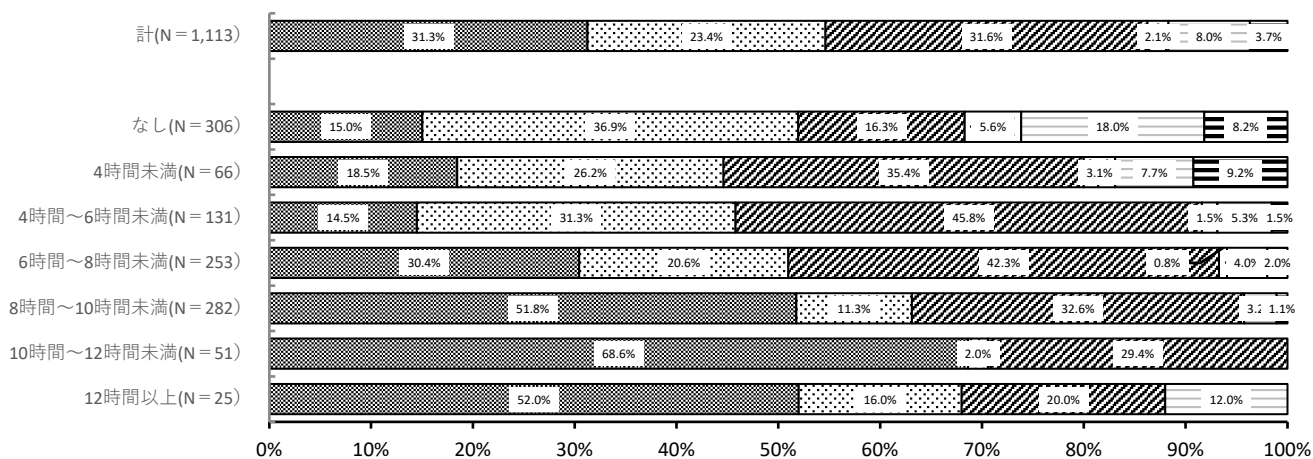
問32 通勤時間 × 問16 (2)現実(現状)



■「仕事」を優先している □「個人の生活」を優先している ■「仕事」と「個人の生活」をともに優先している □その他 □わからない ■無回答

<勤務時間>

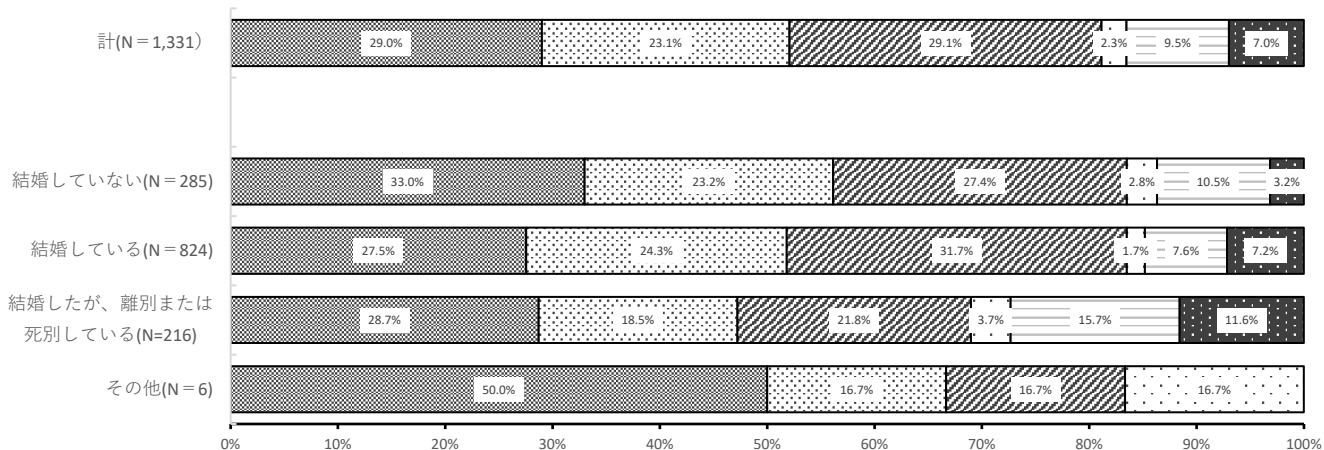
問32 勤務時間 × 問16 (2)現実(現状)



■「仕事」を優先している □「個人の生活」を優先している ■「仕事」と「個人の生活」をともに優先している □その他 □わからない ■無回答

<配偶者の有無>

問29 結婚の有無 × 問16 (2)現実(現状)



■「仕事」を優先している □「個人の生活」を優先している ■「仕事」と「個人の生活」をともに優先している □その他 □わからない ■無回答

問 17 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

最も多かったのは「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」で 45.9%ですが、全般的にばらつきの小さい結果となっています。

性別では、「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」が女性 53.1%に対して男性は 38.0%、また「小さい時から男性に家事や子育てに関する教育をすること」では女性の 50.3%に対して男性は 28.6%と、いずれも女性が男性を上回っています。

年代別では、「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間を多く持てるようにすること」では 30代が 58.1%と最も高く、70代以上は 24.4%と低い割合となっています。

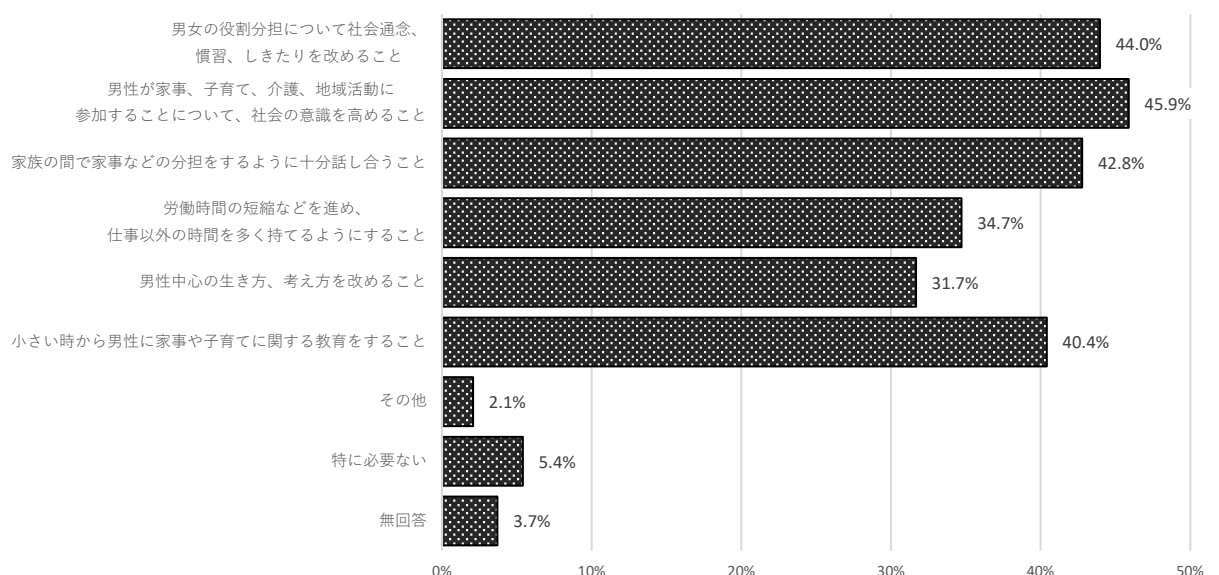
勤務地別では、全般的にばらつきは小さいですが、「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会の意識を高めること」について、八尾市（在宅勤務を含む）の方の割合が、他に比べて 50.3%と高くなっています。

通勤時間別では、「家族間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」では 1 時間 30 分～2 時間未満が 55.0%と高くなっております。

勤務時間別では、「家族の間で家事などの分担するように十分話し合うこと」で 10 時間～12 時間未満の方の割合が 58.8%と、ほかの方を大きく上回る一方で、なしの方の割合は 41.2%と、大きな差となっています。

## <全体>

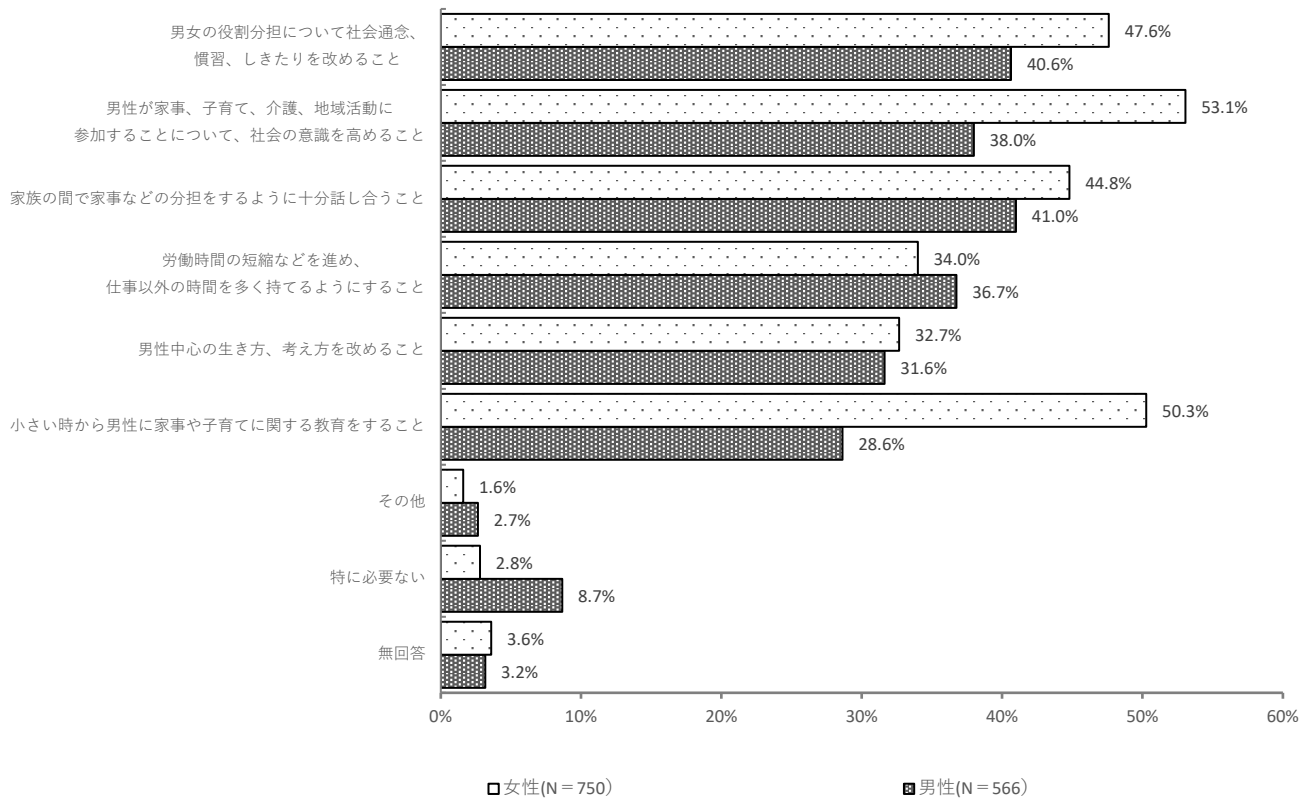
問17 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。



(N = 1,351)

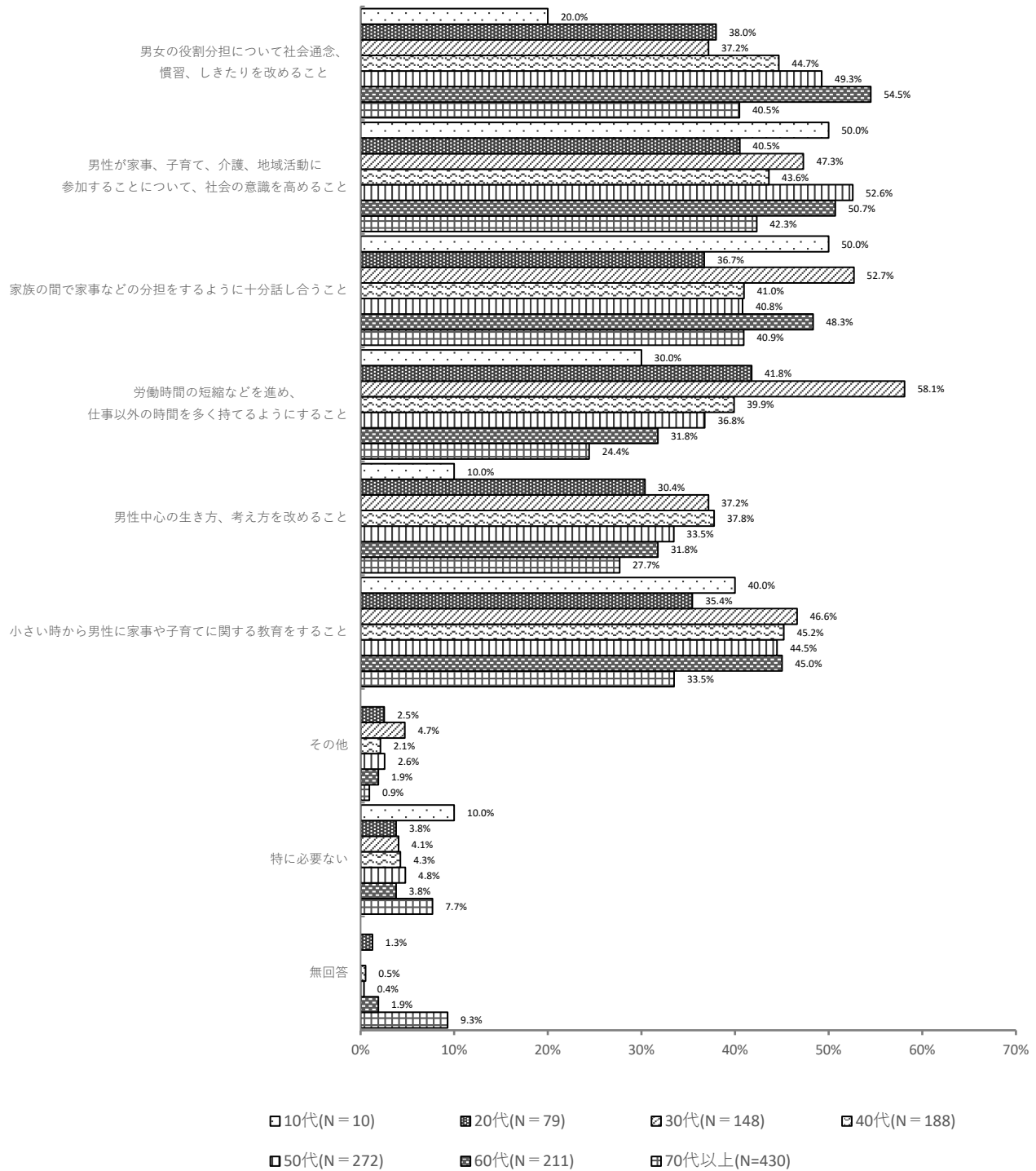
## <性別>

問28 性別 × 問17 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、  
どのようなことが必要だと思いますか。



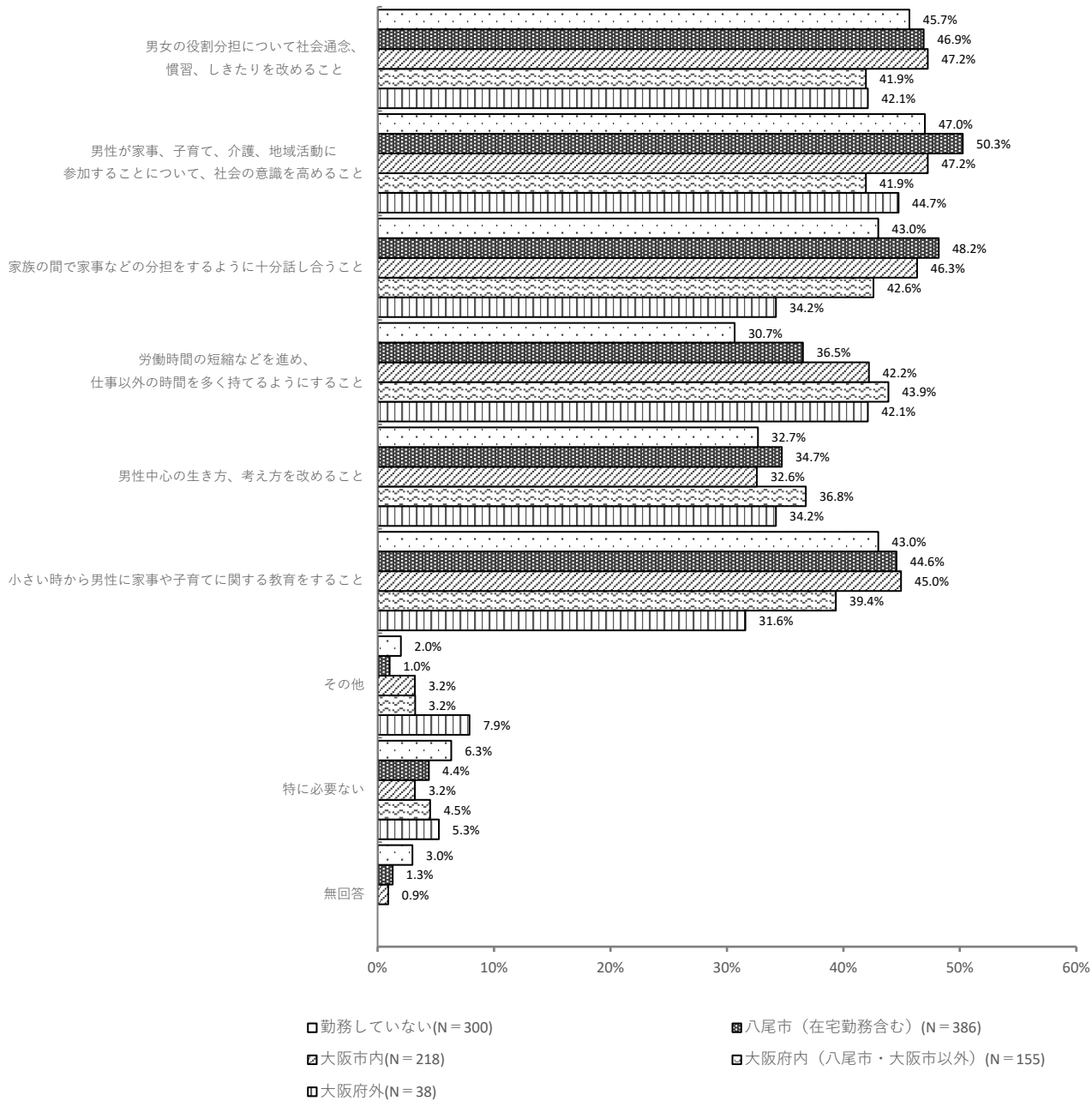
## <年代別>

問27 年齢 × 問17 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。



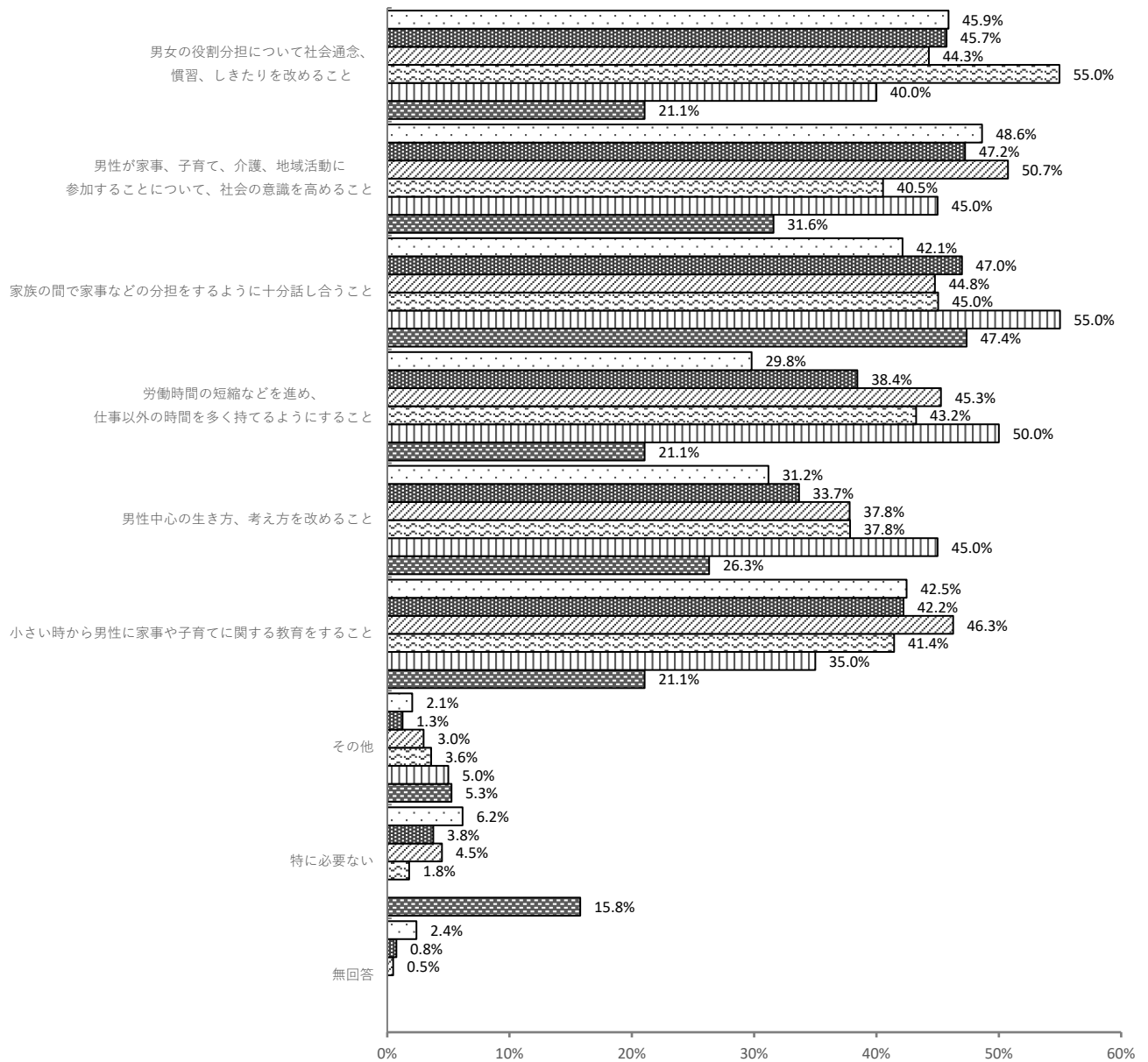
## <勤務地>

問32 勤務地 × 問17 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。



## <通勤時間>

問32 通勤時間 × 問17 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。



□ 通勤していない(N=292)

■ 30分未満(N=398)

■ 30分～1時間未満(N=201)

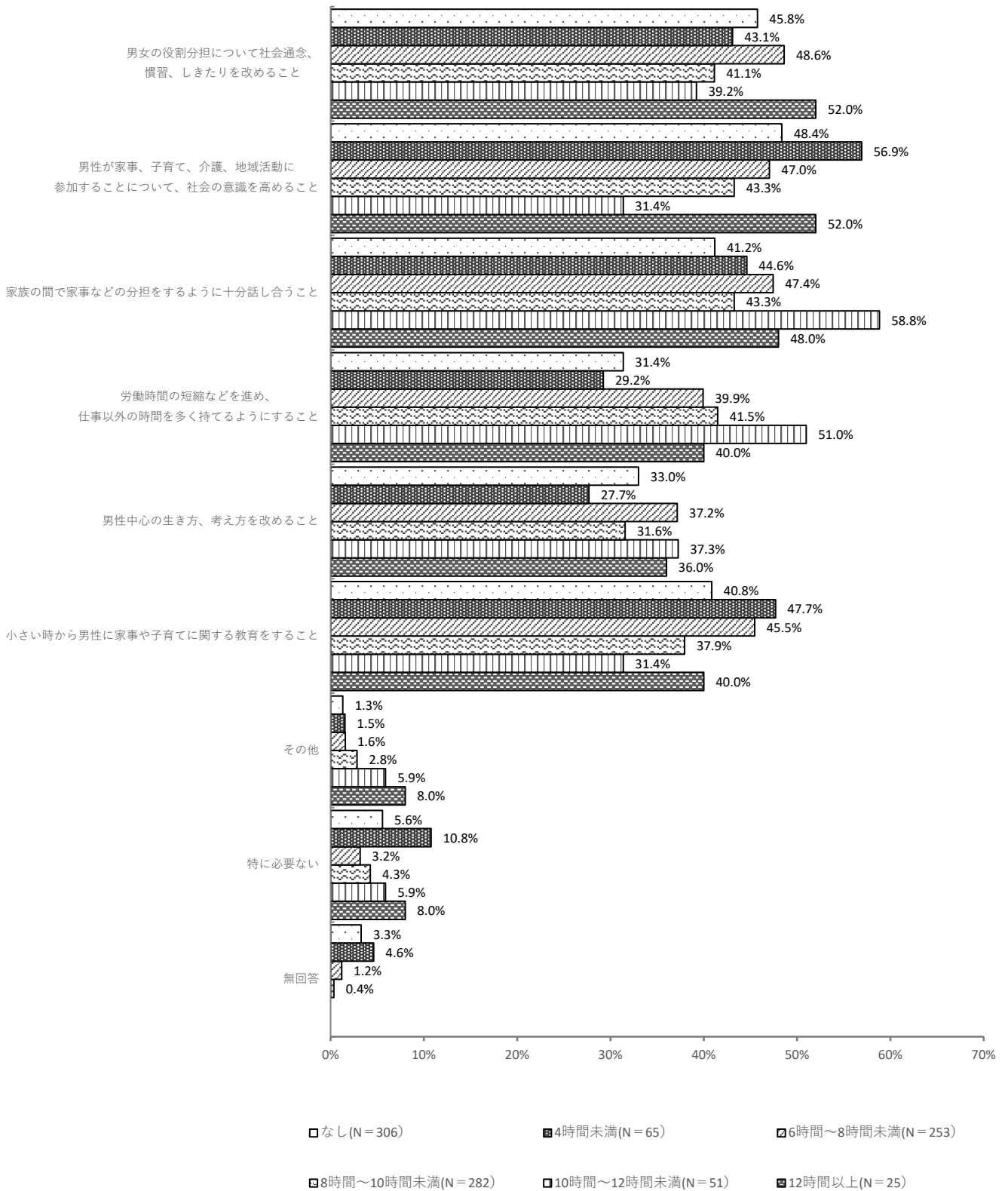
■ 1時間～1時間30分未満(N=111)

■ 1時間30分～2時間未満(N=20)

■ 2時間以上(N=19)

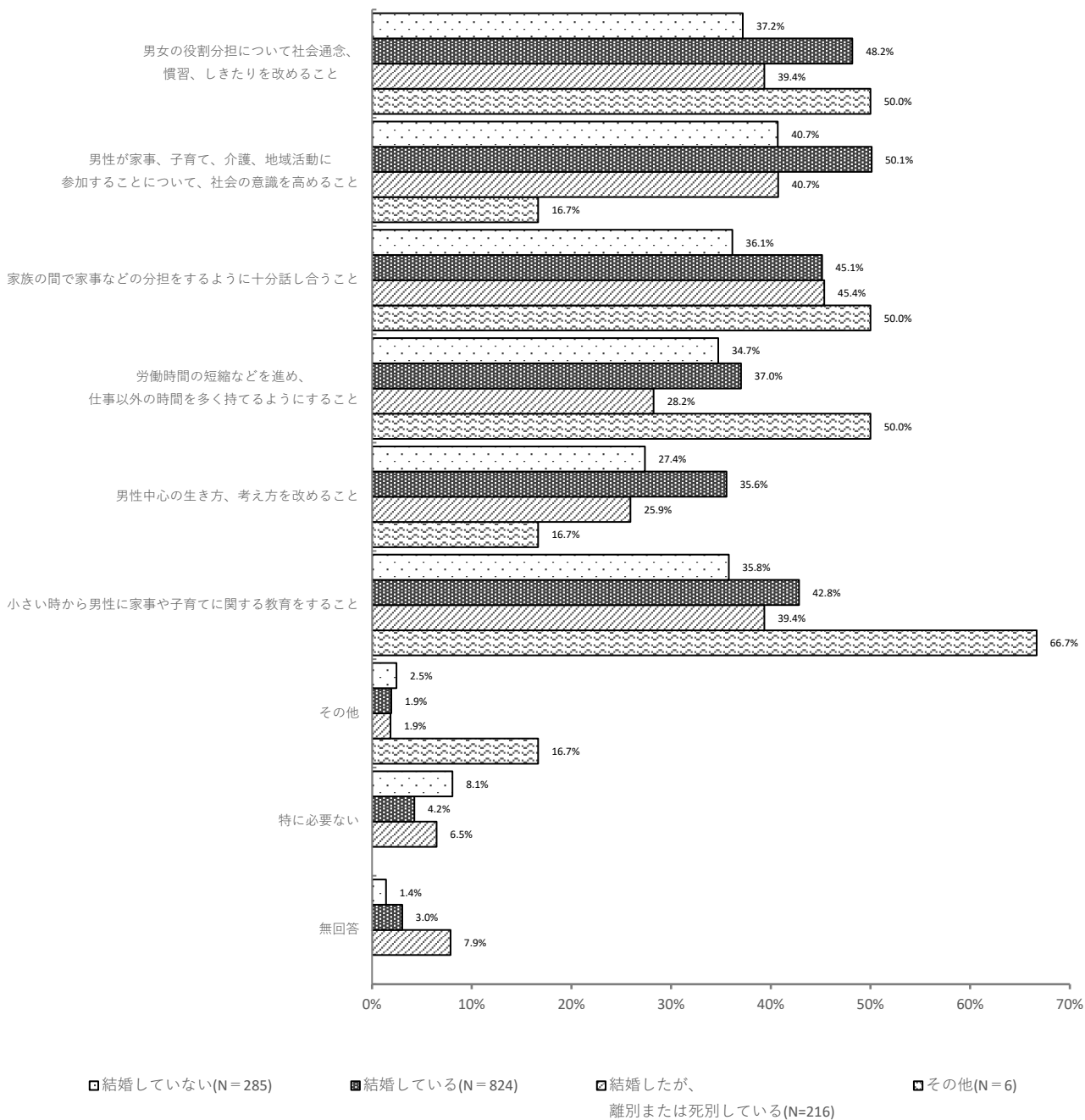
## <勤務時間>

問32 勤務時間 × 問17 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。



## <配偶者の有無>

問29 結婚の有無 × 問17 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。



## F あらゆる暴力について

問 18 あなたは、配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む）から、次のようなことを「されたこと」「したこと」がありますか。以下の「されたこと」と「したこと」の両方にお答えください。（それぞれについて〇はいくつでも）

### （1）あなたがされたこと

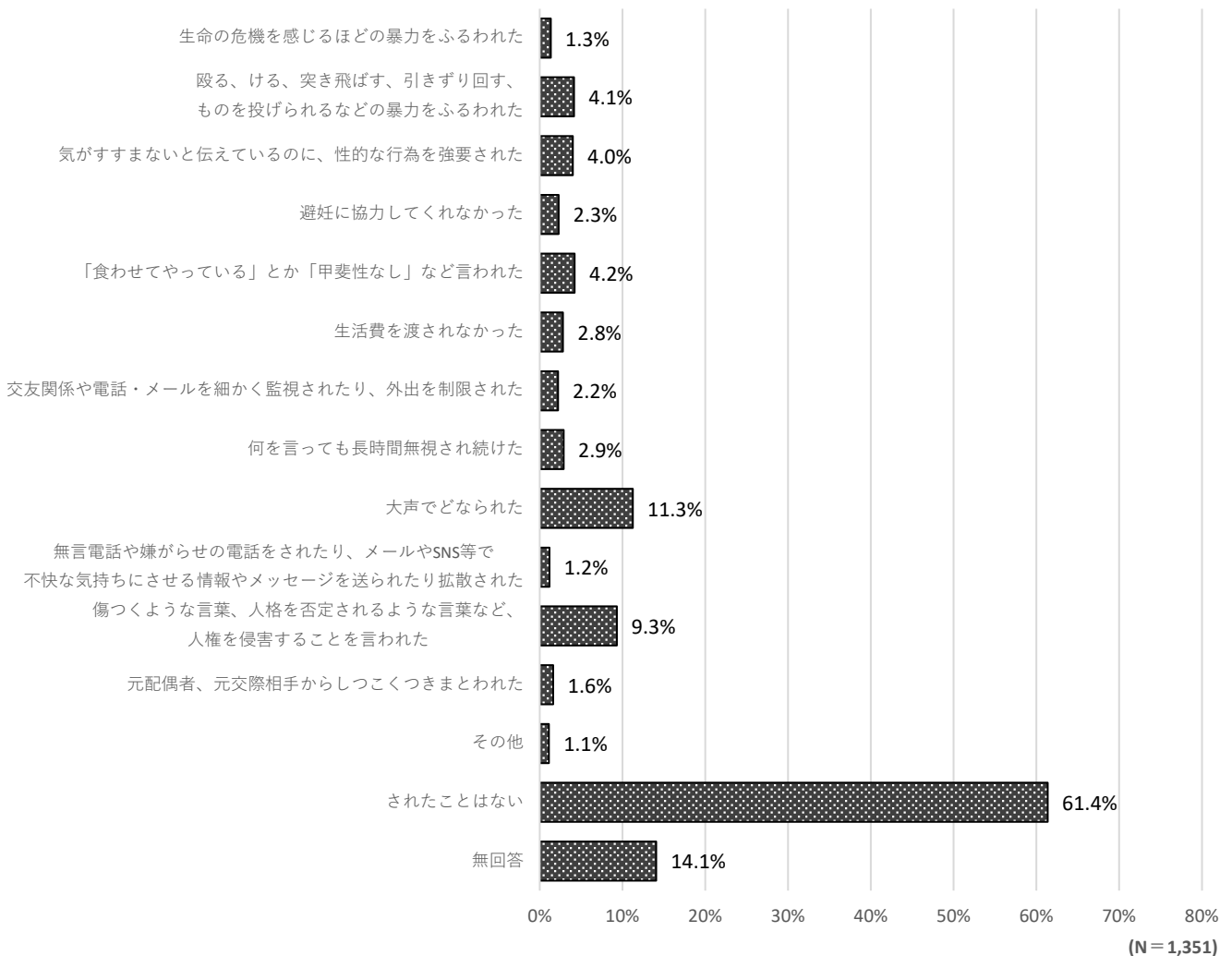
全体では、6割弱の方が「されたことはない」としています。「されたこと」では、「大声でどなられた」が最も多く11.3%、次いで「傷つくような言葉、人格を否定されるような言葉など、人権を侵害することを言われた」が9.3%となっています。

された相手では、「配偶者（パートナー）」が最も多く34.1%となっています。なお、無回答の割合が43.5%となっています。

性別では、「されたことはない」をのぞき、「されたこと」の項目は女性が男性を上回っています。

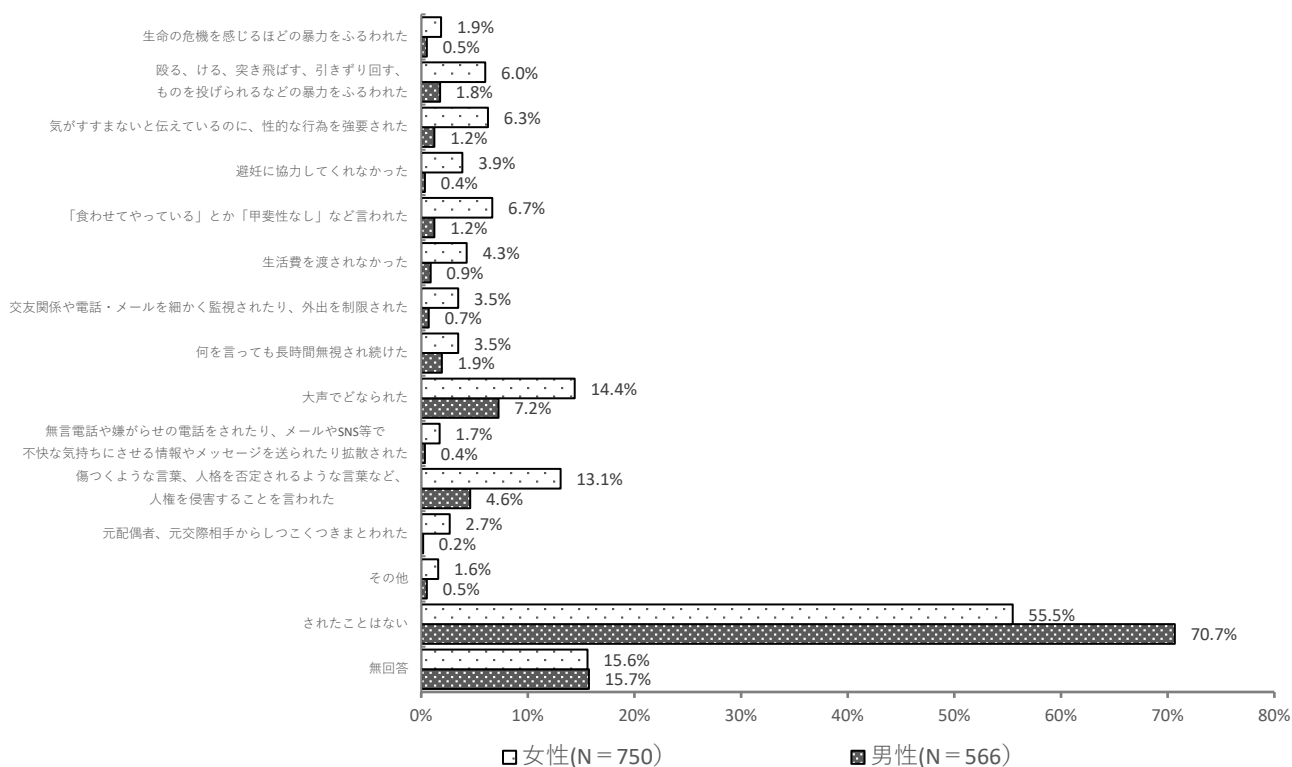
### <全体>

問18 (1)あなたがされたこと



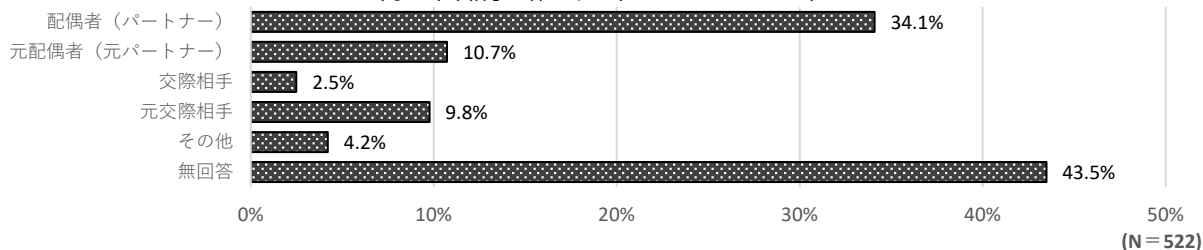
<性別>

問28 性別 × 問18 (1)あなたがされたこと



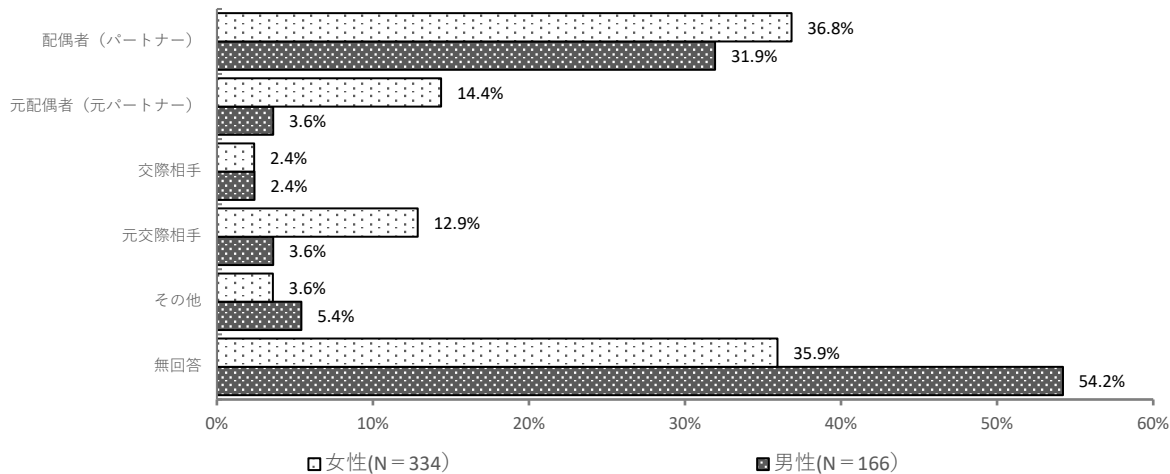
(された相手)

問18(1)相手は誰ですか(あなたがされたこと)



<性別>

問28 性別 × 問18(1)相手は誰ですか(あなたがされたこと)



## (2) あなたがしたこと

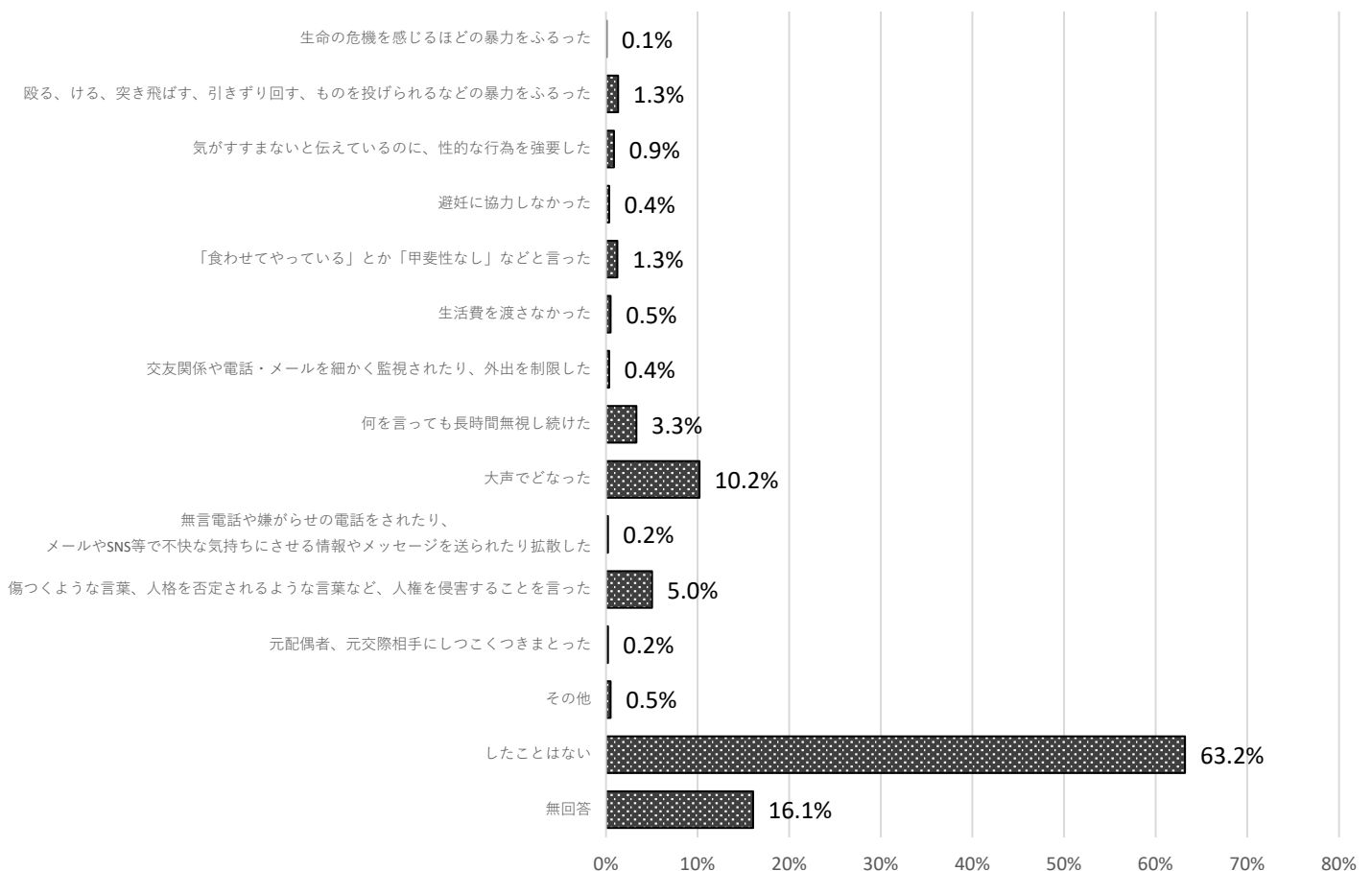
全体では、「したことはない」が6割を越えています。「したこと」では、「大声でどなった」が10.2%で最も高くなっています。次いで「傷つくような言葉、人格を否定する<sup>する</sup>ような言葉など、人権を侵害することを言った」以下、いずれも5%を下回る割合となっています。

した相手では、「配偶者（パートナー）」の割合が37.2%となっています。

性別では、「大声でどなった」が男性は13.1%に対して女性は7.9%と、男性が女性を上回っています。

### <全体>

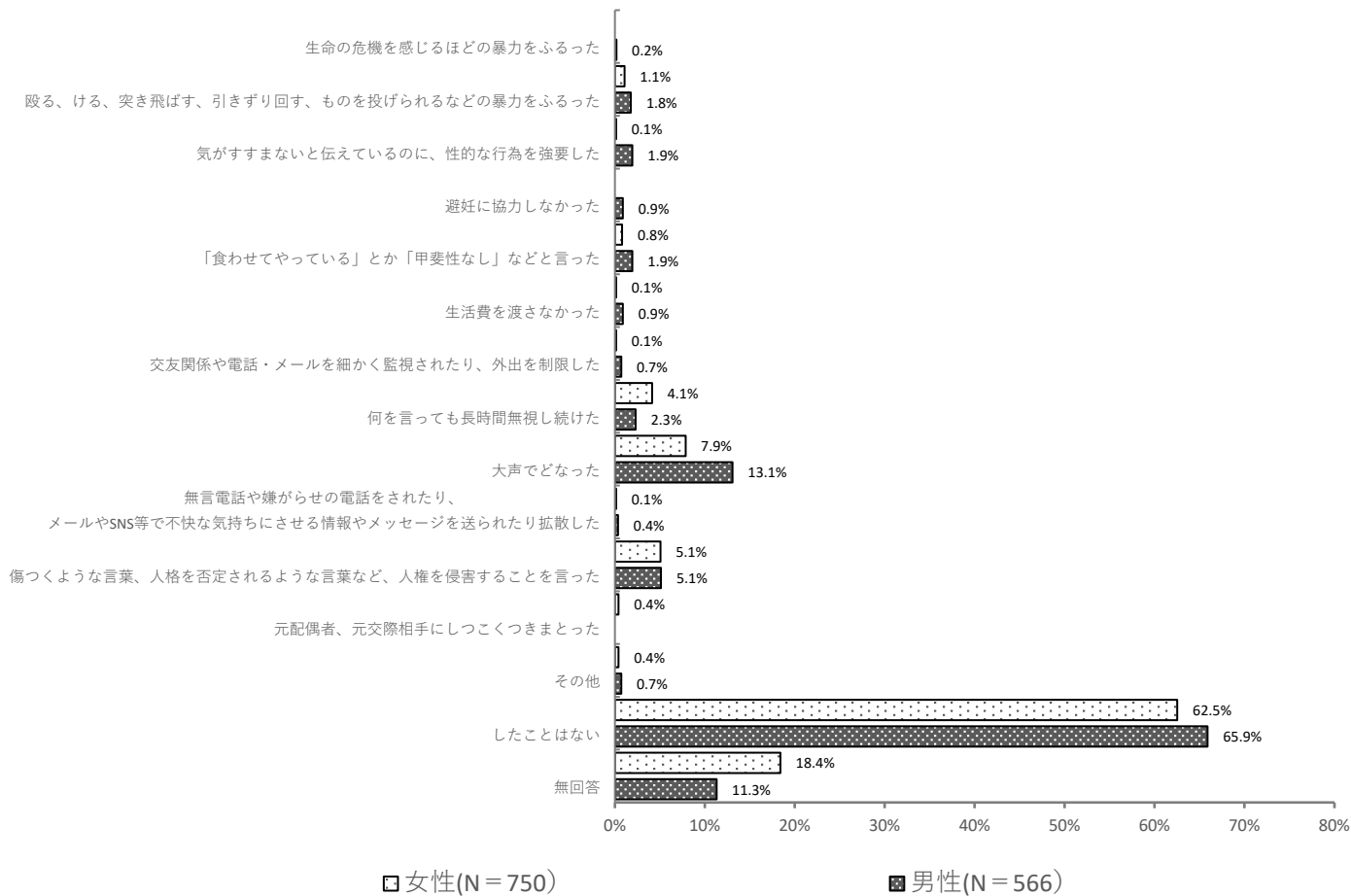
問18 (2)あなたがしたこと



(N=1,351)

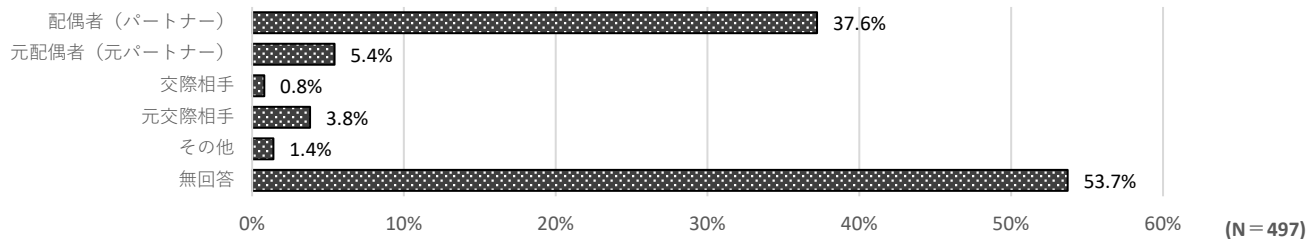
<性別>

問28 性別 × 問18 (2)あなたがしたこと



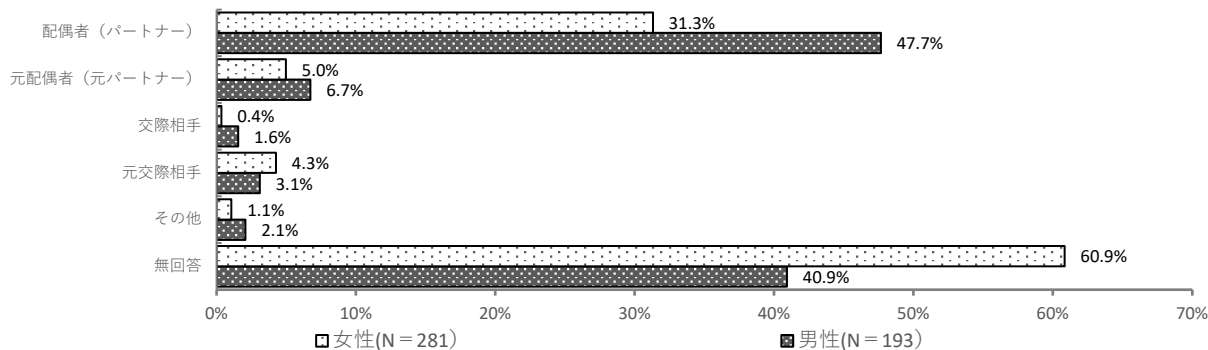
(した相手)

問18(2)あなたがした相手は誰ですか



<性別>

問28 性別 × 問18(2)あなたがした相手は誰ですか



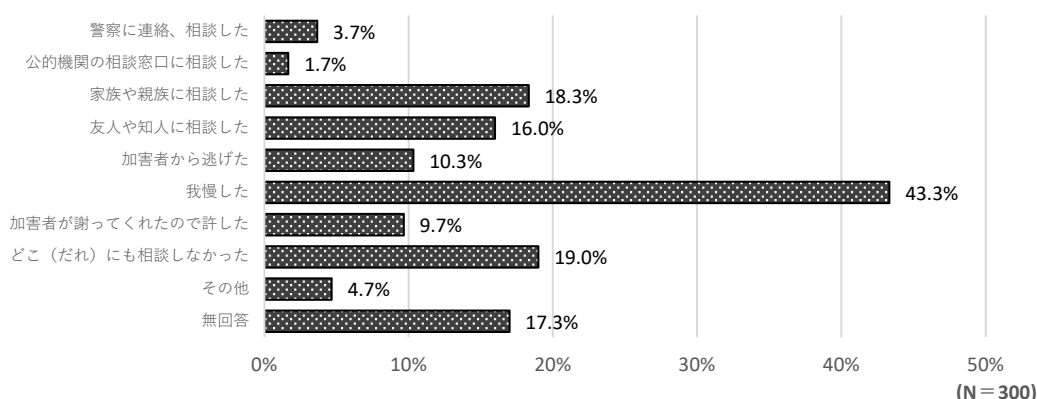
問 19 問 18 の (1) の行為を受けられた方にお尋ねします。そのような行為を受けられてどうしましたか。(〇はいくつでも)

「我慢した」が 43.3%と最も高く、次いで「どこ(だれ)にも相談しなかった」が 19.0%、「家族や親族に相談した」が 18.3%となっています。

性別では、女性の「我慢した」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「家族や親族に相談した」が 21.2%となっています。男性においても「我慢した」が 41.6%と最も高くなっており、そのほかの場合においては概ね 2 割以下となっています。

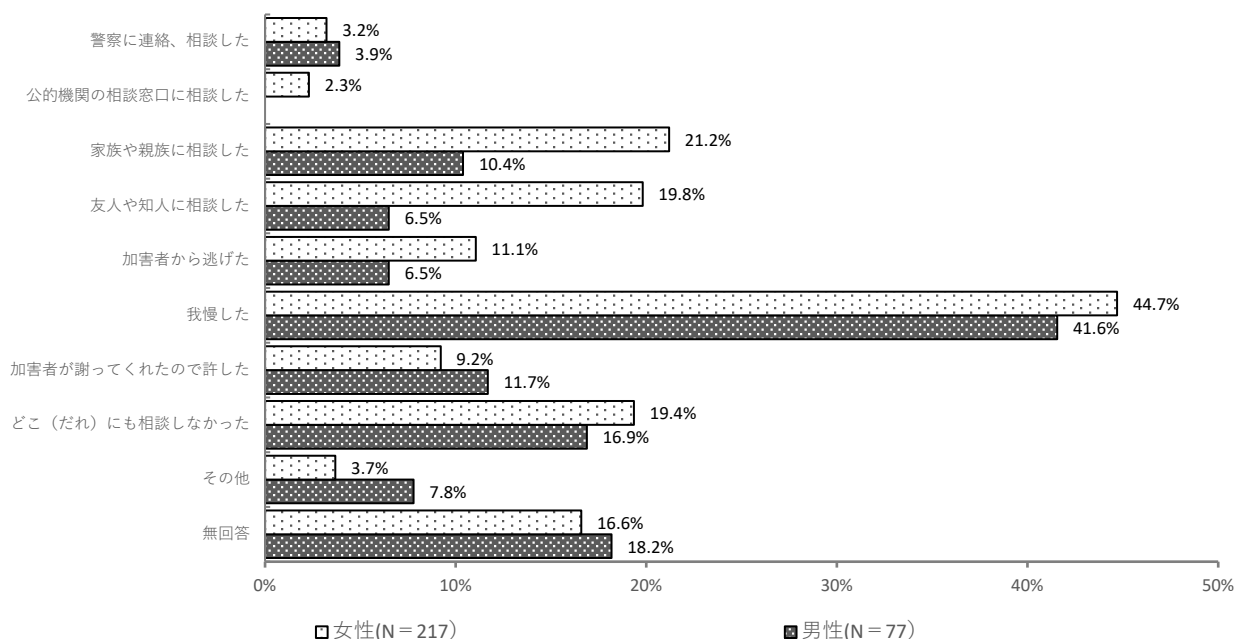
### <全体>

問19 そのような行為を受けられてどうしましたか。



### <性別>

問28 性別 × 問19 そのような行為を受けられてどうしましたか。



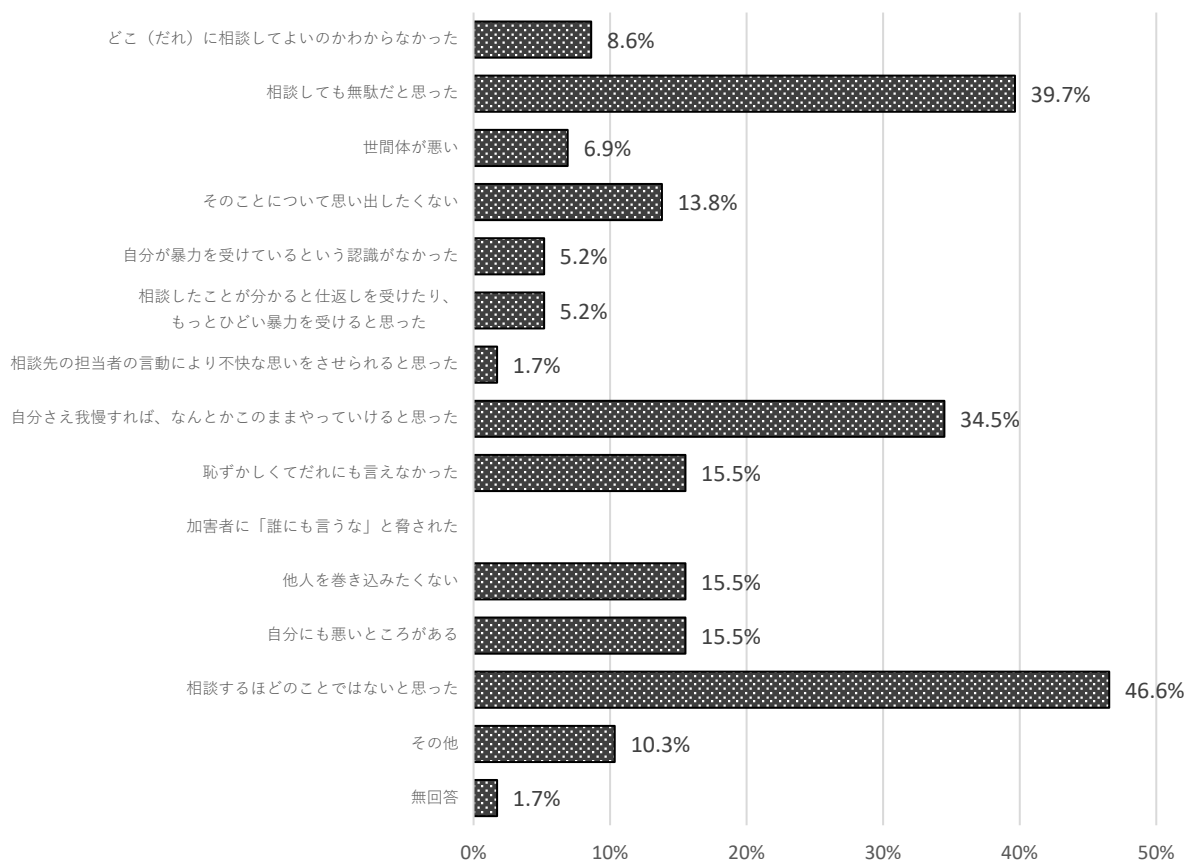
問 20 問 19で「8 どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えられた方にお尋ねします。あなたがどこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか。(〇はいくつでも)

「相談するほどのことではないと思った」が46.6%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思った」が39.7%となっています。

性別では、女性は「相談するほどのことではないと思った」が42.9%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思った」と「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った」が同じ38.1%となっています。男性では「相談しても無駄だと思った」と「相談するほどのことではないと思った」が同じ53.8%となっており、次いで「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った」が30.8%となっています。

### <全体>

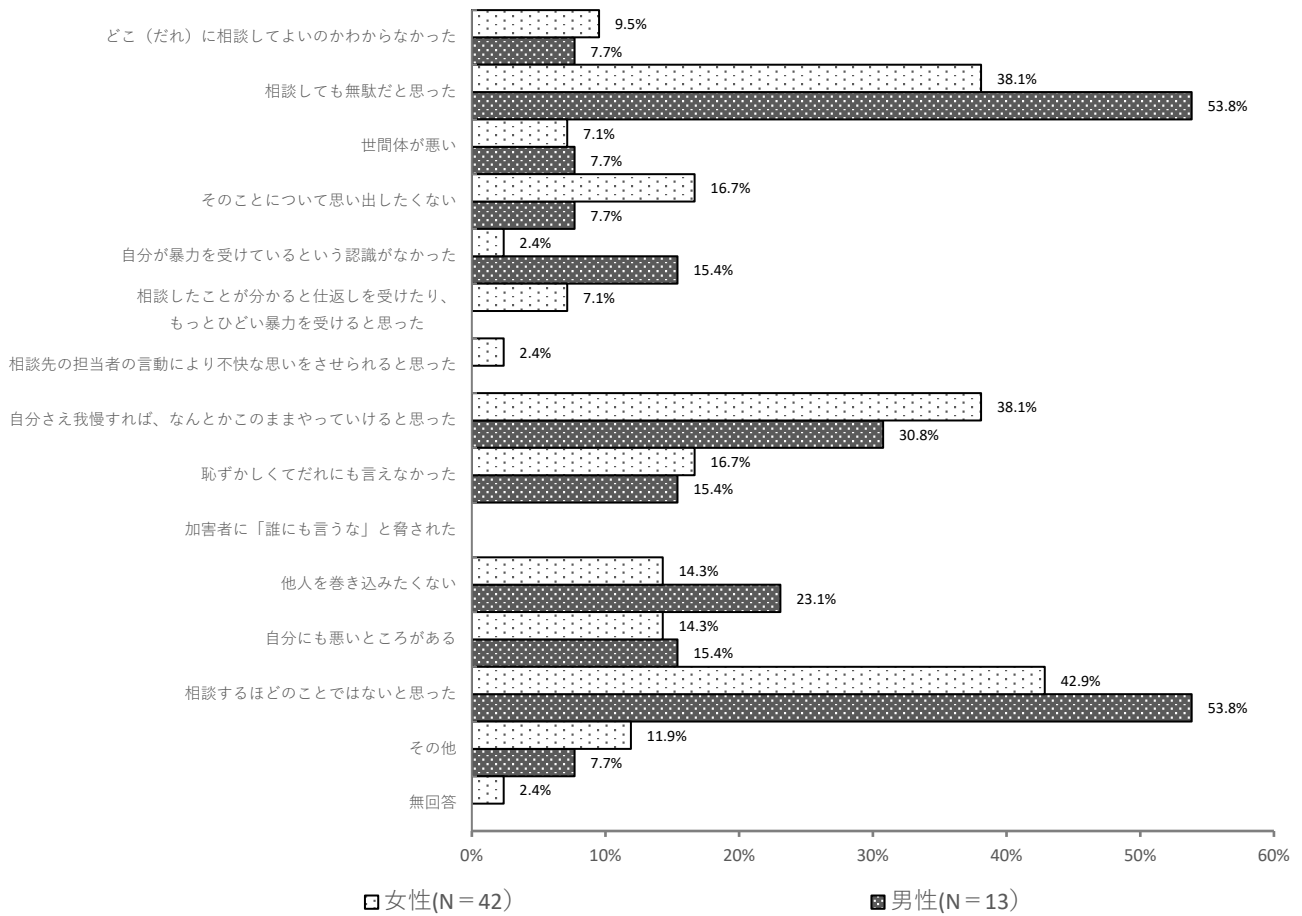
問20 あなたがどこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか。



(N = 58)

<性別>

問28 性別 × 問20 あなたがどこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか。

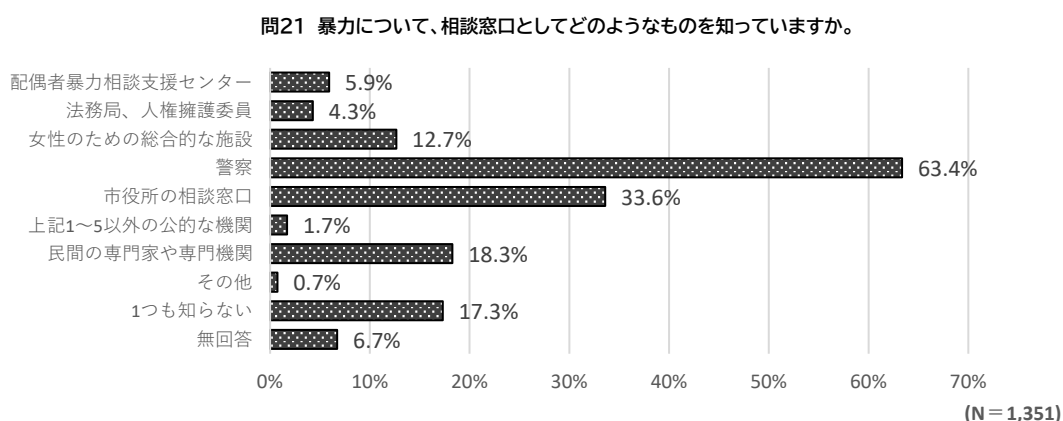


問21 すべての方にお尋ねします。

あなたは配偶者（パートナー）など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む）からの暴力（殴る、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力）について、相談窓口としてどのようなものを知っていますか。（〇はいくつでも）

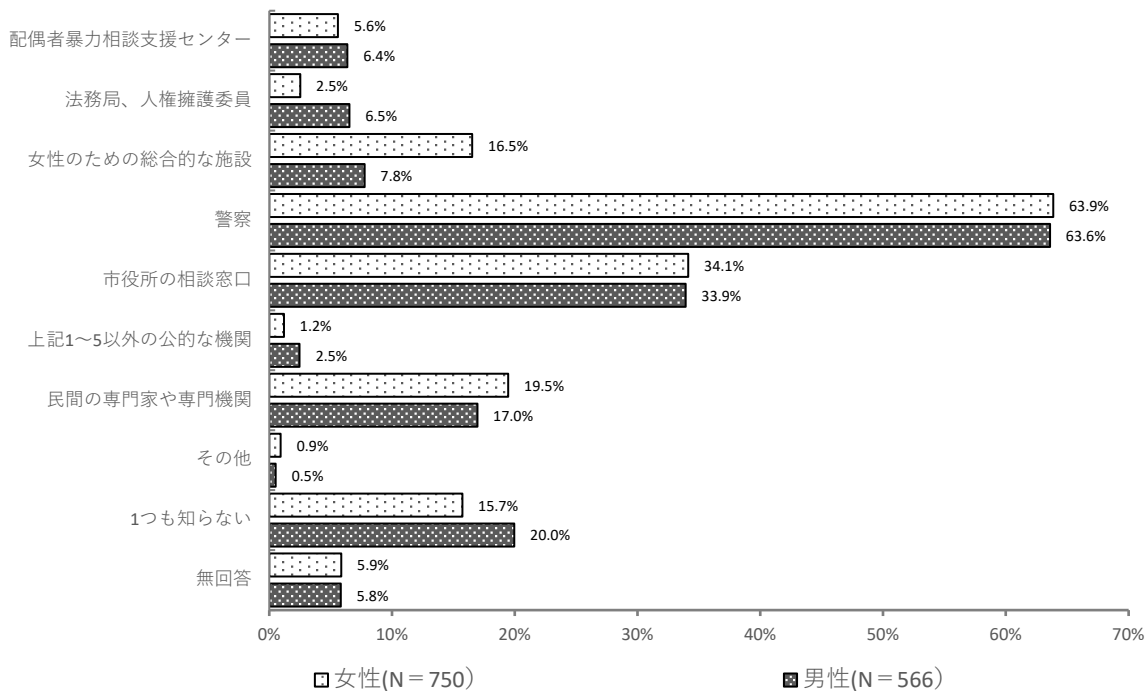
「警察」が63.4%と、ほかに比べて極めて高い割合となっています。次いで「市役所の相談窓口」で33.6%、「民間の専門家や専門機関（弁護士会、カウンセリング機関、民間シェルターなど）」が18.3%となっています。

<全体>



<性別>

問28 性別 × 問21 暴力について、相談窓口としてどのようなものを知っていますか。



問 22 配偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪など、暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

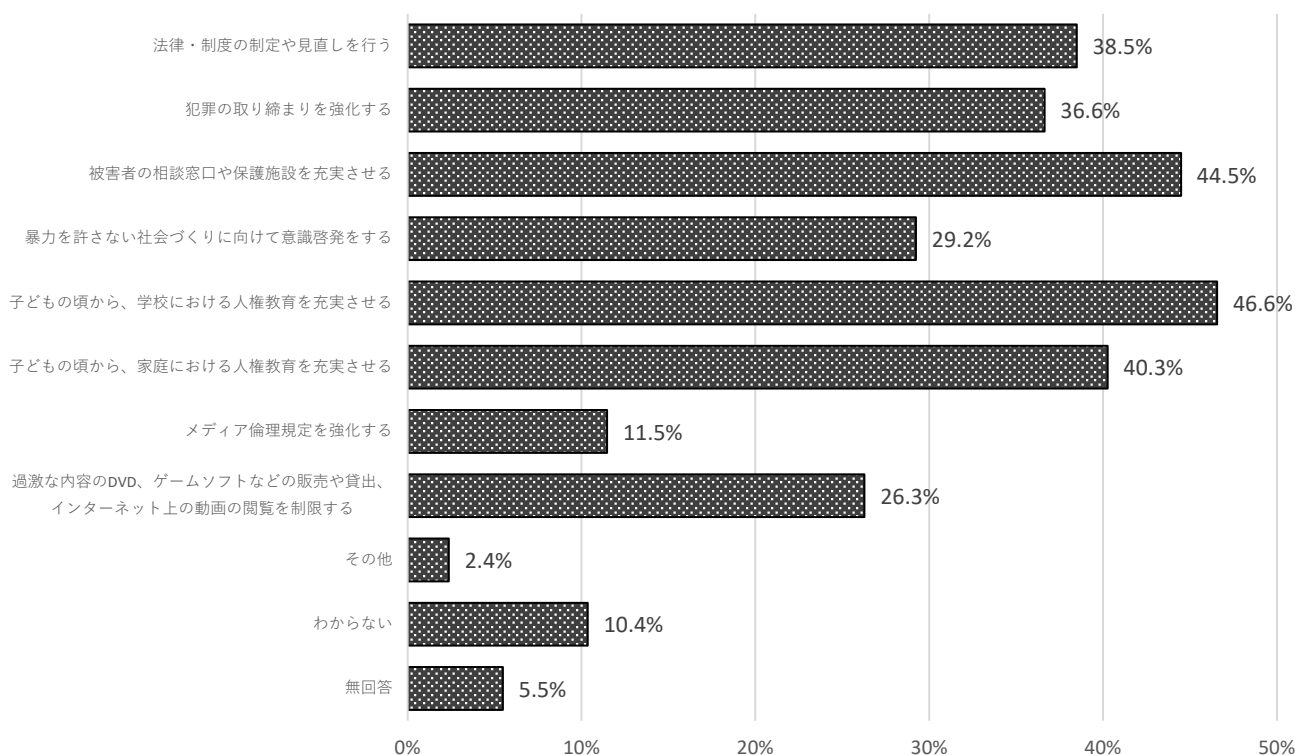
「子どもの頃から、学校における人権教育（男女平等、DV、からだと心を大切にすることについての教育など）を充実させる」が最も高く 46.6%となっています。次いで「被害者の相談窓口や保健施設を充実させる」が 44.5%、「子どもの頃から、家庭における人権教育（男女平等、DV、からだと心を大切にすることについての教育など）を充実させる」が 40.3%、「法律・制度の制定や見直しをおこなう」が 38.5%となっています。

性別では「過激な内容のビデオソフト、ゲームソフトなどの販売や貸出を制限する」では女性 32.0%に対して男性 19.6%と、女性が男性を大きく上回っています。

年代別で見ると、「被害者の相談窓口や保護施設を充実させる」について、60代が 59.7%と高い割合となっています。「犯罪の取り締まりを強化する」については 20代の割合が高く、またどの場合においても、10代の割合が5割を下回る結果となっております。

<全体>

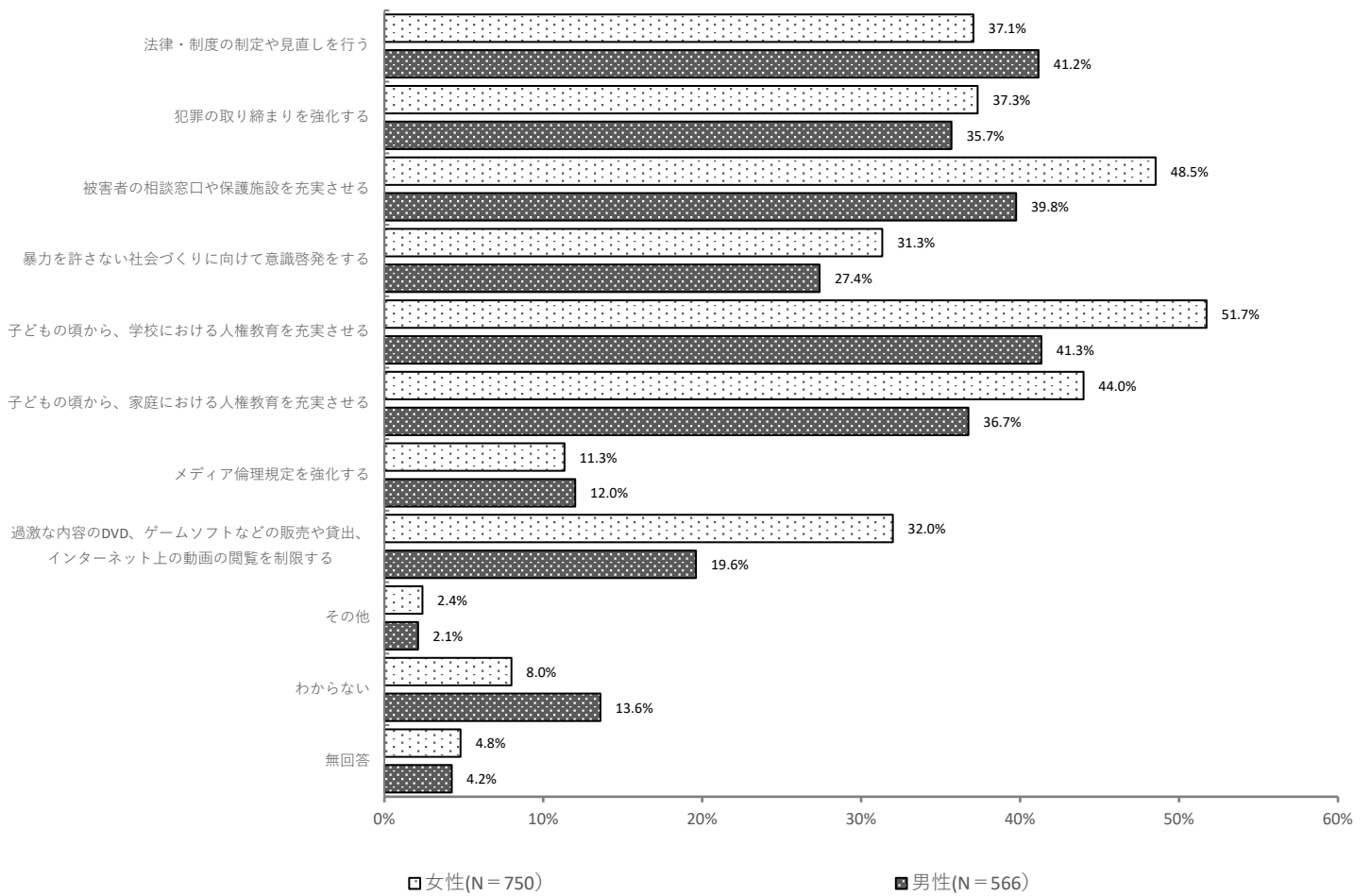
問22 暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。



(N = 1,351)

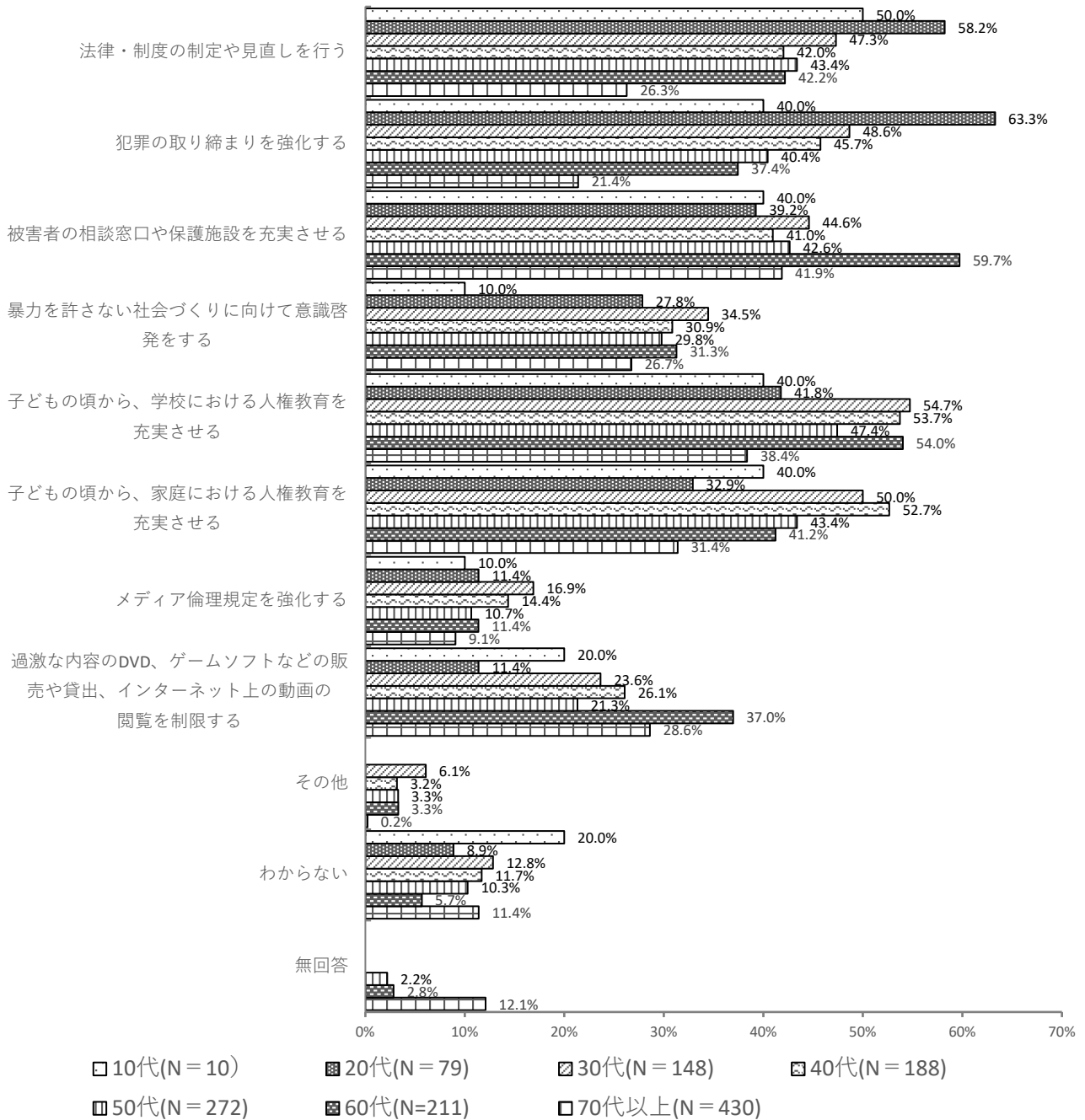
## <性別>

問28 性別 × 問22 暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。



## <年代別>

問27 年齢 × 問22 暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。



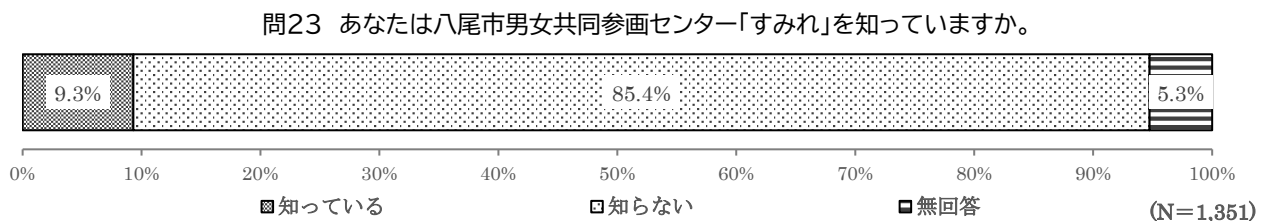
## G 男女共同参画社会づくりについて

問23 男女共同参画社会とは「男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会」と内閣府は定めています。男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習及び相談の場として、八尾市男女共同参画センター「すみれ」（八尾市立社会福祉会館2階）を設置しています。あなたは八尾男女市共同参画センター「すみれ」を知っていますか。（〇は1つ）

「知っている」は全体の9.3%で、女性は10.7%、男性は7.4%となっています。

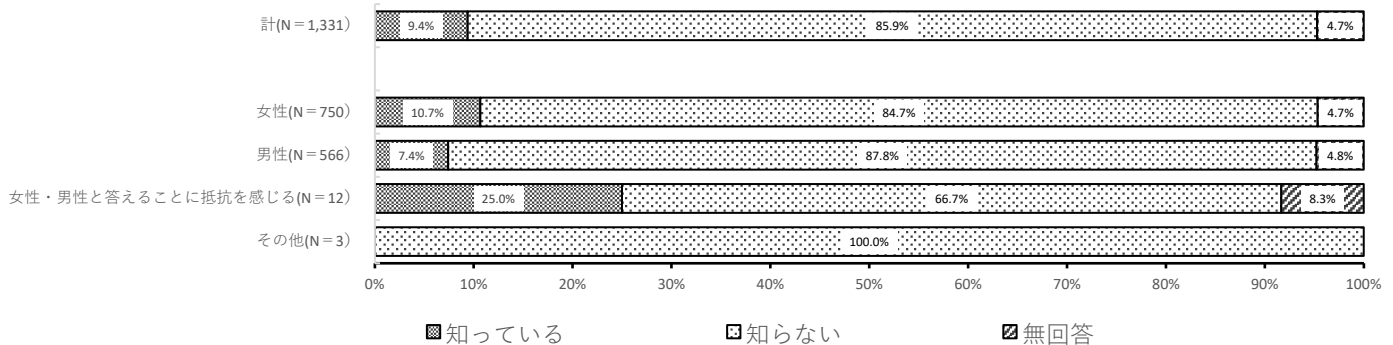
年代別では、10代の20.0%が「知っている」となっているほかは、他の年代で2割を下回っています。

### <全体>



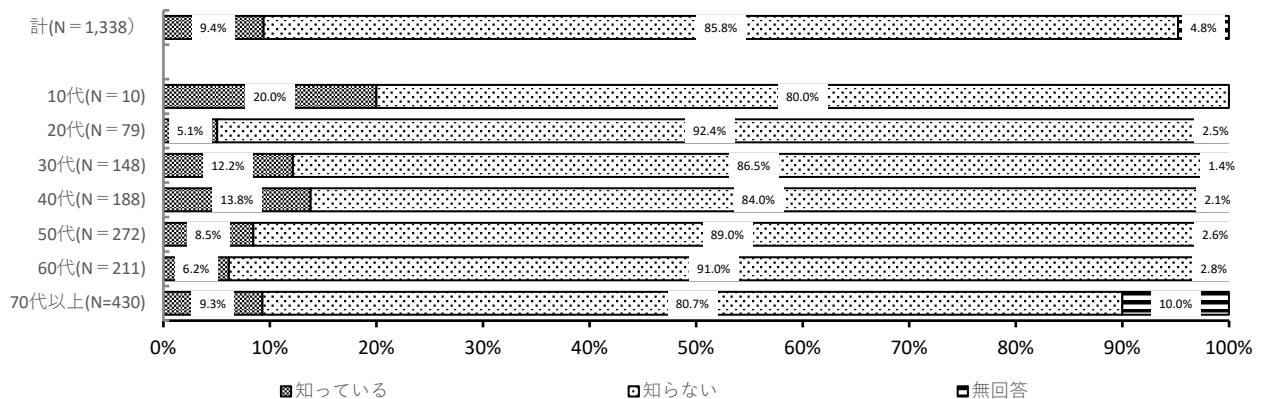
### <性別>

問28 性別 × 問23 あなたは八尾市男女共同参画センター「すみれ」を知っていますか。



### <年代別>

問28 年代別 × 問23 あなたは八尾市男女共同参画センター「すみれ」を知っていますか。



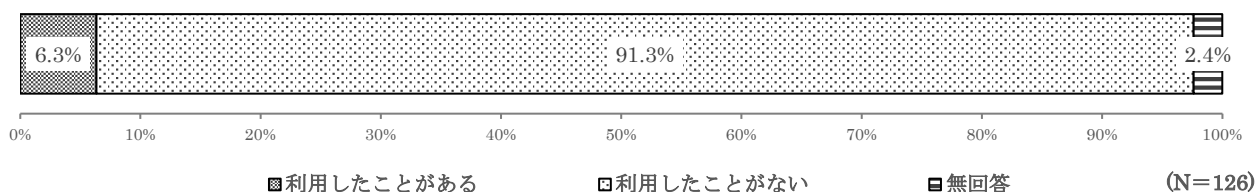
問23-1 問23で「1 知っている」と答えられた方にお尋ねします。八尾市男女共同参画センター「すみれ」を利用したことがありますか。(〇は1つ)

「利用したことがある」が6.3%で、女性の10.0%が「利用したことがある」となっているのに対して、男性は0%となっています。

年代別では、10代と20代の「利用したことがある」が0%となっています。30代以上の年代では利用したことがあり、50代の「利用したことがある」が8.7%と高い割合となっています。

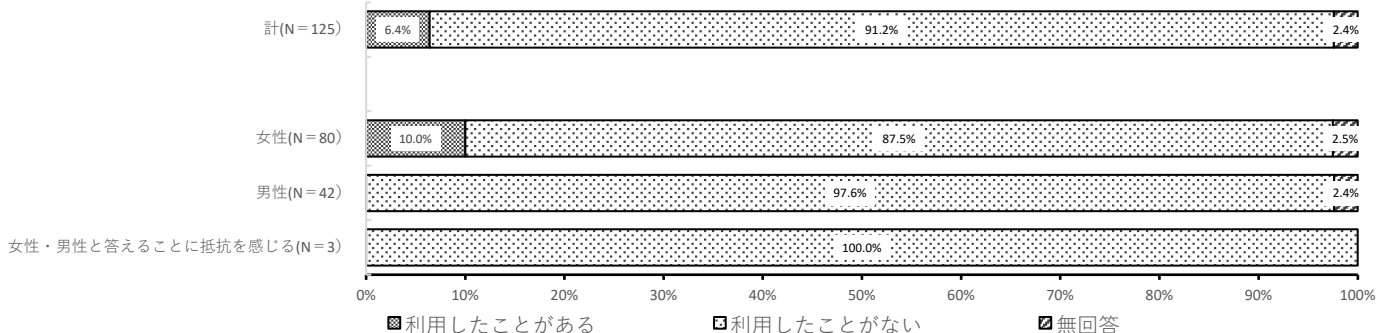
<全体>

問23-1 八尾市男女共同参画センター「すみれ」を利用したことがありますか。



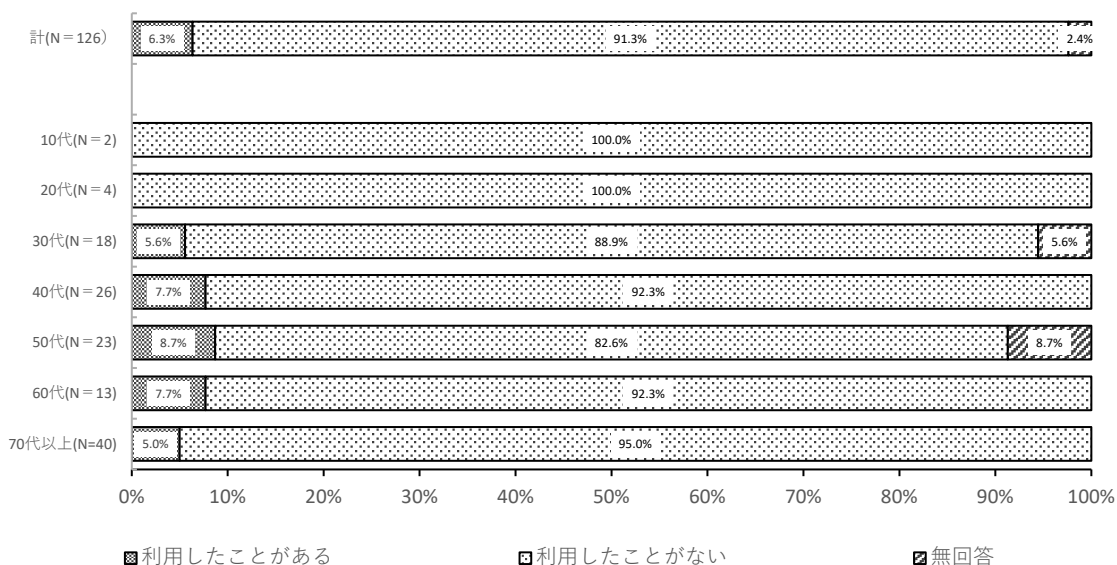
<性別>

問28 性別 × 問23-1 あなたは八尾市男女共同参画センター「すみれ」を利用したことがありますか。



<年代別>

問28 年代別 × 問23-1 あなたは八尾市男女共同参画センター「すみれ」を利用したことがありますか。



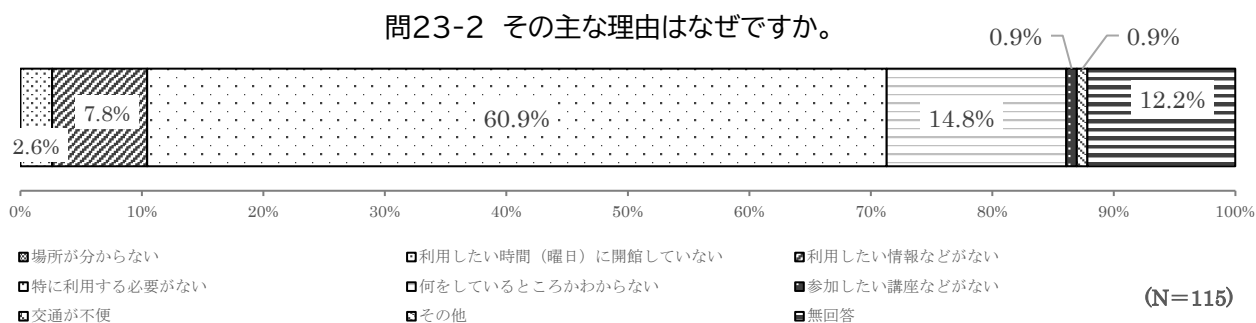
問 23-2 問 23-1 で「2. 利用したことがない」と答えられた方にお尋ねします。その主な理由はなぜですか。(〇は1つ)

「特に利用する必要がない」が 60.9%と最も高くなっています。次いで「何をしているところかわからない」が 14.8%となっています。

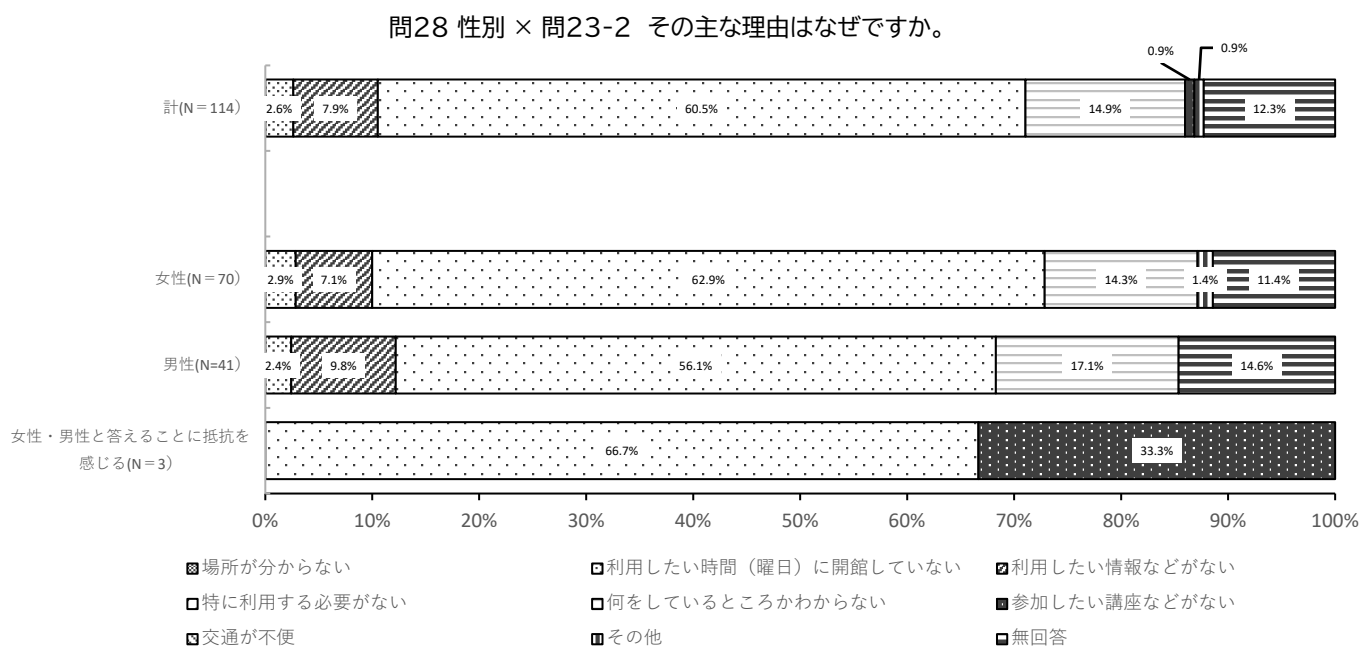
女性、男性ともに「特に利用する必要がない」が最も高く、それぞれ半数を上回っています。

年代別でも、「特に利用する必要がない」が全ての年代で最も高くなっています。「場所がわからない」、「交通が不便」は、どの年代でも0%となっています。「利用したい情報などがない」は70代以上が 15.8%で最も高くなっています。

### <全体>

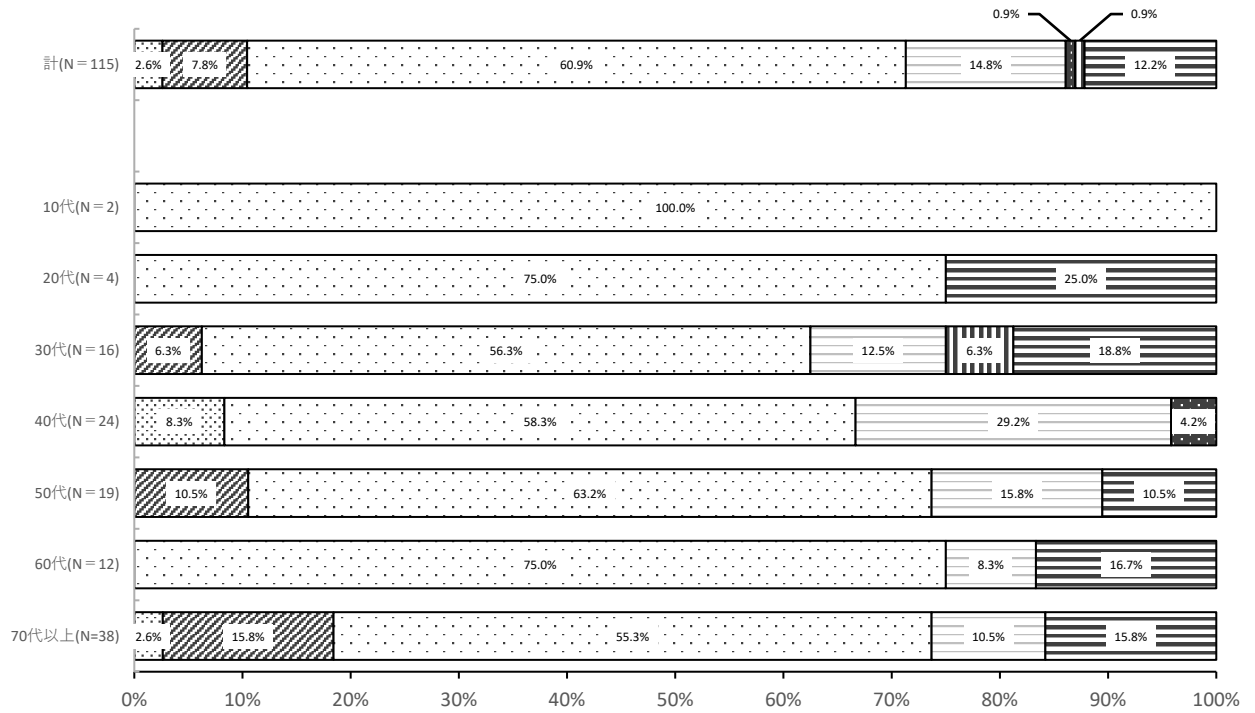


### <性別>



<年代別>

問28 年代別 × 問23-2 その主な理由はなぜですか。



- ☒ 場所が分からない
- ☐ 利用したい時間(曜日)に開館していない
- ☑ 利用したい情報がない
- ☐ 特に利用する必要がない
- ☐ 何をしているところかわからない
- ☑ 参加したい講座がない
- ☑ 交通が不便
- ☐ その他
- ☑ 無回答

問 24 男女共同参画を進めていく上で、行政（国・府・市）は、どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。（〇はいくつでも）

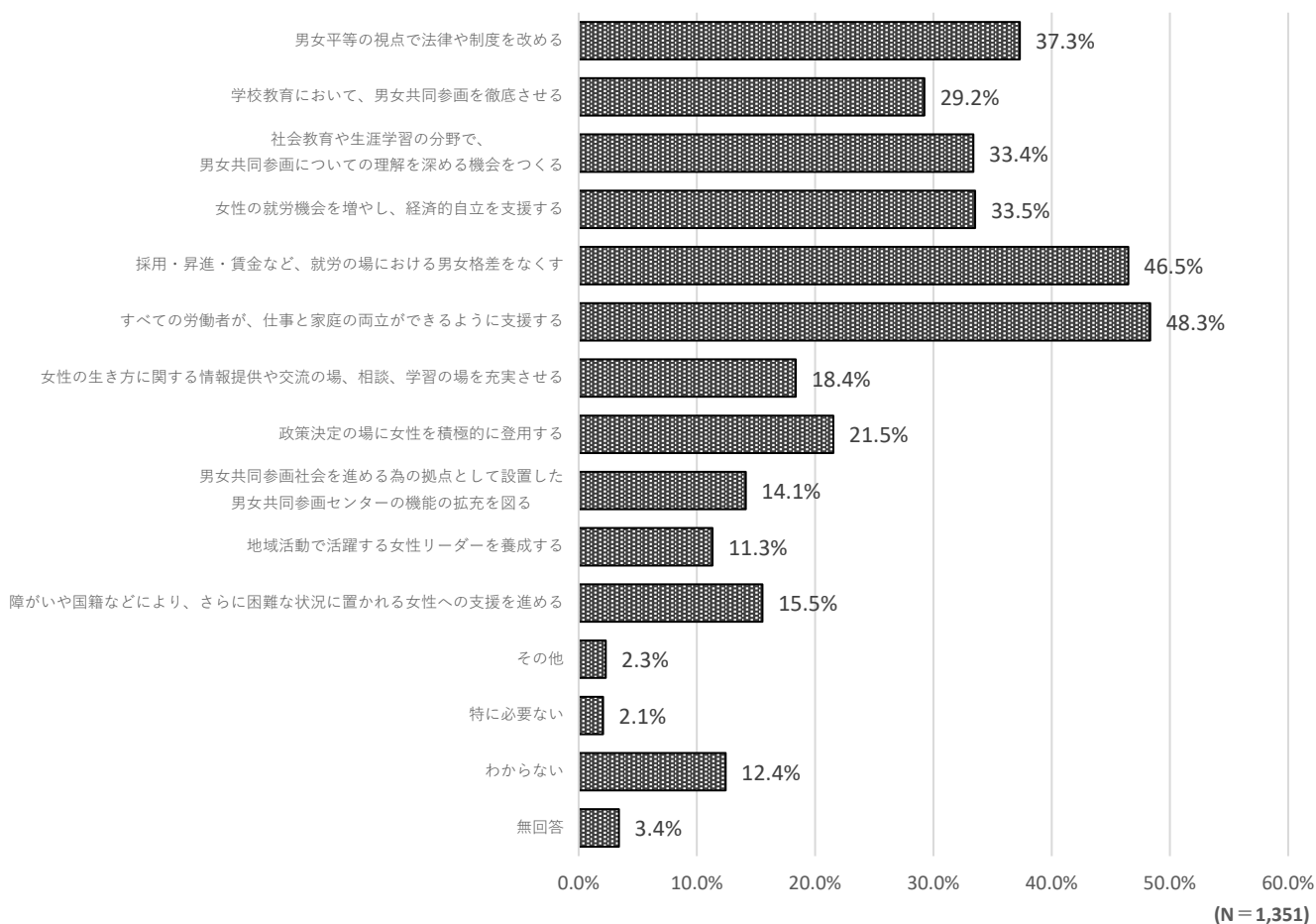
「すべての労働者が、仕事と家庭の両立ができるように支援する」が 48.3%と最も高く、次いで「採用・昇進・賃金など、就労の場における男女格差をなくす」が 46.5%となっています。

性別では、女性が「すべての労働者が、仕事と家庭の両立ができるように支援する」が 51.1%で、男性で 45.9%と最も高くなっています。

年代別では、「すべての労働者が、仕事と家庭の両立ができるように支援する」が、40代で 59.0%と高い割合となっています。また「採用・昇進・賃金など、就労の場における男女格差をなくす」では 30代の 60.8%が最も高くなっています。

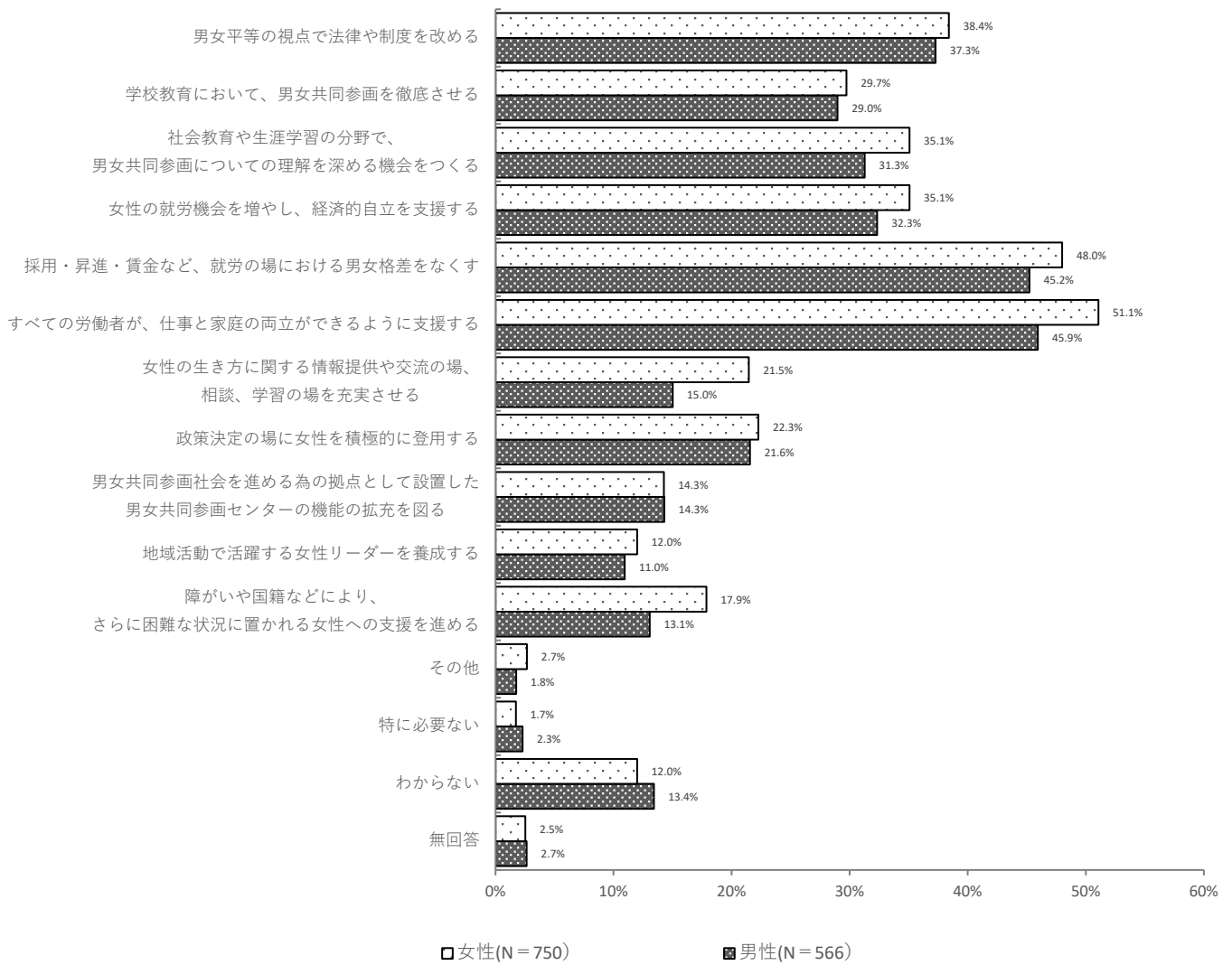
<全体>

問24 どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。



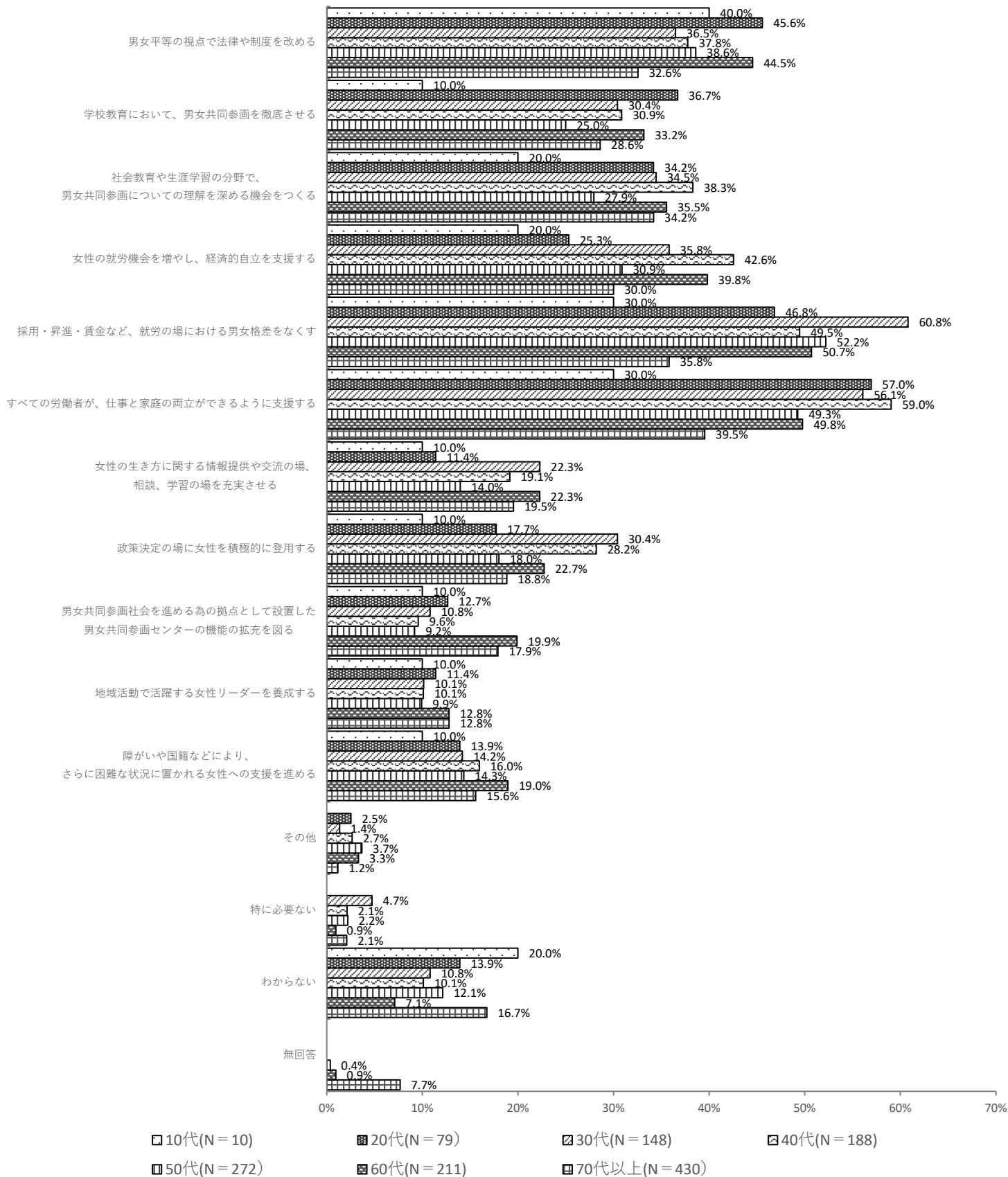
<性別>

問28 性別 × 問24 どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。



# <年代別>

問27 年齢 × 問24 どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。



問 25 男女共同参画を推進するための八尾市の次の①～⑩の取り組みについて、現在の満足度をお答えください。(①～⑩のそれぞれについて〇は1つ)

全ての項目について「どちらともいえない」が最も高くなっています。

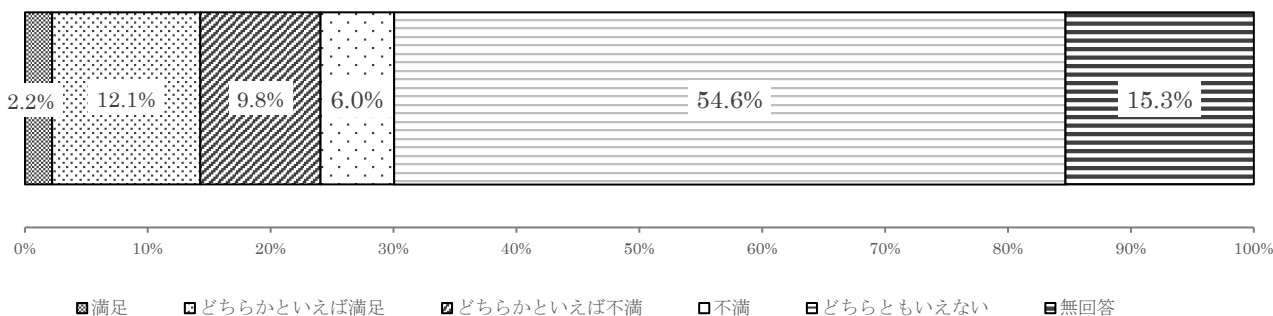
『ほぼ満足』(「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた値)では、「④生涯を通じた健康への支援」が23.3%と最も高く、次いで、「①ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の推進」が14.3%となっています。

『ほぼ不満』(「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた値)では、「⑥様々な困難を抱える人々への支援」が21.4%と最も高く、次いで「⑤女性に対するあらゆる暴力の根絶」が19.3%となっています。

### <全体>

#### ① ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の推進

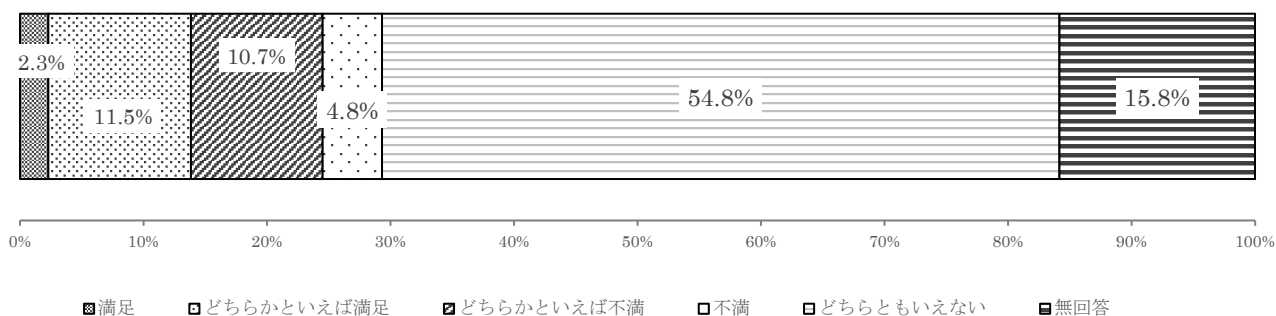
問25 ①ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の推進



(N=1,351)

#### ② あらゆる分野への女性の参画推進

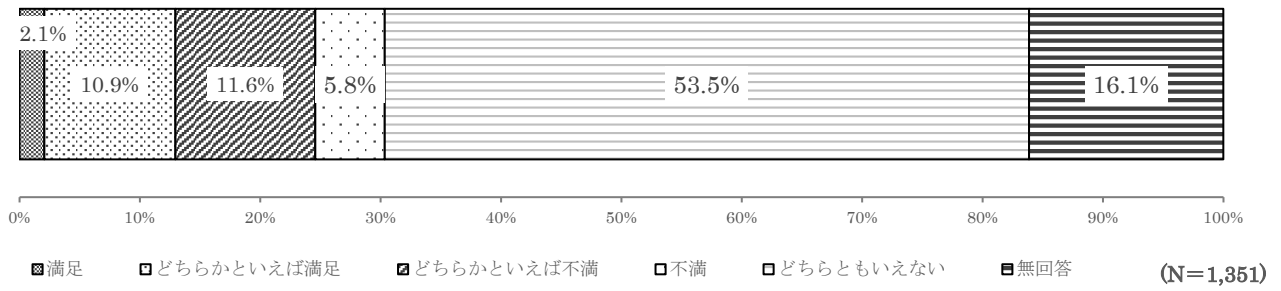
問25 ②あらゆる分野への女性の参画推進



(N=1,351)

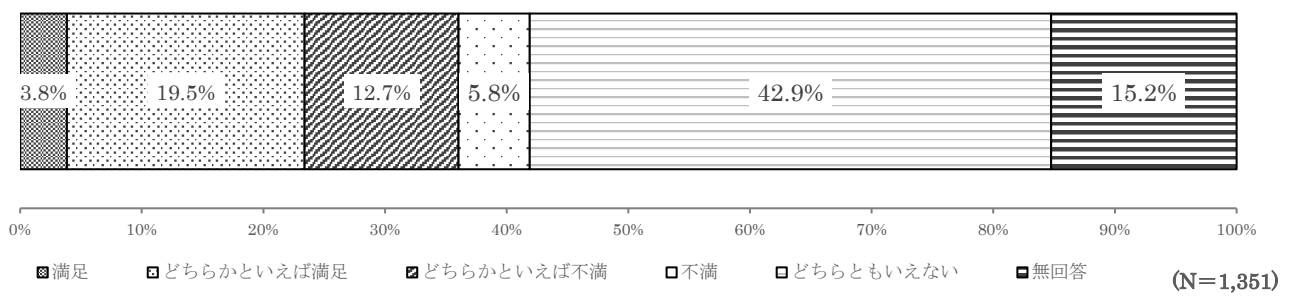
③ 女性の職業生活における活躍支援

問25 ③女性の職業生活における活躍支援



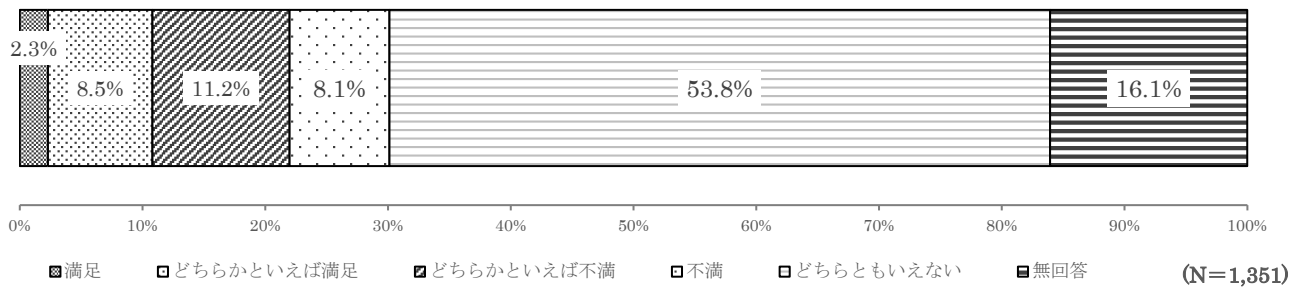
④ 生涯を通じた健康への支援

問25 ④生涯を通じた健康への支援



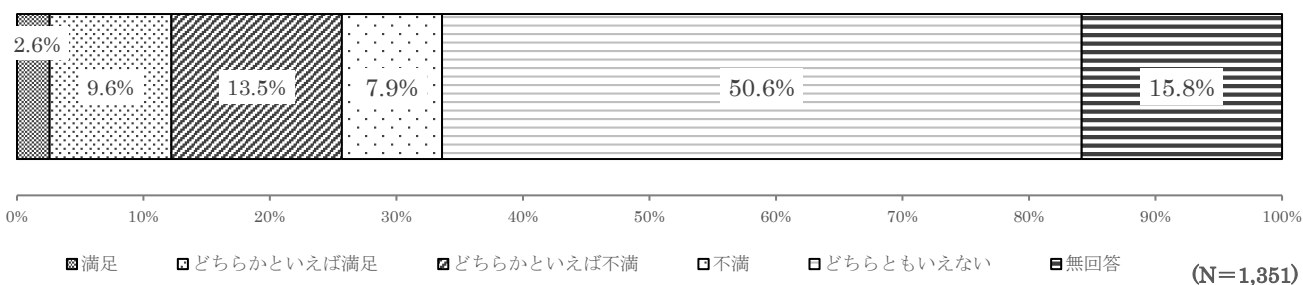
⑤ 女性に対するあらゆる暴力の根絶

問25 ⑤女性に対するあらゆる暴力の根絶



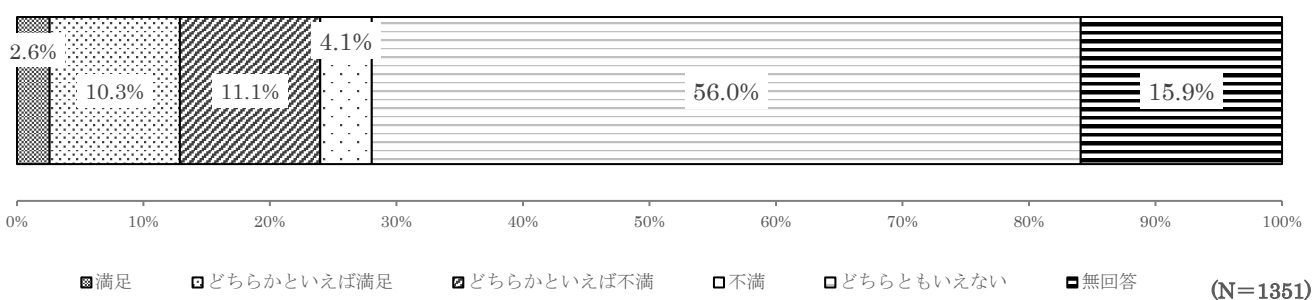
⑥ 様々な困難を抱える人々への支援

問25 ⑥様々な困難を抱える人々への支援



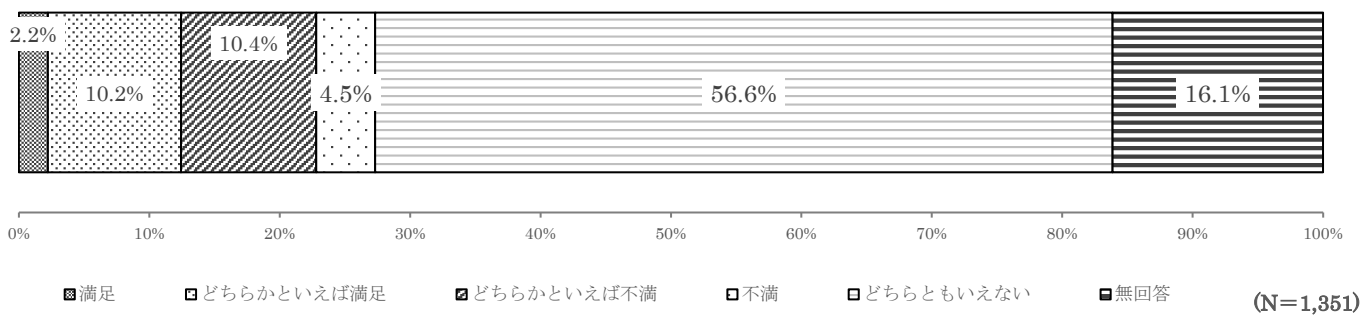
⑦ 子どもの頃からの男女共同参画意識を育てる

問25 ⑦子どもの頃から男女共同参画意識を育てる



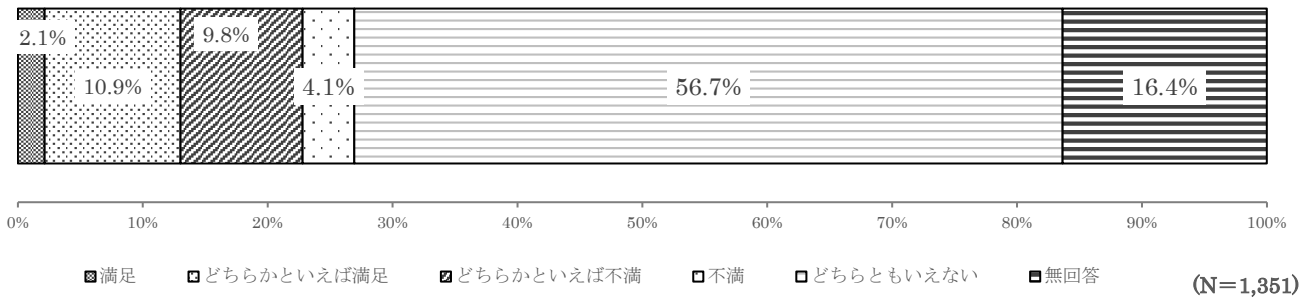
⑧ 様々な分野への男女共同参画の意識啓発

問25 ⑧様々な分野への男女共同参画の意識啓発



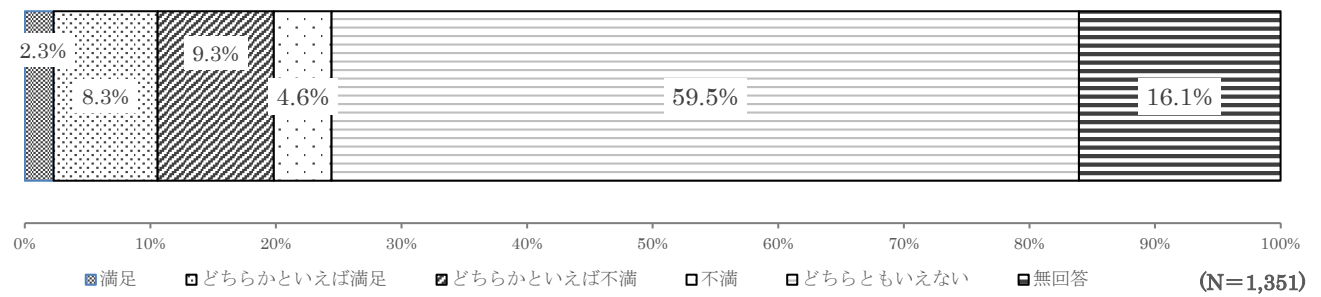
⑨ 地域における男女共同参画の推進

問25 ⑨地域における男女共同参画の推進



⑩ 男女共同参画推進の拠点施設の充実

問25 ⑩男女共同参画推進の拠点施設の充実



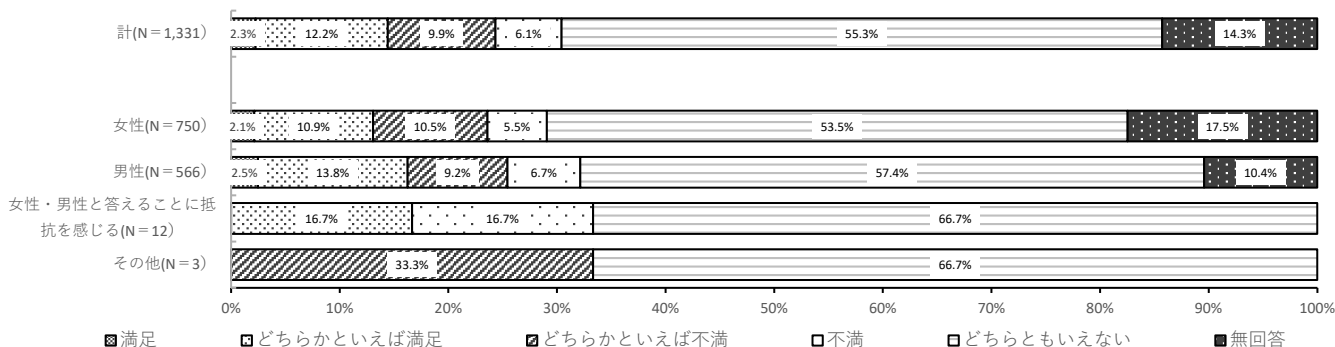
## <性別>

『ほぼ満足』については、「④ 生涯を通じた健康への支援」について、女性は 25.6%なのに対して、男性は 21.4%と、女性が男性を上回っています。

『ほぼ不満』については、「⑥ 様々な困難を抱える人々への支援」の男性が 22.7%、女性は 20.8%と男性が女性を上回っております。

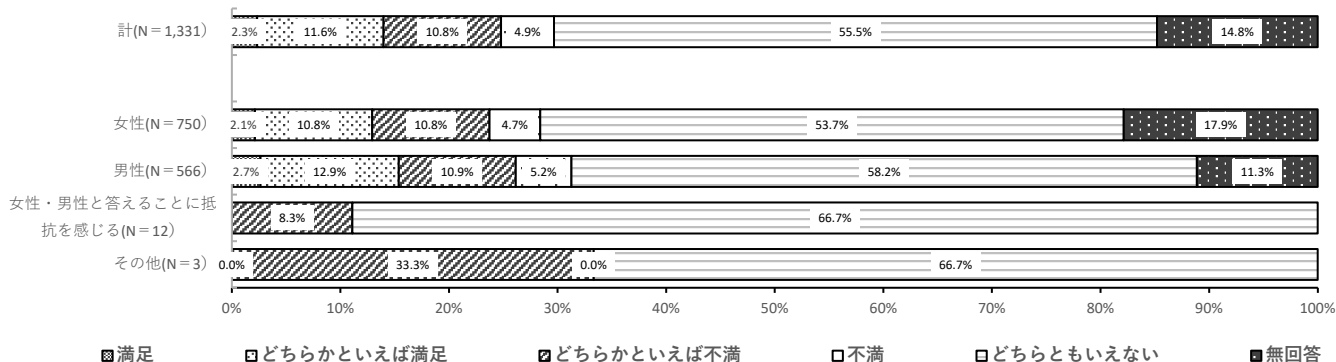
### ① ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進

問28 性別 × 問25 ①ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の推進



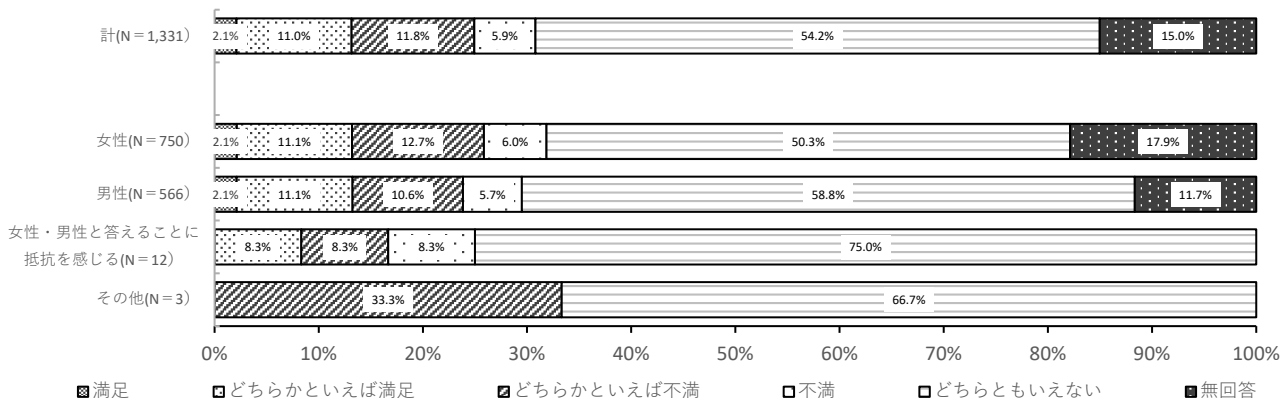
### ② あらゆる分野への女性の参画推進

問28 性別 × 問25 ②あらゆる分野への女性の参画推進



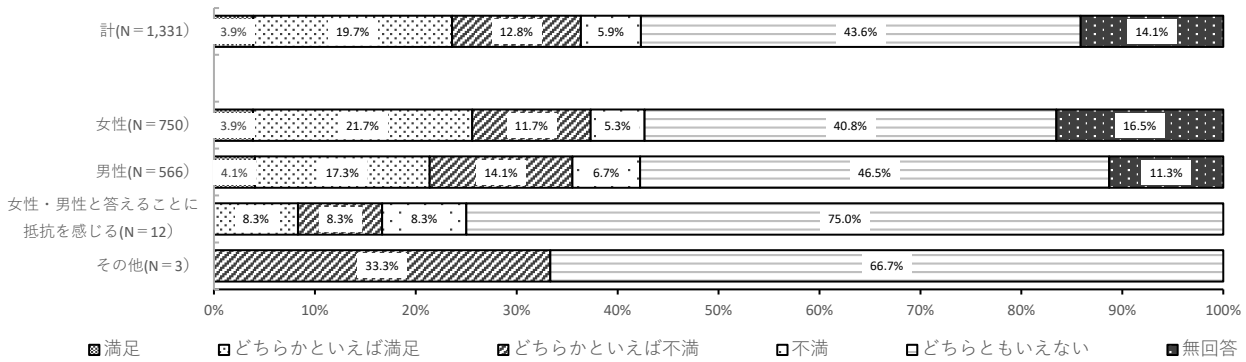
### ③ 女性の職業生活における活躍支援

問28 性別 × 問25 ③女性の職業生活における活躍支援



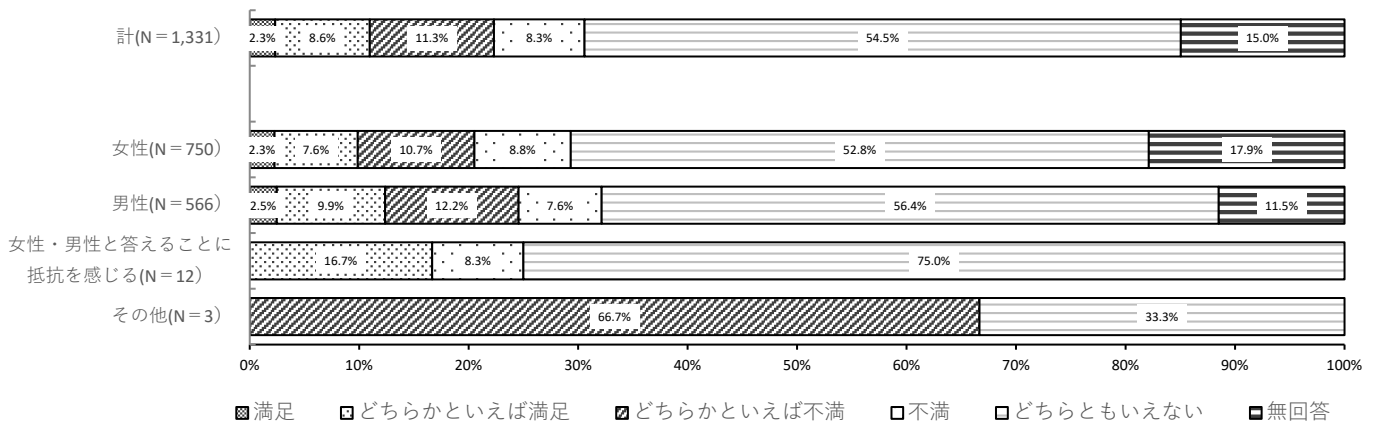
#### ④ 生涯を通じた健康への支援

問28 性別 × 問25 ④生涯を通じた健康への支援



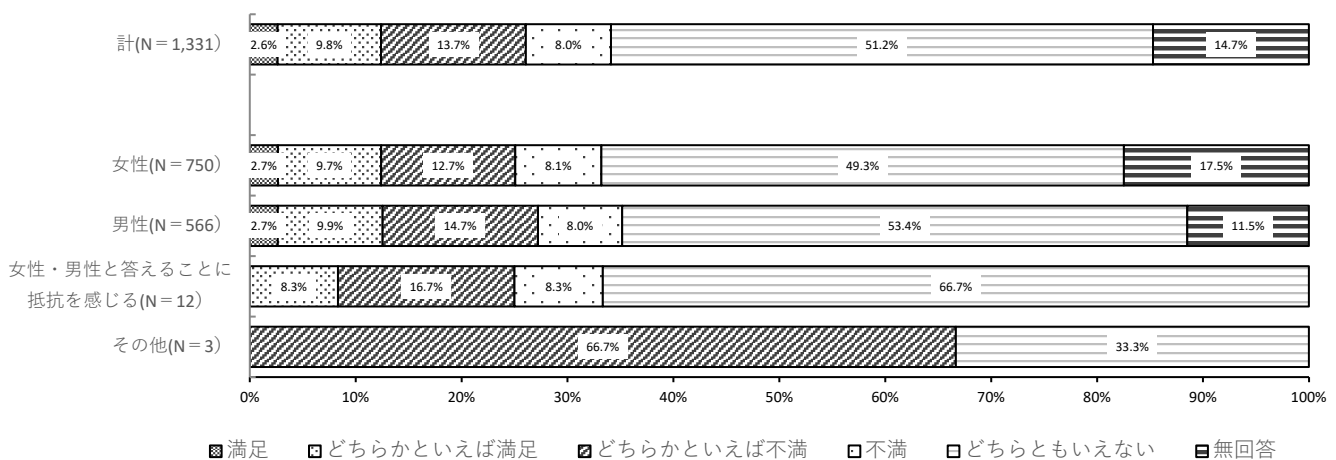
#### ⑤ 女性に対するあらゆる暴力の根絶

問28 性別 × 問25 ⑤女性に対するあらゆる暴力の根絶



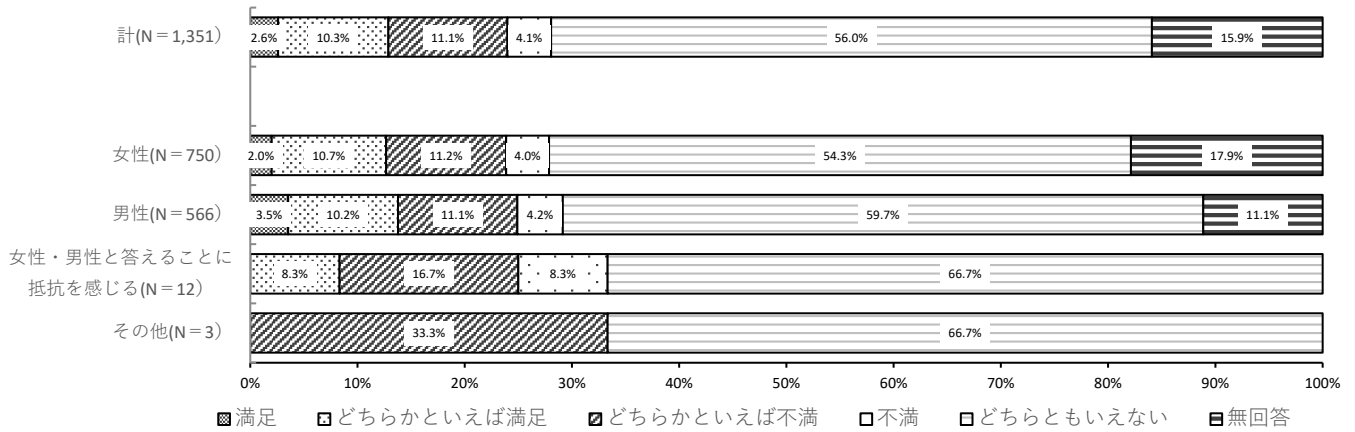
#### ⑥ 様々な困難を抱える人々への支援

問28 性別 × 問25 ⑥様々な困難を抱える人々への支援



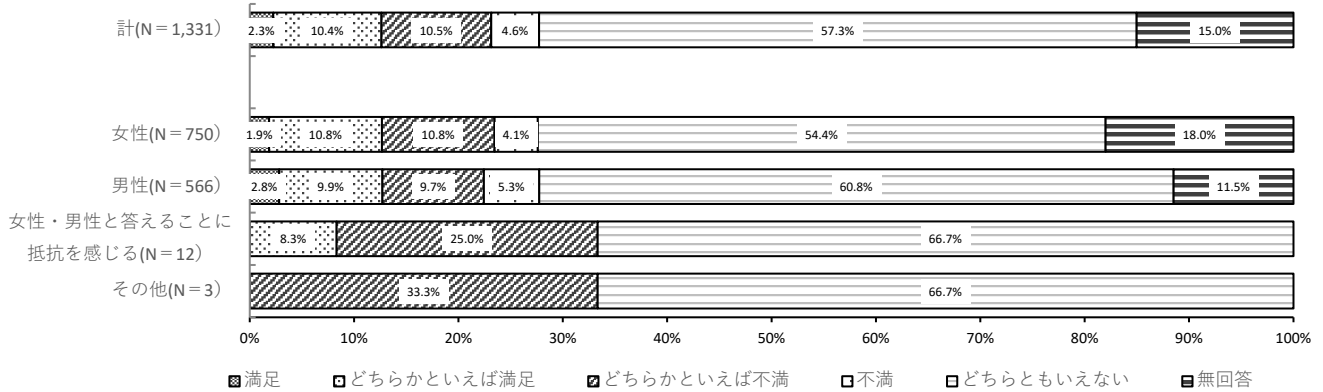
⑦ 子どもの頃から男女共同参画意識を育てる

問28 性別 × 問25 ⑦子どもの頃から男女共同参画意識を育てる



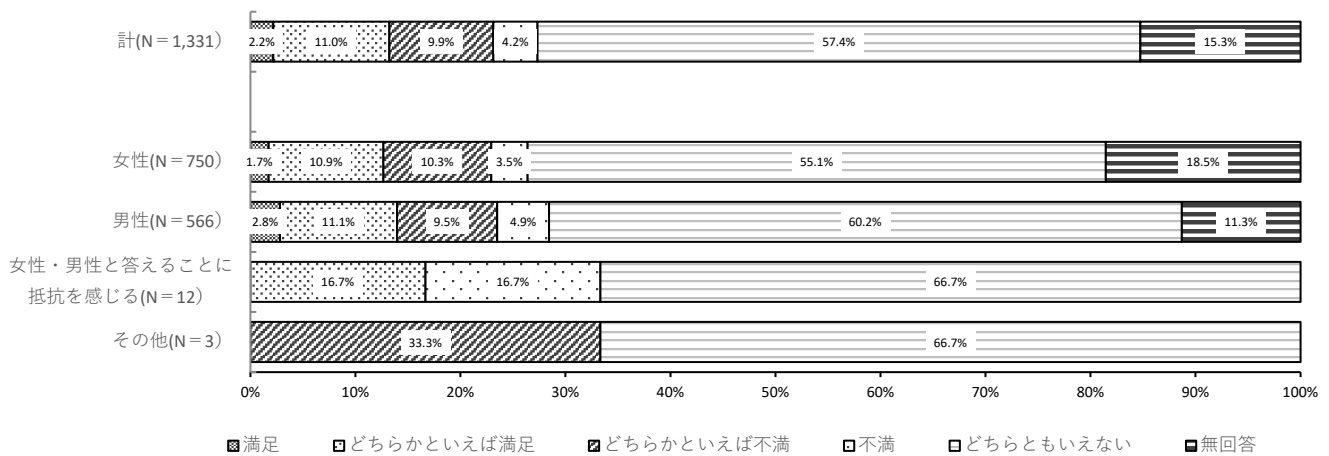
⑧ 様々な分野への男女共同参画の意識啓発

問28 性別 × 問25 ⑧様々な分野への男女共同参画の意識啓発



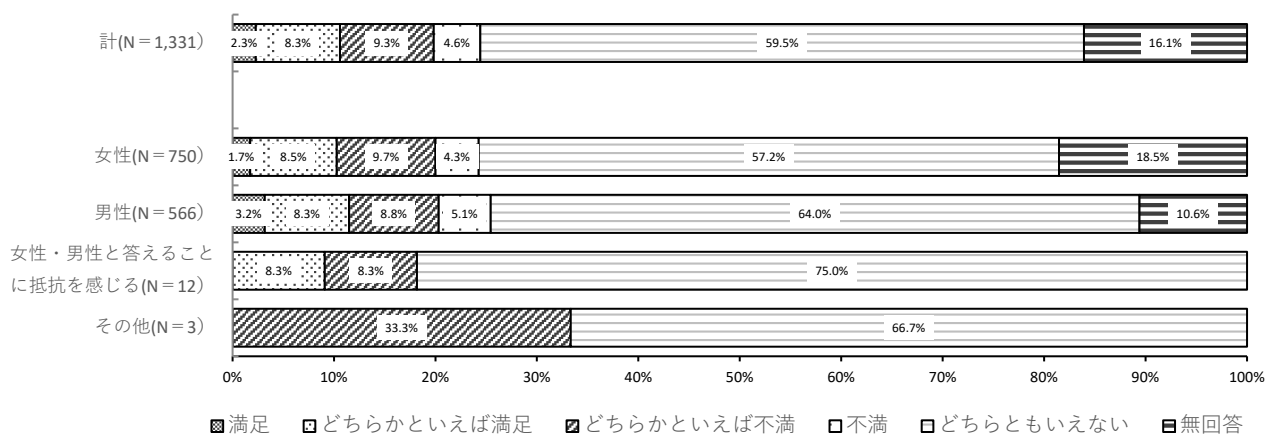
⑨ 地域における男女共同参画の推進

問28 性別 × 問25 ⑨地域における男女共同参画の推進



⑩ 男女共同参画推進の拠点施設の充実

問28 性別 × 問25 ⑩男女共同参画推進の拠点施設の充実



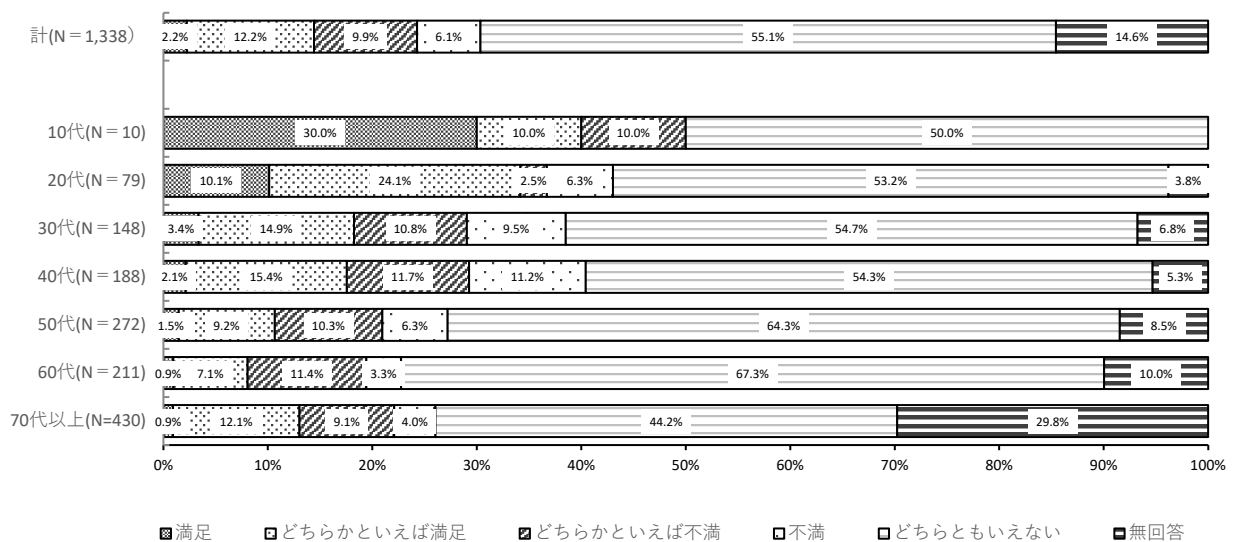
## <年代別>

全体では、『ほぼ満足』について最も高い割合となっている「④ 生涯を通じた健康への支援」で、10代が60.0%と最も高くなっています。

一方で『ほぼ不満』の割合の高かった「⑥ 様々な困難を抱える人々への支援」では、60代で28.4%と『ほぼ不満』の割合が最も高くなっております。

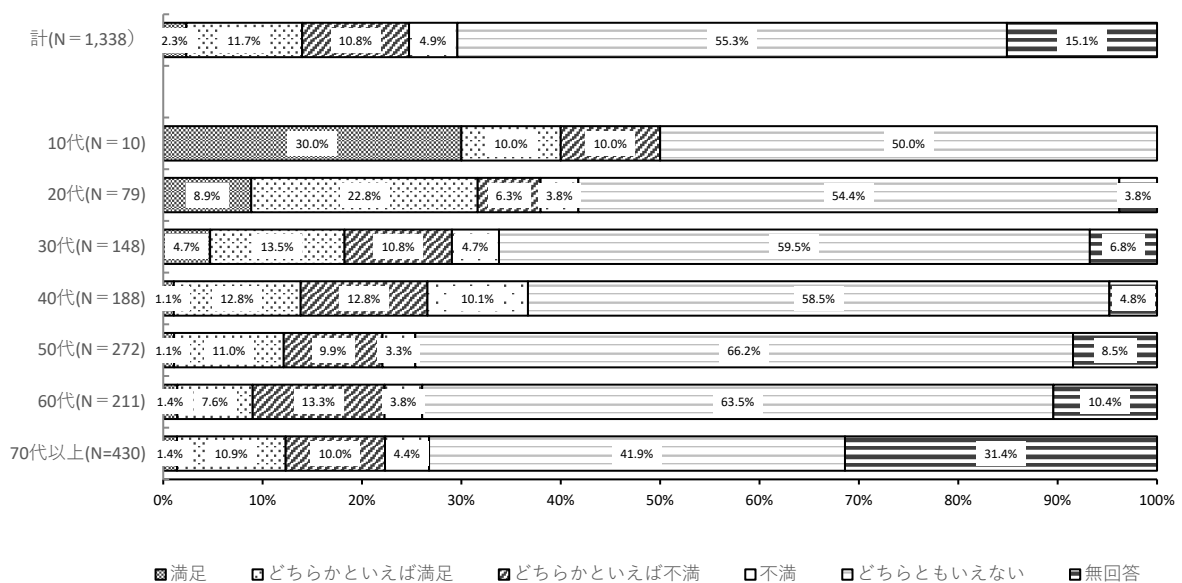
### ① ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進

問28 年代別 × 問25 ①ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の推進



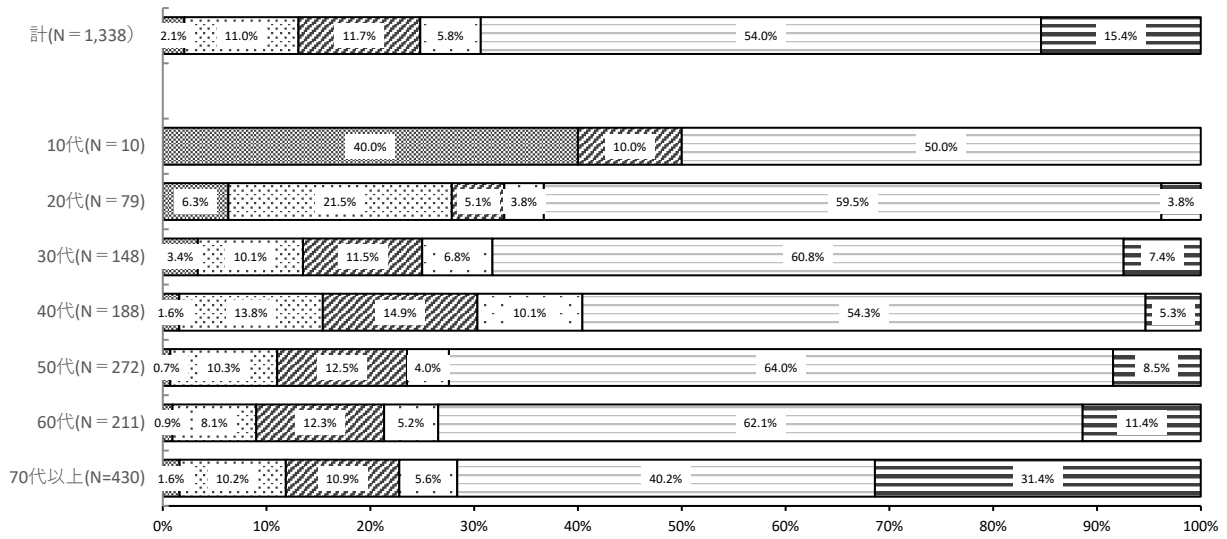
### ② あらゆる分野への女性の参画推進

問28 年代別 × 問25 ②あらゆる分野への女性の参画推進



### ③ 女性の職業生活における活躍支援

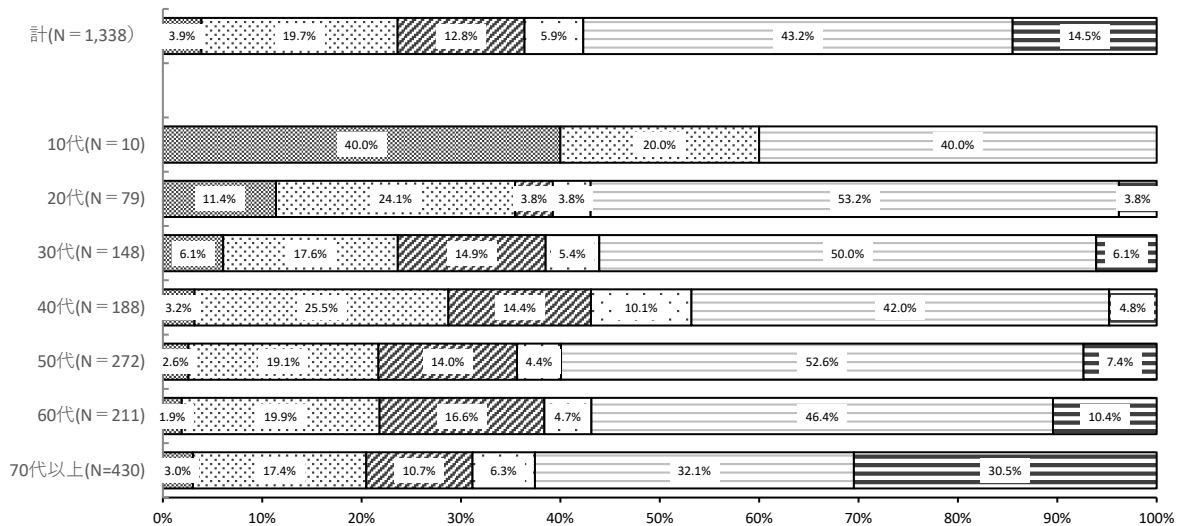
問28 年代別 × 問25 ③女性の職業生活における活躍支援



■ 満足 ■ どちらかといえば満足 ■ どちらかといえば不満 □ 不満 □ どちらともいえない ■ 無回答

### ④ 生涯を通じた健康への支援

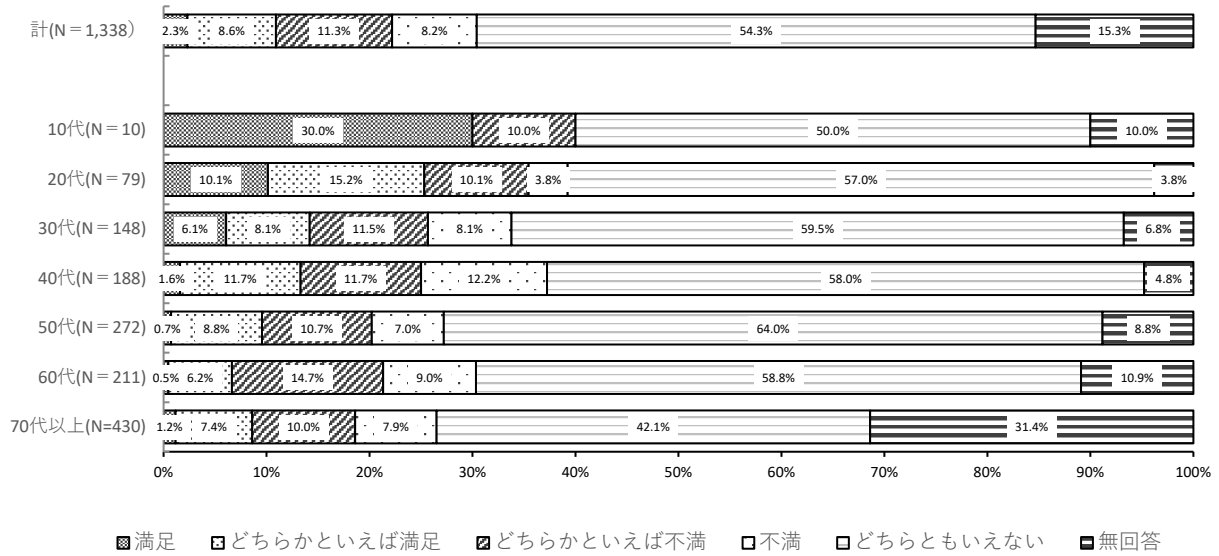
問28 年代別 × 問25 ④生涯を通じた健康への支援



■ 満足 ■ どちらかといえば満足 ■ どちらかといえば不満 □ 不満 □ どちらともいえない ■ 無回答

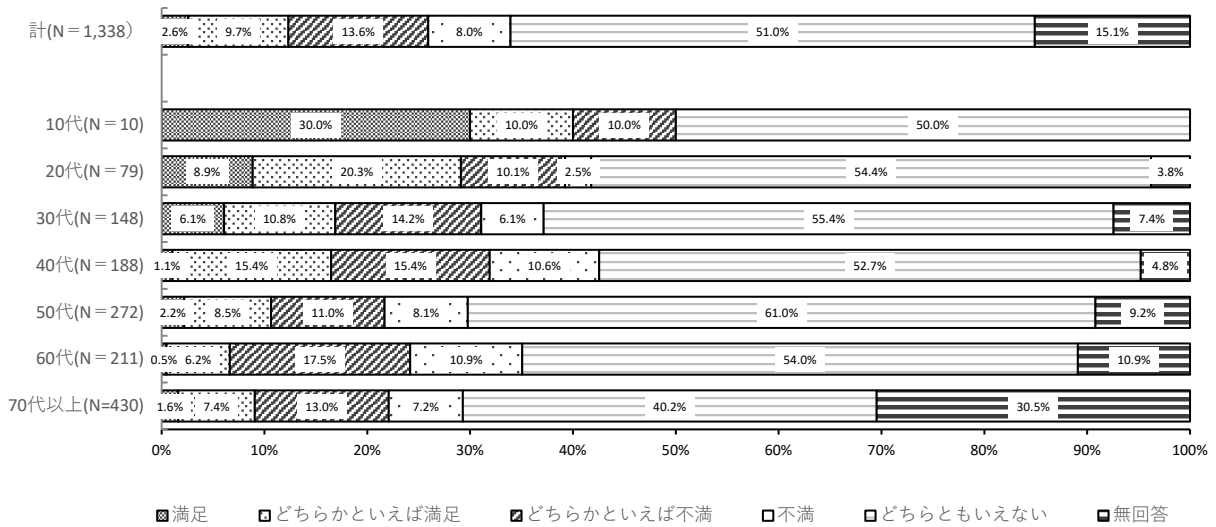
⑤ 女性に対するあらゆる暴力の根絶

問28 年代別 × 問25 ⑤女性に対するあらゆる暴力の根絶



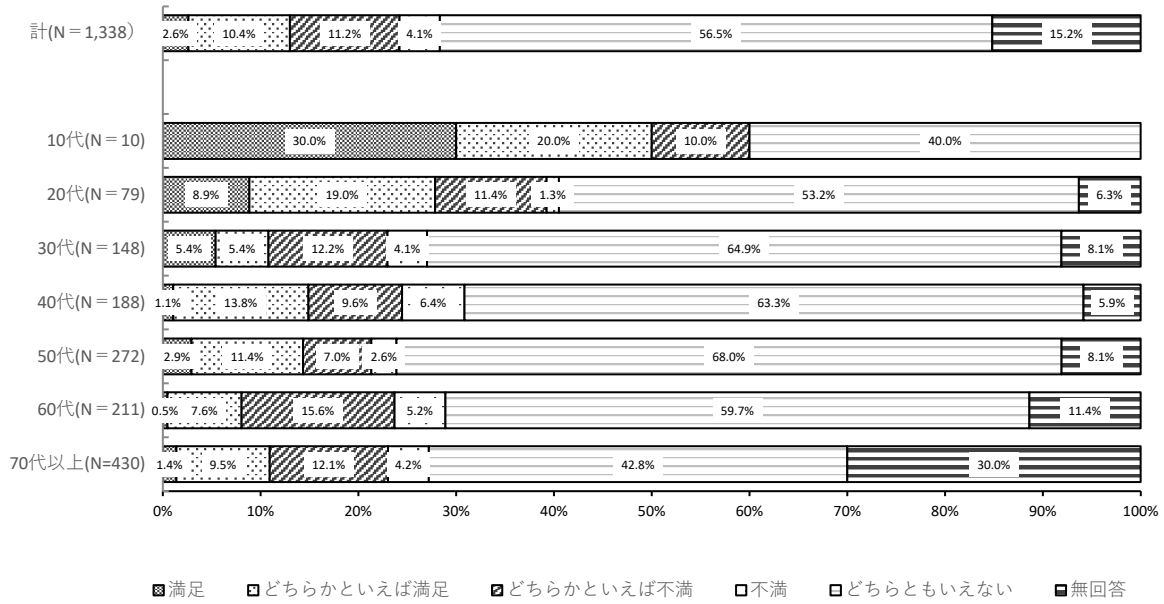
⑥ 様々な困難を抱える人々への支援

問28 年代別 × 問25 ⑥様々な困難を抱える人々への支援



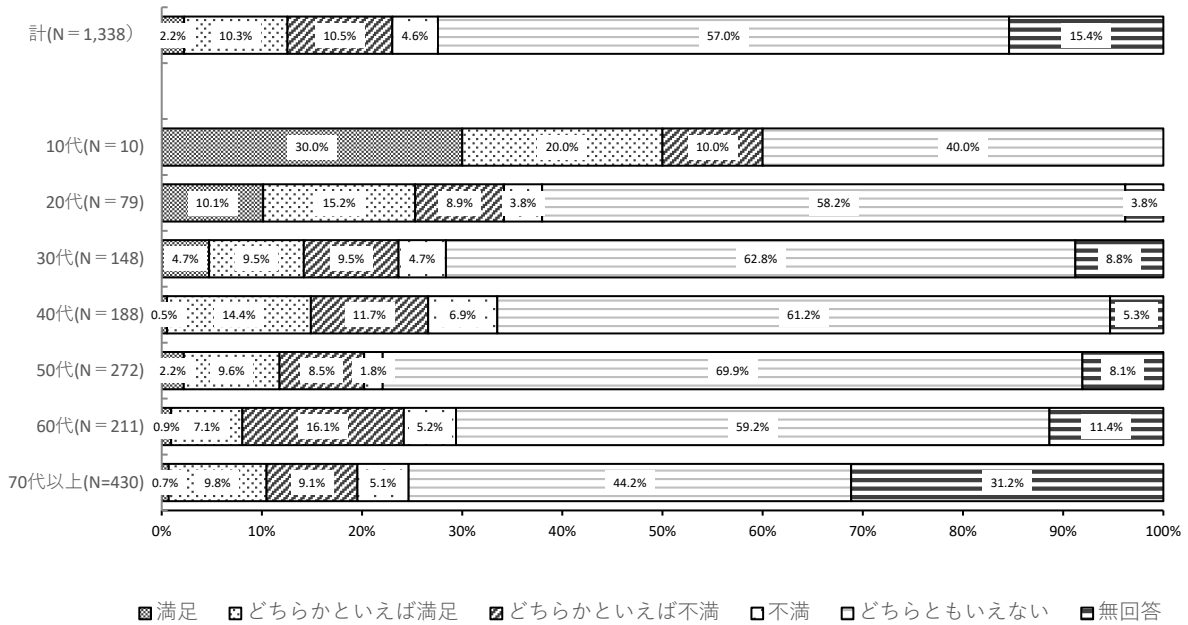
⑦ 子どもの頃から男女共同参画意識を育てる

問28 年代別 × 問25 ⑦子どもの頃から男女共同参画意識を育てる



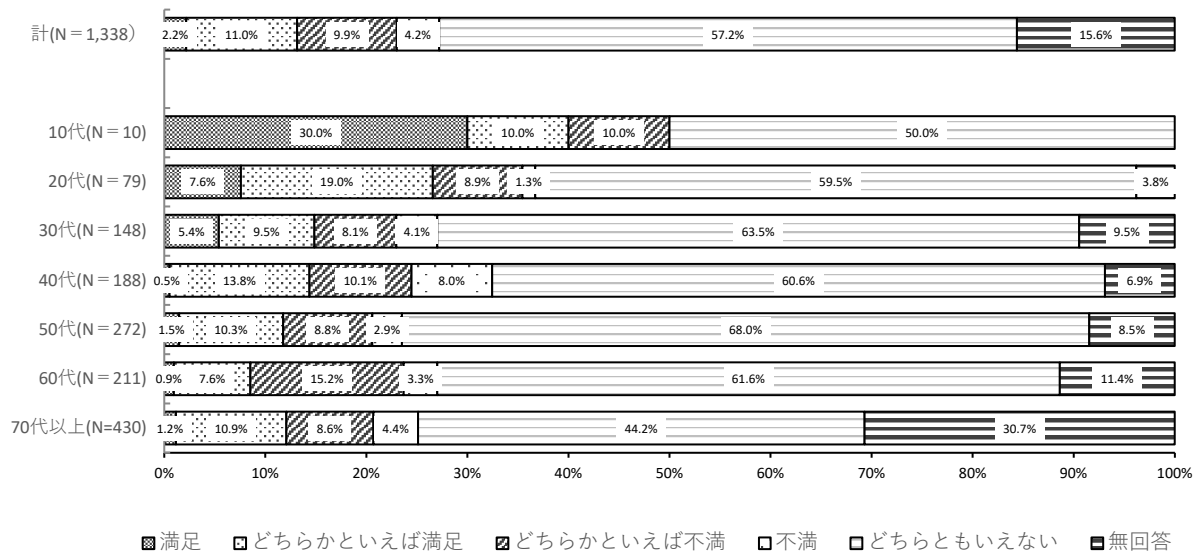
⑧ 様々な分野への男女共同参画の意識啓発

問28 年代別 × 問25 ⑧様々な分野への男女共同参画の意識啓発



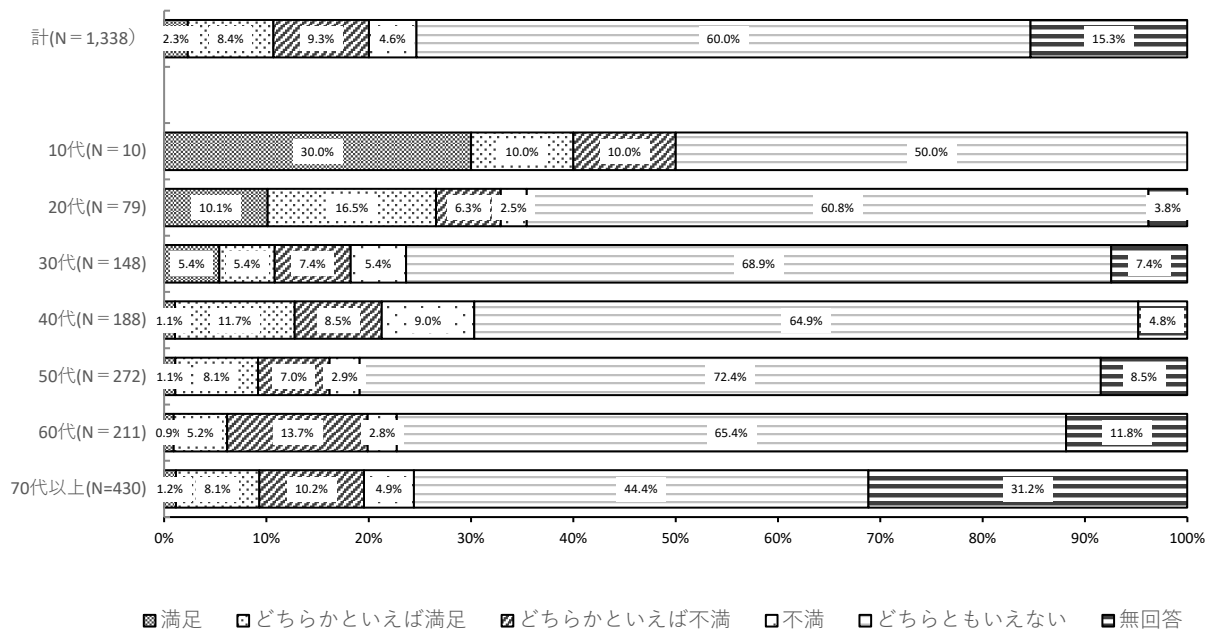
⑨ 地域における男女共同参画の推進

問28 年代別 × 問25 ⑨地域における男女共同参画の推進



⑩ 男女共同参画推進の拠点施設の充実

問28 年代別 × 問25 ⑩男女共同参画推進の拠点施設の充実



問26 困難な問題を抱える女性の福祉の増進を図るため、令和6年4月1日に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(女性支援法)が施行されました。一人ひとりのニーズに応じた支援を行い、安心して、かつ、自立して暮らせる社会の実現をめざすための法律です。困難な問題を抱える女性が、支援につながりやすい体制をつくるために、必要だと思う取り組みは何ですか。(〇はいくつでも)

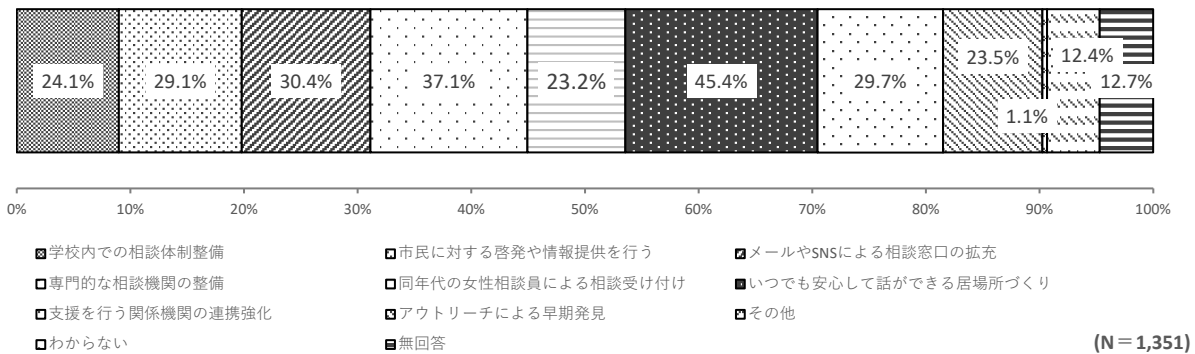
全体では『いつでも安心して話せる居場所づくり』が45.4%と最も高く、次いで『専門的な相談遺憾の整備・支援を行う関係機関の連携強化』が37.1%となっています。

性別で見ても、『いつでも安心して話せる居場所づくり』が女性は49.1%で、男性が41.9%となっており、女性の割合が男性より多くはなっていますが男女ともに高くなっています。

年齢別では、『いつでも安心して話せる居場所づくり』は30代が最も高く54.7%となっており、全世代をみても割合の多い項目となっています。

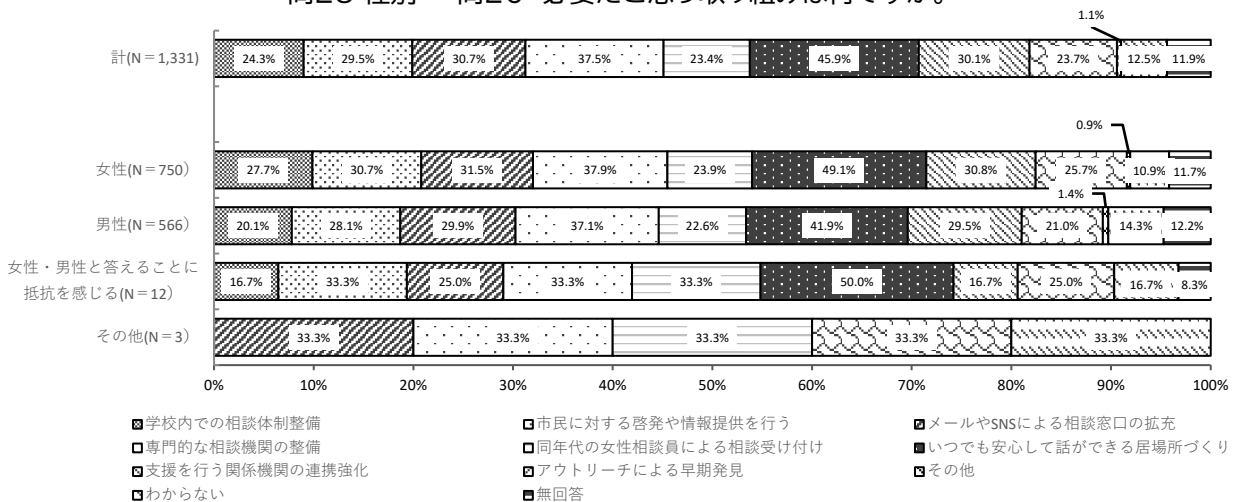
<全体>

問26 必要だと思う取り組みは何ですか。



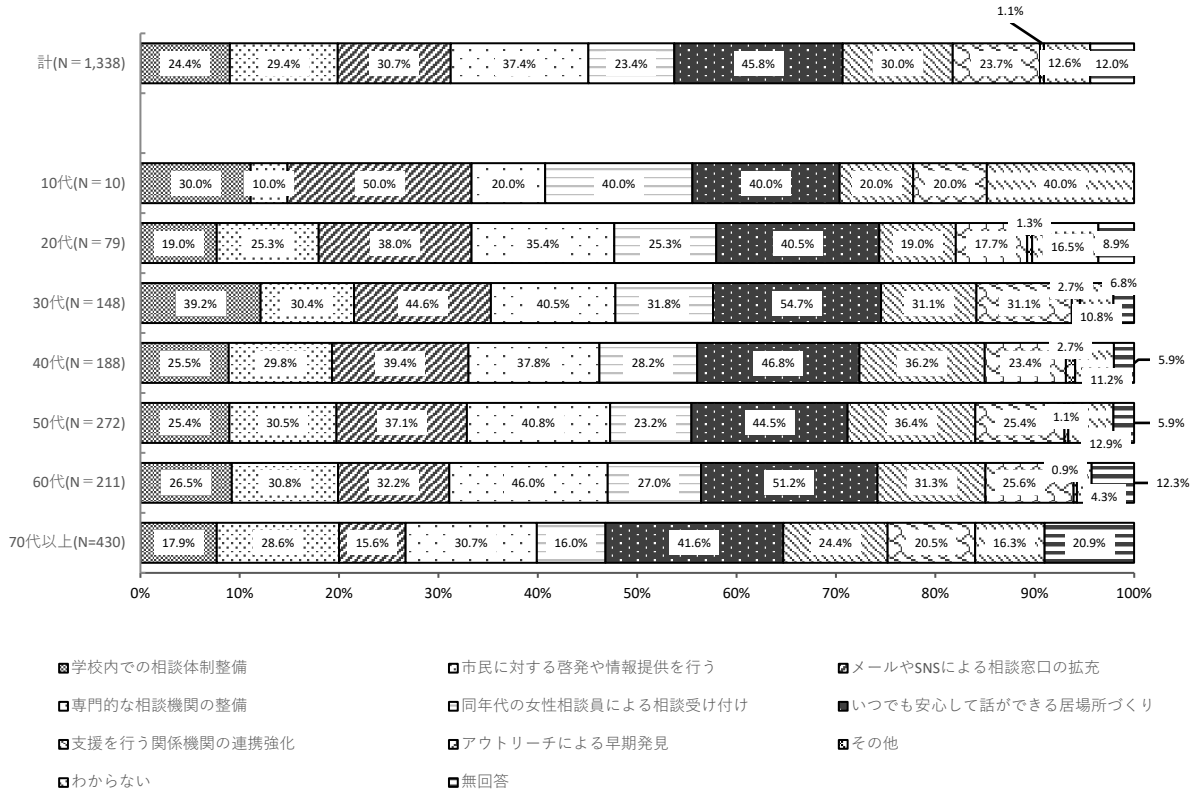
<性別>

問28 性別 × 問26 必要だと思う取り組みは何ですか。



<年齢>

問28 年代別 × 問26 必要だと思う取り組みは何ですか。



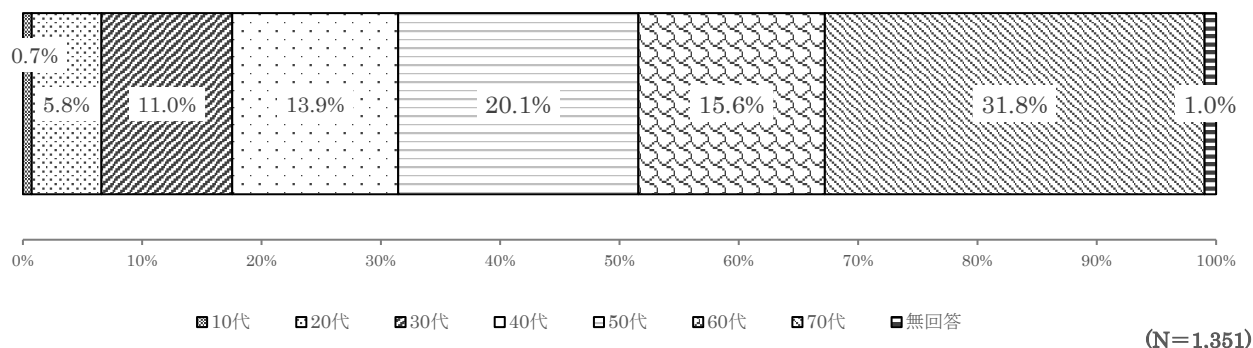
## H あなた自身について

### 問27 あなたの年齢は（〇は1つ）

「70代」が31.8%と最も多く、次いで「50代」が20.1%、「60代」が15.6%となっています。

<全体>

問27 あなたの年齢について教えてください。

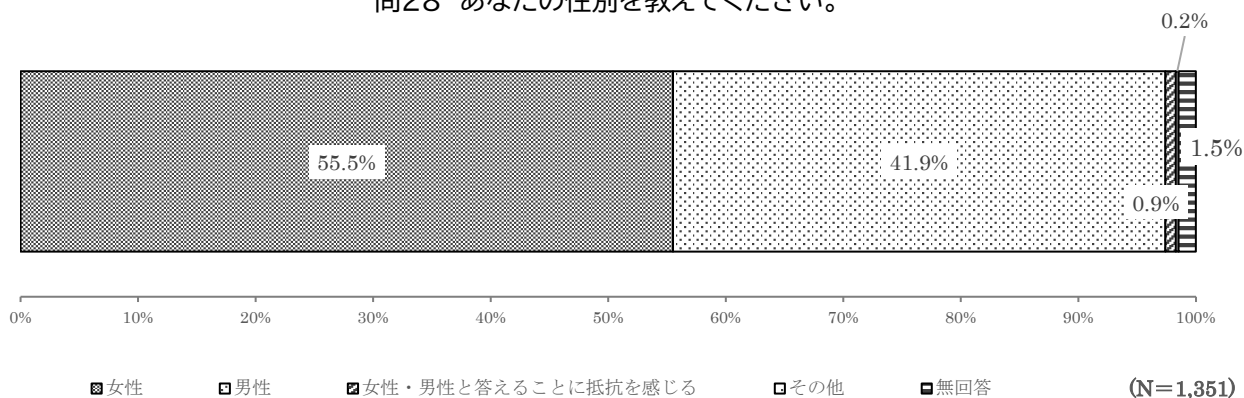


### 問28 あなたの性別は（〇は1つ）

「女性」が55.5%、「男性」が41.9%、「女性・男性と答えることに抵抗を感じる」が0.9%となっています。

<全体>

問28 あなたの性別を教えてください。

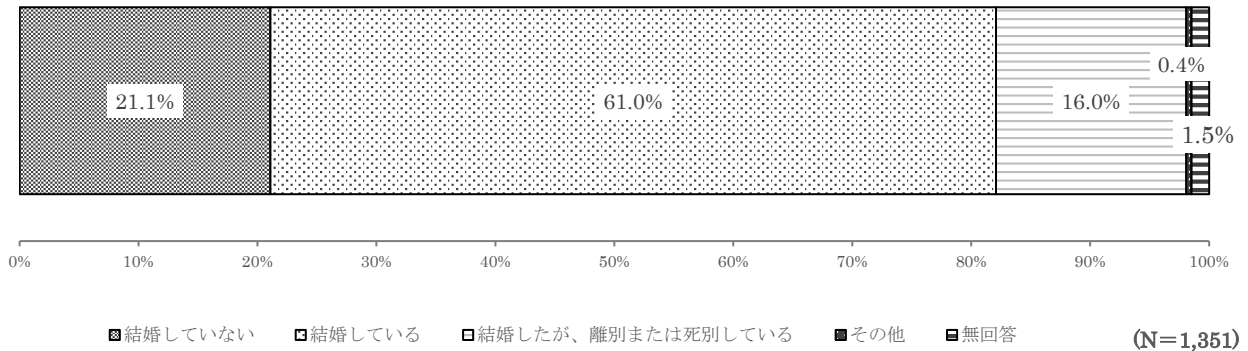


問 29 あなたは結婚していますか。(事実婚を含む) (〇は1つ)

「結婚している」が61.0%と最も高く、次いで「結婚していない」が21.1%、「結婚したが、離別又は死別した」が16.0%となっています。

<全体>

問29 あなたは結婚していますか。

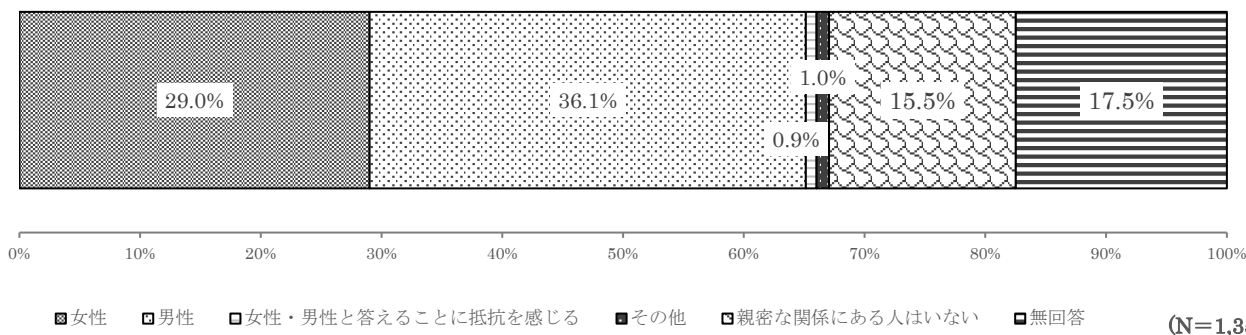


問 29-1 配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む、複数おられた場合は、一番最近に親密な関係にあった人について）の性別は。  
（〇は一つ）

配偶者（パートナー）や交際相手など、親密な関係にある人の性別は「男性」が36.1%と最も高く、次いで「女性」が29.0%、「親密な関係にある人はいない」が15.5%と続きます。パートナーの性別を男女別に見ると、女性は「男性」が62.8%、男性が「女性」が65.2%とどちらも異性が最も大きな割合を締めます。

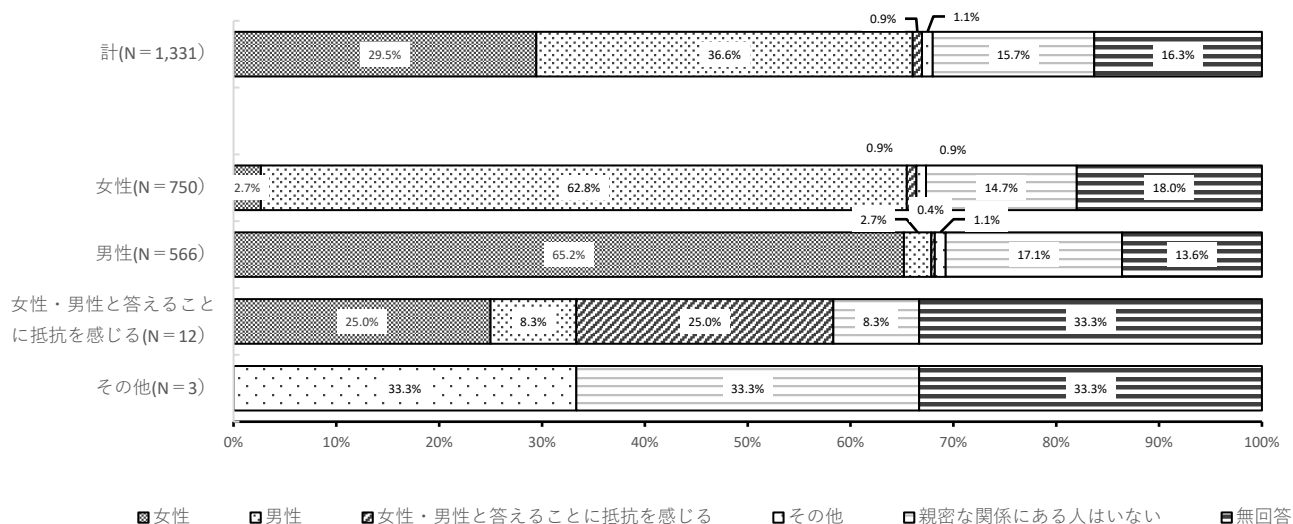
<全体>

問29-1 配偶者(パートナー)や交際相手など親密な関係にある人の性別を教えてください。



<性別>

問28 性別 × 問29-1 配偶者(パートナー)や交際相手など親密な関係にある人の性別を教えてください。

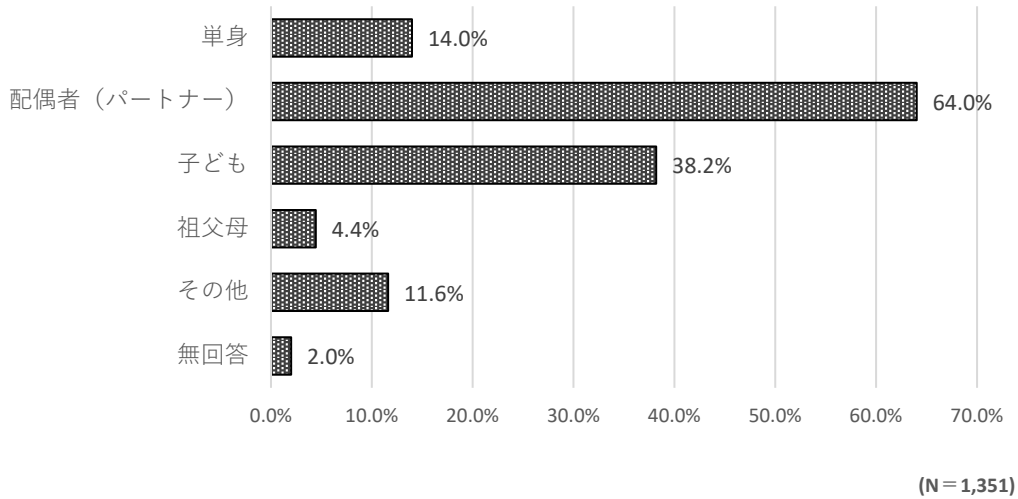


問30 あなたと一緒に住んでいる人は。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者（パートナー）」が64.0%、次いで「子ども」が38.2%と高く、「単身（1人）」が14.0%となっています。

<全体>

問30 あなたと一緒に住んでいる人を教えてください。

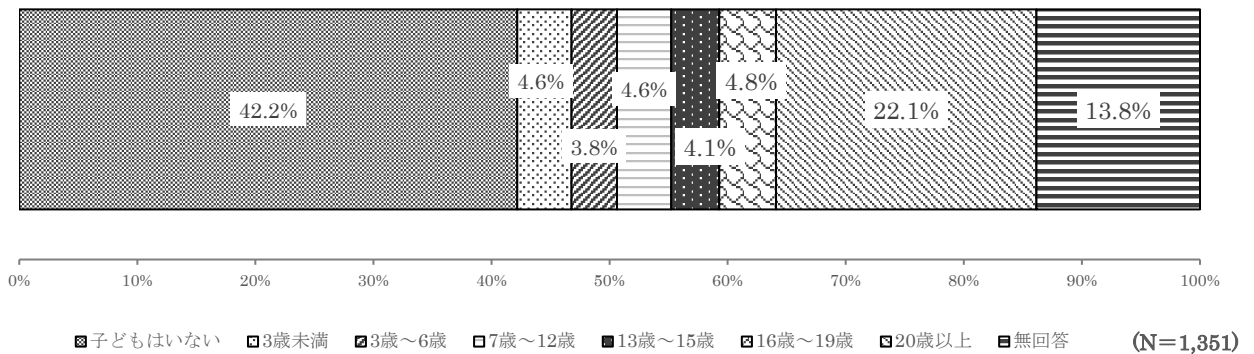


問31 令和7年4月1日時点のあなたが同居している、一番下のお子さんの年齢は。(○は一つ)

「子どもはいない」が42.2%と最も高く、次いで「20歳以上」が22.1%となっています。

<全体>

問31 一番下のお子さんの年齢を教えてください。



問32 あなた、配偶者（パートナー）の職業は。（それぞれについて〇は1つ）

(1) あなたについて

<全体>

主な仕事では「正社員・正職員（フルタイム）」が30.1%と最も多く、次いで「無職」が19.2%、「パートタイマーやアルバイト」が16.9%となっています。

勤務地は「八尾市内」が28.6%で最も多く、次に「勤務していない」が22.2%となっています。通勤時間は「30分未満」が29.5%で最も多く、次に「通勤していない」が21.6%となっています。

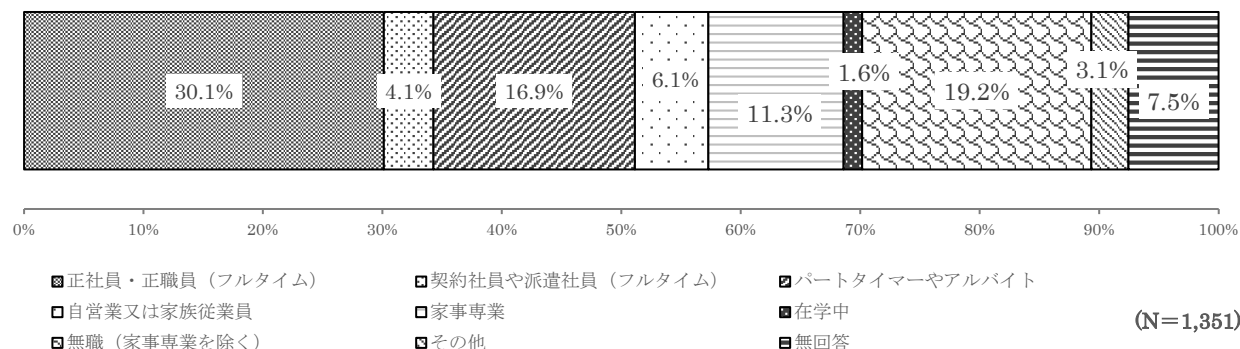
週に働く日数では「4～5日」が41.3%で全体のほぼ半分を占めます。

一日の就労時間では、「なし」の22.6%が最も多く、次に「8時間から10時間未満」が20.9%となっています。

昨年（2024年）の年収では、「103万円未満」が15.8%と最も多く、次に「収入はない」が13.2%となっています。

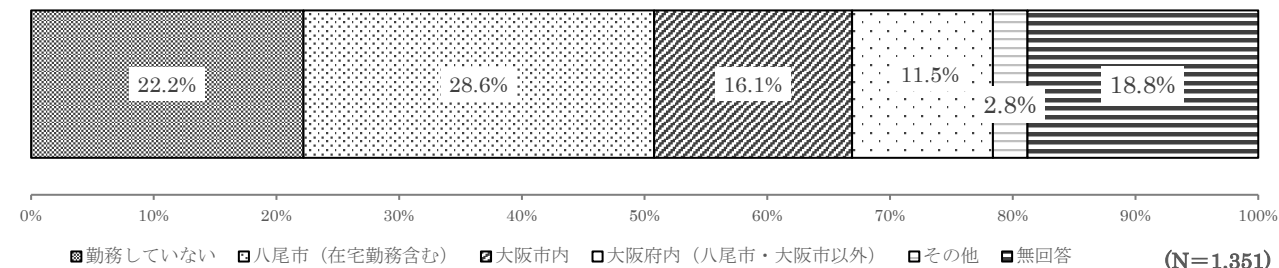
【主な仕事】

問32 あなたについて「主な仕事」について教えてください。



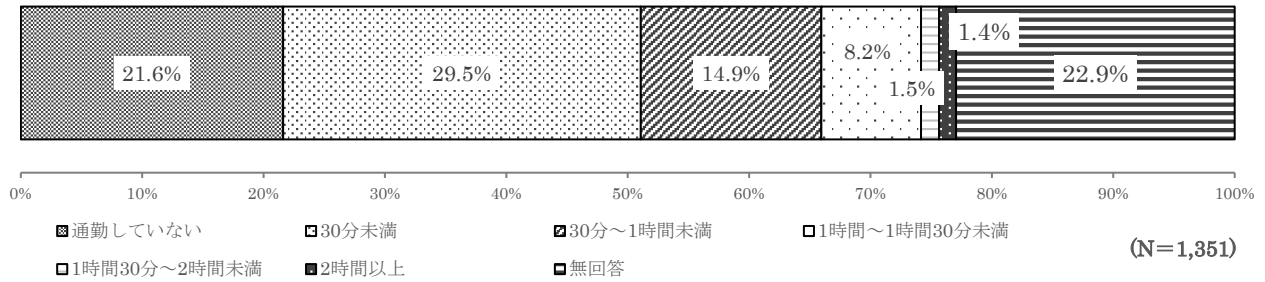
【勤務地】

問32 あなたについて「勤務地」について教えてください。



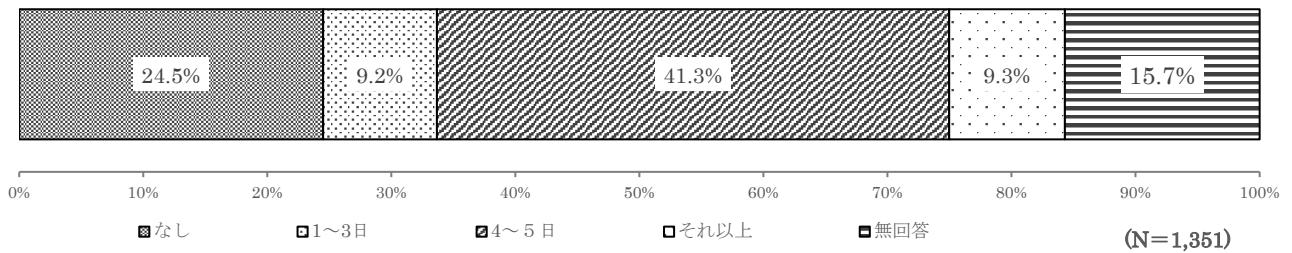
【通勤時間】

問32 あなたについて「通勤時間」について教えてください。



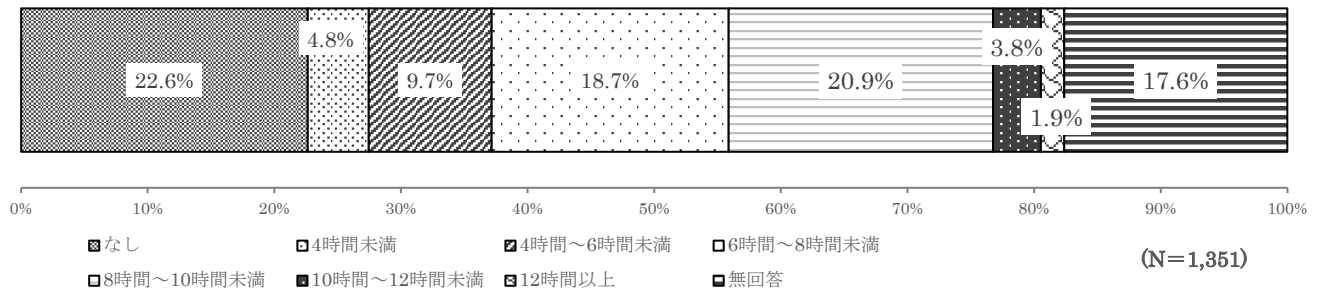
【週におよそ何日働きますか】

問32 あなたについて「週におよそ働く日数」について教えてください。



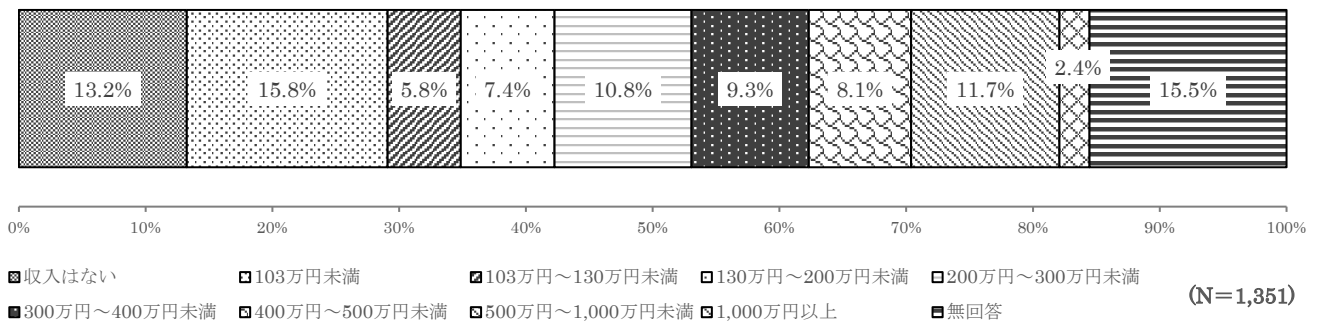
【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】

問32 あなたについて「1日に仕事をする時間」について教えてください。



【昨年（2024年）の年収（税込）】

問32 あなたについて「昨年(2024年)の年収(税込)」について教えてください。



## <性別>

主な仕事は、男性は「正社員・正職員（フルタイム）」の割合が41.2%で最も高く、次いで「無職」で26.0%となっているのに対し、女性は「正社員・正職員（フルタイム）」の割合は22.1%で、最も割合の大きいのは「パートタイマーやアルバイト」の24.3%となっています。

勤務地は、男女とも「八尾市内」の割合が最も高く、次いで女性は「勤務していない」が24.3%となっており、男性は「大阪市内」が20.7%となっています。

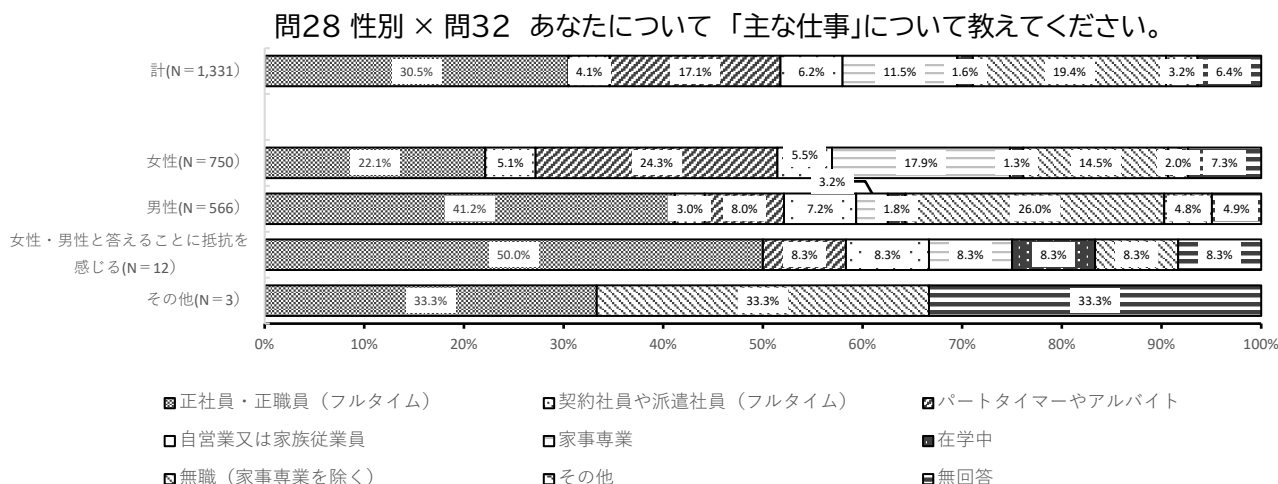
通勤時間は、女性では「0分～30分未満」が33.3%で最も高く、次に「通勤していない」で23.3%となっています。男性も「0分～30分未満」の割合が26.0%で高く、次に「30分から1時間未満」は男性が20.5%となっています。

週に働く日数では、男女とも「4～5日」が最も多く、女性は39.3%で男性も45.2%と、ほぼ同様となっていますが、「それ以上」については男性が13.4%と、女性の6.3%を上回っています。

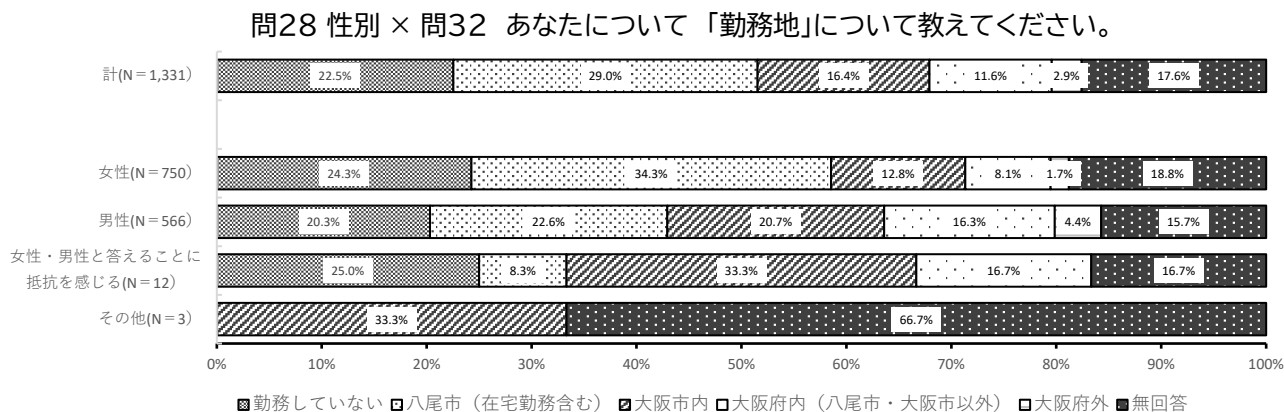
一日の就労時間は、女性は「なし」が23.7%で最も高く、男性は「8時間～10時間未満」が31.8%で最も高くなっています。

昨年の年収では、女性が「103万円未満」が22.8%、男性では「500万円～1000万円未満」が21.0%で最も高くなっています。

### 【主な仕事】

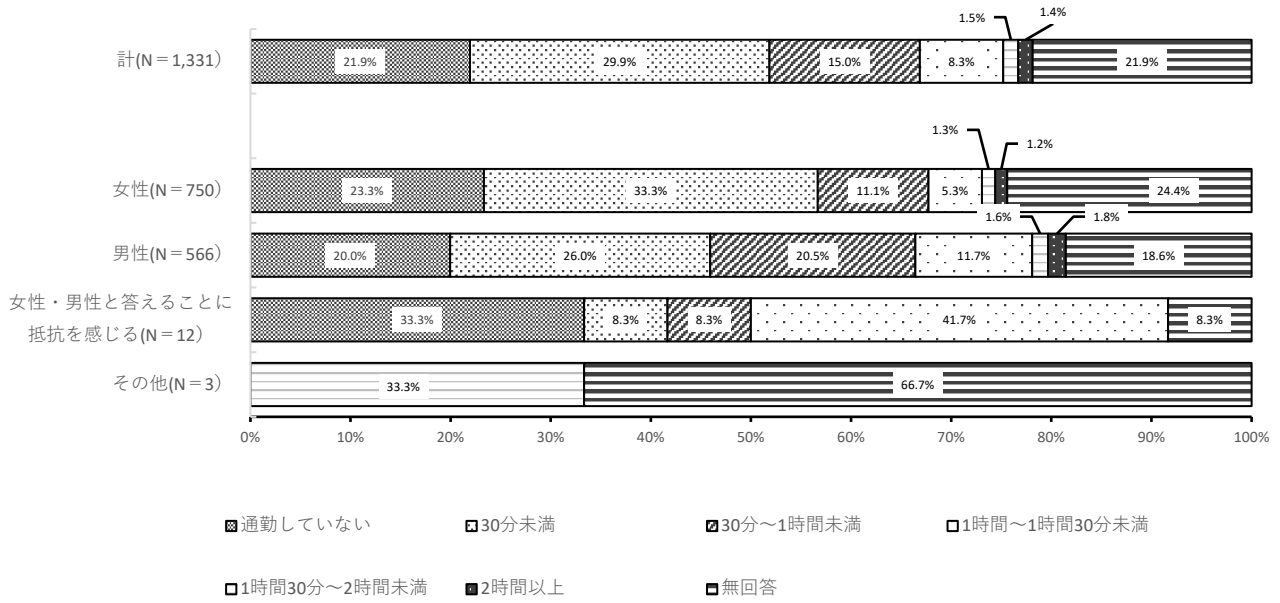


### 【勤務地】



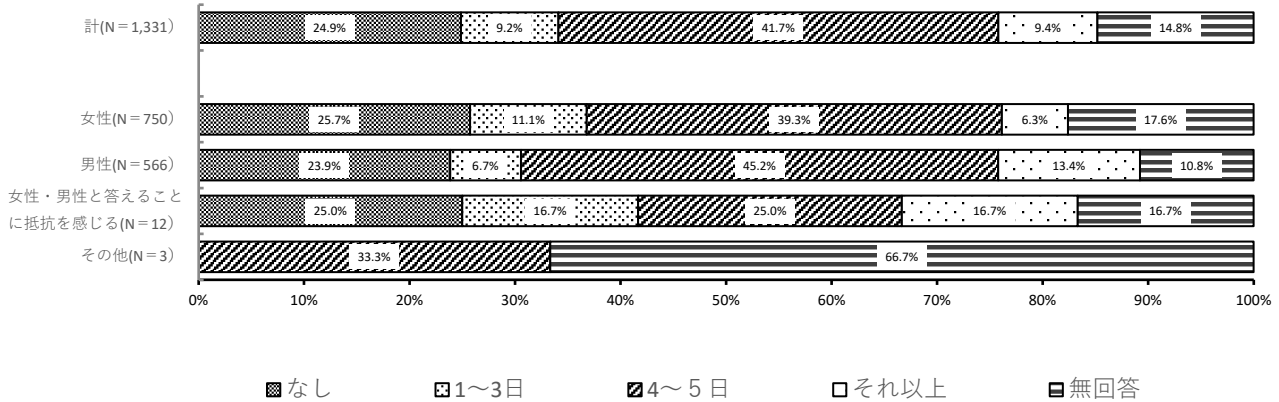
【通勤時間】

問28 性別 × 問32 あなたについて「通勤時間」について教えてください。



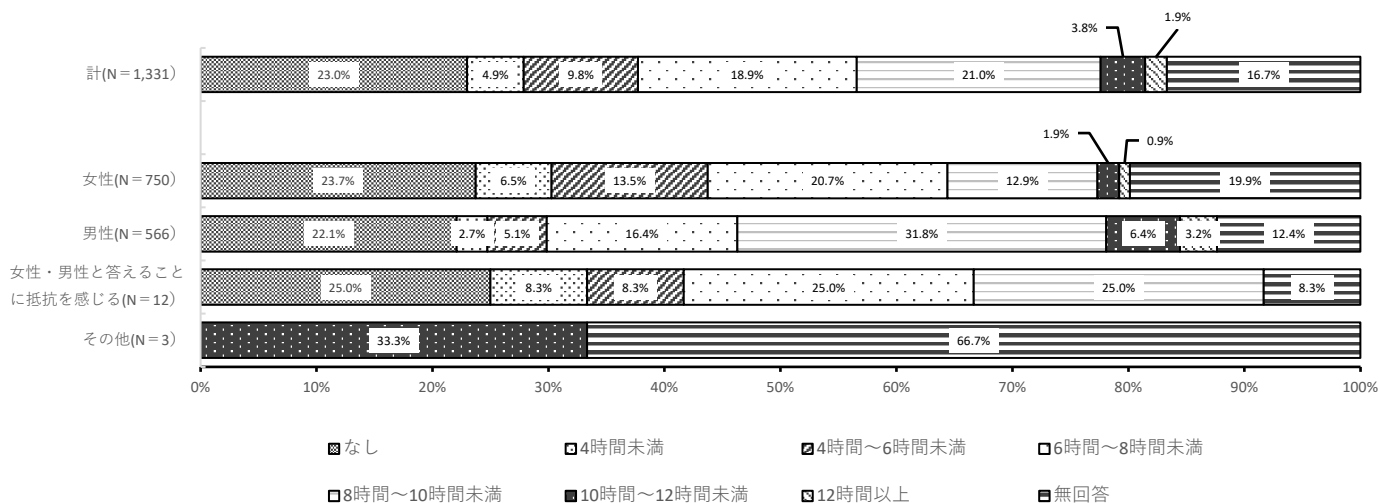
【週におよそ何日働きますか】

問28 性別 × 問32 あなたについて「週におよそ働く日数」について教えてください。



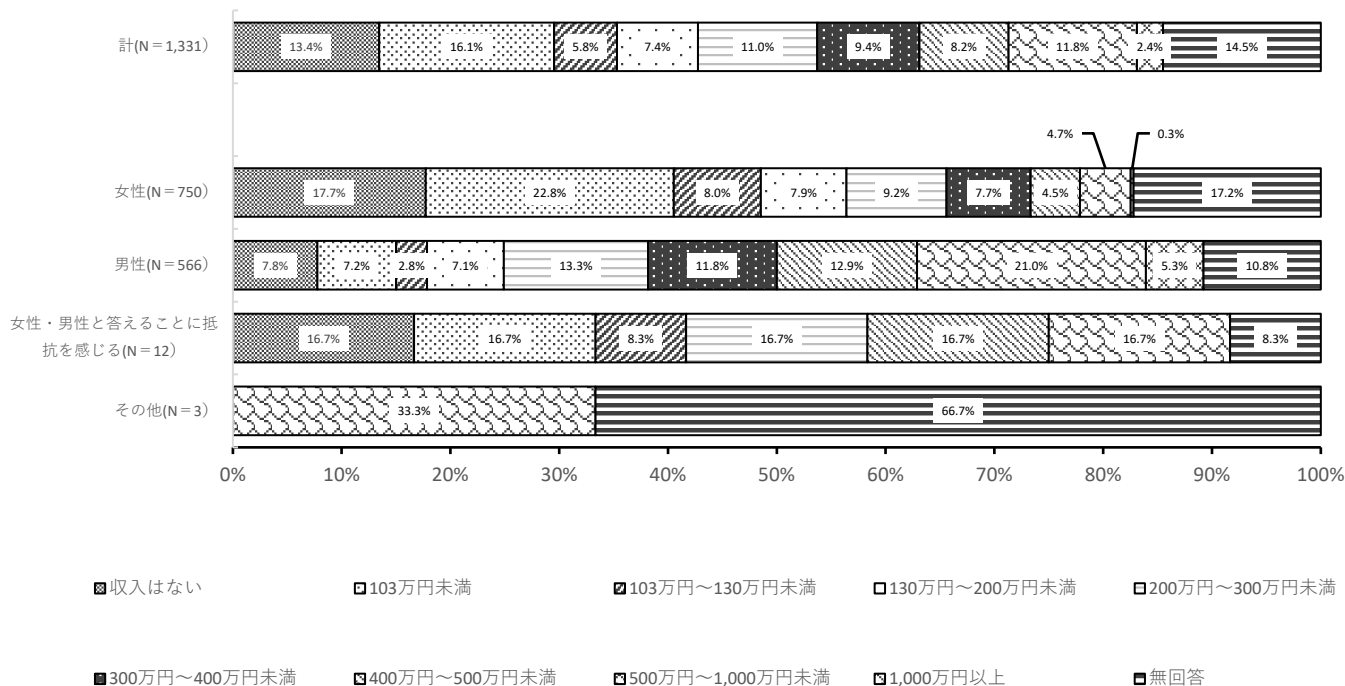
## 【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】

問28 性別 × 問32 あなたについて「1日に仕事をする時間」について教えてください。



## 【昨年（2024年）の年収（税込）】

問28 性別 × 問32 あなたについて「昨年(2024年)の年収(税込)」について教えてください。



## <結婚の有無>

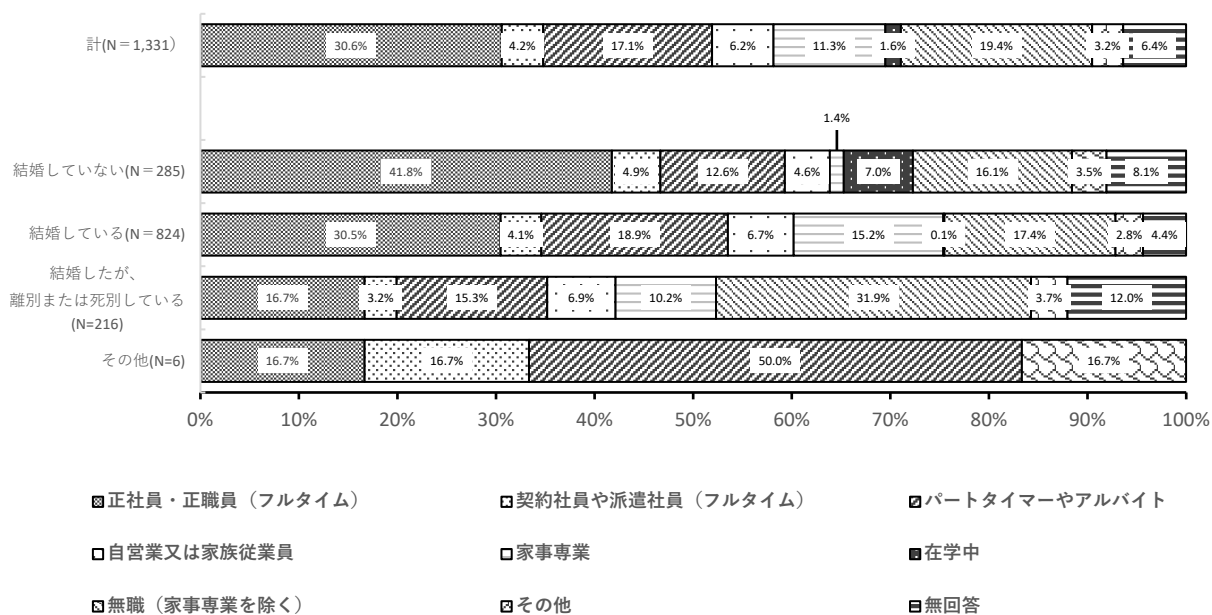
主な仕事は、未婚の方、既婚の方ともに「正社員・正職員（フルタイム）」の割合が最も高く、未婚の方では41.8%と約半数近く、既婚の方では30.5%となっています。

次に割合が高いのは、未婚の方では「無職」の16.1%、既婚の方では「パートタイマーやアルバイト」の18.9%です。離別又は死別された方では、「無職」の割合が最も高く31.9%となっています。

未婚、既婚、離別又は死別にかかわらず、勤務地は「八尾市内」、通勤時間は「0分～30分未満」、週に働く日数では「4～5日」、の割合が最も高くなっています。

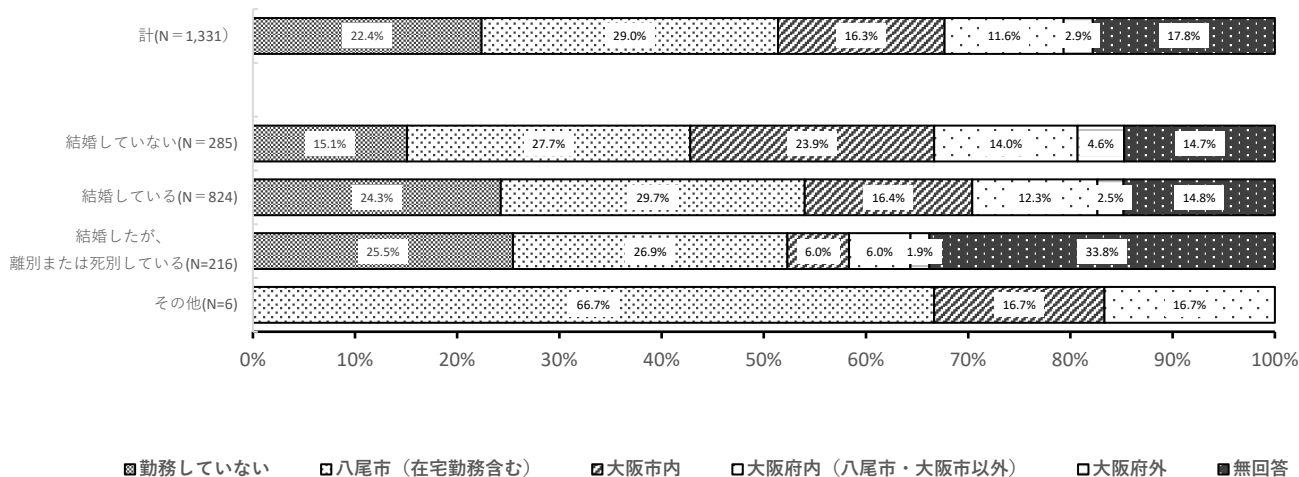
### 【主な仕事】

問29 結婚の有無 × 問32 あなたについて「主な仕事」について教えてください。



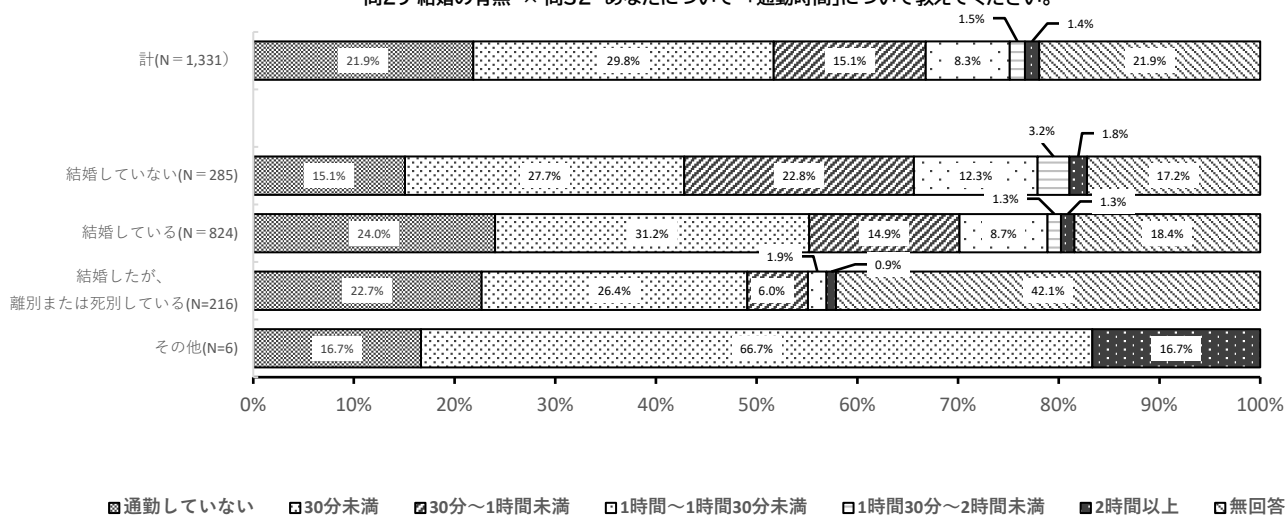
### 【勤務地】

問29 結婚の有無 × 問32 あなたについて「勤務地」について教えてください。



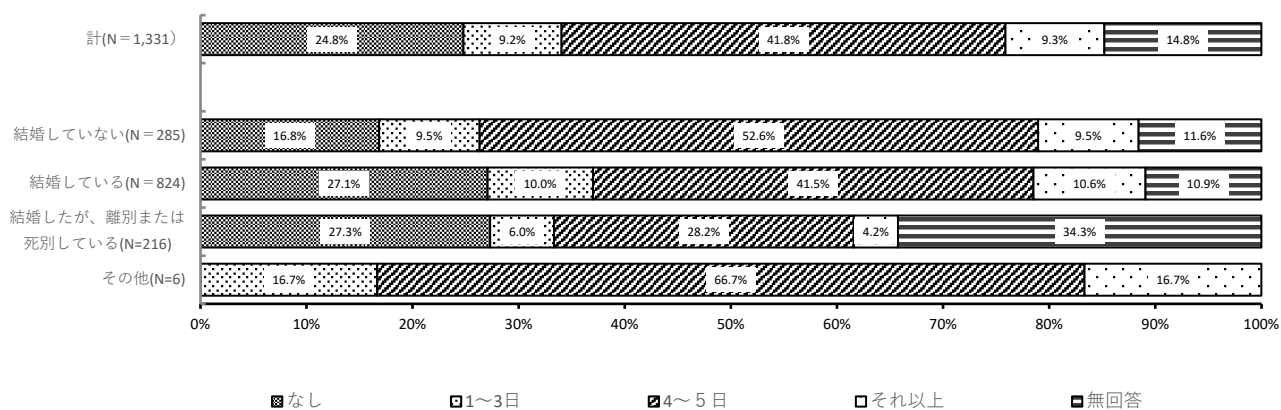
## 【通勤時間】

問29 結婚の有無 × 問32 あなたについて「通勤時間」について教えてください。



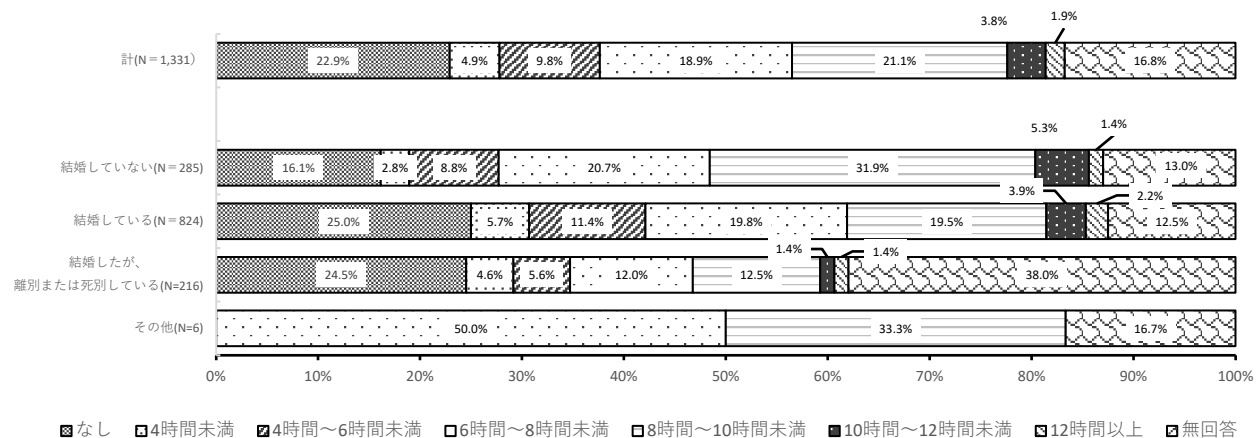
## 【週におよそ何日働きますか】

問29 結婚の有無 × 問32 あなたについて「週におよそ働く日数」について教えてください。



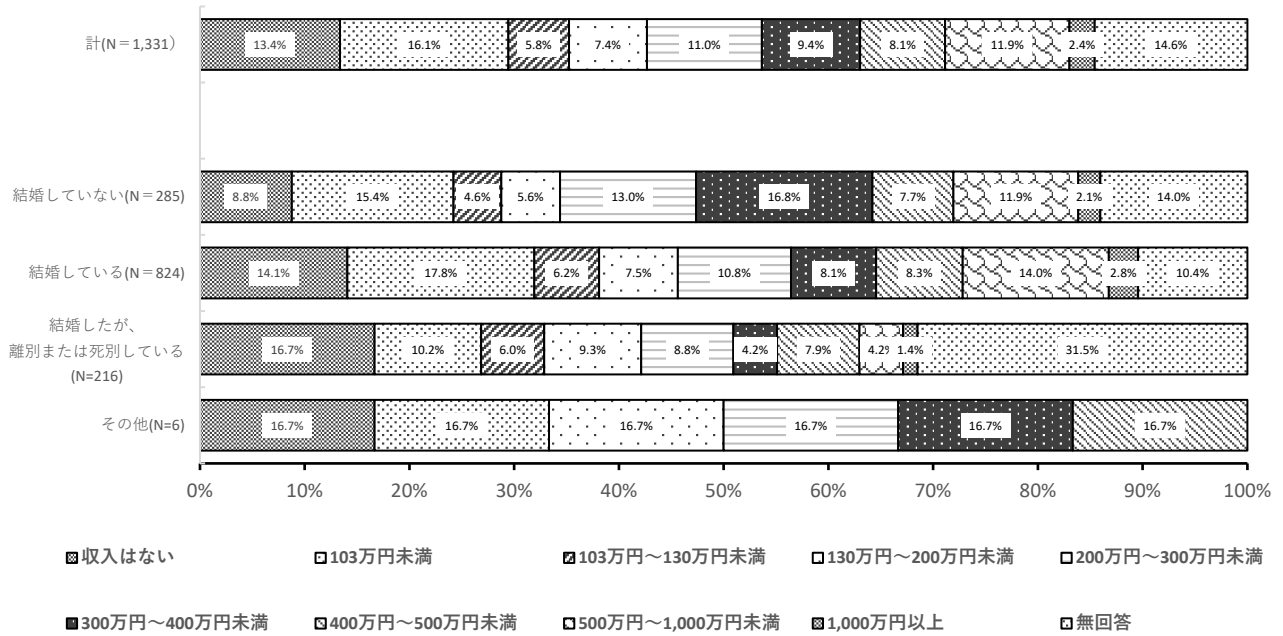
## 【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】

問29 結婚の有無 × 問32 あなたについて「1日に仕事をする時間」について教えてください。



## 【昨年（2024年）の年収（税込）】

問29 結婚の有無 × 問32 あなたについて「昨年(2024年)の年収(税込)」について教えてください。



## (2) 配偶者（パートナー）について

主な仕事は、最も割合が高いのは「正社員・正職員（フルタイム）」で23.0%、次いで「配偶者（パートナー）はいない」で21.0%となっています。

勤務地は、「八尾市内」の割合が18.7%と最も高く、次いで「勤務していない」が16.5%、「大阪市」が12.3%となっています。

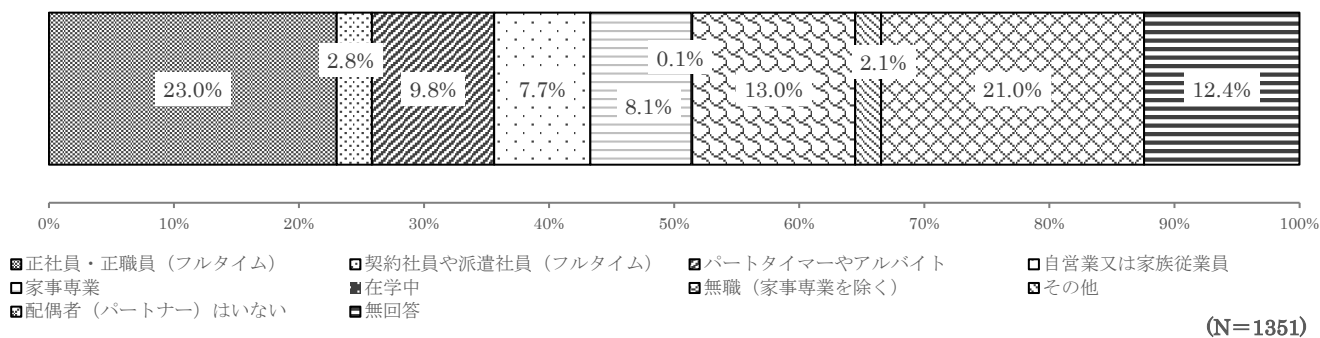
通勤時間は「0分～30分未満」の割合が最も高く18.5%、次いで「通勤していない」が16.5%となっています。

週に働く日数では、「4～5日」が27.6%で最も高く、次いで「なし」が19.1%となっています。

一日の就労時間では、「なし」が18.0%となっており、昨年（2024年）の年収では、「収入はない」が13.2%と最も高くなっています。

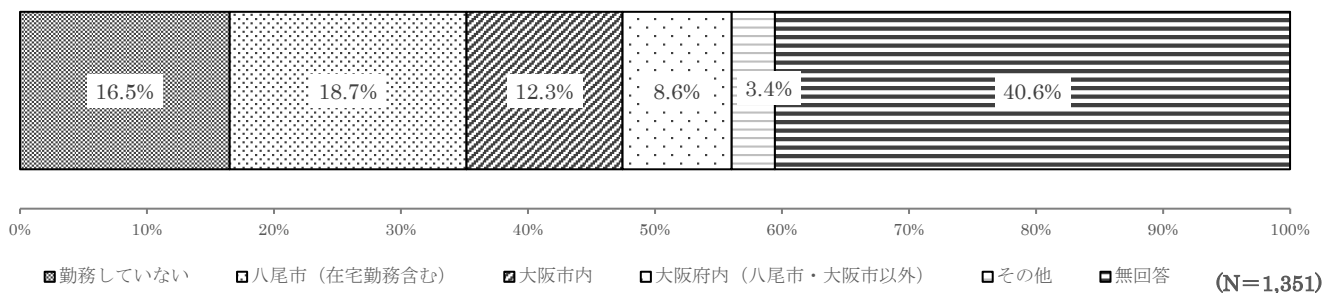
### 【主な仕事】

問32 配偶者について「主な仕事」について教えてください。



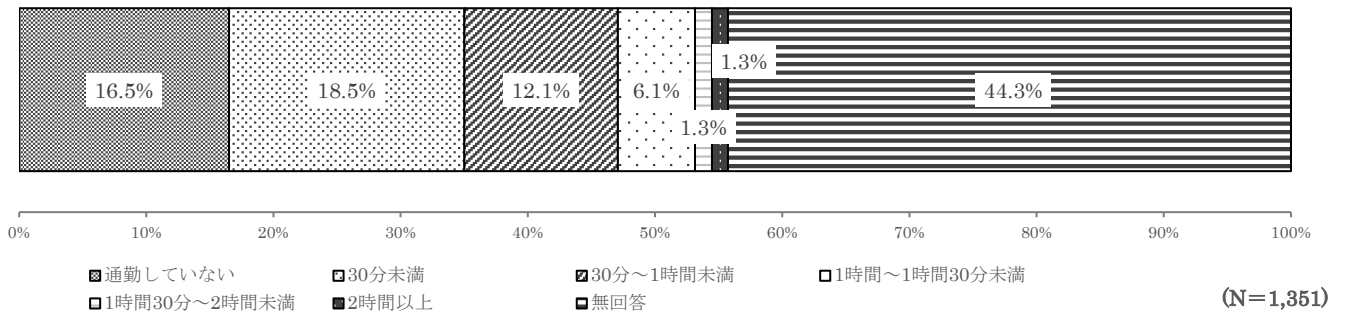
### 【勤務地】

問32 配偶者について「勤務地」について教えてください。



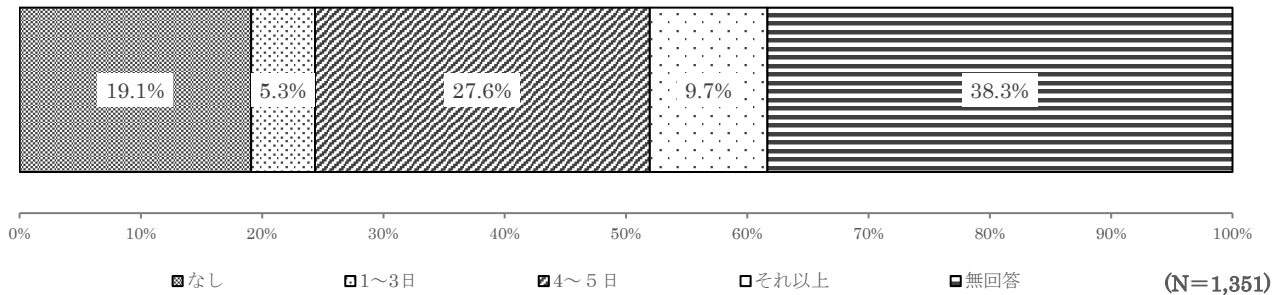
【通勤時間】

問32 配偶者について「通勤時間」について教えてください。



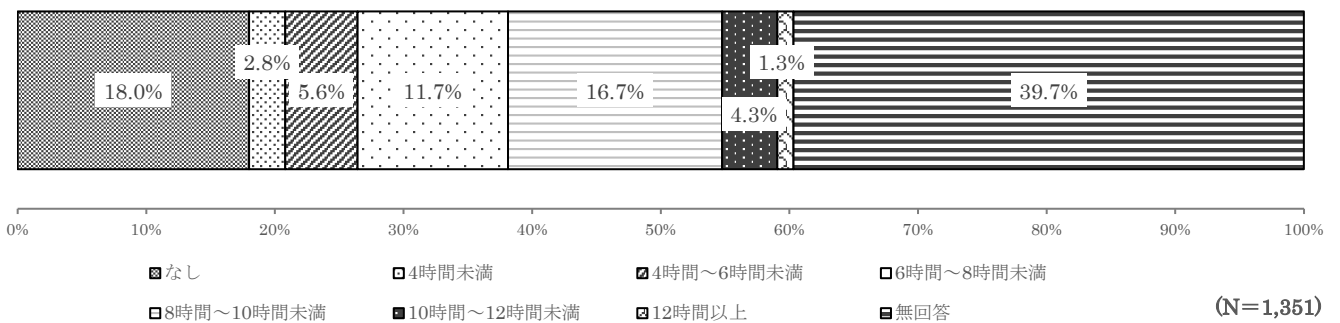
【週におよそ何日働きますか】

問32 配偶者について「週におよそ働く日数」について教えてください。



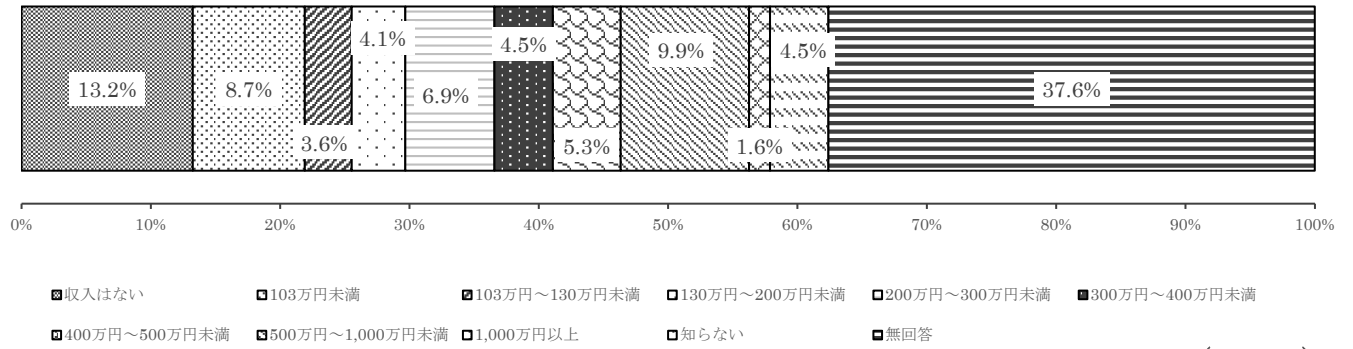
【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】

問32 配偶者について「一日に仕事(在宅就労を含む)をする時間」について教えてください。



【昨年（2024年）の年収（税込）】

問32 配偶者について「昨年(2024年)の年収(税込)」について教えてください。



(N=1,351)

### Ⅲ. 自由意見のまとめ



### Ⅲ. 自由意見のまとめ

男女共同参画に関する意見を自由記述の形で回答していただき、170件の回答を得られました。以下に、整理・分類し、主な意見を記載します。

分類		件数
1	男女平等に関する意識について	25
2	家庭生活について	13
3	子育て・教育について	17
4	就労について	7
5	仕事と生活の調和について	7
6	あらゆる暴力について	5
7	男女共同参画社会づくりについて	48
8	あなた自身について	7
9	その他	41
集計		170

#### 1. 男女平等に関する意識について

意見	件数
男女平等が「男性対女性」の対立構図で語られ、男性側の不利や弱さが無視されている	3
設問や政策が女性寄りで、真の男女平等になっていないと感じる	4
男女は身体的・生物学的に異なり、すべてを同一に扱う平等には無理がある	4
妊娠・出産という女性固有の役割を前提に制度設計すべきだ	3
男女共同参画が女性優遇に見え、実力主義なら人数差は問題ない	2
高齢世代ほど性別による役割意識や固定観念が強い	3
男女の違いを理解し、助け合う形の平等が望ましい	2
男性の意識改革や啓発活動を強化すべきだ	2
子どもの頃から男女平等の意識を育てる教育が重要だ	2
集計	25

## 2.家庭生活について

意見	件数
男性の育休取得や家事参加を進め、家庭への関与を高めるべき	3
性別役割に縛られず、男女が家庭と仕事を柔軟に分担できる社会が望ましい	2
共働き家庭を支える保育・学童・一時預かり等の支援が不足している	2
PTA や地域活動が母親前提で、家庭への負担が偏っている	1
扶養控除の拡充や教育・教員待遇改善など、家庭の経済基盤を強化すべき	2
子どもは親が育てることを基本とし、働き方は家庭ごとに選択できるべき	1
夫婦円満・家庭円満を社会の基盤として重視すべき	1
ひとり親家庭・介護負担家庭・離婚未成立世帯への支援が不十分	1
集計	13

## 3.子育て・教育について

意見	件数
男性の育休取得や家事参加を進め、家庭への関与を高めるべき	2
性別役割に縛られず、男女が家庭と仕事を柔軟に分担できる社会が望ましい	5
共働き家庭を支える保育・学童・一時預かり・健診体制等の支援が不足している	5
PTA や地域活動が母親前提で、家庭への負担が偏っている	1
扶養控除の拡充や教育費軽減など、家庭の経済的負担を軽くすべき	1
子どもは親が育てることを基本とし、家庭ごとに働き方を選べる社会がよい	2
子どもが健やかに育つため、家庭環境や親の関わりを重視すべき	1
集計	17

## 4.就労について

意見	件数
女性の管理職登用を進め、意思決定の場への参画を拡大すべき	1
男女格差なく、個人の特性や意欲を尊重して働ける職場環境が必要	1
103万円の壁など制度が曖昧で、パート就労を阻害している	1
女性の賃金が低く、非正規・公的業務・シングルマザーへの待遇改善と収入向上が必要	4
集計	7

## 5.仕事と生活の調和について

意見	件数
無理のない業務量の設定や長時間労働の是正など、働き方を根本から見直すべき	3
出産・介護・障害などに対応できるリモートワークや在宅就労の環境整備と保障充実が必要	1
子育て期は無理をせず、必要に応じて一時的に仕事を離れ再就職できる柔軟な働き方が望ましい	1
育休等の制度利用者だけでなく、残る同僚への負担軽減など周囲へのフォローも必要	1
仕事や家庭から離れてリフレッシュできる場や情報へのアクセスが不足している	1
集計	7

## 6.あらゆる暴力について

意見	件数
配偶者や家庭内での暴力から女性や子どもを守るため、相談しやすい窓口や環境整備が必要	1
DV 被害者に支援が届くよう、周知方法や広報の強化が不十分である	1
DV からの避難にあたり、ペット同伴可能な一時避難先の整備が求められる	1
経済的理由や社会的慣習により、暴力を我慢せざるを得なかった背景への配慮と支援が必要	1
暴力を肯定・正当化しない意識を育てるため、子どもの頃からの継続的な人権・道徳教育が重要	1
集計	5

## 7.男女共同参画社会づくりについて

意見	件数
男女共同参画の取組内容や拠点の存在自体が市民にほとんど知られていない	12
市の広報や情報発信が弱く、継続的・多様な周知が不足している	8
男女共同参画が何を目指しているのか分かりにくく、概念が抽象的すぎる	4
アンケートの設問設計や表現が硬く、前提誘導的で分かりにくい	4
男女という枠組みに違和感があり、性別より個人の生き方を尊重すべきという意見	4
市民と直接対話できる場や意見を聞く仕組みが不足している	4
相談窓口・専門職・常設相談体制など、実務的な支援の充実を求める声	3
男女共同参画施策や調査に税金を使う意義が見えず、無駄だと感じる意見	3
若者世代にも届くネット活用や時代に合った施策が必要という意見	2
男女共同参画は対立ではなく、相互理解と平和的な社会づくりであるべき	2
ハラスメントや暴力を許さない取組を地域全体で進めるべき	1
男女共同参画そのものが不要・意味がないと感じている意見	1
集計	48

## 8.あなた自身について

意見	件数
配偶者を前提とした質問が多く、配偶者がいない人には不適切・煩わしい	1
高齢の回答者には質問項目が当てはまらず、回答しづらい	2
高齢者が回答してもアンケート結果として有効性が低いという疑問	1
無作為抽出ではなく、対象年齢を限定すべきだという指摘	1
若年層を中心にアンケートを実施した方がよいという意見	2
集計	7

## 9.その他

意見	件数
特に意見はない・該当なしとする回答	20
内容がよく分からない、アンケートが難しいと感じた回答	4
高齢期にあり関心や意見が出にくい、人生観を述べた回答	4
行政施設や手続きへの個別要望	3
市内医療機関の質や医師のレベルへの不満	1
子育て世帯支援の不公平感や経済的支援への不満	1
国政や政治家をめぐる意見・違和感の表明	1
家族制度や移民政策など価値観・思想的意見	1
思いやりや社会のあり方など心構えを述べた意見	3
行政職員への感謝や激励の言葉	1
無駄な事業をやめるべき、何もしなくてよいという意見	2
集計	41

## 參考資料



だんじょきょうどうさんかく しみんいしきちょうさ  
「男女共同参画についての市民意識調査」への  
きょうりよく ねが  
ご協力のお願い

しみん みなさまには、ひごろ しせい きょうりよく  
市民のみなさまには、日頃より市政にご協力いただきましてありがとうございます。

ほんし やおし だいじやおしだんじょきょうどうさんかくきほんけいかく  
本市では「八尾市はつらつプラン～第3次八尾市男女共同参画基本計画～」を2016（平成28）年  
がつ さくてい ちゅうかんみなお れいわ ねん がつ かいてい だんじょきょうどうさんかくしやかい じつげん む と  
3月に策定、中間見直しにより2021（令和3）年3月に改定し男女共同参画社会の実現に向けた取り  
く すいしん  
組みを推進しているところです。

たび ひろ しみん だんじょきょうどうさんかく げんじょう いしき いけん うかが やおし だんじょ  
この度、広く市民のみなさまの男女共同参画についての現状や意識、ご意見をお伺いし、八尾市の男女  
きょうどうさんかくしざく すいしん きちょう きそしりょう かつよう ほんしみんいしきちょうさ じっし  
共同参画施策を推進するうえでの貴重な基礎資料として活用するため、本市民意識調査を実施すること  
なりました。

ちようさ まん さいいじょう しみん たいしょう じゅうみんきほんだいちょう めい かたがた むさく い えら  
この調査は満18歳以上の市民を対象として、住民基本台帳から3,000名の方々を無作為に選ば  
せていただきました。

むきめい かいどう ちようさひょう こじんじょうほうほごほう もと てきせつ かんり ちようさ  
無記名でご回答いただきました調査票は、個人情報保護法に基づいて適切に管理し、また、調査データ  
とうけいでき しょうり ないよう がいぶ こじん めいわく けつ  
は統計的に処理いたしますので、内容が外部にもれたり、個人にご迷惑をおかけしたりすることは決してあ  
りません。

いそが なか てすう ちようさ しゆし りかい きょうりよく  
お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう  
ねが もう あ  
お願い申し上げます。

2025（令和7）年10月

や お し  
八 尾 市

だんじょきょうどうさんかく し みん い しきちょう き ひょう  
男女共同参画についての市民意識調査票

A だんじょびょうどう かん い しき  
男女平等に関する意識について

問1	つぎの①～⑧の各場面において、今の社会は男女の地位が平等になっていると思いますか。(①～⑧のそれぞれについて〇は1つ)	非常に優遇されている	男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	わからない
①	家庭の場	1	2	3	4	5	6
②	職場	1	2	3	4	5	6
③	学校教育の場	1	2	3	4	5	6
④	政治の場	1	2	3	4	5	6
⑤	法律や制度の上において	1	2	3	4	5	6
⑥	社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑦	地域活動の場	1	2	3	4	5	6
⑧	社会全体	1	2	3	4	5	6

問2 「男は仕事、女は家庭」というような性別で役割を固定した考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

1 同感しない → 問2-1へ	3 同感する → 問2-2へ
2 どちらともいえない	4 わからない

問2-1 問2で「1 同感しない」と答えられた方にお尋ねします。

その理由はなぜですか。(〇は1つ)

- 1 性別によって役割を固定するのはおかしいから
- 2 男女がともに働き、ともに家事・子育てをするのは当然だから
- 3 その他(具体的に )

問2-2 問2で「3 同感する」と答えられた方にお尋ねします。

その理由はなぜですか。(〇は1つ)

- 1 社会の風潮・慣習だから
- 2 男性は仕事に、女性は家事・子育てに向いているから
- 3 役割を分担するほうが効率がよいから
- 4 その他(具体的に )

**B 家庭生活について**

問3 あなた、配偶者（パートナー）が家事・育児・介護をする時間は、平日・休日を平均して1日どれくらいですか。（それぞれについて〇は1つ）

(1) あなたについて		(2) 配偶者（パートナー）について	
1	15分未満	1	15分未満
2	15分～30分未満	2	15分～30分未満
3	30分～1時間未満	3	30分～1時間未満
4	1時間～2時間未満	4	1時間～2時間未満
5	2時間～3時間未満	5	2時間～3時間未満
6	3時間以上	6	3時間以上
		7	配偶者（パートナー）はいない → 問5へ

問4 次の①～⑩の各項目について、あなたのご家庭では、誰が主に担当していますか。（①～⑩のそれぞれについて〇は1つ）

※該当しない場合は空欄にしてください。

	すべて自分が担当	主に自分が担当	配偶者（パートナー）と自分が同じ程度に担当	配偶者（パートナー）が担当	すべて配偶者（パートナー）が担当	主に配偶者（パートナー）が担当	主にその他の人が担当	わからない
①家計における主な収入を得ている	1	2	3	4	5	6	7	
②掃除・洗濯をする	1	2	3	4	5	6	7	
③食事の支度をする	1	2	3	4	5	6	7	
④日々の家計を管理する	1	2	3	4	5	6	7	
⑤子どもの教育としつけをする	1	2	3	4	5	6	7	
⑥乳幼児の世話をする	1	2	3	4	5	6	7	
⑦高齢の家族の介護をする	1	2	3	4	5	6	7	
⑧子どもの進路を決定する	1	2	3	4	5	6	7	
⑨高額な買い物の決定をする	1	2	3	4	5	6	7	
⑩地域活動へ参加する	1	2	3	4	5	6	7	

C 子育て・教育について

問5 一般的に子どもには、どの程度の学歴が必要だと思いますか。女の子、男の子、どちらについてもお答えください。(それぞれについて〇は1つ)

(1) 女の子の場合	(2) 男の子の場合
1 中学校・支援学校 中学部	1 中学校・支援学校 中学部
2 高等学校・支援学校 高等部	2 高等学校・支援学校 高等部
3 専門・専修学校	3 専門・専修学校
4 短期大学・高等専門学校	4 短期大学・高等専門学校
5 大学	5 大学
6 大学院	6 大学院
7 その他(具体的に )	7 その他(具体的に )

問6 子どもには、どのような生き方が望ましいと思いますか。女の子、男の子、どちらについてもお答えください。(それぞれについて〇は2つ)

(1) 女の子の場合	(2) 男の子の場合
1 社会的な地位を得る	1 社会的な地位を得る
2 経済的に自立した生活をする	2 経済的に自立した生活をする
3 結婚して家庭に入る	3 結婚して家庭に入る
4 社会に貢献する	4 社会に貢献する
5 本人の個性や才能を生かした生活をする	5 本人の個性や才能を生かした生活をする
6 本人の意思に任せる	6 本人の意思に任せる
7 その他(具体的に )	7 その他(具体的に )
8 わからない	8 わからない

問7 学校の中での取り組みには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1 学校生活の中で、性別による役割分担をなくす(児童・生徒会長などのリーダー的役割は男の子で、女の子は補佐役などの役割分担をなくす)
2 性別による区別をなくす(男女混合名簿にするなど)
3 進路指導や職業観の育成について、性別による区別なく能力を生かせるよう配慮する
4 男女平等の意識を育てる授業をする
5 セクシュアルマイノリティ(性的少数者)についての理解を深めるような授業をする
6 男女平等についての理解が深まるように教職員に研修を行う
7 校長や教頭に女性を増やしていく
8 保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す
9 学校教育の中でする必要はない
10 その他(具体的に )
11 わからない

D 就労について

問8 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

- 1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい
- 2 結婚するまで仕事に就き、結婚後は家事に専念する方がよい
- 3 子どもができるまで仕事に就き、子どもができたらかしや子育てに専念する方がよい
- 4 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい
- 5 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい
- 6 仕事には就かない方がよい
- 7 その他(具体的に )
- 8 わからない

問9 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。女性はご自身について、男性は配偶者(パートナー)についてお答えください。(〇は1つ)

- 1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている(続けていた/続けるつもり)
- 2 結婚するまで仕事に就き、結婚後は家事に専念している(専念していた/専念するつもり)
- 3 子どもができるまで仕事に就き、子どもができたらかしや子育てに専念している(専念していた/専念するつもり)
- 4 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている(続けていた/続けるつもり)
- 5 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている(続けていた/続けるつもり)
- 6 仕事に就いたことはない(就くつもりはない)
- 7 その他(具体的に )
- 8 配偶者(パートナー)はいない

問10 男性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

- 1 結婚や子どもの誕生にかかわらず、仕事を続ける方がよい
- 2 結婚するまで仕事に就き、結婚後は家事に専念する方がよい
- 3 子どもができるまで仕事に就き、子どもができたらかしや子育てに専念する方がよい
- 4 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい
- 5 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい
- 6 仕事には就かない方がよい
- 7 その他(具体的に )
- 8 わからない

問11 男性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。男性はご自身について、女性は配偶者(パートナー)についてお答えください。(〇は1つ)

- 1 結婚や子どもの誕生にかかわらず、仕事を続けている(続けていた/続けるつもり)
- 2 結婚するまで仕事に就き、結婚後は家事に専念している(専念していた/専念するつもり)
- 3 子どもができるまで仕事に就き、子どもができたらかしや子育てに専念している(専念していた/専念するつもり)

- 4 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている（続けていた／続けるつもり）
- 5 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている（続けていた／続けるつもり）
- 6 仕事に就いたことはない（就くつもりはない）
- 7 その他（具体的に \_\_\_\_\_）
- 8 配偶者（パートナー）はいない

問12 収入を得る仕事に就いていない方にお尋ねします。

→該当しない方は問13へお進みください。

あなたが、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。（〇はいくつでも）

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1 家事・子育てに忙しい                    | 7 保育環境が整っていない      |
| 2 家族が反対している                     | 8 健康上に問題がある        |
| 3 自分にあう条件の仕事がない<br>（時間・賃金・年齢など） | 9 定年退職をした          |
| 4 仕事以外にやりたいことがある                | 10 就学中である          |
| 5 リストラ・倒産などにより解雇された             | 11 働かなくても生活できる     |
| 6 高齢者や病人を介護している                 | 12 その他（具体的に _____） |
|                                 | 13 特に理由はない         |

問12-1 あなたは今後働きたいとお考えですか。（〇は1つ）

- |      |       |             |
|------|-------|-------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 どちらともいえない |
|------|-------|-------------|

問13 配偶者（パートナー）が収入を得る仕事に就いていない方にお尋ねします。

→該当しない方は問14へお進みください。

あなたの配偶者（パートナー）が、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。

（〇はいくつでも）

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1 家事・子育てに忙しい                    | 7 保育環境が整っていない      |
| 2 家族が反対している                     | 8 健康上に問題がある        |
| 3 自分にあう条件の仕事がない<br>（時間・賃金・年齢など） | 9 定年退職をした          |
| 4 仕事以外にやりたいことがある                | 10 就学中である          |
| 5 リストラ・倒産などにより解雇された             | 11 働かなくても生活できる     |
| 6 高齢者や病人を介護している                 | 12 その他（具体的に _____） |
|                                 | 13 特に理由はない         |

問13-1 あなたの配偶者（パートナー）は今後働きたいとお考えですか。（〇は1つ）

- |      |       |             |
|------|-------|-------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 どちらともいえない |
|------|-------|-------------|

**すべての方にお尋ねします。**

問14 あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 セクハラを見たり受けたりしたことがある。
- 2 マタハラ・パタハラを見たり受けたりしたことがある。
- 3 パワハラを見たり受けたりしたことがある。

\*\*\*用語解説\*\*\*

- ・セクハラ：セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ。性的言動によって不利益を受ける、労働環境などが害されること）
- ・マタハラ：マタニティハラスメント（就業中の女性が妊娠・出産・子育てなどをきっかけに、職場において精神的又は肉体的な嫌がらせをされ、もしくは不当解雇・雇い止め・給料減などの不当な扱いを受けること）  
 <例>産前休業の取得を上司に相談したところ、「休みを取るなら辞めてもらう」と何度も言われた。
- ・パタハラ：パタニティハラスメント（就業中の男性が育児休業制度等の利用に関して、上司・同僚から嫌がらせをされ、もしくは不当解雇・雇い止め・給料減などの不当な扱いを受けること）  
 <例>育児休業の取得について上司に相談したところ、「男のくせに育児休業を取るなんてあり得ない」と言われ、取得をあきらめざるを得ない状況になった。
- ・パワハラ：パワーハラスメント（社会的な地位の強い者による、自らの権力や立場を利用しての嫌がらせ）

問15 男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活躍するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 女性の雇用機会を拡大する
- 2 賃金、昇給の男女格差をなくす
- 3 男性中心の組織運営を見直し、女性の管理職への登用を進める
- 4 男女ともに、能力を発揮できる配置を行う
- 5 能力主義・成果主義による昇進、昇格を行う
- 6 男女ともに、能力、チャレンジ意欲を向上させるための教育・研修機会を充実する
- 7 結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気づくり
- 8 子育てや介護のための施設やサービスを充実させる
- 9 男女ともに育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする
- 10 あらゆるハラスメントをなくす
- 11 パートタイマーや派遣労働者の給与・労働条件を改善させる
- 12 職場において男女が対等であるという意識を普及させる
- 13 家庭（家事・子育て・介護など）において男女が対等であるという意識を普及させる
- 14 女性自身の職業に対する自覚・意欲を高める
- 15 その他（具体的に
- 16 わからない

## E 仕事と生活の調和について

- 問16 あなたは、生活の中で仕事と個人の生活（家庭、地域活動など）でどちらを優先しますか。  
 (1) あなたの希望と(2) 現実（現状）に最も近いものをそれぞれお答えください。  
 （それぞれについて○は1つ）

(1) 希望	(2) 現実（現状）
1 「仕事」を優先したい	1 「仕事」を優先している
2 「個人の生活」を優先したい	2 「個人の生活」を優先している
3 「仕事」と「個人の生活」をともに優先したい	3 「仕事」と「個人の生活」をともに優先している
4 その他（具体的に )	4 その他（具体的に )
5 わからない	5 わからない

- 問17 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
2 男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること
3 家族の間で家事などの負担をするように十分話し合うこと
4 労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
5 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
6 小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること
7 その他（具体的に )
8 特に必要ない

## F あらゆる暴力について

- 問18 あなたは、配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む）から、次のようなことを「されたこと」「したこと」がありますか。以下の「されたこと」と「したこと」の両方にお答えください。（それぞれについて○はいくつでも）

(1) あなたがされたこと	(2) あなたがしたこと
1 生命の危険を感じるほどの暴力をふるわれた	1 生命の危険を感じるほどの暴力をふるった
2 殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回す、ものを投げられるなどの暴力をふるわれた	2 殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回す、ものを投げるなどの暴力をふるった
3 気がすまないと伝えているのに、性的な行為を強要された	3 気がすまないと行われているのに、性的な行為を強要した
4 避妊に協力してくれなかった	4 避妊に協力しなかった
5 「食わせてやっている」とか「甲斐性なし」などと言われた	5 「食わせてやっている」とか「甲斐性なし」などと言った
6 生活費を渡されなかった	6 生活費を渡さなかった
7 交友関係や電話・メールを細かく監視されたり、外出を制限された	7 交友関係や電話・メールを細かく監視したり、外出を制限した
8 何を言っても長時間無視され続けた	8 何を言われても長時間無視し続けた
9 大声でどなられた	9 大声でどなった

10 無言電話やいやがらせの電話をされたり、メールやSNS等で不快な気持ちにさせる情報やメッセージを送られたり拡散された	10 無言電話やいやがらせの電話をしたり、メールやSNS等で不快な気持ちにさせる情報やメッセージを送ったり拡散した
11 傷つくような言葉、人格を否定されるような言葉など、人権を侵害することを言われた	11 傷つくような言葉、人格を否定するような言葉など、人権を侵害することを言った
12 元配偶者、元交際相手からしつこくつきまとわれた	12 元配偶者、元交際相手にしつこくつきまとった
13 その他（具体的に )	13 その他（具体的に )
14 されたことはない	14 したことはない



【相手は誰ですか】（〇はいくつでも）	【相手は誰ですか】（〇はいくつでも）
1 配偶者（パートナー）	1 配偶者（パートナー）
2 元配偶者（元パートナー）	2 元配偶者（元パートナー）
3 交際相手	3 交際相手
4 元交際相手	4 元交際相手
5 その他（具体的に )	5 その他（具体的に )

問19 問18の(1)の行為を受けられた方にお尋ねします。

そのような行為を受けられてどうしましたか。（〇はいくつでも）

1 警察に連絡、相談した	6 我慢した
2 公的機関の相談窓口で相談した	7 加害者が謝ってくれたので許した
3 家族や親族に相談した	8 どこ（だれ）にも相談しなかった → 問20へ
4 友人や知人に相談した	9 その他（具体的に )
5 加害者から逃げた	

問20 問19で「8 どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えられた方にお尋ねします。

あなたがどこ（だれ）にも相談しなかった（できなかつた）のは、なぜですか。（〇はいくつでも）

1 どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかった
2 相談しても無駄だと思った
3 世間体が悪い
4 そのことについて思い出したいくない
5 自分が暴力を受けているという認識がなかった
6 相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思った
7 相談先の担当者の言動により不快な思いをさせられると思った
8 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った
9 恥ずかしくてだれにも言えなかった
10 加害者に「誰にも言うな」と脅された
11 他人を巻き込みたくない
12 自分にも悪いところがある
13 相談するほどのことではないと思った
14 その他（具体的に )

**すべての方にお尋ねします。**

問21 あなたは配偶者（パートナー）など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む）からの暴力（殴る、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力）について、相談窓口としてどのようなものを知っていますか。（〇はいくつでも）

- 1 配偶者暴力相談支援センター
- 2 法務局、人権擁護委員
- 3 女性のための総合的な施設（男女共同参画センター、女性センターなど）
- 4 警察
- 5 市役所の相談窓口
- 6 上記1～5以外の公的な機関
- 7 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）
- 8 その他（具体的に
- 9 1つも知らない

問22 配偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪など、暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 法律・制度の制定や見直しをおこなう
- 2 犯罪の取り締まりを強化する
- 3 被害者の相談窓口や保護施設を充実させる
- 4 暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする
- 5 子どもの頃から、学校における人権教育（男女平等、DV、からだと心を大切にする性についての教育など）を充実させる
- 6 子どもの頃から、家庭における人権教育（男女平等、DV、からだと心を大切にする性についての教育など）を充実させる
- 7 メディアが倫理規定を強化する
- 8 過激な内容のDVD、ゲームソフトなどの販売や貸出、インターネット上の動画の閲覧を制限する
- 9 その他（具体的に
- 10 わからない

\*\*\*用語解説\*\*\*

・DV：ドメスティックバイオレンス（夫婦や生活の本拠を共にする交際相手といった親密な人間関係の中で起こる暴力のことで、身体的暴力だけでなく、精神的、性的、経済的、社会的な暴力なども含まれる）

【DVの種類】

身体的暴力：殴る、蹴る、首を絞める、突き飛ばす、髪を引っ張る、腕をひねる、引きずりまわすなど

精神的暴力：どなる、おどす、馬鹿にする、無視する、物を投げる、刃物を出す、自殺を仄めかすなど

性的暴力：望まないSEXを強要する、避妊に協力しない、無理やりポルノを見せる、無理やり裸の写真を撮る など

経済的暴力：生活費を渡さない、自由にお金を使わせない、外で働くことを嫌がるなど

社会的暴力：友人や身内との付き合いを制限する、自由に外出させない、電話・メールをチェックするなど

**G 男女共同参画社会づくりについて**

問23 男女共同参画社会とは「男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会」と内閣府は定めています。男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習及び相談の場として、八尾市男女共同参画センター「すみれ」（八尾市立社会福祉会館2階）を設置しています。あなたは八尾市男女共同参画センター「すみれ」を知っていますか。（〇は1つ）

- 1 知っている →問23-1 へ
- 2 知らない →問24 へ

問23-1 問23で「1 知っている」と答えられた方にお尋ねします。

八尾市男女共同参画センター「すみれ」を利用したことがありますか。（〇は1つ）

- 1 利用したことがある →問24 へ
- 2 利用したことがない →問23-2 へ

問23-2 問23-1で「2 利用したことがない」と答えられた方にお尋ねします。

その主な理由はなぜですか。（〇は1つ）

- 1 場所がわからない
- 2 利用したい時間（曜日）に開館していない
- 3 利用したい情報などが無い
- 4 特に利用する必要がない
- 5 何をしているところかがわからない
- 6 参加したい講座などが無い
- 7 交通が不便
- 8 その他（具体的に )

問24 男女共同参画を進めていく上で、行政（国・府・市）は、どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 男女平等の視点で法律や制度を改める
- 2 学校教育において、男女共同参画を徹底させる
- 3 社会教育や生涯学習の分野で、男女共同参画についての理解を深める機会をつくる
- 4 女性の就労機会を増やし、経済的自立を支援する
- 5 採用・昇進・賃金など、就労の場における男女格差をなくす
- 6 すべての労働者が、仕事と家庭の両立をできるように支援する
- 7 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、学習の場を充実させる
- 8 政策決定の場に女性を積極的に登用する
- 9 男女共同参画社会を進めるための拠点として設置した男女共同参画センターの機能の拡充を図る
- 10 地域活動で活躍する女性リーダーを養成する
- 11 障がいや国籍などにより、さらに困難な状況におかれる女性への支援を進める
- 12 その他（具体的に )
- 13 特に必要はない
- 14 わからない

問25 男女共同参画を推進するための八尾市の次の①～⑩の取り組みについて、現在の満足度をお答えください。  
(①～⑩のそれぞれについて〇は1つ)

	現在の満足度				
	満足	満足 どちらかといえば	不満 どちらかといえば	不満	どちらともいえない
①ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進	1	2	3	4	5
②あらゆる分野への女性の参画推進	1	2	3	4	5
③女性の職業生活における活躍支援	1	2	3	4	5
④生涯を通じた健康への支援	1	2	3	4	5
⑤女性に対するあらゆる暴力の根絶	1	2	3	4	5
⑥様々な困難を抱える人々への支援	1	2	3	4	5
⑦子どもの頃から男女共同参画意識を育てる	1	2	3	4	5
⑧様々な分野への男女共同参画の意識啓発	1	2	3	4	5
⑨地域における男女共同参画の推進	1	2	3	4	5
⑩男女共同参画推進の拠点施設の充実	1	2	3	4	5

\*\*\*用語解説\*\*\*

- ・様々な困難を抱える人々：ひとり親家庭、介護・介助を必要とする人、生活困窮者、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）、外国人、同和問題（部落差別）等に加え、女性であることで更に複合的に困難な状況に置かれている人々
- ・男女共同参画推進の拠点施設：男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習及び相談の場として、八尾市立社会福祉会館2階に設置されている八尾市男女共同参画センター「すみれ」

問26 困難な問題を抱える女性の福祉の増進を図るため、令和6年4月1日に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（女性支援法）が施行されました。一人ひとりのニーズに応じた支援を行い、安心して、かつ、自立して暮らせる社会の実現をめざすための法律です。  
困難な問題を抱える女性が、支援につながりやすい体制をつくるために、必要だと思う取り組みは何ですか。（〇はいくつでも）

\*\*\*用語解説\*\*\*

- ・困難な問題を抱える女性：法律では、性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性その他の様々な事情により日常生活又は社会生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性（そのおそれのある女性を含む。）と定義されている。

1	学校内での相談体制整備
2	市民に対する啓発や情報提供を行う
3	メールやSNSによる相談窓口の拡充
4	専門的な相談機関の整備
5	同年代の女性相談員による相談受け付け
6	いつでも安心して話ができる居場所づくり
7	支援を行う関係機関の連携強化
8	アウトリーチ（訪問、巡回など積極的に対象者がいる場所に向いての働きかけ）による早期発見
9	その他（ ）
10	わからない

## H あなた自身について

問27 あなたの年齢は (○は1つ)

- |       |       |       |       |       |       |         |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1 10代 | 2 20代 | 3 30代 | 4 40代 | 5 50代 | 6 60代 | 7 70代以上 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|

問28 あなたの性別は (○は1つ)

- |      |      |                      |       |
|------|------|----------------------|-------|
| 1 女性 | 2 男性 | 3 女性・男性と答えることに抵抗を感じる | 4 その他 |
|------|------|----------------------|-------|

問29 あなたは結婚していますか。(事実婚を含む) (○は1つ)

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| 1 結婚していない | 3 結婚したが、離別又は死別している |
| 2 結婚している  | 4 その他 (具体的に)       |

問29-1 配偶者(パートナー)や交際相手など親密な関係にある人(事実婚や元配偶者、元交際相手を含む)複数おられた場合は、一番最近に親密な関係にあった人についての性別は。(○は1つ)

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1 女性                 | 4 その他           |
| 2 男性                 | 5 親密な関係にある人はいない |
| 3 女性・男性と答えることに抵抗を感じる |                 |

問30 あなたが一緒に住んでいる人は。(あてはまるものすべてに○)

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1 単身(1人)     | 4 祖父母       |
| 2 配偶者(パートナー) | 5 その他(具体的に) |
| 3 子ども        |             |

問31 令和7年4月1日時点のあなたが同居している、一番下のお子さんの年齢は。(○は1つ)

- |           |          |           |         |
|-----------|----------|-----------|---------|
| 1 子どもはいない | 3 3歳～6歳  | 5 13歳～15歳 | 7 20歳以上 |
| 2 3歳未満    | 4 7歳～12歳 | 6 16歳～19歳 |         |

問32 あなた、配偶者(パートナー)の職業は。(それぞれについて○は1つ)

(1) あなたについて	(2) 配偶者(パートナー)について
<p><b>【主な仕事】</b></p> <p>1 正社員・正職員(フルタイム)</p> <p>2 契約社員や派遣社員(フルタイム)</p> <p>3 パートタイマーやアルバイト</p> <p>4 自営業又は家族従業員</p> <p>5 家事専業</p> <p>6 在学中</p> <p>7 無職(家事専業を除く)</p> <p>8 その他(具体的に)</p>	<p><b>【主な仕事】</b></p> <p>1 正社員・正職員(フルタイム)</p> <p>2 契約社員や派遣社員(フルタイム)</p> <p>3 パートタイマーやアルバイト</p> <p>4 自営業又は家族従業員</p> <p>5 家事専業</p> <p>6 在学中</p> <p>7 無職(家事専業を除く)</p> <p>8 その他(具体的に)</p> <p>9 配偶者(パートナー)はいない → 問33へ</p>
<p><b>【勤務地】</b></p> <p>1 勤務していない</p> <p>2 八尾市内(在宅勤務含む)</p> <p>3 大阪市内</p> <p>4 大阪府内(八尾市・大阪市以外)</p> <p>5 大阪府外</p>	<p><b>【勤務地】</b></p> <p>1 勤務していない</p> <p>2 八尾市内(在宅勤務含む)</p> <p>3 大阪市内</p> <p>4 大阪府内(八尾市・大阪市以外)</p> <p>5 大阪府外</p>
<p><b>【通勤時間】</b></p> <p>1 通勤していない(在宅勤務含む)</p> <p>2 30分未満</p>	<p><b>【通勤時間】</b></p> <p>1 通勤していない(在宅勤務含む)</p> <p>2 30分未満</p>

3 30分～1時間未満 4 1時間～1時間30分未満 5 1時間30分～2時間未満 6 2時間以上	3 30分～1時間未満 4 1時間～1時間30分未満 5 1時間30分～2時間未満 6 2時間以上
(1) あなたについて	(2) 配偶者（パートナー）について
【週におよそ何日働きますか】 1 なし 2 1～3日 3 4～5日 4 それ以上	【週におよそ何日働きますか】 1 なし 2 1～3日 3 4～5日 4 それ以上
【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】 1 なし 2 4時間未満 3 4時間～6時間未満 4 6時間～8時間未満 5 8時間～10時間未満 6 10時間～12時間未満 7 12時間以上	【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】 1 なし 2 4時間未満 3 4時間～6時間未満 4 6時間～8時間未満 5 8時間～10時間未満 6 10時間～12時間未満 7 12時間以上
【昨年（2024年）の年収（税込）】 1 収入はない 2 103万円未満 3 103万円～130万円未満 4 130万円～200万円未満 5 200万円～300万円未満 6 300万円～400万円未満 7 400万円～500万円未満 8 500万円～1,000万円未満 9 1,000万円以上	【昨年（2024年）の年収（税込）】 1 収入はない 2 103万円未満 3 103万円～130万円未満 4 130万円～200万円未満 5 200万円～300万円未満 6 300万円～400万円未満 7 400万円～500万円未満 8 500万円～1,000万円未満 9 1,000万円以上 10 知らない

問33 八尾市の男女共同参画社会づくりの推進を考えると、より力を入れるべき取り組みなどについて、ご意見があれば自由にご記入ください。

☆☆ ご協力いただきありがとうございました ☆☆

三つおりにし、同封の返信用封筒に入れて、10月20日(月曜日)までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手はいりません)

男女共同参画についての市民意識調査報告書

令和8(2026)年3月発行

発行者 八尾市 人権ふれあい部 人権政策課  
〒581-0003 八尾市本町一丁目1番1号  
TEL 072-924-3830 FAX 072-924-0175  
電子メール [jinkenseisaku@city.yao.osaka.jp](mailto:jinkenseisaku@city.yao.osaka.jp)  
刊行物番号 R7-235